資料１－１

（案）

原子力発電所周辺環境放射能測定結果

（令和８年度　第１四半期）

福　島　県

目次

第１　測定結果の概要 ・・・

第１　測定結果の概要

福島県が「令和８年度福島県原子力発電所周辺環境放射能等測定計画書」に基づき、令和８年度第１四半期（令和８年４月～令和８年６月）に実施した原子力発電所周辺の環境放射能測定結果は以下に示すとおりです。空間線量率については東京電力㈱福島第一原子力発電所事故前の測定値の範囲を上回り、環境試料については一部を除いて事故前の測定値の範囲を上回っています。しかし、これらは、年月の経過とともに減少する傾向にありました。

１　空間放射線

○　空間線量率（ガンマ線）について、今期の測定値（月間平均値 0.041～3.200　μGy/h）は、事故前の測定値（月間平均値 0.033～0.054　μGy/h）を上回っていますが、年月の経過とともに減少する傾向にありました。

○　空間線量率（中性子線）について、今期の測定値（月間平均値 4～5 nSv/h）は、事故前の県内の測定結果※1と同程度※であり、中性子線量率の異常は確認されませんでした。

○　空間積算線量（90 日換算値）については、今期の測定値（0.13～9.0 mGy）は、事故前の測定値（0.10～0.14 mGy）を上回っていますが、年月の経過とともに減少する傾向にありました。

２　環境試料の核種濃度

○　降下物、土壌及び海底土の３品目の試料からセシウム-134 及びセシウム-137 が検出され、大気浮遊じん、上水、海水及びほんだわらの試料からはセシウム-137 が検出されました。事故の影響により多くの試料で事故前の測定値を上回りましたが、事故直後と比較すると大幅に低下しており、令和５年度から前四半期までの測定値（以下「令和５年度以降」という。）とほぼ同程度でした。

上水の一部（水源は表流水）からセシウム-137 が検出（0.016 Bq/L）されています。この値は、食品中の放射性セシウムの基準値のうち、飲料水の基準値※である 10 Bq/kg（10 Bq/L）を大きく下回っています。

○　海水の全ベータ放射能を調査した結果、事故前の測定値（ND～0.05 Bq/L）と同程度※でした。

○　大気中水分、上水及び海水からトリチウムが検出されました。大気中水分の測定値は、事故前の測定値（ND～23 mBq/m^3）を上回りましたが、平成 26 年度以降の測定値（ND～70 mBq/m^3）と同程度でした。上水及び海水のトリチウムの測定値は、事故前の測定値（上水：ND～1.3 Bq/L、海水：ND～1.3 Bq/L）と同程度でした。

ALPS 処理水の海洋放出後に実施した海水モニタリングにおいて、速報のためのトリチウムの迅速分析の結果は、検出下限値未満から 4.3 Bq/L の範囲でした。

○　土壌及び海水からストロンチウム-90 が検出されました。海水のストロンチウム-90 の測定値は、一部の地点で令和５年度以降の測定値（ND～0.012 Bq/kg 乾）を上回りましたが、事故直後と比較すると低下しており、平成 26 年度から令和４年度までの測定値（ND～0.76 Bq/kg 乾）と同程度でした。

○　土壌からウラン-234、ウラン-235 及びウラン-238 が検出されました。土壌のウラン-234、ウラン-235、ウラン-238 の測定値は、いずれの核種の放射能比も天然ウランの放射能比と同程度であり、土壌中のウランは天然ウランに由来するものと考えられます。

○　土壌からプルトニウム-238 が検出されました。土壌のプルトニウム-238 の測定値は、事故前の測定値（ND～0.08 Bq/kg 乾）と同程度※でした。

○　土壌、海水、海底土及びほんだわらからプルトニウム-239+240 が検出されました。土壌、海水、海底土及びほんだわらのプルトニウム-239+240 の測定値は、事故前の測定値（土壌：ND～2.6 Bq/kg 乾、海水：ND～0.013 mBq/L、海底土：0.13～0.61 Bq/kg 乾、ほんだわら：0.0035～0.022 Bq/kg 生）と同程度※でした。

※1　環境における中性子線量率の測定結果（平成 14 年度文部科学省実施）：4.6～14 nSv/h
県内 5 地点（福島市、猪苗代町、西会津町、いわき市）において、サーベイメータ型レムカウンタ（直径 2 インチ 5 気圧 ^{3}He 比例計数管）を使用し、地表面より約 1m の高さで測定。
URL：https://www.envraddb.go.jp/（環境放射線データベース）
URL：https://www.envraddb.go.jp/wp-content/themes/jcac/pdf/ers_abs45.pdf（「第 45 回環境放射能調査研究成果論文抄録集（平成 14 年度）文部科学省」I-20　環境における中性子線量率の全国調査）

（注）※については、用語の解説（9～11 ページ）を参照してください。

【町別の空間放射線及び環境試料のセシウム-137 濃度】

※　詳細な地点は p. 13 図２－１　環境放射能等測定地点及び p. 15 図２－３　環境試料採取地点を参照してください。

浪江町

空間線量率：0.060～0.477 μGy/h

空間積算線量：0.21～9.0 mGy

大気浮遊じん：0.012～0.10 mBq/m^3

降下物：3.0～18 Bq/m^2

土壌：270 Bq/kg 乾

上水：ND

松葉：－

双葉町

空間線量率：0.218～2.420 μGy/h

空間積算線量：0.49～0.70 mGy

大気浮遊じん：0.027～0.28 mBq/m^3

降下物：35～51 Bq/m^2

土壌：13,000 Bq/kg 乾

上水：ND

松葉：－

大熊町

空間線量率：0.192～3.200 μGy/h

空間積算線量：0.26～5.1 mGy

大気浮遊じん：0.011～0.32 mBq/m^3

降下物：7.4～16 Bq/m^2

土壌：230,000 Bq/kg 乾

上水：ND

松葉：－

富岡町

空間線量率：0.087～0.177 μGy/h

空間積算線量：0.28～1.75 mGy

大気浮遊じん：ND～0.049 mBq/m^3

降下物：1.8～4.2 Bq/m^2

土壌：150 Bq/kg 乾

上水：ND

松葉：－

楢葉町

空間線量率：0.063～0.135 μGy/h

空間積算線量：0.15～0.30 mGy

大気浮遊じん：ND～0.015 mBq/m^3

土壌：980 Bq/kg 乾

上水：ND

松葉：－

広野町

空間線量率：0.065～0.069 μGy/h

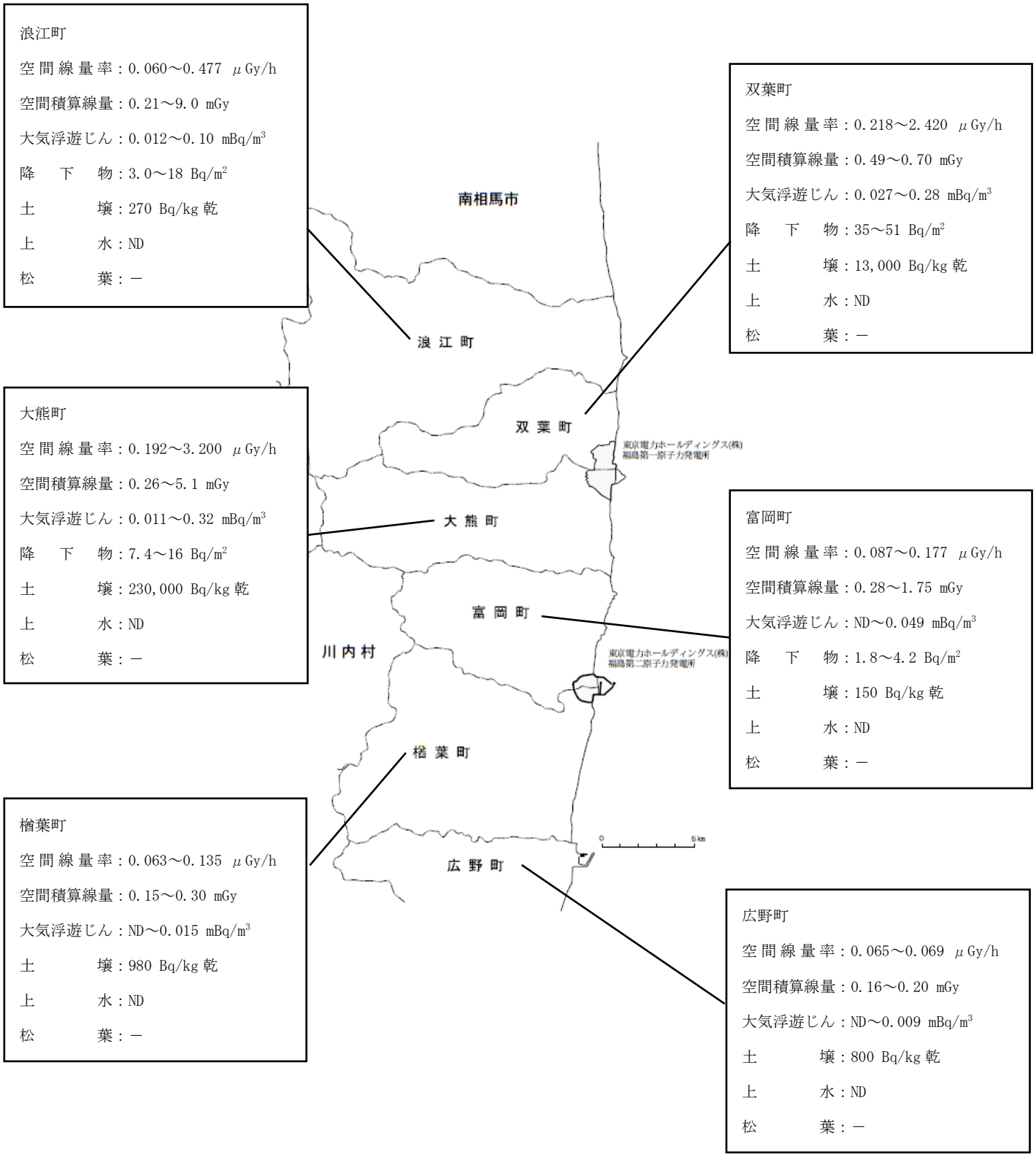
空間積算線量：0.16～0.20 mGy

大気浮遊じん：ND～0.009 mBq/m^3

土壌：800 Bq/kg 乾

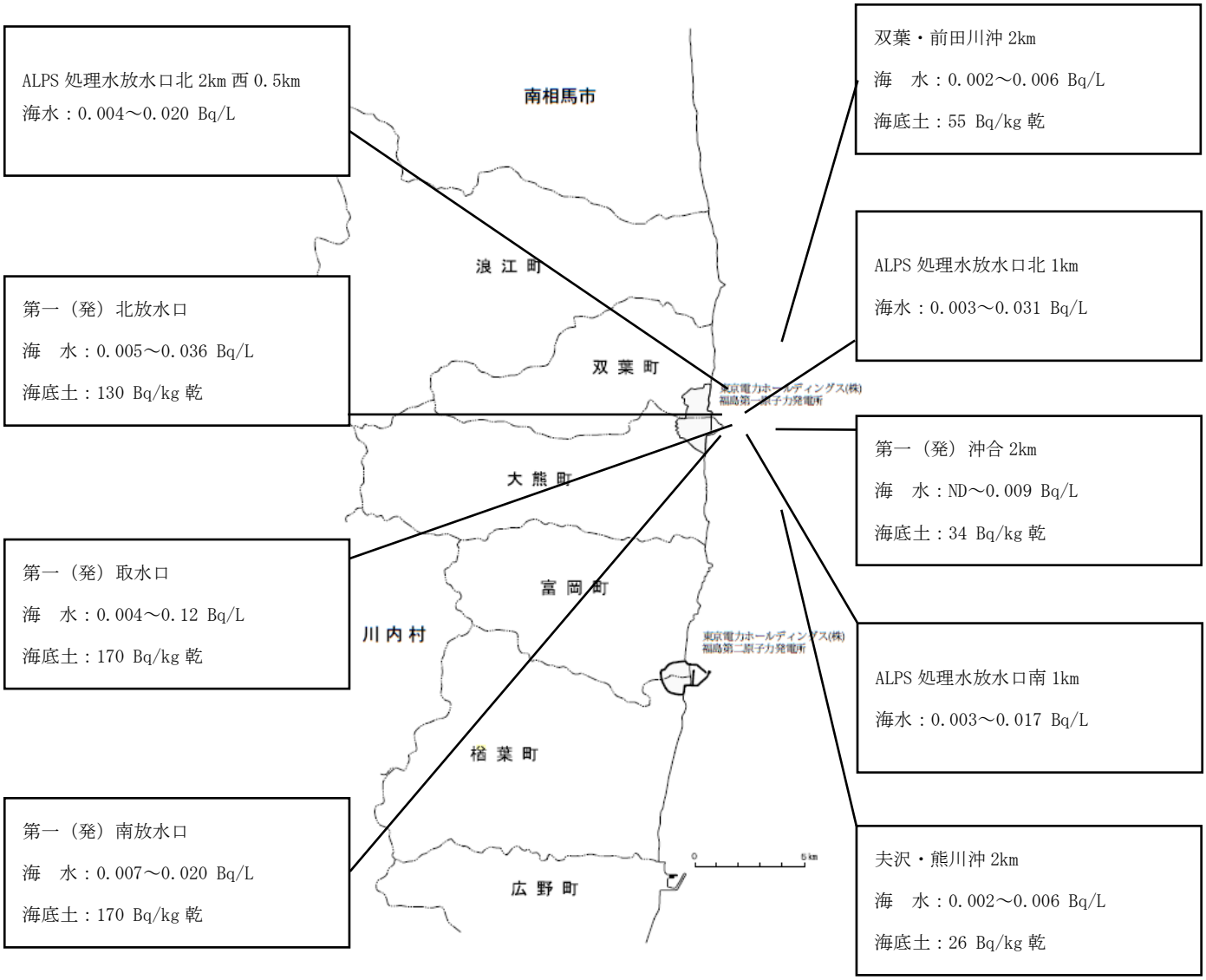
上水：ND

松葉：－

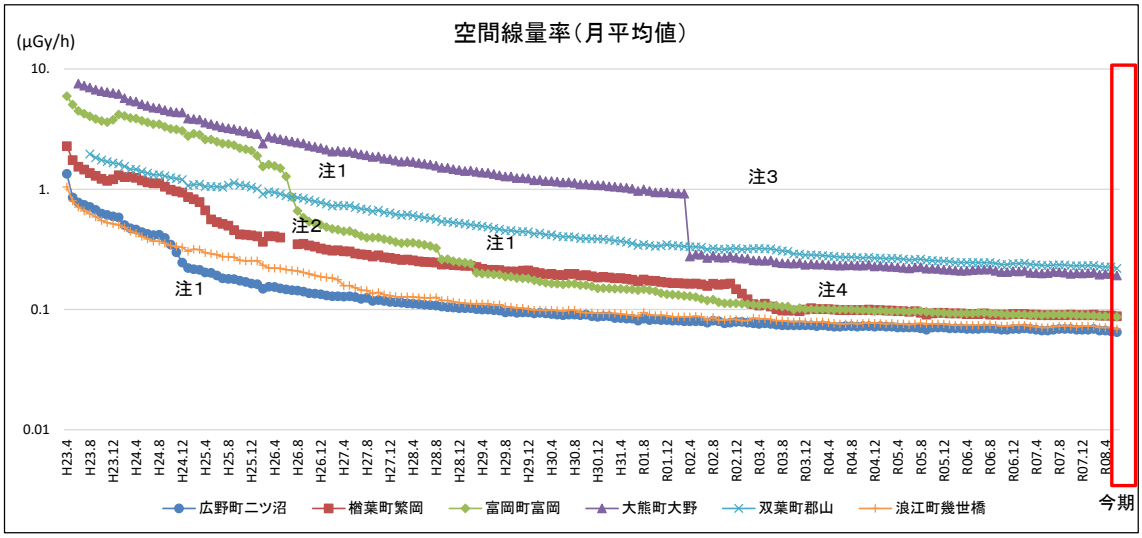


【福島第一原子力発電所沿岸海域の海水及び海底土のセシウム-137 濃度】

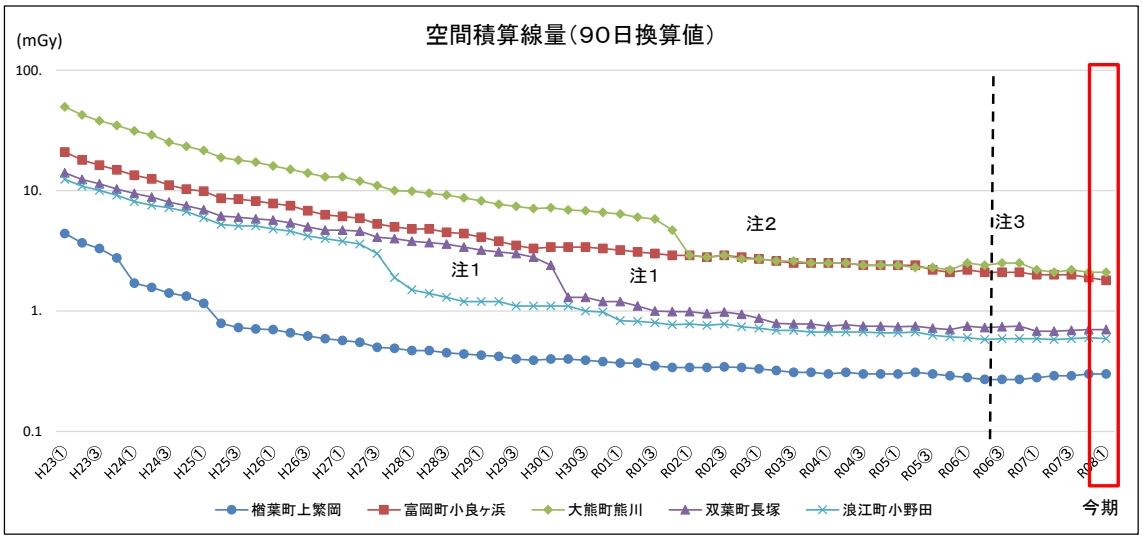
※　詳細な地点は p.15 図２－３　環境試料採取地点を参照してください。



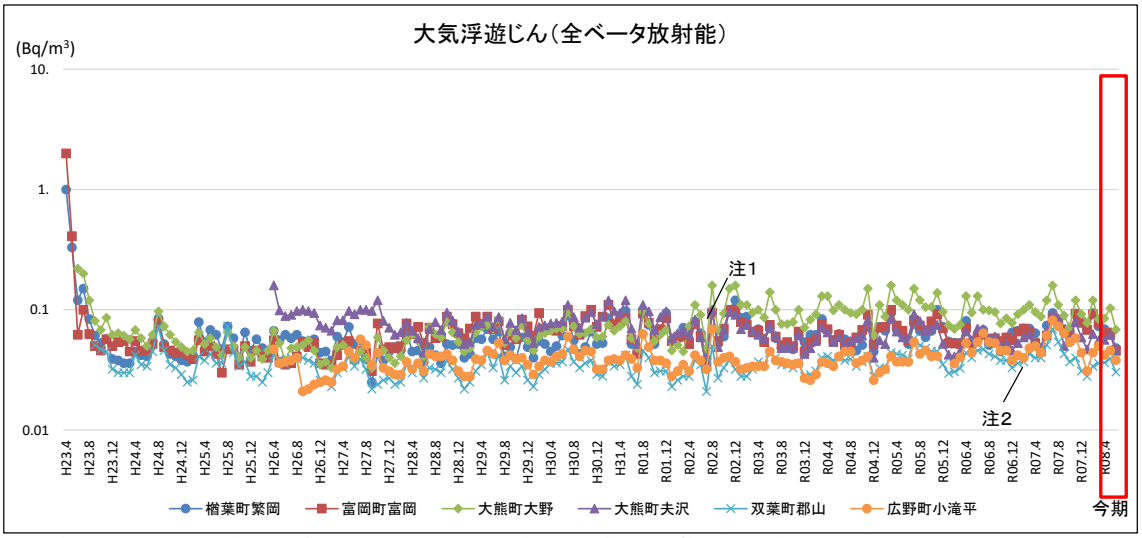
事故後の各項目毎のトレンドグラフ



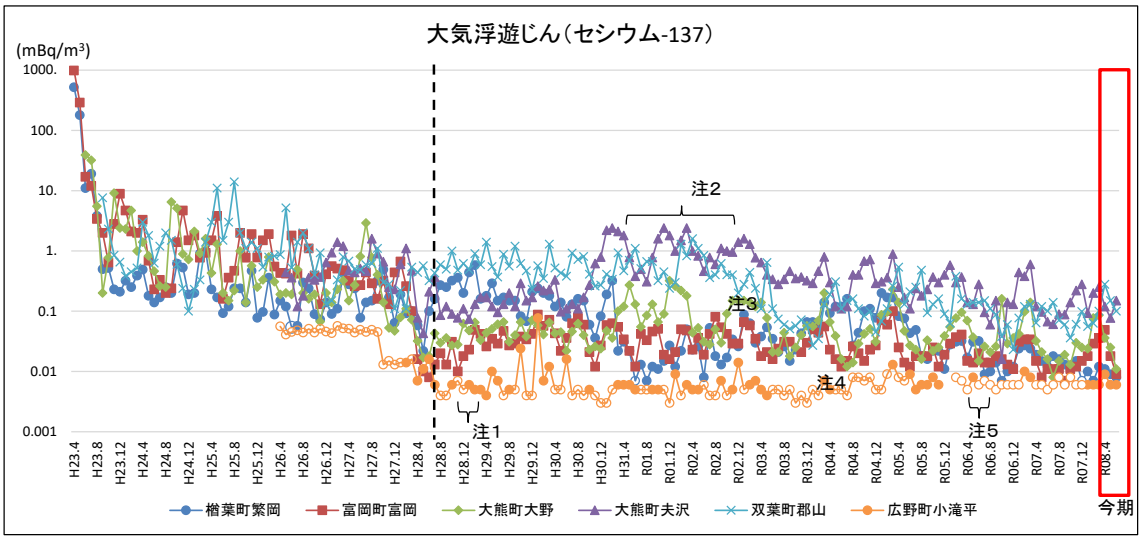
注1：除染による減少、注2：欠測
注3：大熊町大野は令和元年度末に局舎を移設したため、令和2年度より旧大熊町役場敷地内で測定を行っている。
注4：隣地において造成工事が行われたことによる低下



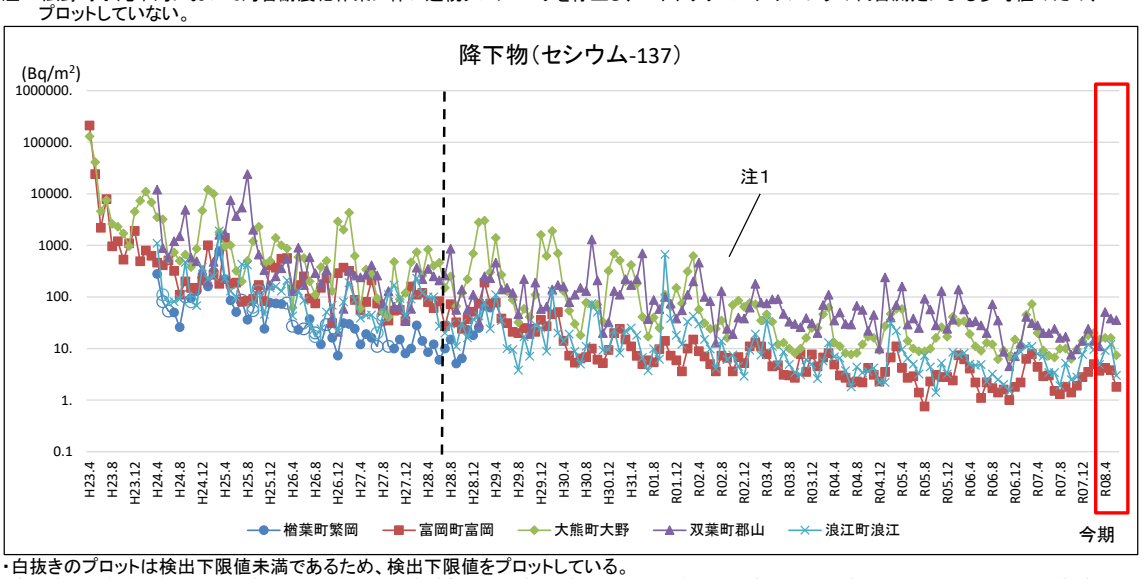
注1：除染による減少
注2：周辺において造成工事が行われたことによる低下
注3：令和5年度までは蛍光ガラス線量計により測定していたが、令和6年度より電子式線量計による測定に変更した



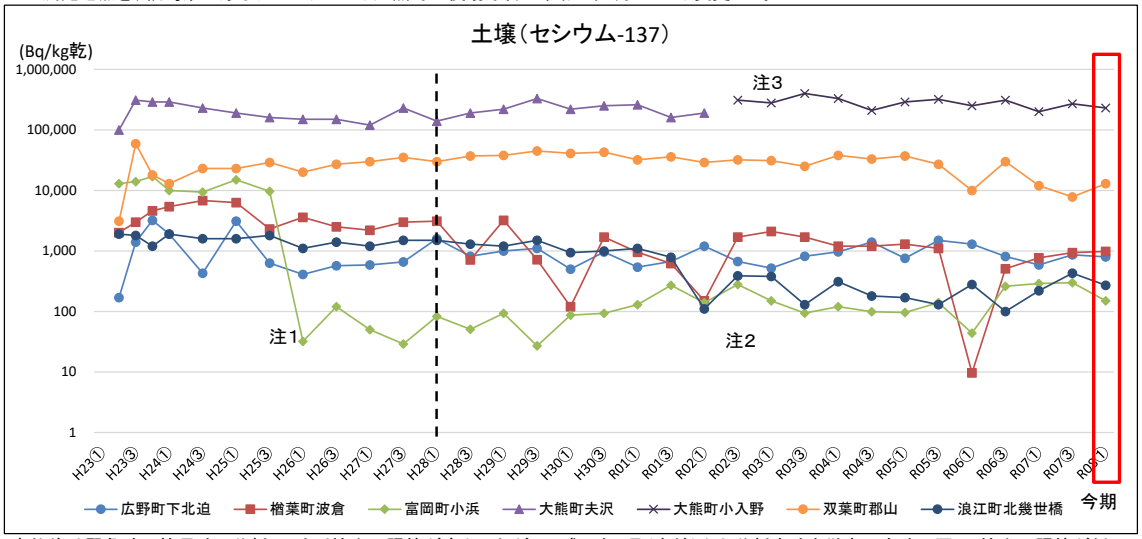
注1：大熊町大野は令和元年度末に局舎を移設したため、令和2年度より旧大熊町役場敷地内で測定を行っている。
注2：広野町小滝平局において局舎耐震化作業に伴い連続ダストモニタを停止し、ハイボリウムエアサンプラの代替測定による参考値のため、プロットしていない。



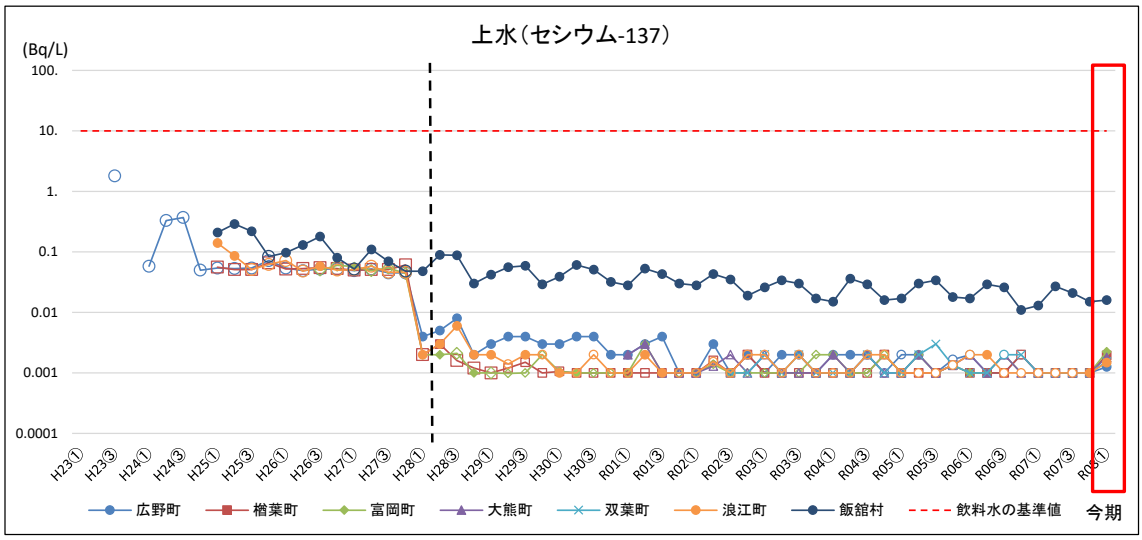
・白抜きのプロットは検出下限値未満であるため、検出下限値をプロットしている。
・事故後は緊急時の簡易法で分析しており検出下限値が高かったが、平成28年4月（点線）から分析方法を従来の方法に戻し、検出下限値が低下。
注1：富岡町富岡は機器不具合のため平成28年7月から10月は参考値
注2：大熊町夫沢が平成30年度及び令和元年度の秋期～冬期にかけてセシウム-137濃度が上昇した要因は、土木工事により局舎周辺が裸地化し、風によって微細な土壌粒子が浮遊しやすい環境となり、強風により浮遊した土壌粒子を捕集した影響と考えられる。
注3：測定地点を、福島県旧原子力センターから大熊町旧役場庁舎に令和2年4月1日から変更した。
注4：富岡町富岡は令和3年10月6日に実施した屋上の防水塗装作業時、粉じんを吸引したと考えられるため、令和3年10月を欠測とした。
注5：広野町小滝平局において局舎耐震化作業に伴い連続ダストモニタを停止し、ハイボリウムエアサンプラの代替測定による参考値のため、プロットしていない。



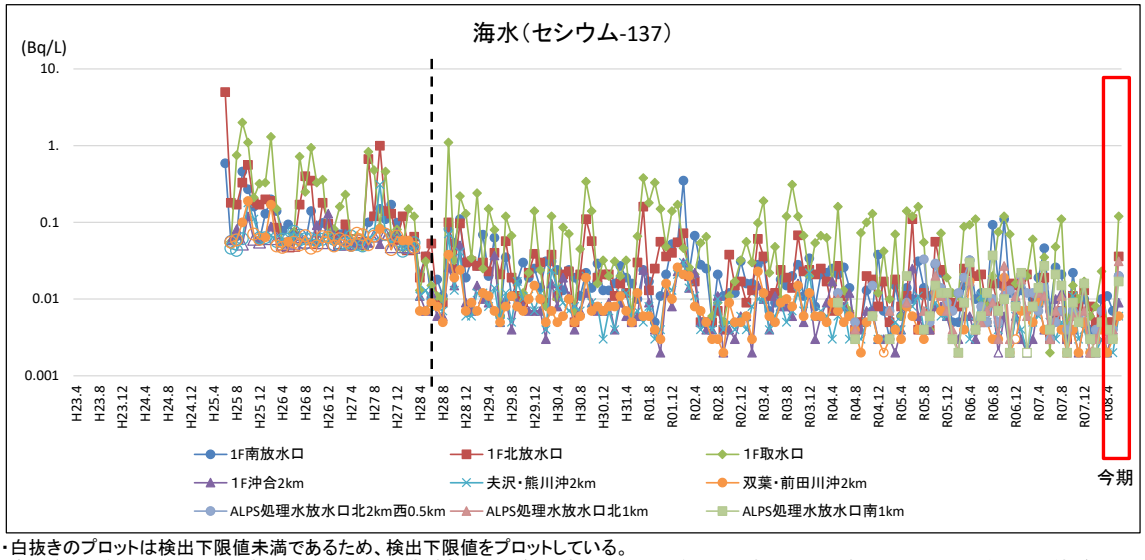
・白抜きのプロットは検出下限値未満であるため、検出下限値をプロットしている。
・事故後は緊急時の簡易法で分析しており検出下限値が高かったが、平成28年4月（点線）から分析方法を従来の方法に戻し、検出下限値が低下。
注1：測定地点を、福島県旧原子力センターから大熊町旧役場庁舎に令和2年4月1日から変更した。



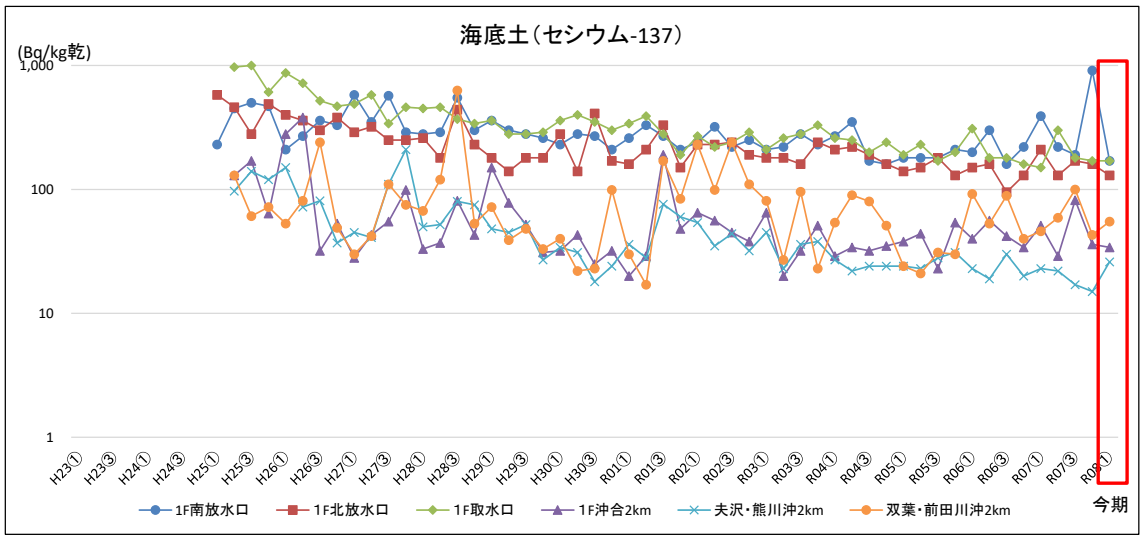
・事故後は緊急時の簡易法で分析しており検出下限値が高かったが、平成28年4月（点線）から分析方法を従来の方法に戻し、検出下限値が低下。
注1：除染による減少
注2：浪江町北幾世橋は、従来の採取地が耕作により採取不可能になったため、同地点内で採取地を変更して除染終了後の土壌を採取した。
注3：大熊町夫沢は中間貯蔵施設工事により採取不可能となったため、令和2年度第3四半期より大熊町小入野で試料採取を行っている。

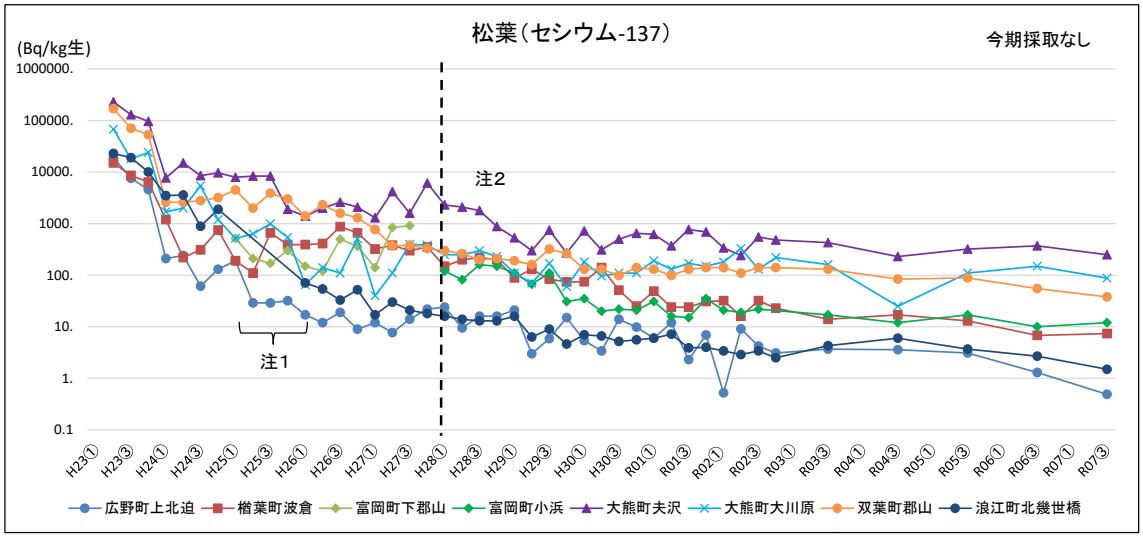


・白抜きのプロットは検出下限値未満であるため、検出下限値をプロットしている。
・事故後は緊急時の簡易法で分析しており検出下限値が高かったが、平成28年4月（点線）から分析方法を従来の方法に戻し、検出下限値が低下。

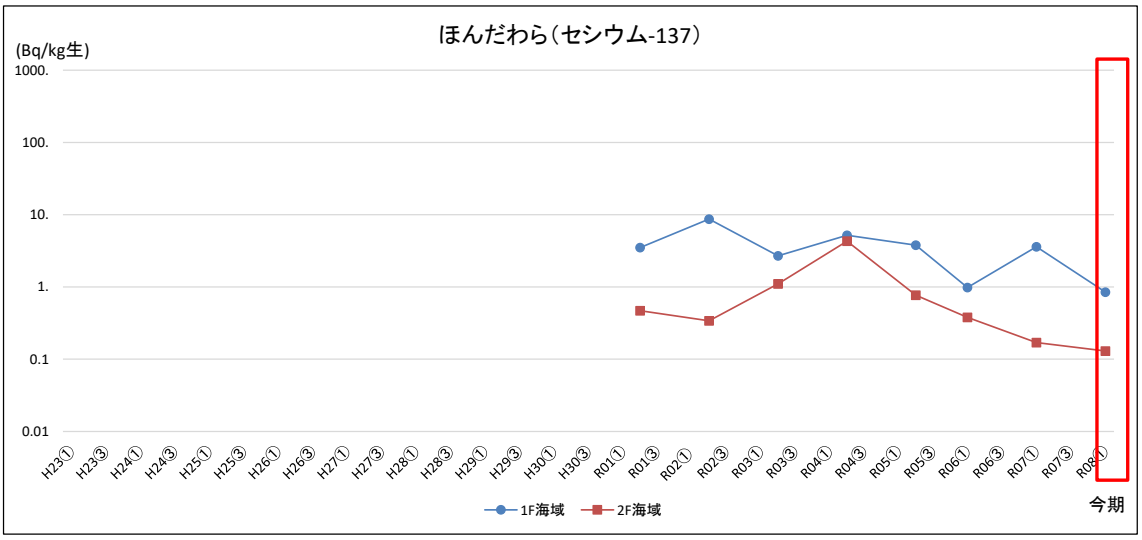


・白抜きのプロットは検出下限値未満であるため、検出下限値をプロットしている。
・事故後は緊急時の簡易法で分析しており検出下限値が高かったが、平成28年4月（点線）から分析方法を従来の方法に戻し、検出下限値が低下。





・事故後は緊急時の簡易法で分析しており検出下限値が高かったが、平成28年4月（点線）から分析方法を従来の方法に戻し、検出下限値が低下。
注1：浪江町北幾世橋は平成25年度は調査未実施
注2：富岡町下郡山は平成27年度第4四半期以降試料採取が困難となったため、平成28年度より富岡町小浜で試料採取を行っている。



用語の解説

1　同程度

空間線量率の測定値は、測定装置の設置場所周辺の環境変化、測定機器の更新等により変動するため、それぞれの測定地点における測定値が同様の測定を実施しているとみなせる期間の値の範囲内であったとき又はその範囲を下回った場合において、測定器等にトラブルが認められない場合には、同程度とします。空間積算線量、環境試料も同様です。

2　降雨雪による自然放射線レベルの変動

一般に降雨雪時には、空気中に舞い上がっているラドン※1、トロン※2及びその子孫核種並びに大気浮遊じん等に含まれる自然の放射性物質が、雨滴等に取り込まれ地表付近に降下し、降り始めの一時期に空間線量率が上昇します。また、降雨雪が多くなると地表の水分による放射線の吸収作用により、大地からの放射線が遮へいされ、空間線量率が低下することがあります。

福島県においては、福島第一原子力発電所事故の影響により、およそ３００ｎＧｙ／ｈ以下の地域では、自然の放射性物質が地表付近に降下するため、一時的に空間線量率が上昇しますが、３００ｎＧｙ／ｈを超える地域では、自然の放射性物質による上昇に比べ、降雨雪による遮へい効果が大きいため、一時的に低下する傾向が見られます。

※１　ラドン　大地に由来するウラン-238 から始まる壊変（ウラン系列）で生成されたラジウム-226 が壊変した放射性の希ガス（ラドン-222）です。

※２　トロン　大地に由来するトリウム-232 から始まる壊変（トリウム系列）で生成されたラジウム-224 が壊変した放射性の希ガス（ラドン-220）です。

3　ガンマ線放出核種

原子力発電所からの影響を評価するため、環境試料に含まれるクロム-51、マンガン-54、コバルト-58、鉄-59、コバルト-60、ジルコニウム-95、ニオブ-95、ルテニウム-106※3、アンチモン-125、セシウム-134、セシウム-137※4及びセリウム-144 等の核種について、放出されるガンマ線を測定し、定量しています。また、松葉、ほんだわらについては、これらに加えてヨウ素-131 も対象としています。

※３　ルテニウム-106 は純ベータ核種であるため、子孫核種であるロジウム-106 のガンマ線を測定し、定量しています。

※４　セシウム-137 は純ベータ核種であるため､子孫核種であるバリウム-137m のガンマ線を測定し、定量しています。

4　ベータ線放出核種

環境試料に含まれるベータ線を放出する核種のうち、原子力発電所からの影響を評価するため、トリチウム及びストロンチウム-90 を測定対象としています。

5　アルファ線放出核種

環境試料に含まれるアルファ線を放出する核種のうち、原子力発電所からの影響を評価するため、プルトニウム-238、プルトニウム-239+240 を測定対象としています。また、土壌については、これらに加えてウラン-234、ウラン-235、ウラン-238、アメリシウム-241、キュリウム-244 も対象としてい

ます。

6　原子力発電所等に由来する影響

環境試料の核種濃度については、昭和５５年以前に行われた大気圏核実験の影響により、セシウム-137 の放射能レベルの上昇が松葉などに見られるとともに、ほうれんそうなどの試料からジルコニウム-95、ニオブ-95、セシウム-137、セリウム-144 などが検出されました。

その後、大気圏核実験の停止に伴い、全体的に環境試料の放射能レベルは減少していましたが、現在に至っても、半減期の長いセシウム-137、ストロンチウム-90、プルトニウムが全国的に微量ながら検出されています。

昭和６１年に起きた旧ソ連チョルノービリ原子力発電所の事故により、県内でもヨウ素-131、セシウム-134、セシウム-137 などが一時的に検出されましたが、現在ではその影響は極めて小さなものとなっています。

福島第一原子力発電所の事故の影響により、多くの試料からセシウム-134、セシウム-137 などが検出されています。空間線量率の上昇が確認された場合は、これまでの空間線量率の推移、原子力施設の測定値等の異常、気象、自然放射性核種等の影響、測定器等の異常、外部要因の影響の有無を確認し、原子力発電所等に由来する影響の有無を判断しています。

7　大気浮遊じんの全アルファ放射能及び全ベータ放射能の相関関係

通常、一般環境の大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能濃度は、大気が安定し、風が弱いときは高い傾向を示し、降雨雪時や強風の時は低い、というように変動していますが、自然界のラドン、トロン濃度を反映し、一定の相関をもっていることが知られています。これに対して、人工の放射性物質を含む浮遊じんが降下すると、この相関から外れます。

これまで、中国の核実験や旧ソ連チョルノービリ原子力発電所事故、福島第一原子力発電所事故の事故直後の際には、浮遊じん中の全ベータ放射能が高くなり、この相関から大きくずれた事例が見られました。

8　確認開始設定値

大気浮遊じんの全アルファ放射能及び全ベータ放射能の測定において、測定値が上昇した場合、その測定値に施設寄与があったかどうかを判断する（施設寄与があった可能性を否定できないと判断した場合を含む）ために、要因調査を開始するための設定値です。

ラドン・トロン壊変生成物の影響により、全アルファ放射能及び全ベータ放射能の経時的な変動は大きいですが、両者の比である β/α 比（全ベータ放射能を全アルファ放射能で除した比）はほぼ一定になります。

それを利用して、県では各測定地点における前月の全アルファ放射能及び全ベータ放射能の 10 分値をもとに β/α 比の平均値を算出し、β/α 比の平均値＋（10×標準偏差）を確認開始設定値としています。

9　検出下限値

放射能測定において、検出可能な最小の量又は濃度をいいます。本報告書においては「ＮＤ」(Not Detected の略）と表記しています。

検出下限値は測定試料の種類や量、測定条件の違い等により、測定ごとに変動します。

10　飲料水の基準値

「WHO飲料水水質ガイドライン」で定められている飲料水中の放射性核種のガイダンスレベルのことで、セシウム-134、セシウム-137 ともに１０Ｂｑ／Ｌと定められています。

11　降下物

雨水及びちりを捕集し、その中に含まれる放射性物質を調査しています。

12　大気浮遊じん

原子力発電所から放出される粒子状の放射性物質を把握するため、大気中に浮遊するじん埃（ほこり）を捕集し、その放射能を測定しています。

13　土壌

原子力発電所から放出された放射性物質の蓄積状況を把握するため、土壌を採取し、その放射能を測定しています。

14　指標生物

環境中の微量元素の濃縮効果が期待でき、かつ、その地域で容易に採取できる生物であって、その放射能監視を行うことが簡便かつ有効である生物をいいます。陸上では松葉、海洋ではほんだわらがあります。

第２　測 定 項 目

令和８年度第１四半期（令和８年４月～令和８年６月） 測定分

１　測定項目

（１）空間放射線

項　　目	計画地点数	調査地点数（今期）	測 定 頻 度	実 施 機 関
空間線量率(ガンマ線)	39	39	連　　続	環境創造センター
空間線量率(中性子線)	3	3	連　　続	
空 間 積 算 線 量	64	64	３ヵ月積算	

（２）環境試料

区　　分	試 料 名	採取方法等	計画地点数	調査地点数（今期）	採取回数（今期）	採取頻度	測 定 試 料 数（今期）								実施機関
							全α	全β	γ	^{131}I	^{3}H	Sr	U	Pu	Am,Cm	
大気	大気浮遊じん	連続ダストモニタ	17	17	3	毎月	連続	連続	51							環境創造センター
		リアルタイムダストモニタ	9	9	3		連続	連続	27							
		ダストサンプラー	9	9	3				27							
		簡易型ダストサンプラー	7	7	3				21							
	大気中水分	シリカゲル	5	5	3	毎月					15					
降下物	降下物	大型水盤	6	6	3	毎月			18							
		小型水盤	4	4	3	毎月			12							
土壌	土壌	裸未耕土の表層	15	15	1	年2回			15							
					1	年1回						15	15	15	15	
陸水	上水	蛇口から採取	13	13	1	年4回			13		13					
					0	年1回						0		0		
海水	海水	表層水（1F周辺海域）	9	9	3	毎月		27	27		27	27		27		
		トリチウムの迅速分析			5	－					45					
		表層水（2F周辺海域）	2	2	1	年4回		2	2		2					
					1	年1回						2		2		
海底土	海底土	海砂又は海底土（1F周辺海域）	6	6	1	年4回			6			6		6		
		海砂又は海底土（2F周辺海域）	2	2	1	年4回			2							
					1	年1回						2		2		
指標植物	松葉	2年葉を採取	15	0	0	年1回			0	0						
指標海洋植物	ほんだわら	葉茎部を採取	2	2	1	年1回			2	2		2		2		

２　測定項目（比較対照地点調査）

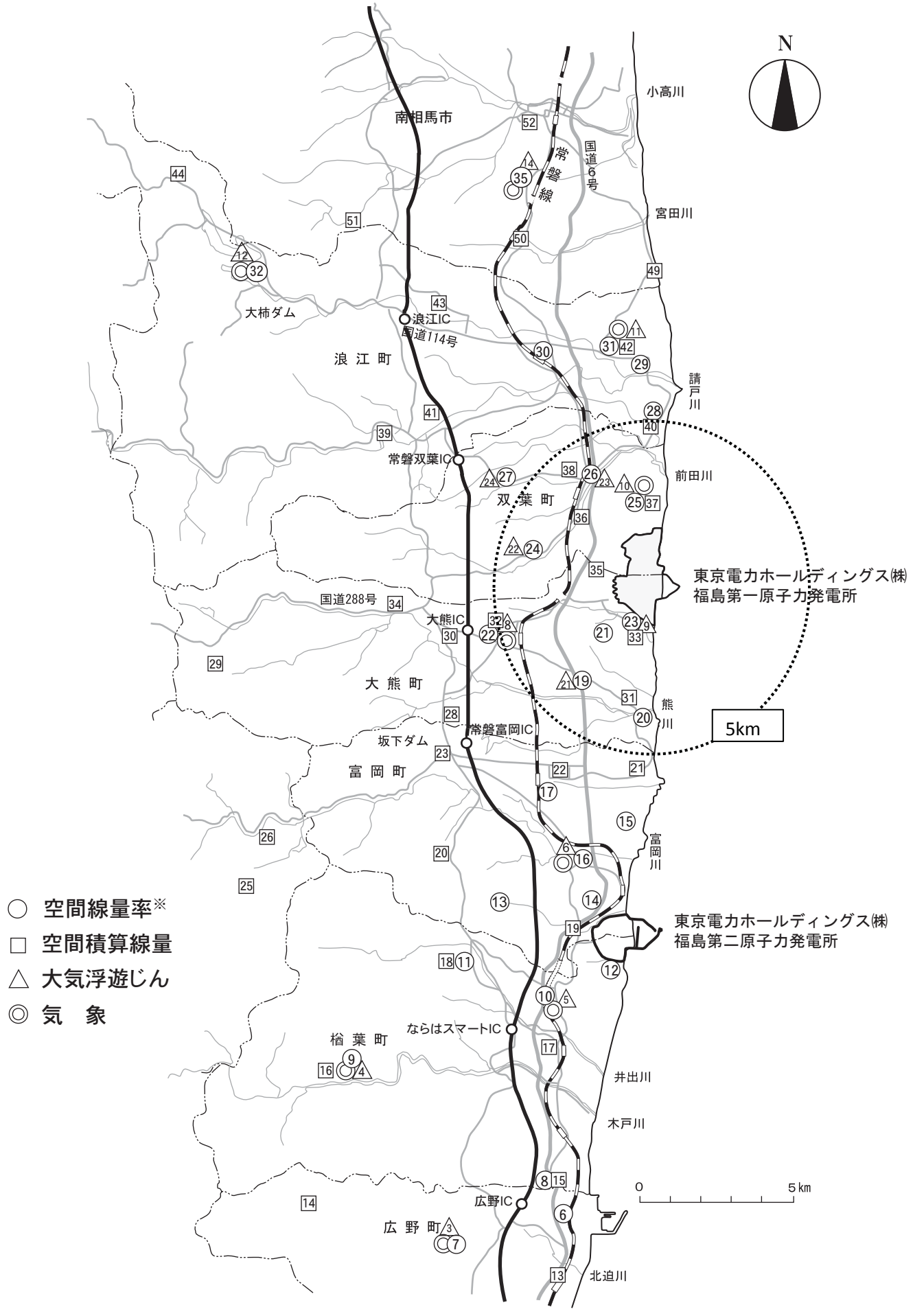
（１）空間放射線

項　　目	計画地点数	調査地点数（今期）	測 定 頻 度	実 施 機 関
空 間 線 量 率	3	3	連　　続	環境創造センター

（２）環境試料

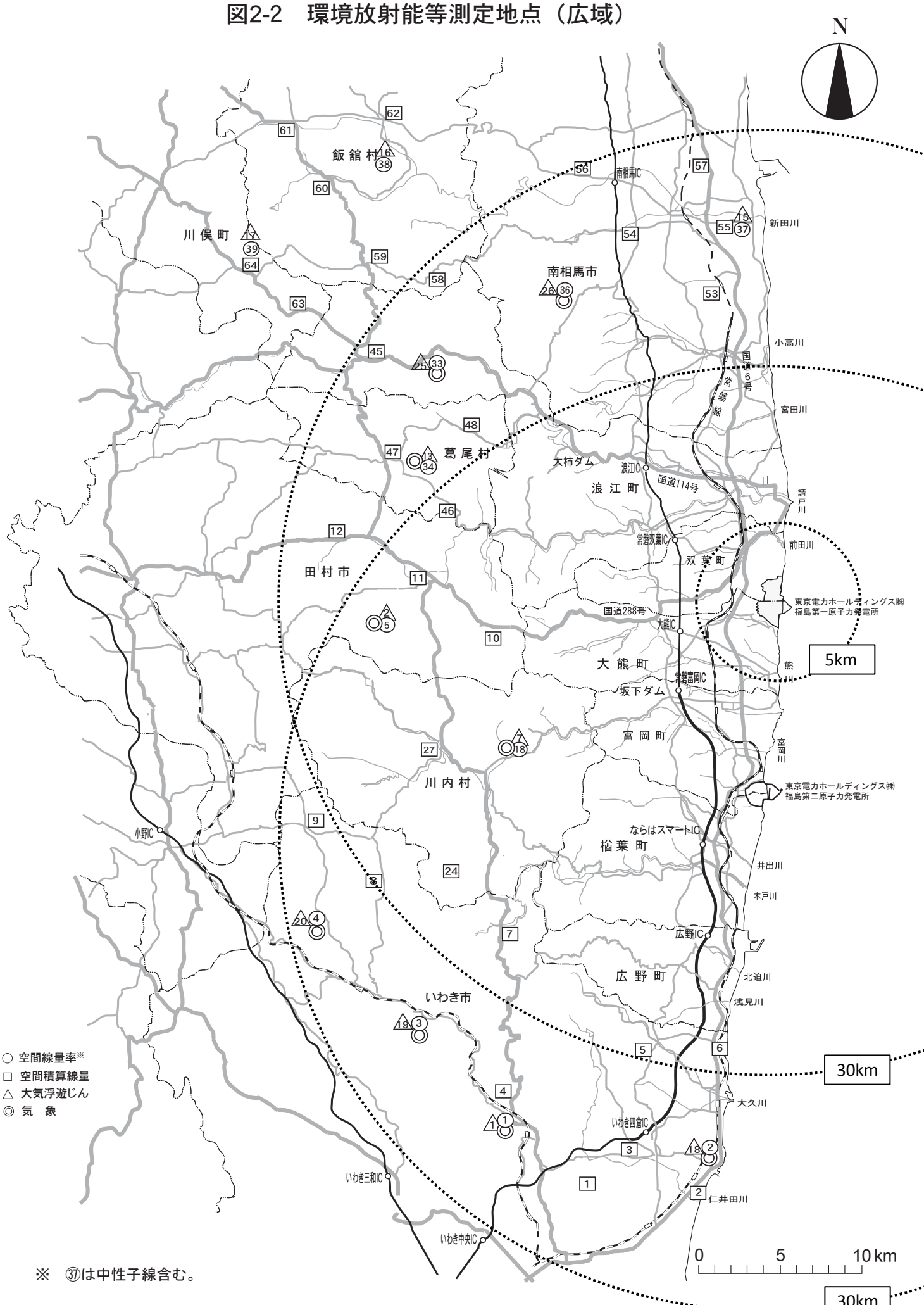
区　　分	試 料 名	採取方法等	計画地点数	調査地点数（今期）	採取回数（今期）	採取頻度	測 定 試 料 数（今期）							実施機関
							全β	γ	^{131}I	^{3}H	Sr	U	Pu	Am,Cm	
大気	大気浮遊じん	簡易型ダストサンプラー	7	7	3	毎月		21							環境創造センター
	大気中水分	シリカゲル	1	1	3					3					
降下物	降下物	大型水盤	2	2	3	毎月		6							
土壌	土壌	裸未耕土の表層	7	7	1	年1回		7			7		7		
			1	1								1		1	
陸水	上水	蛇口から採取	2	0	0	年1回		0		0					
			1	0	0						0		0		
海水	海水	表層水	1	0	0	年1回	0	0		0	0		0		
海底土	海底土	海砂又は海底土	1	0	0	年1回		0			0		0		
指標植物	松葉	２年葉を採取	5	0	0	年1回		0	0						

図2-1　環境放射能等測定地点（福島第一・第二原子力発電所周辺）



※　㉒、㉓は中性子線含む。

図2-2　環境放射能等測定地点（広域）



※　㊲は中性子線含む。

図2-3　環境試料採取地点（福島第一・第二原子力発電所周辺）

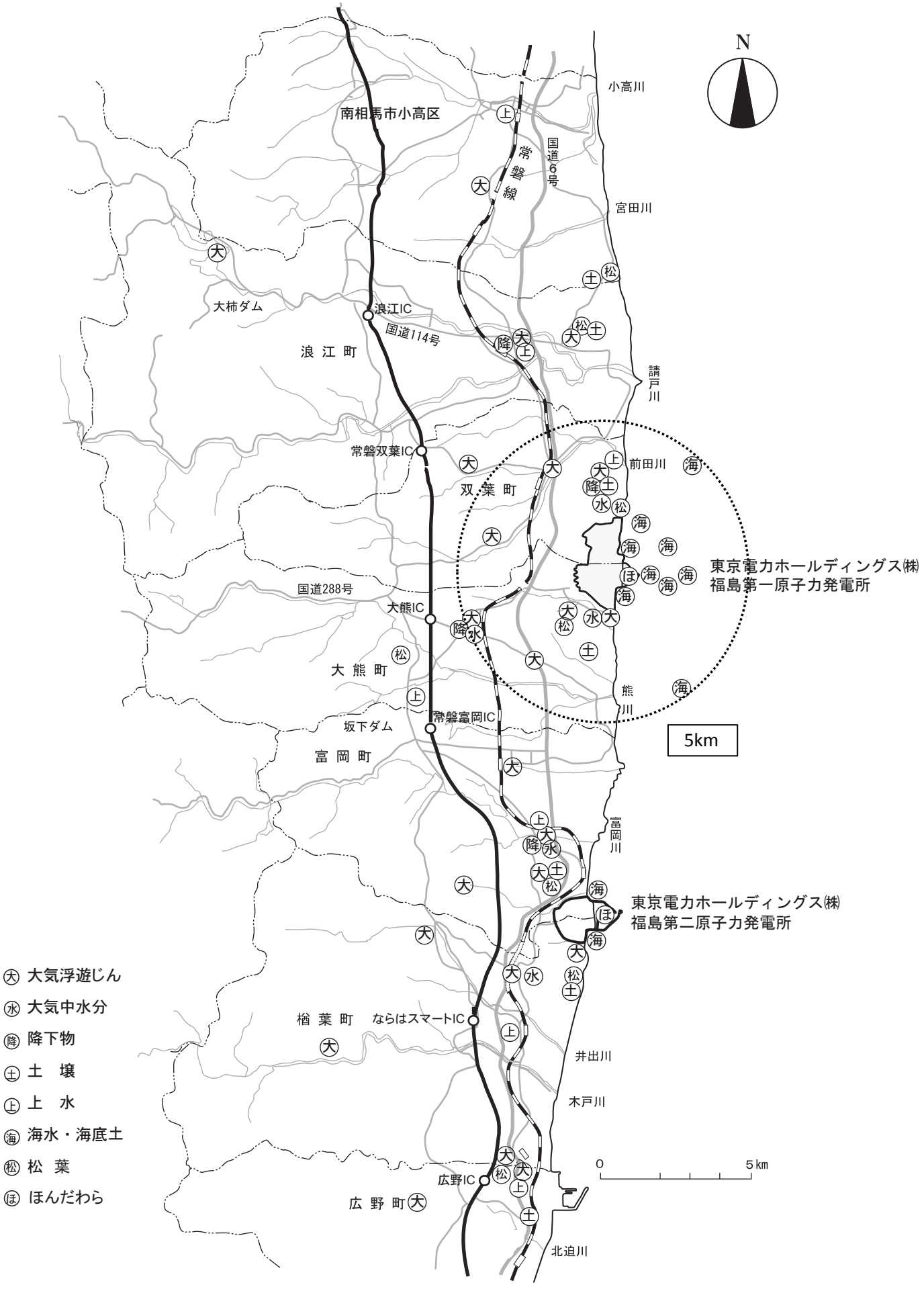
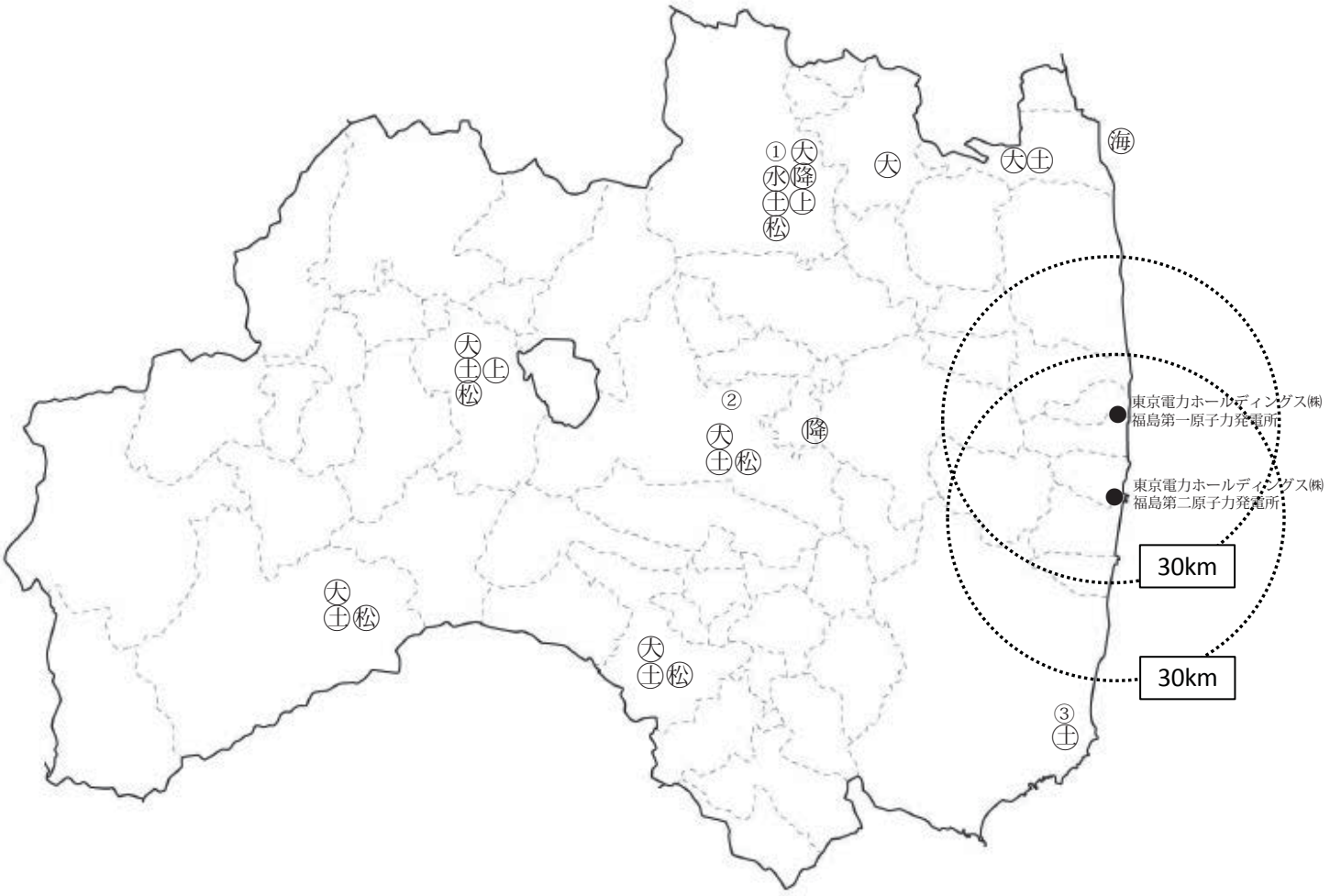


図2-4　環境試料採取地点（広域）



図2-5　環境放射能等測定地点及び環境試料採取地点（県内全域）



○　空間線量率
㊦　大気浮遊じん
㊧　大気中水分
㊨　降下物
㊥　土壌
㊫　海水・海底土
㊤　上水
㊩　松葉

第　3　　測　定　方　法

1　空間放射線

測 定 項 目	測 定 装 置	測 定 方 法
空間線量率	モニタリングポスト	測 定 法：原子力規制委員会編「連続モニタによる環境γ線測定法」（平成29年改訂） 検 出 器：低線量計　2″φ×2″NaI(Tl)シンチレーション検出器または半導体検出器 （日立製作所製　ADP-1122型他） 高線量計　14Lアルミ製加圧型球形電離箱検出器 （日立製作所製　RIC-348型他） 中性子線量計　3He比例計数管検出器 測定位置：地表上約3m、約1m 校正線源：60Co、137Cs及び226Ra
空間積算線量	電子式線量計	検 出 器：電子式線量計 測定位置：地表上約1m 測定方法：連続、３か月積算（各地点１台配置、回収後測定） 校正線源：137Cs

2 環境試料

（全α放射能、全β放射能、Cs-134、Cs-137濃度・H-3濃度・Sr-90濃度・U-234、U-235、U-238濃度・Pu-238、Pu-239+240濃度・Am-241、Cm-244濃度）

項 目	試料名	大気浮遊じん				
		福島第一原子力発電所から30km圏内（連続ダストモニタ）		福島第一原子力発電所から30km圏内（リアルタイムダストモニタ）		福島第一原子力発電所から30km圏内（連続ダストサンプラー）
	核 種	全アルファ放射能 全ベータ放射能	Cs-134、Cs-137	全アルファ放射能 全ベータ放射能	Cs-134、Cs-137	Cs-134、Cs-137
試料採取	採取方法	ダストモニタによる連続採取（ろ紙ステップ式）・採取位置:地表上約3m、約2.3m		ダストモニタによる連続採取（ろ紙ステップ式）・採取位置:地表上約2m		ダストサンプラーによる連続採取・採取位置:地表上約2m
	採取容器等	ろ紙（アドバンテック東洋製 HE-40T）				
	採取量	約11,000m^3（吸引量:約90m^3／6時間）		約2,200m^3（吸引量:約18m^3／6時間）		約2,000m^3
	前処理（酸などの薬品添加を実施しているか）	なし				
	採取器具のコンタミ防止（試料採取器具を適切に使用しているか）	試料毎に分けて採取している。				
前処理	方法	なし	1ヶ月分の集じんろ紙を電気炉にて加熱分解し灰にする。	なし	1ヶ月分の集じんろ紙を電気炉にて加熱分解し灰にする。	約1週間毎に回収した集じんろ紙の集じん箇所を打ち抜き型を用いて打ち抜き、1ヶ月分をU8容器に収納する。
	分取、縮分の代表性（高濃度試料分析の際に、試料を分取して測定している場合）	なし	灰にした試料全量をU8容器に充填する。	なし	灰にした試料全量をU8容器に充填する。	50φmmの円の中心から46φmmを打ち抜き84.64%を採取する。ろ紙には均一に採取されている。これを1ヶ月分まとめU8容器底面に収納する。
	前処理でのコンタミ防止とその確認法	なし	・加熱分解に用いる磁性皿は、検体毎に洗浄及び空焼き（500℃）。・充填する時に用いる器具類はポリエチレンフィルムで養生して使用。・U8容器は新品を使用し、試料充填後、2重に袋掛けをしている。	なし	・加熱分解に用いる磁性皿は、検体毎に洗浄及び空焼き（500℃）。・充填する時に用いる器具類はポリエチレンフィルムで養生して使用。・U8容器は新品を使用し、試料充填後、2重に袋掛けをしている。	U8容器は新品を使用し、試料充填後、2重に袋掛けをしている。
測定	測定法	6時間連続集じん、6時間放置後全アルファ及び全ベータ放射能を6時間同時測定	原子力規制委員会編「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」（令和2年9月改訂）	全アルファ及び全ベータ放射能を6時間連続集じん同時測定	原子力規制委員会編「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」（令和2年9月改訂）	
	測定装置	ダストモニタ	ゲルマニウム半導体検出器を用いたγ線スペクトロメータ	ダストモニタ	ゲルマニウム半導体検出器を用いたγ線スペクトロメータ	
	検出器等	ZnS(Ag)シンチレータとプラスチックシンチレータの吹きつけ検出器・貼合せ検出器（日立製作所製ADC-2121他）	ゲルマニウム半導体検出器（キャンベラ製GC3018型他）多波高分析器（キャンベラ製LYNX DSA MCA型他）	ZnS(Ag)シンチレータとプラスチックシンチレータの吹きつけ検出器（日立製作所製ADC-2121）	ゲルマニウム半導体検出器（キャンベラ製GC3018型他）多波高分析器（キャンベラ製LYNX DSA MCA型他）	
	測定試料状態	生	灰	生	灰	生
	測定容器	なし	U8容器	なし	U8容器	U8容器
	供試料量	約11,000m^3		約2,200m^3		約1,700m^3
	測定時間	連続	80,000秒	連続	80,000秒	80,000秒
	検出下限値	全アルファ放射能 約0.2mBq/m^3 全ベータ放射能 約0.1mBq/m^3（6時間捕集、6時間計数時の値）	約0.003～0.01mBq/m^3	全アルファ放射能 約300mBq/m^3 全ベータ放射能 約10,000mBq/m^3	約0.02～0.06mBq/m^3	約0.01～0.03mBq/m^3
	測定におけるコンタミ防止とその確認法	保守点検時にBG測定を行い、汚染のないことを確認している。	定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。	保守点検時にBG測定を行い、汚染のないことを確認している。	定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。	定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。
校正	使用線源	Am-241、Cl-36	Cd-109、Co-57,60、Ce-139、Cr-51、Sr-85、Cs-137、Mn-54、Y-88	Am-241、Cl-36	Cd-109、Co-57,60、Ce-139、Cr-51、Sr-85、Cs-137、Mn-54、Y-88	Cd-109、Co-57,60、Ce-139、Cr-51、Sr-85、Cs-137、Mn-54、Y-88
		eckert & ziegler社製の校正証明書付きの標準線源を使用している。これによりトレーサビリティを担保している。	日本アイソトープ協会製造のJCSS校正証明書付きの標準線源を使用している。これによりトレーサビリティを担保している。	eckert & ziegler社製の校正証明書付きの標準線源を使用している。これによりトレーサビリティを担保している。	日本アイソトープ協会製造のJCSS校正証明書付きの標準線源を使用している。これによりトレーサビリティを担保している。	日本アイソトープ協会製造のJCSS校正証明書付きの標準線源を使用している。これによりトレーサビリティを担保している。
	線源校正頻度	（年1回）Am-241及びCl-36を用い計数効率校正を実施。	（年1回）Co線源や混合線源（U8・マリネリ）で幾何効率校正と計数効率校正を実施	（年1回）Am-241及びCl-36を用い計数効率校正を実施。	（年1回）Co線源や混合線源（U8・マリネリ）で幾何効率校正と計数効率校正を実施	（年1回）Co線源や混合線源（U8・マリネリ）で幾何効率校正と計数効率校正を実施
	BG測定頻度	年1回 900秒	月1回 試料測定時間の2倍以上	年1回 300秒	月1回 200,000秒	月1回 試料測定時間の2倍以上
備考			平成27年10月：測定時間変更（3,600秒→21,600秒）平成28年4月：前処理変更（生→灰化）、測定時間変更（21,600秒→80,000秒）		平成28年4月：測定開始	平成28年4月：測定開始 平成30年4月：1ヶ月毎の測定に切り換え 令和2年4月：測定時間変更（15,000秒→80,000秒）

2 環境試料

（全α放射能、全β放射能、 Cs-134、Cs-137濃度・H-3濃度・Sr-90濃度・U-234、U-235、U-238濃度・Pu-238、Pu-239+240濃度・Am-241、Cm-244濃度）

項 目	試料名	大気浮遊じん		大気中水分		降下物	
		福島第一原子力発電所から30km圏内（簡易型ダストサンプラー）	比較対象地点（簡易型ダストサンプラー）	福島第一原子力発電所から30km圏内	比較対照地点	福島第一原子力発電所から30km圏内	比較対照地点
	核 種	Cs-134、Cs-137		H-3		Cs-134、Cs-137	
試料採取	採取方法	ハイボリウムエアサンプラーによる連続採取 ・採取位置:地表上約1m	ハイボリウムエアサンプラーによる24時間採取 ・採取位置:地表上約1m	シリカゲルを充填したカラムに大気を通過させ、大気に含まれる水分を捕集する。		建物屋上等に水盤を設置し、 1ヶ月後に盤内の水を全量採取する。	
	採取容器等	ろ紙（GB-100R）		シリカゲルを充填した、ガラスカラム（φ55 mm×H400 mm）2本		大型水盤または小型水盤（SUS製バケツ）	
	採取量	約34,500m^3	約1,150m^3	約4.5～45m^3		0.5m^2（大型水盤） または 0.0855m^2（小型水盤）	
	前処理 （酸などの薬品添加を実施しているか）	なし		なし		採取後、降下物1Lに対し1mLの濃塩酸を添加	
	採取器具のコンタミ防止 （試料採取器具を適切に使用しているか）	・地点毎に採取器具を専用としている。 ・ろ紙が触れる部分を使用毎に洗浄している。		シリカゲルを充填したガラスカラムは地点毎に専用としている。		容器は据え置き又は地点毎に専用としている。	
前処理	方法	約1週間毎に回収したろ紙を打ち抜き型を用いて打ち抜き、1ヶ月分をU8容器に収納する。	24時間集塵し、ろ紙を全量丸めてU8容器に収納する。	減圧蒸留法		全量をガスコンロまたはマントルヒータ等で濃縮し、残渣をU8容器に採取する。	
	分取、縮分の代表性 （高濃度試料分析の際に、試料を分取して測定している場合）	1週間分の集じんろ紙（203×254mm）を47.5φmmの打ち抜き器を用いて12ヶ所計52%を採取する。これを1ヶ月分まとめ週ごとのかたよりが出ないよう順にU8へ収納する。	24時間集塵し、ろ紙を全量丸めてU8容器に収納する。	シリカゲルに吸着させた水分を全量回収し、十分に混合する。その後、所定量を減圧蒸留する。		採取試料全量を充填	
	前処理でのコンタミ防止とその確認法	U8容器は新品を使用し、試料充填後、２重に袋掛けをしている。		・ 前処理器具は大気中水分専用器具を使用している。 ・ 使用するガラス器具類は洗浄後十分に乾燥させたものを使用している。 ・ テフロンバイアルは毎回新品を使用している。		U8容器は新品を使用し、試料充填後、２重に袋掛けをしている。	
測定	測定法	原子力規制委員会編「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」（令和2年9月改訂）		原子力規制庁監視情報課編「トリチウム分析法」（令和5年10月改訂）に定める減圧蒸留法		原子力規制委員会編「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」（令和2年9月改訂）	
	測定装置	ゲルマニウム半導体検出器を用いた γ線スペクトロメータ		低バックグラウンド液体 シンチレーションカウンタ		ゲルマニウム半導体検出器を用いた γ線スペクトロメータ	
	検出器等	ゲルマニウム半導体検出器（キャンベラ製GC3018型他） 多波高分析器（キャンベラ製LYNX DSA MCA型他）		日立製作所製LSC-LB7型他		ゲルマニウム半導体検出器（キャンベラ製GC3018型他） 多波高分析器（キャンベラ製LYNX DSA MCA型他）	
	測定試料状態	生		液体シンチレータ混合物		乾固物	
	測定容器	U8容器		100 mLテフロンバイアル		U8容器	
	供試料量	約18,000m^3	約1,150m^3	約50.00 mL		0.5m^2（大型水盤） または 0.0855m^2（小型水盤）	
	測定時間	80,000秒	80,000秒	3,000秒×10回の平均値		80,000秒	
	検出下限値	約0.002～0.007mBq/m^3	約0.03～0.04mBq/m^3	約1 mBq/㎥～10 mBq/㎥		大型水盤：約0.03～0.2MBq/km^{2}程度 小型水盤：約0.2～0.7MBq/km^{2}程度	
	測定におけるコンタミ防止とその確認法	定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。		試料毎に新品のバイアル瓶を使用している。 検出器の汚染確認は、毎測定時にBG測定で実施。		定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。	
校正	使用線源	Cd-109、Co-57,60、Ce-139、Cr-51、Sr-85、Cs-137、Mn-54、Y-88		H-3		Cd-109、Co-57、60、Ce-139、Cr-51,Sr-85、Cs-137、Mn-54、Y-88	
		日本アイソトープ協会製造のJCSS校正証明書付きの標準線源を使用している。これによりトレーサビリティを担保している。		日本アイソトープ協会製造のJCSS校正証明書付きの標準線源を使用している。これによりトレーサビリティを担保している。		日本アイソトープ協会製造のJCSS校正証明書付きの標準線源を使用している。これによりトレーサビリティを担保している。	
	線源校正頻度	（年１回）Co線源や混合線源（U8・マリネリ）で幾何効率校正と計数効率校正を実施		（納入時） メーカーにて効率校正 （1年毎） メーカーによる簡易点検、精密点検、各1回。 精密点検時に、密封線源により効率確認。		（年１回）Co線源や混合線源（U8・マリネリ）で幾何効率校正と計数効率校正を実施	
	BG測定頻度	月1回 試料測定時間の2倍以上		測定の都度		月1回 200,000秒	
備考		平成26年7月：測定開始 平成30年4月：1ヶ月毎の測定に切り換え 令和2年4月：測定時間変更（12,000秒→80,000秒）	平成23年11月：測定開始 平成27年7月：測定時間変更（3,600秒→20,000秒） 平成28年4月：測定時間変更（20,000秒→80,000秒）	平成30年4月：測定開始		８地点で大型水盤、４地点で小型水盤を使用している。 平成24年4月：小型水盤による採取開始 平成27年6月：比較対照地点の前処理変更（2L分取→2L濃縮） 平成28年4月：前処理変更（2L分取・2L濃縮→全量蒸発乾固） 比較対照地点の測定時間変更（21,600秒→80,000秒）	

2 環境試料

（全α放射能、全β放射能、 Cs-134、Cs-137濃度・H-3濃度・Sr-90濃度・U-234、U-235、U-238濃度・Pu-238、Pu-239+240濃度・Am-241、Cm-244濃度）

項 目	試料名	土壌				
	核 種	Cs-134、Cs-137	Sr-90	U-234、U-235、U-238	Pu-238、Pu-239+240	Am-241、Cm-244
試料採取	採取方法	裸未耕土の表層（0mmから50mm）から一地点あたり5箇所以上、計3kg程度になるまで採取する。				
	採取容器等	採土器				
	採取量	3kg程度				
	前処理 （酸などの薬品添加を実施しているか）	なし				
	採取器具のコンタミ防止 （試料採取器具を適切に使用しているか）	採土器は共用で、採取の都度洗浄を行っている。				
前処理	方法	一昼夜程度自然乾燥させ、105℃で72時間以上加熱乾燥させる。次にふるいにかけ、十分に混合する。				
	分取、縮分の代表性 （高濃度試料分析の際に、試料を分取して測定している場合）	1地点当たり数箇所から採取した試料を混合し、さらに、その試料から均等に分取している。（インクリメント縮分法）				
	前処理でのコンタミ防止とその確認法	・試料毎に前処理皿及びふるいは新品を使用 ・試料毎に地点専用のSUS製ふるいを使用（比較対照地点） ・試料処理毎に汚染がないことを確認 ・U8容器は新品を使用し、試料充填後、２重に袋掛けをしている。				
測定	測定法	原子力規制委員会編「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」（令和2年9月改訂）	文部科学省編「放射性ストロンチウム分析法」（平成15年改訂）に定めるイオン交換法	文部科学省編「ウラン分析法」（平成14年改訂）に定めるTBP(リン酸三ブチル)抽出法	文部科学省編「プルトニウム分析法」（平成2年改訂）に定めるイオン交換法	文部科学省編「アメリシウム分析法」（平成2年）に定めるイオン交換法
	測定装置	ゲルマニウム半導体検出器を用いたγ線スペクトロメータ	低バックグラウンド ２πガスフロー計数装置	α線スペクトロメータ		
	検出器等	ゲルマニウム半導体検出器（キャンベラ製GC3018型他） 多波高分析器（キャンベラ製LYNX DSA MCA型他）	日立製作所製LBC-4202B型他	シリコン半導体検出器（ORTEC製BU-017-450型他） 多波高分析器（ORTEC製デジタルMCA（ソフトウェア）他）		
	測定試料状態	乾土	鉄共沈物	酸化物	酸化物	
	測定容器	U8容器	ステンレス皿（25mmφ）	ステンレス板（25mmφ）	ステンレス板（25mmφ）	
	供試料量	約100g	約100g	約10g	約50g	
	測定時間	80,000秒	3,600秒	80,000秒	80,000秒	
	検出下限値	約1～10Bq/kg乾土	約0.2～0.5Bq/kg乾土	約0.1～4Bq/kg乾土	約0.01～0.2 Bg/kg乾土	
	測定におけるコンタミ防止とその確認法	定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。	試料毎に新品のステンレス皿を使用し、検出器の汚染については、測定時にBG測定を行っている。	試料毎に新品のステンレス板を使用し、検出器の汚染については、毎月BG測定を行っている。	試料毎に新品のステンレス板を使用し、検出器の汚染については、毎月BG測定を行っている。	
校正	使用線源	Cd-109、Co-57,60、Ce-139、Cr-51、Sr-85、Cs-137、Mn-54、Y-88	Sr-90	Np-237,Am-241,Cm-244	Np-237,Am-241,Cm-244	Np-237,Am-241,Cm-244
		日本アイソトープ協会製造のJCSS校正証明書付きの標準線源を使用している。これによりトレーサビリティを担保している。				
	線源校正頻度	（年1回）Co線源や混合線源（U8・マリネリ）で幾何効率校正と計数効率校正正を実施	(納入時)メーカーにて効率校正 (1年毎)Sr-90標準線源溶液を用いて効率校正を実施。	(納入時)メーカーにて効率及びエネルギー校正 (1年毎)メーカーによる保守点検1回 (毎月)県が密封線源により効率及びエネルギー校正を実施	(納入時)メーカーにて効率及びエネルギー校正 (1年毎)メーカーによる保守点検1回 (毎月)県が密封線源により効率及びエネルギー校正を実施	(納入時)メーカーにて効率及びエネルギー校正 (1年毎)メーカーによる保守点検1回
	BG測定頻度	月1回　200,000秒	測定の都度	月1回　80,000秒	月1回　80,000秒	
備考		平成28年4月：採取方法変更（U8容器→採土器） Cs-134、Cs-137の前処理変更（湿土→乾土）		令和2年5月：測定開始	平成28年4月：採取方法変更（U8容器→採土器） Cs-134、Cs-137の前処理変更（湿土→乾土）	

2 環境試料

（全α放射能、全β放射能、 Cs-134、Cs-137濃度・H-3濃度・Sr-90濃度・U-234、U-235、U-238濃度・Pu-238、Pu-239+240濃度・Am-241、Cm-244濃度）

項 目	試料名	上水			
	核 種	Cs-134、Cs-137	H-3	Sr-90	Pu-238、Pu-239+240
試料採取	採取方法	各地点の上水（水道水）を蛇口より容器に採取する。			
	採取容器等	ポリタンク	ポリビン	ポリタンク	ポリタンク
	採取量	20L	1L	100L	100L
	前処理 （酸などの薬品添加を実施しているか）	上水1Lに対し1mLの濃塩酸を添加	なし	上水1Lに対し1mLの濃塩酸を添加	上水1Lに対し1mLの濃硝酸を添加
	採取器具のコンタミ防止 （試料採取器具を適切に使用しているか）	採取容器については、採取地点毎に新品の容器を使用し、試料水にて共洗いを実施している。			
前処理	方法	加熱濃縮法	減圧蒸留法	イオン交換法	イオン交換法
	分取、縮分の代表性 （高濃度試料分析の際に、試料を分取して測定している場合）	採取試料全量を加熱濃縮。	1Lポリビンより上澄水100mLを分取。	採取試料全量を加熱濃縮後、イオン交換法により処理。	10分程度蛇口から上水を流しつづけた後に採取する。 複数の採取容器の上水を、前処理の際に混合し、均一化を図る。
	前処理でのコンタミ防止とその確認法	・前処理器具は上水専用または新品を使用もしくは試料毎に十分洗浄して使用 ・試料処理毎に汚染がないことを確認 ・U8容器は新品を使用し、試料充填後、２重に袋掛けをしている。 ・テフロンバイアルは毎回新品を使用している。			
測定	測定法	原子力規制委員会編「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」（令和2年9月改訂）	原子力規制庁監視情報課編「トリチウム分析法」（令和5年10月改訂）に定める減圧蒸留法	文部科学省編「放射性ストロンチウム分析法」（平成15年改訂）に定めるイオン交換法	文部科学省編「プルトニウム分析法」（平成2年改訂）に定めるイオン交換法
	測定装置	ゲルマニウム半導体検出器を用いたγ線スペクトロメータ	低バックグラウンド液体シンチレーションカウンタ	低バックグラウンド２πガスフロー計数装置	α線スペクトロメータ
	検出器等	ゲルマニウム半導体検出器（キャンベラ製GC3018型他） 多波高分析器（キャンベラ製LYNX DSA MCA型他）	日立製作所製LSC-LB7型他	日立製作所製LBC-4202B型他	シリコン半導体検出器（ORTEC製BU-017-450型他） 多波高分析器（ORTEC製デジタルMCA（ソフトウェア）他）
	測定試料状態	乾固物	液体シンチレータ混合物	鉄共沈物	酸化物
	測定容器	U8容器	100mℓテフロンバイアル	ステンレス皿（25mmφ）	ステンレス板（25mmφ）
	供試料量	20L	約50.00mL	100L	100L
	測定時間	80,000秒	3,000秒×10回の平均値	3,600秒	80,000秒
	検出下限値	約0.001～0.002Bq/L	約0.3～0.5Bq/L	約0.00015～0.0004Bq/L	約0.000003～0.00001 Bq/L
	測定におけるコンタミ防止とその確認法	定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。	試料毎に新品のバイアル瓶を使用し、検出器の汚染については、測定時にBG測定を行っている。	試料毎に新品のステンレス皿を使用し、検出器の汚染については、測定時にBG測定を行っている。	試料毎に新品のステンレス板を使用し、検出器の汚染については、毎月BG測定を行っている。
校正	使用線源	Cd-109、Co-57,60、Ce-139、Cr-51、Sr-85、Cs-137、Mn-54、Y-88	H-3	Sr-90	Np-237,Am-241,Cm-244
		日本アイソトープ協会製造のJCSS校正証明書付きの標準線源を使用している。これによりトレーサビリティを担保している。			
	線源校正頻度	（年1回）Co線源や混合線源（U8・マリネリ）で幾何効率校正と計数効率校正を実施	(納入時)メーカーにて効率校正 （1年毎）メーカーによる簡易点検、精密点検、各1回。精密点検時に、密封線源により効率確認。	(納入時)メーカーにて効率校正 （1年毎)Sr-90標準線源溶液を用いて効率校正を実施。	(納入時)メーカーにて効率及びエネルギー校正 （1年毎)メーカーによる保守点検1回 (毎月）県が密封線源により効率及びエネルギー校正を実施
	BG測定頻度	月1回　200,000秒	測定の都度	測定の都度	月1回　80,000秒
備考		平成28年4月：前処理変更 （生→加熱濃縮法）			

2 環境試料

（全α放射能、全β放射能、 Cs-134、Cs-137濃度・H-3濃度・Sr-90濃度・U-234、U-235、U-238濃度・Pu-238、Pu-239+240濃度・Am-241、Cm-244濃度）

項 目	試料名	海水					
	核 種	全ベータ放射能	Cs-134、Cs-137	H-3		Sr-90	Pu-238、Pu-239+240
試料採取	採取方法	海面にホースを入れ、表層水（～1m）をポンプにより採取する。					
	採取容器等	ポリビン	ポリタンク	ポリビン		ポリタンク	ポリタンク
	採取量	2L	40L	1L	2L	60L	100L
	前処理 （酸などの薬品添加を実施しているか）	なし	海水1Lに対し1mLの濃塩酸を添加	なし		海水1Lに対し1mLの濃塩酸を添加	海水1Lに対し1mLの濃硝酸を添加
	採取器具のコンタミ防止 （試料採取器具を適切に使用しているか）	採取容器については、採取地点毎に新品の容器を使用し、試料水にて共洗いを実施している。					
前処理	方法	鉄・バリウム共沈法	リンモリブデン酸アンモニウム-二酸化マンガン共沈法	減圧蒸留法	電解濃縮法	イオン交換法	イオン交換法
	分取、縮分の代表性 （高濃度試料分析の際に、試料を分取して測定している場合）	2Lポリビンより上澄水1Lを分取。	20Lポリタンク2本から10Lずつ分取。	1Lポリビンより上澄水100mLを分取。	2Lポリビンより上澄水約1,200mLを分取。	20Lポリタンク3本使用。内2本は全量使用。残る1本は10L分取。	10分程度ポンプから海水を排水した後に採取する。 複数の採取容器の海水を、前処理の際に混合し、均一化を図る。
	前処理でのコンタミ防止とその確認法	・採取地点毎の専用容器または新品を使用 ・試料処理毎に汚染がないことを確認 ・U8容器は新品を使用し、試料充填後、2重に袋掛けをしている。 ・テフロンバイアルは毎回新品を使用している。					
測定	測定法	文部科学省編「全ベータ放射能測定法」（昭和51年改訂）	原子力規制委員会編「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」（令和2年9月改訂）	原子力規制庁監視情報課編「トリチウム分析法」（令和5年10月改訂）に定める減圧蒸留法	原子力規制庁監視情報課編「トリチウム分析法」（令和5年10月改訂）に定める金属電極を用いた電解濃縮法	文部科学省編「放射性ストロンチウム分析法」（平成15年改訂）に定めるイオン交換法	文部科学省編「プルトニウム分析法」（平成2年改訂）に定めるイオン交換法
	測定装置	低バックグラウンド 2πガスフロー計数装置	ゲルマニウム半導体検出器を用いたγ線スペクトロメータ	低バックグラウンド液体 シンチレーションカウンタ		低バックグラウンド 2πガスフロー計数装置	α線スペクトロメータ
	検出器等	日立製作所製LBC-4202B型他	ゲルマニウム半導体検出器 （キャンベラ製GC3018型他） 多波高分析器（キャンベラ製LYNX DSA MCA型他）	日立製作所製LSC-LB7型他		日立製作所製LBC-4202B型他	シリコン半導体検出器（ORTEC製BU-017-450型他） 多波高分析器（ORTEC製デジタルMCA（ソフトウェア）他）
	測定試料状態	鉄・バリウム共沈物	リンモリブデン酸アンモニウムと二酸化マンガンの混合物	液体シンチレータ混合物		鉄共沈物	酸化物
	測定容器	ステンレス皿（25mmφ）	U8容器	100mℓテフロンバイアル	20 mL低拡散ポリエチレンバイアル	ステンレス皿（25mmφ）	ステンレス板（25mmφ）
	供試料量	1L	20L以上	約50.00mL	約1,000 mL	50L	100L
	測定時間	3,600秒×7回のうち最大最小を除いた5回の平均値	80,000秒	3,000秒×10回の平均値		3,600秒	80,000秒
	検出下限値	約0.01Bq/L	約0.001～0.002Bq/L	約0.3～0.5Bq/L	約0.03～0.06Bq/L	約0.0005Bq/L	約0.000003～0.00001 Bq/L
	測定におけるコンタミ防止とその確認法	試料毎に新品のステンレス皿を使用し、検出器の汚染については、測定時にBG測定を行っている。	定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。	試料毎に新品のバイアル瓶を使用し、検出器の汚染については、測定時にBG測定を行っている。		試料毎に新品のステンレス皿を使用し、検出器の汚染については、測定時にBG測定を行っている。	試料毎に新品のステンレス板を使用し、検出器の汚染については、毎月BG測定を行っている。
校正	使用線源	U_3O_8 Sr-90	Cd-109、Co-57,60、Ce-139、Cr-51、Sr-85、Cs-137、Mn-54、Y-88	H-3		Sr-90	Np-237,Am-241,Cm-244
		放射能測定シリーズ「全ベータ放射能測定法」に基づき使用。	日本アイソトープ協会製造のJCSS校正証明書付きの標準線源を使用している。これによりトレーサビリティを担保している。		日本アイソトープ協会製造のJRIA校正証明書付きの標準線源を使用している。これによりトレーサビリティを担保している。	日本アイソトープ協会製造のJCSS校正証明書付きの標準線源を使用している。これによりトレーサビリティを担保している。	
	線源校正頻度	測定の都度	（年1回）Co線源や混合線源（U8・マリネリ）で幾何効率校正と計数効率校正を実施	（納入時）メーカーにて効率校正 （1年毎）メーカーによる簡易点検、精密点検、各1回。精密点検時に、密封線源により効率確認。	県にて効率校正 （1年毎）メーカーによる簡易点検、精密点検、各1回。精密点検時に、密封線源により効率確認。	（納入時）メーカーにて効率校正 （1年毎）Sr-90標準線源溶液を用いて効率校正を実施。	（納入時）メーカーにて効率及びエネルギー校正 （1年毎）メーカーによる保守点検1回 （毎月）県が密封線源により効率及びエネルギー校正を実施
	BG測定頻度	測定の都度	月1回 200,000秒	測定の都度		測定の都度	月1回 80,000秒
備考		令和3年4月：測定時間変更（1F周辺3,600秒測定5回のうち最大値→3,600秒測定7回のうち最大最小を除いた5回の平均値）	平成28年4月：前処理変更（生→リンモリブデン酸アンモニウム-二酸化マンガン共沈法）		令和4年5月：測定開始		

2 環境試料

（全α放射能、全β放射能、 Cs-134、Cs-137濃度・H-3濃度・Sr-90濃度・U-234、U-235、U-238濃度・Pu-238、Pu-239+240濃度・Am-241、Cm-244濃度）

項 目	試料名	海底土			松葉	
					福島第一原子力発電所から30km圏内	比較対照地点
	核 種	Cs-134、Cs-137	Sr-90	Pu-238、Pu-239+240	Cs-134、Cs-137	
試料採取	採取方法	船上から採泥器にて採取する。			採取地点付近にある樹木より2年葉を採取する。	
	採取容器等	採泥器			ビニール袋	
	採取量	3kg程度			200g程度	
	前処理 （酸などの薬品添加を実施しているか）	なし			なし	
	採取器具のコンタミ防止 （試料採取器具を適切に使用しているか）	採泥袋は地点毎に新品を使用し、採泥器は使用毎に洗浄している。			採取地点毎に新品の袋に採取	
前処理	方法	一昼夜程度自然乾燥させ、105℃で72時間以上加熱乾燥させる。次にふるいにかけ、十分に混合する。			95℃で所定時間加熱乾燥後、粉砕機により粉砕	
	分取、縮分の代表性 （高濃度試料分析の際に、試料を分取して測定している場合）	地点当たり数箇所から採取した試料を混合し、さらに、その試料から均等に分取。（インクリメント縮分法）			乾燥後の試料から所定量を均等に分取	
	前処理でのコンタミ防止とその確認法	・試料毎に前処理皿及びふるいは新品を使用 ・試料処理毎に汚染確認を行い、汚染がないことを確認 ・U8容器は新品を使用し、試料充填後、2重に袋掛けをしている。			・加熱乾燥に用いるバットは十分洗浄して使用 ・粉砕器は、地点専用のものを使用 ・U8容器は新品を使用し、試料充填後、2重に袋掛けをしている。	
測定	測定法	原子力規制委員会編「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」（令和2年9月改訂）	文部科学省編「放射性ストロンチウム分析法」（平成15年改訂）に定めるイオン交換法	文部科学省編「プルトニウム分析法」（平成2年改訂）に定めるイオン交換法	原子力規制委員会編「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」（令和2年9月改訂）	
	測定装置	ゲルマニウム半導体検出器を用いたγ線スペクトロメータ	低バックグラウンド 2πガスフロー計数装置	α線スペクトロメータ	ゲルマニウム半導体検出器を用いた γ線スペクトロメータ	
	検出器等	ゲルマニウム半導体検出器（キャンベラ製GC3018型他） 多波高分析器（キャンベラ製LYNX DSA MCA型他）	日立製作所製LBC-4202B型他	シリコン半導体検出器（ORTEC製BU-017-450型他） 多波高分析器（ORTEC製デジタルMCA（ソフトウェア）他）	ゲルマニウム半導体検出器（キャンベラ製GC3018型他） 多波高分析器（キャンベラ製LYNX DSA MCA型他）	
	測定試料状態	乾土	鉄共沈物	酸化物	乾燥物	
	測定容器	U8容器	ステンレス皿（25mmφ）	ステンレス板（25mmφ）	U8容器	
	供試料量	約100g	約100g	100g	約 50g	
	測定時間	80,000秒	3,600秒	80,000秒	80,000秒	
	検出下限値	約0.5～1.5Bq/kg乾土	約0.15～0.25Bq/kg乾土	約0.01～0.2 Bq/kg	約0.1～2Bq/kg生	
	測定におけるコンタミ防止とその確認法	定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。	試料毎に新品のステンレス皿を使用し、検出器の汚染については、測定時にBG測定を行っている。	試料毎に新品のステンレス板を使用し、検出器の汚染については、毎月BG測定を行っている。	定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。	
校正	使用線源	Cd-109、Co-57,60、Ce-139、Cr-51、Sr-85、Cs-137、Mn-54、Y-88	Sr-90	Np-237,Am-241,Cm-244	Cd-109、Co-57,60、Ce-139、Cr-51、Sr-85、Cs-137、Mn-54、Y-88	
		日本アイソトープ協会製造のJCSS校正証明書付きの標準線源を使用している。これによりトレーサビリティを担保している。			日本アイソトープ協会製造のJCSS校正証明書付きの標準線源を使用している。これによりトレーサビリティを担保している。	
	線源校正頻度	（年1回）Co線源や混合線源（U8・マリネリ）で幾何効率校正と計数効率校正を実施	(納入時)メーカーにて効率校正 (1年毎)Sr-90標準線源溶液を用いて効率校正を実施。	(納入時)メーカーにて効率及びエネルギー校正 (1年毎)メーカーによる保守点検1回 (毎月)県が密封線源により効率及びエネルギー校正を実施	（年1回）Co線源や混合線源（U8・マリネリ）で幾何効率校正と計数効率校正を実施	
	BG測定頻度	月1回 200,000秒	測定の都度	月1回 80,000秒	月1回 200,000秒	
備考					平成27年7月：比較対照地点の測定時間変更（3,600秒→10,800秒） 平成28年4月：前処理変更（生→乾燥） マニュアルに示す減容処理（灰化）は実施していない。除染等により松の木が減少しており、継続的に採取していくには、1回の採取量を抑える必要がある。また、松葉はそのまま測定しても検出可能である地点が多いことから、濃縮度を小さくしても支障ないと考えた。これらの理由から、灰までの濃縮は行わず、乾燥にとどめた。	

2 環境試料

（全α放射能、全β放射能、 Cs-134、Cs-137濃度・H-3濃度・Sr-90濃度・U-234、U-235、U-238濃度・Pu-238、Pu-239+240濃度・Am-241、Cm-244濃度）

項 目	試料名	ほんだわら		
	核 種	Cs-134、Cs-137	Sr-90	Pu-238、Pu-239+240
試料採取	採取方法	採取地点付近に生息しているほんだわらの葉茎部を採取する。		
	採取容器等	ビニール袋		
	採取量	9kg程度		
	前処理 （酸などの薬品添加を実施しているか）	なし		
	採取器具のコンタミ防止 （試料採取器具を適切に使用しているか）	採取地点毎に専用の器具を使用		
前処理	方法	・水洗後水切りし、95℃で所定時間加熱乾燥後、粉砕器により粉砕	・水洗後水切りし、95℃で所定時間加熱乾燥後、粉砕器により粉砕 ・乾燥後の試料を電気炉で加熱分解し、生成した灰試料をイオン交換法により処理。	・水洗後水切りし、95℃で所定時間加熱乾燥後、粉砕器により粉砕 ・乾燥後の試料を電気炉で加熱分解し、生成した灰試料をイオン交換法により処理。
	分取、縮分の代表性 （高濃度試料分析の際に、試料を分取して測定している場合）	乾燥後の試料から所定量を均等に分取	灰試料から所定量を均等に分取	灰試料から所定量を均等に分取
	前処理でのコンタミ防止とその確認法	・加熱乾燥に用いるバットは十分に洗浄して使用。 ・粉砕器は、地点専用のものを使用。 ・U8容器は新品を使用し、試料充填後、2重に袋掛けをしている。	・加熱乾燥に用いるバット及び加熱分解に用いる磁性皿は十分に洗浄して使用。 ・粉砕器は、地点専用のものを使用。	・加熱乾燥に用いるバット及び加熱分解に用いる磁性皿は十分に洗浄して使用。 ・粉砕器は、地点専用のものを使用。
測定	測定法	原子力規制委員会編「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」（令和2年9月改訂）	文部科学省編「放射性ストロンチウム分析法」（平成15年改訂）に定めるイオン交換法	文部科学省編「プルトニウム分析法」（平成2年改訂）に定めるイオン交換法
	測定装置	ゲルマニウム半導体検出器を用いたγ線スペクトロメータ	低バックグラウンド 2πガスフロー計数装置	α線スペクトロメータ
	検出器等	ゲルマニウム半導体検出器（キャンベラ製GC3018型他） 多波高分析器（キャンベラ製LYNX DSA MCA型他）	日立製作所製LBC-4202B型他	シリコン半導体検出器（ORTEC製BU-017-450型他） 多波高分析器（ORTEC製デジタルMCA（ソフトウェア）他）
	測定試料状態	乾燥物	鉄共沈物	酸化物
	測定容器	U8容器	ステンレス皿（25mmφ）	ステンレス板（25mmφ）
	供試料量	約100g	約30～40g（生試料1kg相当の灰試料量）	約20～40g（生試料500g～1kg相当の灰試料量）
	測定時間	80,000秒	3,600秒	80,000秒
	検出下限値	約0.1～0.2Bq/kg生	約0.1～0.2Bq/kg生	約1～3 mBq/kg生
	測定におけるコンタミ防止とその確認法	定期的にGe半導体検出器においてBG測定を行い、汚染のないことを確認している。	試料毎に新品のステンレス皿を使用し、検出器の汚染については、測定時にBG測定を行っている。	試料毎に新品のステンレス板を使用し、検出器の汚染については、毎月BG測定を行っている。
校正	使用線源	Cd-109、Co-57,60、Ce-139、Cr-51、Sr-85、Cs-137、Mn-54、Y-88	Sr-90	Np-237,Am-241,Cm-244
		日本アイソトープ協会製造のJCSS校正証明書付きの標準線源を使用している。これによりトレーサビリティを担保している。		
	線源校正頻度	（年1回）Co線源や混合線源（U8・マリネリ）で幾何効率校正と計数効率校正を実施。	(納入時)メーカーにて効率校正 （1年毎)Sr-90標準線源溶液を用いて効率校正を実施。	(納入時)メーカーにて効率及びエネルギー校正 （1年毎)メーカーによる保守点検1回 (毎月）県が密封線源により効率及びエネルギー校正を実施
	BG測定頻度	月1回 200,000秒	測定の都度	月1回 80,000秒
備考				

第 4　測 定 結 果

4－1　空間放射線

4－1－1　空間線量率

（1）ガンマ線

東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所から半径 5km 未満の地域（以下「1F 近傍」という。）で 8 地点、福島第一原子力発電所から概ね半径 5km 以上 30km 未満又は福島第二原子力発電所から概ね半径 30km 未満の地域（以下「1F・2F 周辺」という。）で 31 地点、福島第一及び第二原子力発電所からそれぞれ 30km 以上離れた地域（以下「比較対照地点」という。）で 3 地点、計 42 地点で NaI シンチレーション検出器により空間線量率（ガンマ線）を常時測定しました。各地点の測定結果は以下のとおりです。詳細な測定値は 37～40 ページを参照。

ア　月間平均値

各測定地点における月間平均値は、福島第一原子力発電所の事故（以下「事故」という。）の影響により事故前の月間平均値を上回っています。年月の経過とともに減少する傾向にありました。

事故直後の最大値と今期の測定値の最大値を比較すると、減少率の高い順から 1F・2F 周辺、1F 近傍、比較対照地点でした。今期の測定値は、いずれの月も数値の高い順から 1F 近傍、1F・2F 周辺、比較対照地点でした。

各地点の空間線量率（ガンマ線）の月間平均値　　（単位：nGy/h）

測定エリア	測定地点数	各地点の月間平均値の範囲			過去の月間平均値			
		4 月	5 月	6 月	R5～[*1]	H26～[*1]	事故直後[*1]	事故前[*1]
1F 近傍	8	198～3,200	198～3,200	192～3,070	174～ 3,770	227～ 18,341	910～ 176,000	33～54
		今期最大値は事故直後の最大値から約 1/55 に減少						
1F・2F 周辺	31	41～484	41～487	41～477	41～526	41～ 2,547	117～ 58,454	
		今期最大値は事故直後の最大値から約 1/120 に減少						
比較対照地点	3	43～95	44～96	43～95	44～108	53～220	181～ 3,716	39～42
		今期最大値は事故直後の最大値から約 1/38 に減少						

（注）＊1　R5～：令和 5 年 4 月から令和 8 年 3 月まで。（次項以降も同じ）
H26～：平成 26 年 4 月から令和 5 年 3 月まで。（次項以降も同じ）
事故直後：事故後（平成 23 年 3 月 11 日以降）から平成 26 年 3 月まで。（次項以降も同じ）
事故前：平成 13 年 4 月から事故前（平成 23 年 3 月 10 日以前）まで。
なお、測定地点数は年度により異なる。

イ　1 時間値の変動状況

各測定地点における 1 時間値の変動は、降雨雪による自然放射線レベルの変動※があるものの、新たな原子力発電所等に由来する影響※はありませんでした。

（注）※については、用語の解説（9～11 ページ）を参照してください。

各地点の空間線量率（ガンマ線）の最大値（１時間値）　　（単位：nGy/h）

測定エリア	測定地点数	各地点の最大値の範囲			過去の最大値			
		４月	５月	６月	R5～	H26～[*1]	事故直後	事故前[*2]
1F近傍	8	207～3,310	208～3,330	207～3,330	3,920	18,341	1,018,174	157
		今期最大値は事故直後の最大値から約 1/305 に減少						
1F･2F周辺	31	62～498	60～504	64～496	553	2,674	1,591,066	
		今期最大値は事故直後の最大値から約 1/3157 に減少						
比較対照地点	3	61～112	68～114	68～121	150	232	9,956	88
		今期最大値は事故直後の最大値から約 1/82 に減少						

（注）＊1　事故前：平成 13 年 4 月から事故前（平成 23 年 3 月 10 日以前）まで。
なお、測定地点数は年度により異なる。

（２）中性子線

1F 近傍で 2 地点、1F・2F 周辺で 1 地点、計 3 地点で空間線量率（中性子線）を常時測定しました。各測定地点における月間平均値（4～5 nSv/h）は、事故前の県内の測定結果※1と同程度※であり、中性子線量率の異常は確認されませんでした。詳細な測定値は 41 ページ参照。

※1　環境における中性子線量率の測定結果（平成 14 年度文部科学省実施）：4.6～14 nSv/h
県内 5 地点（福島市、猪苗代町、西会津町、いわき市）において、サーベイメータ型レムカウンタ（直径 2 インチ 5 気圧 ^{3}He 比例計数管）を使用し、地表面より約 1m の高さで測定。
URL: https://www.envraddb.go.jp/（環境放射線データベース）
URL: https://www.envraddb.go.jp/wp-content/themes/jcac/pdf/ers_abs45.pdf（「第 45 回環境放射能調査研究成果論文抄録集（平成 14 年度）文部科学省」I-20　環境における中性子線量率の全国調査）

４－１－２　空間積算線量

1F 近傍で 7 地点、1F・2F 周辺で 57 地点、計 64 地点で電子式線量計により空気中の放射線量を測定しました。詳細な測定値は 42～44 ページを参照。

90 日換算値は、事故の影響により事故前の測定値を上回っていますが、年月の経過とともに減少する傾向にありました。

空間積算線量の 90 日換算値　　（単位：mGy／90 日）

測定エリア	測定地点数	測定値	過去の測定値			
		（令和8年4月9日～令和8年7月2日）	R5～[*1]	H26～	事故直後[*2]	事故前[*3]
1F近傍	7	0.44～5.1	0.45～6.33	0.50～45	2.38～137.79	0.10～0.14
		今期最大値は事故直後の最大値から約 1/27 に減少				
1F･2F周辺	57	0.13～9.0	0.13～10	0.15～31	0.18～35.84	
		今期最大値は事故直後の最大値から約 1/4 に減少				

（注）＊1　令和６年度から測定方法を変更。
＊2　平成 22 年度第 4 四半期から平成 25 年度第 4 四半期までの値。
＊3　事故前：事故前から測定していた 20 地点における平成 15 年 4 月から平成 22 年 12 月まで。

４－２　環境試料

４－２－１　大気浮遊じんの全アルファ放射能及び全ベータ放射能

（１）６時間連続集じん・６時間放置後測定

1F 近傍で 3 地点、1F・2F 周辺で 14 地点、計 17 地点で６時間連続集じん・６時間放置後の全アルファ放射能及び全ベータ放射能を測定しました。詳細な測定値は 45～46 ページを参照。

ア　月間平均値

全アルファ放射能及び全ベータ放射能の月間平均値は、原子力発電所からの距離に関係なく、いずれの月も事故前の月間平均値とほぼ同程度でした。

（注）※については、用語の解説（9～11 ページ）を参照してください。

各地点の大気浮遊じんの月間平均値　　（単位：Bq/m^3）

測定項目	測定エリア	測定地点数	各地点の月間平均値の範囲			過去の月間平均値			
			４月	５月	６月	R5～	H26～*1	事故直後	事故前*2
全アルファ放射能	1F 近傍	3	0.011～0.023	0.012～0.030	0.008～0.018	0.006～0.047	0.004～0.059	0.007～0.039	0.007～0.076
	1F･2F 周辺	14	0.012～0.039	0.012～0.041	0.008～0.030	0.003～0.057	0.002～0.088	0.009～0.046	
全ベータ放射能	1F 近傍	3	0.036～0.08	0.039～0.103	0.030～0.07	0.028～0.16	0.021～0.16	0.025～0.22	0.018～0.12
	1F･2F 周辺	14	0.042～0.10	0.043～0.099	0.032～0.08	0.024～0.13	0.017～0.13	0.030～2.0	

（注）＊1　大熊町大野の地点は、令和元年度末に局舎を移設したため、令和 2 年度第 1 四半期から採取地点を旧大熊町役場敷地内に変更。

＊2　事故前：平成 13 年 9 月から事故前（平成 23 年 3 月 10 日以前）まで。

イ　変動状況

全アルファ放射能及び全ベータ放射能の最大値は事故前の最大値と同程度※でした。また、空間線量率の高低にかかわらず、全アルファ放射能及び全ベータ放射能に強い相関が見られていることから、これらの変動は、全アルファ放射能及び全ベータ放射能の相関関係※による自然放射能レベルの変動と考えられました。巻末のグラフ集（111～119 ページ)に相関図を示しております。

（注）※については、用語の解説（9～11 ページ）を参照してください。

各地点の大気浮遊じんの最大値　　（単位：Bq/m³）

測定項目	測定エリア	測定地点数	各地点の最大値の範囲			過去の最大値			
			４月	５月	６月	R5～	H26～*1	事故直後	事故前*2
全アルファ放射能	1F近傍	3	0.056～0.16	0.059～0.22	0.055～0.16	0.32	0.31	0.19	0.58
	1F･2F周辺	14	0.065～0.24	0.064～0.18	0.046～0.19	0.44	0.42	0.34	
全ベータ放射能	1F近傍	3	0.13～0.49	0.14～0.64	0.13～0.48	0.98	0.97	1.3	0.78
	1F･2F周辺	14	0.15～0.45	0.14～0.38	0.10～0.41	0.83	0.77	54	

（注）＊1　大熊町大野の地点は、令和元年度末に局舎を移設したため、令和２年度第１四半期から採取地点を旧大熊町役場敷地内に変更。
＊2　事故前：平成13年９月から事故前（平成23年３月10日以前）まで。

（２）集じん中測定

1F近傍で６地点、1F・2F周辺で20地点、計26地点で集じん中の全アルファ放射能及び全ベータ放射能を測定しました。各測定地点における放射能濃度の変動は、ろ紙送り直後や放射能濃度が低い場合※を除き、全ベータ放射能を全アルファ放射能で除した比（β/α比）がほぼ一定であることから、自然放射能レベルの変動と考えられました。巻末のグラフ集(120～132ページ)に全アルファ放射能及び全ベータ放射能の推移を示しております。

※　ろ紙送り直後のデータは、大気浮遊じんがろ紙の内部に入り込み、見かけ上相対的に全ベータ放射能が全アルファ放射能に比べ高くなり、β/α比が高く算出される場合があること、また、放射能濃度が低い場合は、放射線の計数が小さいことからβ/α比のばらつきが大きくなる場合があるとされています。（放射能測定法シリーズNo.36「大気中放射性物質測定法」より）

４－２－２　環境試料の核種濃度（ガンマ線放出核種）

今期に測定した環境試料は、大気浮遊じんが49地点147試料、降下物が12地点36試料、土壌が22地点22試料、上水が13地点13試料、海水が11地点29試料、海底土が８地点８試料、ほんだわらが２地点２試料の７品目で合計257試料でした。詳細な測定値は47～59ページを参照。

降下物、土壌及び海底土の29試料からセシウム-134が、全７品目の172試料からセシウム-137が検出され、そのうち、事故前の測定値を上回った試料は、セシウム-134が29試料、セシウム-137が168試料でした。事故の影響により多くの試料で事故前の測定値を上回りましたが、事故直後と比較すると大幅に低下しており、令和５年度以降の測定値とほぼ同程度でした。

上水の一部（水源は表流水）からセシウム-137が検出（0.016 Bq/L）されています。この値は、食品中の放射性セシウムの基準値のうち、飲料水の基準値※である10 Bq/kg（10 Bq/L）を大きく下回っています。

（注）※については、用語の解説（9～11ページ）を参照してください。

環境試料のガンマ線放出核種濃度

試料名	核種	採取エリア	地点数	測定値	過去の測定値			
					R5～	H26～*1,2	事故直後	事故前*3
大気浮遊じん (mBq/m³)	Cs-134	1F 近傍	7	ND	ND～0.009	ND～1.8	0.072～38	ND
		1F・2F 周辺	35	ND	ND	ND～0.65	ND～1,100	
		比較対照地点	7	ND	ND	ND～0.13	ND～8.2	－
	Cs-137	1F 近傍	7	0.011～0.32	ND～0.60	ND～5.2	0.14～39	ND
		1F・2F 周辺	35	ND～0.11	ND～0.38	ND～2.1	ND～990	
		比較対照地点	7	ND	ND～0.38	ND～0.45	ND～10	－
降下物 (Bq/m² (MBq/km²))	Co-60	1F 近傍	2	ND	ND～3.7	ND～0.54	ND	ND
		1F・2F 周辺	8	ND	ND	ND	ND	
		比較対照地点	2	ND	ND	ND	ND	ND
	Cs-134	1F 近傍	2	ND～0.42	ND～5.4	ND～1,200	76～5,000,000	ND
		1F・2F 周辺	8	ND	ND～1.0	ND～110	ND～940,000	
		比較対照地点	2	ND～0.10	ND～0.50	ND～180	ND～140,000	ND
	Cs-137	1F 近傍	2	7.4～51	4.5～160	7.7～4,300	170～5,600,000	ND～0.15
		1F・2F 周辺	8	0.28～19	0.13～50	ND～670	ND～1,000,000	
		比較対照地点	2	0.086～8.7	0.28～24	ND～620	ND～150,000	ND～0.093
土　壌 (Bq/kg乾(事故直後及びH26～H27はBq/kg湿))	Co-60	1F 近傍	2	ND	ND～1.6	ND～5.3	ND	ND
		1F・2F 周辺	13	ND	ND	ND～1.9	ND	
		比較対照地点	7	ND	ND	ND	ND	ND
	Cs-134	1F 近傍	2	100～1,900	77～6,300	840～49,000	2,700～230,000	ND
		1F・2F 周辺	13	0.9～54	ND～230	ND～7,800	32～12,000	
		比較対照地点	7	ND～12	ND～43	ND～690	14～9,200	ND
	Cs-137	1F 近傍	2	13,000～230,000	7,800～330,000	20,000～330,000	3,100～310,000	ND～16
		1F・2F 周辺	13	80～6,400	9.7～10,000	7.7～52,000	75～26,000	
		比較対照地点	7	25～1,400	27～1,900	33～4,500	18～14,000	ND～30
上　水 (Bq/L)	Cs-134	1F 近傍	1	ND	ND	ND	－	ND
		1F・2F 周辺	12	ND	ND	ND～0.062	ND～0.17	
		比較対照地点	2	－	ND	ND～0.002	ND	ND
	Cs-137	1F 近傍	1	ND	ND～0.003	ND～0.002	－	ND
		1F・2F 周辺	12	ND～0.016	ND～0.034	ND～0.18	ND～0.29	
		比較対照地点	2	－	ND～0.004	ND～0.011	ND	ND

（注）「－」は測定値なし。

＊1　大気浮遊じんの 1F 近傍の大熊町大野の地点は、令和元年度末に局舎を移設したため、令和 2 年度から採取地点を旧大熊町役場敷地内に変更。

＊2　上水の 1F・2F 周辺の大熊町の地点は令和元年度から再開。1F 近傍の双葉町の地点は令和 2 年度第 3 四半期から再開。

＊3　事故前：平成 13 年 4 月から事故前（平成 23 年 3 月 10 日以前）まで。

試料名	核種	採取エリア	地点数	測定値	過去の測定値			
					R5～	H26～[*1]	事故直後	事故前[*2]
海　水 (Bq/L)	Cs-134	1F 放取水口	3	ND	ND～0.003	ND～0.35	ND～2.4	ND
		1F 沖合	3	ND	ND	ND～0.067	ND～0.094	
		ALPS 処理水放水口周辺[*3]	3	ND	ND	－	－	
		2F 放水口	2	ND	ND	ND～0.012	ND～0.20	
		松川浦	1	-	ND	ND～0.005	ND	ND
	Cs-137	1F 放取水口	3	0.004～0.12	0.002～0.16	ND～1.1	ND～5.0	ND～0.003
		1F 沖合	3	ND～0.009	ND～0.025	ND～0.31	ND～0.19	
		ALPS 処理水放水口周辺[*3]	3	0.003～0.031	ND～0.037	0.003～0.015	－	
		2F 放水口	2	0.007～0.010	0.003～0.032	ND～0.12	0.12～0.42	
		松川浦	1	-	0.005	ND～0.028	ND	ND～0.002
海底土 (Bq/kg 乾)	Cs-134	1F 放取水口	3	1.1～2.0	1.0～7.7	3.2～320	120～450	ND
		1F 沖合	3	ND	ND～1.3	ND～130	25～72	
		2F 放水口	2	ND	ND～1.6	ND～68	47～230	
		松川浦	1	-	ND	ND～4.4	1.3	ND
	Cs-137	1F 放取水口	3	130～170	95～910	140～870	230～1,000	ND～0.97
		1F 沖合	3	26～55	15～100	17～630	61～170	
		2F 放水口	2	36～58	25～140	34～200	100～470	
		松川浦	1	-	1.9～3.3	1.8～13	2.6	ND～2.3
ほんだわら (Bq/kg 生)	Cs-134	1F 海域	1	ND	ND	ND～0.50	－	ND
		2F 海域	1	ND	ND	ND～0.12	－	ND
	Cs-137	1F 海域	1	0.85	0.98～3.8	2.7～8.7	－	ND
		2F 海域	1	0.13	0.17～0.77	0.34～4.3	－	ND

（注）「－」は測定値なし。

＊1　ほんだわらは令和元年度から再開。

＊2　事故前：平成 13 年 4 月から事故前（平成 23 年 3 月 10 日以前）まで。

＊3　海水の ALPS 処理水放水口周辺の測点は、令和 4 年度から測定を実施。

４－２－３　環境試料の核種濃度（ベータ線放出核種）

海水 11 地点 29 試料について、全ベータ放射能を調査した結果、事故前の測定値(ND～0.05 Bq/L)と同程度でした。詳細な測定値は 72～79 ページを参照。

大気中水分 6 地点 18 試料、上水 13 地点 13 試料、海水 11 地点 29 試料の合計 60 試料について、トリチウムを調査した結果、大気中水分 6 地点 18 試料、上水 3 地点 3 試料、海水 9 地点 25 試料から検出されました。大気中水分の測定値は、事故前の測定値（ND～23 mBq/m^3）を上回りましたが、平成 26 年度以降の測定値（ND～68 mBq/m^3）と同程度※でした。詳細な測定値は 52～53、57～59 ページを参照。

ALPS 処理水の海洋放出後に開始した速報のためのトリチウムの迅速分析については、令和 8 年 4 月 8 日から令和 8 年 6 月 18 日までに実施した結果は、検出下限値未満から 4.3 Bq/L の範囲でした。詳細は 60 ページを参照。

土壌 22 地点 22 試料、海水 11 地点 29 試料、海底土 8 地点 8 試料及びほんだわら 2 地点 2 試料について、ストロンチウム-90 を調査した結果、土壌 22 地点 21 試料、海水 11 地点 23 試料から検出されました。海水のストロンチウム-90 の測定値は、 一部の地点で令和 5 年度以降の測定値（ND～0.012 Bq/kg 乾）を上回りましたが、事故直後と比較すると低下しており、平成 26 年度から令和 4 年度までの測定値（ND～0.76 Bq/kg 乾）と同程度でした。詳細な測定値は 57～59 ページを参照。

（注）※については、用語の解説（9～11 ページ）を参照してください。

環境試料のベータ線放出核種濃度

試料名	核種	採取エリア	地点数	測定値	過去の測定値			
					R5～	H26～[*1]	事故直後	事故前[*2]
大気中水分 (mBq/m^3)	H-3	1F 近傍	3	5.0～42	ND～39	ND～70	－	ND～23
		1F･2F 周辺	2	4.0～7.9	ND～12	ND～14	－	ND～14
		比較対照地点	1	5.1～7.9	ND～14	ND～21	ND～41	ND～12

（注）「－」は測定値なし。

＊1　大気中水分の 1F 近傍、1F･2F 周辺は平成 30 年度から再開。

＊2　事故前：平成 20 年度から事故前（平成 23 年 3 月 10 日以前）まで。

試料名	核種	採取エリア	地点数	測定値		過去の測定値			
						R5～	H26～[*1,2]	事故直後	事故前[*3]
土　壌 (Bq/kg 乾)	Sr-90	1F 近傍	2	20～27		14～60	19～61	15～81	ND～3.5
		1F・2F 周辺	13	ND～6.0		ND～6.8	0.22～17	ND～14	
		比較対照地点	7	0.25～1.8		ND～2.4	ND～16	ND～32	1.8～4.3
上　水 (Bq/L)	H-3	1F 近傍	1	ND		ND～0.48	ND～0.45	－	ND～1.2
		1F・2F 周辺	12	ND～0.59		ND～0.62	ND～0.94	ND～0.96	
		比較対照地点	2	－		ND～0.49	ND～0.85	ND～1.4	ND～1.3
海　水 (Bq/L)	全ベータ放射能	1F 放取水口	3	0.01～0.02		0.01～0.04	ND～0.38	0.02～1.7	ND～0.05
		1F 沖合	3	0.01～0.02		0.01～0.03	ND～0.07	ND～0.14	
		ALPS 処理水放水口周辺[*4]	3	0.01～0.02		0.01～0.03	－	－	
		2F 放水口	2	0.02		0.01～0.05	0.01～0.07	0.02～0.05	
		松川浦	1	－		0.05～0.06	0.02～0.06	0.02	ND～0.03
	H-3	1F 放取水口[*5]	3	電解濃縮法	0.06～1.6	ND～5.7 (ND～1.4)	(ND～2.6)	(ND～6.2)	ND～2.9 (減圧蒸留法)
		1F 沖合[*5]	3	電解濃縮法	ND～0.62	ND～2.1 (ND～0.41)	(ND～0.91)	(ND～0.58)	
		ALPS 処理水放水口周辺[*4,5]	3	電解濃縮法	ND～0.89	ND～2.0 (ND)	－	－	
		2F 放水口	2	減圧蒸留法	ND	ND～3.4	ND～0.86	ND～0.56	
		松川浦	1	減圧蒸留法	－	ND～0.37	ND	ND	ND～0.46
	Sr-90	1F 放取水口	3	0.0010～0.017		ND～0.012	ND～0.76	0.005～2.9	ND～0.002
		1F 沖合	3	ND～0.0020		ND～0.0017	ND～0.031	0.001～0.26	
		ALPS 処理水放水口周辺[*4]	3	ND～0.0015		ND～0.0027	－	－	
		2F 放水口	2	0.0008～0.0009		ND～0.0009	0.0007～0.0030	0.033～0.034	
		松川浦	1	－		ND～0.0011	0.0009～0.0018	0.001	0.001～0.002
海底土 (Bq/kg 乾)	Sr-90	1F 放取水口	3	ND		ND～0.75	ND～4.6	ND～1.2	ND
		1F 沖合	3	ND		ND～0.49	ND～0.71	ND～0.19	
		2F 放水口	2	ND		ND	ND～0.32	ND～0.21	
		松川浦	1	－		ND	ND～0.28	ND	ND～0.02
ほんだわら (Bq/kg 生)	Sr-90	1F 海域	1	ND		0.043～0.27	0.075～0.20	－	0.04～0.13
		2F 海域	1	ND		ND～0.090	ND～0.030	－	0.05～0.19

（注）「－」は測定値なし。

＊1　上水の 1F・2F 周辺の大熊町の地点は令和元年度から再開。1F 近傍の双葉町の地点は令和 2 年度第 3 四半期から再開。

＊2　ほんだわらは令和元年度から再開。

＊3　事故前：平成 13 年 4 月から事故前（平成 23 年 3 月 10 日以前）まで。

＊4　海水の ALPS 処理水放水口周辺の測点は、令和 4 年度から測定を実施。

＊5　1F 放取水口、1F 沖合及び ALPS 処理水放水口周辺の H-3 は令和 4 年度から電解濃縮法による測定を実施（検出下限値：0.03～0.06 Bq/L）。括弧内の測定値及び事故前の測定値は減圧蒸留法による（検出下限値：約 0.3～0.5 Bq/L）。

速報のためのトリチウム迅速分析結果(令和８年４月８日から令和８年６月 18 日まで実施分)

試料名	核種	採取エリア	地点数	測定値	過去の測定値			
					R5～	H26～	事故直後	事故前
海　水 (Bq/L)	H-3	1F 放取水口	3	ND～4.3	ND～5.5	－	－	－
		1F 沖合	3	ND	ND	－	－	－
		ALPS 処理水放水口周辺	3	ND	ND～5.5	－	－	－

（注）速報のためのトリチウム迅速分析は、検出下限値の目標値を 10Bq/L 程度としており、当該期間の検出下限値は 3.9～4.4 Bq/L であった。

４－２－４　環境試料の核種濃度（アルファ線放出核種）

土壌 16 地点 16 試料について、ウラン-234、ウラン-235 及びウラン-238 を調査した結果、16 地点 16 試料からウラン-234、ウラン-238 が、15 地点 15 試料からウラン-235 が検出されました。土壌のウラン-234、ウラン-235 、ウラン-238 の測定値は、いずれの核種の放射能比も天然ウランの放射能比※1 と同程度であり、土壌中のウランは天然ウランに由来するものと考えられます。詳細な測定値は 56、59 ページを参照。

土壌 22 地点 22 試料、海水 11 地点 29 試料、海底土 8 地点 8 試料、ほんだわら 2 地点 2 試料の合計 61 試料について、プルトニウム-238 を調査した結果、土壌 4 地点 4 試料からプルトニウム-238 が検出されました。土壌のプルトニウム-238 の測定値は、事故前の測定値（ND～0.08 Bq/kg 乾）と同程度※でした。詳細な測定値は 56～59 ページを参照。

土壌 22 地点 22 試料、海水 11 地点 29 試料、海底土 8 地点 8 試料、ほんだわら 2 地点 2 試料の合計 61 試料について、プルトニウム-239+240 を調査した結果、土壌 4 地点 4 試料、海水 8 地点 10 試料、海底土 8 地点 8 試料及びほんだわら 2 地点 2 試料からプルトニウム-239+240 が検出されました。土壌、海水、海底土及びほんだわらのプルトニウム-239+240 の測定値は、事故前の測定値（土壌：ND～2.6 Bq/kg 乾、海水：ND～0.013 mBq/L、海底土：0.13～0.61 Bq/kg 乾、ほんだわら：0.0035～0.022 Bq/kg 生）と同程度※でした。詳細な測定値は 56～59 ページを参照。

（注）※については、用語の解説（9～11 ページ）を参照してください。

※１　天然ウランの放射能比（ウラン-234：ウラン-235：ウラン-238＝1：0.047：1）出典：文部科学省発行 放射能測定法シリーズ No.14 ウラン分析法

環境試料のアルファ線放出核種濃度

試料名	核種	採取エリア	地点数	測定値	過去の測定値			
					R5～*1,2	H26～*3	事故直後	事故前 *4
土　壌 (Bq/kg 乾)	U-234	1F 近傍	2	12～15	10～18	11～15	－	－
		1F･2F 周辺	13	3.5～24	2.1～25	3.1～28	－	－
		比較対照地点	1	6.5	7.0～8.1	6.1～8.1	－	－
	U-235	1F 近傍	2	0.61～0.65	0.46～0.79	0.51～0.67	－	－
		1F･2F 周辺	13	0.17～1.1	0.13～1.6	0.11～1.7	－	－
		比較対照地点	1	0.37	0.26～0.35	0.25～0.39	－	－
	U-238	1F 近傍	2	12～15	10～18	10～13	－	－
		1F･2F 周辺	13	3.5～27	2.0～36	3.0～35	－	－
		比較対照地点	1	6.2	6.9～8.1	5.3～8.4	－	－
	Pu-238	1F 近傍	2	0.02～0.03	ND～0.05	ND～0.10	ND～0.03	ND～0.03
		1F･2F 周辺	13	ND～0.01	ND～0.02	ND～0.05	ND～0.05	
		比較対照地点	7	ND～0.02	ND～0.02	ND～0.03	ND～0.18	ND～0.08
	Pu-239+240	1F 近傍	2	0.05～0.47	0.04～0.49	0.05～0.37	0.20～0.34	ND～0.44
		1F･2F 周辺	13	ND～0.23	ND～0.36	ND～0.97	ND～0.66	
		比較対照地点	7	ND～0.62	ND～0.72	ND～1.2	ND～4.8	ND～2.6
	Am-241	1F 近傍	2	0.038～0.19	0.02～0.22	0.02～0.20	0.02～0.16	－
		1F･2F 周辺	13	ND～0.09	ND～0.12	ND～0.44	ND～0.25	
		比較対照地点	1	0.08	0.06～0.07	0.06～0.41	0.11	－
	Cm-244	1F 近傍	2	ND	ND～0.02	ND～0.02	ND	－
		1F･2F 周辺	13	ND	ND	ND～0.03	ND	
		比較対照地点	1	ND	ND	ND	ND	－
海　水 (mBq/L)	Pu-238	1F 放取水口	3	ND	ND	ND～0.010	ND	－
		1F 沖合	3	ND	ND	ND	ND	
		ALPS 処理水放水口周辺	3	ND	ND	－	－	
		2F 放水口	2	ND	ND	ND	ND	
		松川浦	1	ND	ND	ND	ND	－
	Pu-239+240	1F 放取水口	3	ND～0.010	ND～0.018	ND～0.019	ND～0.014	ND～0.013
		1F 沖合	3	ND～0.007	ND～0.016	ND～0.011	ND～0.010	
		ALPS 処理水放水口周辺	3	ND～0.008	ND～0.010	ND～0.008	－	
		2F 放水口	2	0.009～0.012	ND～0.013	ND～0.020	ND～0.011	
		松川浦	1	-	ND	ND	ND	ND～0.012

（注）「－」は測定値なし。

＊1　土壌の 1F・2F 周辺の南相馬市馬場の地点は、従来の採取地が芝生の植栽等の環境整備により採取不可能になったため、令和 6 年度第 1 四半期から採取地点を変更した。

＊2　海水の ALPS 処理水放水口周辺の測点は令和 4 年度から測定を実施。

＊3　土壌の U-234、U-235、U-238 は令和 2 年度から調査を実施。土壌の 1F 近傍の大熊町夫沢の地点は、中間貯蔵施設工事により採取不可能になったため、令和 2 年度第 3 四半期から採取地点を大熊町小入野に変更。

＊4　事故前：平成 13 年 4 月から事故前（平成 23 年 3 月 10 日以前）まで。

試料名	核種	採取エリア	地点数	測定値	過去の測定値			
					R5～	H26～	事故直後	事故前 *1
海底土 (Bq/kg 乾)	Pu-238	1F 放取水口	3	ND	ND	ND	ND	－
		1F 沖合	3	ND	ND～0.01	ND～0.02	ND～0.02	
		2F 放水口	2	ND	ND	ND	ND	
		松川浦	1	-	ND	ND	ND	－
	Pu-239+240	1F 放取水口	3	0.16～0.27	0.10～0.30	0.09～0.43	0.08～0.32	0.15～0.61
		1F 沖合	3	0.39～0.44	0.28～0.51	0.19～0.61	0.33～0.52	
		2F 放水口	2	0.15～0.21	0.11～0.27	0.13～0.36	0.21～0.25	
		松川浦	1	-	0.19～0.21	0.18～0.31	0.20	0.13～0.40
ほんだわら (Bq/kg 生)	Pu-238	1F 海域	1	ND	ND	ND	－	ND
		2F 海域	1	ND	ND	ND	－	ND
	Pu-239+240	1F 海域	1	0.0039	0.0019～0.0094	0.0038～0.0056	－	0.0035～0.021
		2F 海域	1	0.0006	ND～0.0029	ND～0.0059	－	0.0067～0.022

（注）「－」は測定値なし。

＊1　事故前：平成 13 年 4 月から事故前（平成 23 年 3 月 10 日以前）まで。

第５　原子力発電所周辺環境放射能測定値一覧表

5-1 空間放射線

単位 線量率:nGy/h 測定時間:h
上段:平均値（下段):最大値

5-1-1(1)　空間線量率

No.	測定地点名	測定年月	R8.4		5		6		7		8		9		10		11		12		R9.1		2		3	
		測定項目	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間
1	いわき市	小川（おがわ）	51 (63)	720	49 (62)	744	47 (64)	720																		
2	いわき市	久之浜（ひさのはま）	78 (89)	720	79 (95)	744	77 (90)	720																		
3	いわき市	下桶売（しもおけうり）	51 (64)	720	51 (64)	744	51 (67)	720																		
4	いわき市	川前（かわまえ）	63 (73)	720	64 (80)	744	63 (77)	720																		
5	田村市	都路馬洗戸（みやこじうまあらいど）	67 (81)	720	66 (82)	744	65 (93)	720																		
6	広野町	二ツ沼（ふたつぬま）	67 (80)	720	66 (81)	744	65 (79)	713																		
7	広野町	小滝平（こたきだいら）	68 (78)	720	69 (84)	744	68 (80)	720																		
8	楢葉町	山田岡（やまだおか）	69 (86)	720	69 (84)	744	68 (91)	714																		
9	楢葉町	木戸（きど）ダム	63 (76)	720	64 (78)	744	63 (76)	720																		
10	楢葉町	繁岡（しげおか）	89 (103)	720	89 (106)	744	88 (102)	720																		
11	楢葉町	松館（しょうかん）	104 (117)	720	102 (120)	744	97 (112)	720																		
12	楢葉町	波倉（なみくら）	140 (152)	720	139 (151)	744	135 (147)	714																		

No.	測定地点名	R8.4		5		6		7		8		9		10		11		12		R9.1		2		3	
	測定年月 / 測定項目	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間
13	富岡町 上郡山（かみこおりやま）	176 (185)	720	177 (187)	744	168 (182)	720																		
14	富岡町 下郡山（しもこおりやま）	109 (123)	720	109 (124)	744	107 (122)	720																		
15	富岡町 深谷（ふかや）*1	105 (120)	719	105 (124)	744	104 (128)	720																		
16	富岡町 富岡（とみおか）	88 (101)	720	88 (102)	744	87 (101)	720																		
17	富岡町 夜の森（よのもり）	150 (162)	720	151 (164)	744	148 (163)	720																		
18	川内村 下川内（しもかわうち）	106 (123)	720	107 (120)	744	105 (116)	720																		
19	大熊町 向畑（むかいはた）	456 (473)	720	457 (480)	744	435 (476)	713																		
20	大熊町 熊川（くまがわ）*1	613 (647)	720	623 (673)	744	605 (671)	670																		
21	大熊町 南台（みなみだい）	3,200 (3,310)	720	3,200 (3,330)	744	3,070 (3,330)	714																		
22	大熊町 大野（おおの）	198 (207)	720	198 (208)	744	192 (207)	720																		
23	大熊町 夫沢（おっとざわ）	1,780 (1,850)	720	1,790 (1,870)	744	1,720 (1,870)	713																		
24	双葉町 山田（やまだ）	2,420 (2,580)	720	2,400 (2,620)	744	2,190 (2,580)	713																		
25	双葉町 郡山（こおりやま）	226 (240)	720	226 (234)	744	220 (233)	713																		
26	双葉町 新山（しんざん）	264 (275)	720	266 (283)	744	256 (278)	714																		
27	双葉町 上羽鳥（かみはとり）	235 (245)	720	233 (243)	744	218 (237)	713																		

No.	測定地点名	測定年月	R8.4		5		6		7		8		9		10		11		12		R9.1		2		3	
		測定項目	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間
28	浪江町	請戸(うけど)*1	79 (100)	720	80 (97)	744	78 (99)	720																		
29	浪江町	棚塩(たなしお)*1	60 (84)	720	61 (83)	744	60 (80)	720																		
30	浪江町	浪江(なみえ)	97 (111)	720	97 (109)	744	93 (112)	713																		
31	浪江町	幾世橋(きよはし)	71 (87)	720	71 (84)	744	69 (83)	713																		
32	浪江町	大柿(おおがき)ダム	484 (498)	720	487 (504)	744	477 (496)	720																		
33	浪江町	南津島(みなみつしま)	322 (335)	720	328 (348)	744	315 (342)	720																		
34	葛尾村	夏湯(なつゆ)	107 (119)	720	108 (120)	744	106 (126)	720																		
35	南相馬市	泉沢(いずみさわ)	84 (98)	720	84 (98)	744	81 (99)	708																		
36	南相馬市	横川(よこかわ)ダム	141 (150)	720	143 (151)	744	139 (153)	720																		
37	南相馬市	萱浜(かいばま)	41 (62)	720	41 (60)	744	41 (67)	714																		
38	飯舘村	伊丹沢(いたみざわ)	107 (120)	720	108 (123)	744	105 (127)	714																		
39	川俣町	山木屋(やまきや)	98 (111)	720	99 (111)	744	97 (117)	714																		

注)　1　No.の網掛け部分は東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所から半径5km未満の地域

2　＊1　可搬型モニタリングポストによる測定

5-1-1(2)　空間線量率（比較対照地点）

単位 線量率:nGy/h 測定時間:h
上段:平均値（下段）:最大値

No.	測定地点名	測定年月	R8.4		5		6		7		8		9		10		11		12		R9.1		2		3	
		測定項目	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間
1	福島市	杉妻（すぎつま）	43 (61)	720	44 (69)	744	43 (78)	713																		
2	郡山市	日和田（ひわだ）	95 (112)	720	96 (114)	744	95 (121)	714																		
3	いわき市	平（たいら）	57 (67)	720	57 (68)	744	58 (68)	714																		

5-1-1(3)　中性子線量率

単位 線量率:nSv/h 測定時間:day
上段:平均値（下段）:最大値

No.	測定地点名	測定年月	R8.4		5		6		7		8		9		10		11		12		R9.1		2		3	
		測定項目	線量率	測定日数	線量率	測定日数	線量率	測定日数	線量率	測定日数	線量率	測定日数	線量率	測定日数	線量率	測定日数	線量率	測定日数	線量率	測定日数	線量率	測定日数	線量率	測定日数	線量率	測定日数
1	大熊町	おおの 大野	4 (5)	30	4 (5)	31	4 (4)	30																		
2	大熊町	おっとざわ 夫沢	5 (5)	30	5 (5)	31	5 (5)	30																		
3	南相馬市	かいばま 萱浜	4 (4)	30	4 (5)	31	4 (4)	30																		

注）　No.の網掛け部分は東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所から半径5km未満の地域
環境中の中性子線強度が低いために1時間値では測定値のばらつきが大きいことから、1日間値を掲載している

5-1-2　空間積算線量

（単位　mGy）

No.	測定地点名 ＼ 測定期間 R8. 4. 9 ～R8. 7. 2 ／ 測定項目	積算線量		測定日数	積算線量	測定日数	積算線量	測定日数	積算線量	測定日数
1	いわき市　石森（いしもり）	0.14	(0.14)	84						
2	いわき市　四倉（よつくら）	0.17	(0.19)	84						
3	いわき市　大野（おおの）	0.13	(0.14)	84						
4	いわき市　福岡（ふくおか）	0.19	(0.20)	84						
5	いわき市　大久（おおひさ）	0.16	(0.17)	84						
6	いわき市　末続（すえつぎ）	0.20	(0.21)	84						
7	いわき市　上小川（かみおがわ）	0.25	(0.27)	84						
8	いわき市　志田名（しだみょう）	0.26	(0.28)	84						
9	いわき市　小白井（おじろい）	0.16	(0.17)	84						
10	田村市　場々（ばば）	0.25	(0.27)	84						
11	田村市　古道（ふるみち）	0.21	(0.23)	84						
12	田村市　岩井沢（いわいさわ）	0.17	(0.18)	84						
13	広野町　下浅見川（しもあさみがわ）	0.15	(0.16)	84						
14	広野町　箒平（ほうきだいら）	0.19	(0.20)	84						
15	楢葉町　山田岡（やまだおか）	0.14	(0.15)	84						
16	楢葉町　乙次郎（おつじろう）	0.19	(0.21)	84						
17	楢葉町　井出（いで）	0.16	(0.17)	84						
18	楢葉町　上繁岡（かみしげおか）	0.28	(0.30)	84						
19	富岡町　太田（おおた）	0.28	(0.30)	84						
20	富岡町　赤木（あかぎ）	0.26	(0.28)	84						
21	富岡町　小良ヶ浜（おらがはま）	1.6	(1.8)	84						
22	富岡町　夜の森北（よのもりきた）	0.36	(0.39)	84						

（単位　mGy）

No.	測定地点名	測定期間 R8. 4. 9 ～R8. 7. 2 積算線量		測定日数	積算線量	測定日数	積算線量	測定日数	積算線量	測定日数
23	富岡町 上手岡（かみておか）	0.39	(0.42)	84						
24	川内村 三ツ石（みついし）	0.41	(0.44)	84						
25	川内村 貝ノ坂（かいのさか）	0.55	(0.59)	84						
26	川内村 五枚沢（ごまいざわ）	0.22	(0.24)	84						
27	川内村 上川内（かみかわうち）	0.18	(0.19)	84						
28	大熊町 大川原（おおがわら）	0.24	(0.26)	84						
29	大熊町 旭ヶ丘（あさひがおか）	0.30	(0.32)	84						
30	大熊町 野上（のがみ）	0.66	(0.70)	84						
31	大熊町 熊川（くまがわ）	1.9	(2.1)	84						
32	大熊町 大野（おおの）	0.41	(0.44)	84						
33	大熊町 夫沢（おっとざわ）	4.8	(5.1)	84						
34	大熊町 湯の神（ゆのかみ）	0.92	(0.99)	84						
35	大熊町 長者原（ちょうじゃはら）	3.4	(3.7)	84						
36	双葉町 清戸迫（きよとさく）	0.59	(0.63)	84						
37	双葉町 郡山（こおりやま）	0.46	(0.49)	84						
38	双葉町 長塚（ながつか）	0.65	(0.70)	84						
39	浪江町 井手（いで）	8.4	(9.0)	84						
40	浪江町 請戸（うけど）	0.19	(0.21)	84						
41	浪江町 小野田（おのだ）	0.55	(0.59)	84						
42	浪江町 幾世橋（きよはし）	0.19	(0.21)	84						
43	浪江町 苅宿（がりやど）	0.54	(0.58)	84						
44	浪江町 昼曽根（ひるそね）	2.7	(2.9)	84						

（単位　mGy）

No.	測定地点名	測定期間 R8. 4. 9 ～R8. 7. 2 積算線量		測定日数							
		積算線量		測定日数	積算線量	測定日数	積算線量	測定日数	積算線量	測定日数
45	浪江町　津島（つしま）	0.78	(0.83)	84						
46	葛尾村　大放（おおはなち）	0.23	(0.25)	84						
47	葛尾村　落合（おちあい）	0.32	(0.35)	84						
48	葛尾村　野行（のゆき）	1.0	(1.1)	84						
49	南相馬市　浦尻（うらじり）	0.16	(0.18)	84						
50	南相馬市　耳谷（みみがい）	0.19	(0.20)	84						
51	南相馬市　川房（かわぶさ）	0.62	(0.66)	84						
52	南相馬市　関場（せきば）	0.33	(0.35)	84						
53	南相馬市　高（たか）	0.14	(0.15)	84						
54	南相馬市　大木戸（おおきど）	0.13	(0.14)	84						
55	南相馬市　萱浜（かいばま）	0.12	(0.13)	84						
56	南相馬市　大原（おおはら）	0.24	(0.26)	84						
57	南相馬市　川子（かわご）	0.19	(0.21)	84						
58	飯舘村　蕨平（わらびだいら）	0.51	(0.54)	84						
59	飯舘村　長泥（ながどろ）	0.31	(0.33)	84						
60	飯舘村　飯樋（いいとい）	0.37	(0.39)	84						
61	飯舘村　臼石（うすいし）	0.66	(0.71)	84						
62	飯舘村　草野（くさの）	0.56	(0.60)	84						
63	川俣町　山木屋坂下（やまきやさかした）	0.55	(0.59)	84						
64	川俣町　山木屋（やまきや）	0.22	(0.23)	84						

注）1　（　　）内は90日換算値

2　No.の網掛け部分は東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所から半径5km未満の地域

5-2-1　大気浮遊じんの全アルファ放射能及び全ベータ放射能

単位 放射能濃度:Bq/m^3 測定時間:h
上段:平均値（下段）:最大値

No.	測定地点名	測定項目	R8.4		5		6		7		8		9		10		11		12		R9.1		2		3	
			測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間
1	いわき市 小川（おがわ）	全アルファ放射能	0.034 (0.24)	720	0.036 (0.17)	744	0.022 (0.14)	708																		
		全ベータ放射能	0.079 (0.45)	720	0.082 (0.32)	744	0.057 (0.25)	708																		
2	田村市 都路馬洗戸（みやこじうまあらいど）	全アルファ放射能	0.016 (0.090)	696	0.015 (0.068)	744	0.011 (0.046)	708																		
		全ベータ放射能	0.046 (0.18)	696	0.044 (0.14)	744	0.037 (0.10)	708																		
3	広野町 小滝平（こたきだいら）	全アルファ放射能	0.013 (0.075)	696	0.015 (0.067)	732	0.011 (0.056)	708																		
		全ベータ放射能	0.042 (0.16)	696	0.046 (0.15)	732	0.038 (0.12)	708																		
4	楢葉町 木戸（きど）ダム	全アルファ放射能	0.020 (0.097)	720	0.020 (0.084)	732	0.014 (0.064)	720																		
		全ベータ放射能	0.054 (0.20)	720	0.054 (0.19)	732	0.043 (0.14)	720																		
5	楢葉町 繁岡（しげおか）	全アルファ放射能	0.017 (0.14)	720	0.016 (0.11)	732	0.010 (0.090)	720																		
		全ベータ放射能	0.069 (0.42)	720	0.065 (0.33)	732	0.048 (0.28)	720																		
6	富岡町 富岡（とみおか）	全アルファ放射能	0.017 (0.10)	720	0.017 (0.11)	744	0.011 (0.076)	720																		
		全ベータ放射能	0.064 (0.31)	720	0.064 (0.33)	744	0.046 (0.25)	720																		
7	川内村 下川内（しもかわうち）	全アルファ放射能	0.026 (0.13)	720	0.025 (0.12)	744	0.020 (0.11)	720																		
		全ベータ放射能	0.075 (0.29)	720	0.072 (0.27)	744	0.061 (0.27)	720																		
8	大熊町 大野（おおの）	全アルファ放射能	0.023 (0.16)	720	0.030 (0.22)	744	0.018 (0.16)	720																		
		全ベータ放射能	0.085 (0.49)	720	0.10 (0.64)	744	0.069 (0.48)	720																		

No.	測定地点名	測定項目	測定年月 R8.4 測定値	測定時間	5 測定値	測定時間	6 測定値	測定時間	7 測定値	測定時間	8 測定値	測定時間	9 測定値	測定時間	10 測定値	測定時間	11 測定値	測定時間	12 測定値	測定時間	R9.1 測定値	測定時間	2 測定値	測定時間	3 測定値	測定時間
9	大熊町 夫沢（おっとざわ）	全アルファ放射能	0.013 (0.080)	720	0.014 (0.097)	744	0.009 (0.085)	720																		
		全ベータ放射能	0.056 (0.26)	720	0.062 (0.31)	744	0.046 (0.28)	720																		
10	双葉町 郡山（こおりやま）	全アルファ放射能	0.011 (0.056)	720	0.012 (0.059)	744	0.008 (0.055)	720																		
		全ベータ放射能	0.036 (0.13)	720	0.039 (0.14)	744	0.030 (0.13)	720																		
11	浪江町 幾世橋（きよはし）	全アルファ放射能	0.020 (0.090)	720	0.020 (0.12)	744	0.013 (0.080)	660																		
		全ベータ放射能	0.044 (0.16)	720	0.043 (0.19)	744	0.032 (0.14)	660																		
12	浪江町 大柿ダム（おおがき）	全アルファ放射能	0.029 (0.15)	720	0.032 (0.14)	744	0.023 (0.10)	720																		
		全ベータ放射能	0.077 (0.31)	720	0.084 (0.31)	744	0.066 (0.23)	720																		
13	葛尾村 夏湯（なつゆ）	全アルファ放射能	0.039 (0.22)	720	0.041 (0.18)	744	0.030 (0.19)	708																		
		全ベータ放射能	0.095 (0.44)	720	0.099 (0.37)	744	0.077 (0.41)	708																		
14	南相馬市 泉沢（いずみさわ）	全アルファ放射能	0.015 (0.065)	720	0.017 (0.076)	744	0.011 (0.050)	720																		
		全ベータ放射能	0.047 (0.15)	720	0.051 (0.17)	744	0.039 (0.12)	720																		
15	南相馬市 萱浜（かいばま）	全アルファ放射能	0.013 (0.071)	720	0.012 (0.064)	732	0.008 (0.080)	720																		
		全ベータ放射能	0.057 (0.26)	720	0.057 (0.22)	732	0.042 (0.28)	720																		
16	飯舘村 伊丹沢（いたみざわ）	全アルファ放射能	0.012 (0.075)	720	0.012 (0.081)	744	0.008 (0.048)	720																		
		全ベータ放射能	0.060 (0.25)	720	0.062 (0.27)	744	0.046 (0.17)	720																		
17	川俣町 山木屋（やまきや）	全アルファ放射能	0.014 (0.082)	720	0.018 (0.12)	744	0.012 (0.091)	720																		
		全ベータ放射能	0.063 (0.26)	720	0.074 (0.38)	744	0.056 (0.27)	720																		

注）　1　No.の網掛け部分は東京電力株式会社福島第一原子力発電所から半径5km未満の地域

5-2-2(1)　大気浮遊じんの核種濃度

No.	地点名	採取期間	核種濃度 (mBq/m^3)											
			^{51}Cr	^{54}Mn	^{58}Co	^{59}Fe	^{60}Co	^{95}Zr	^{95}Nb	^{106}Ru	^{125}Sb	^{134}Cs	^{137}Cs	^{144}Ce
1	いわき市 小川（おがわ）（連続ダストモニタ）	R8. 4. 1 ～ R8. 4.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R8. 5. 1 ～ R8. 5.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R8. 6. 1 ～ R8. 6.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
2	田村市 都路馬洗戸（みやこじうまあらいど）（連続ダストモニタ）	R8. 4. 1 ～ R8. 4.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R8. 5. 1 ～ R8. 5.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R8. 6. 1 ～ R8. 6.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
3	広野町 小滝平（こたきだいら）（連続ダストモニタ）	R8. 4. 1 ～ R8. 4.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.009	ND
		R8. 5. 1 ～ R8. 5.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R8. 6. 1 ～ R8. 6.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
4	楢葉町 木戸（きど）ダム（連続ダストモニタ）	R8. 4. 1 ～ R8. 4.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	ND
		R8. 5. 1 ～ R8. 5.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R8. 6. 1 ～ R8. 6.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
5	楢葉町 繁岡（しげおか）（連続ダストモニタ）	R8. 4. 1 ～ R8. 4.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.011	ND
		R8. 5. 1 ～ R8. 5.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.009	ND
		R8. 6. 1 ～ R8. 6.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
6	富岡町 富岡（とみおか）（連続ダストモニタ）	R8. 4. 1 ～ R8. 4.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.049	ND
		R8. 5. 1 ～ R8. 5.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.018	ND
		R8. 6. 1 ～ R8. 6.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
7	川内村 下川内（しもかわうち）（連続ダストモニタ）	R8. 4. 1 ～ R8. 4.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R8. 5. 1 ～ R8. 5.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	ND
		R8. 6. 1 ～ R8. 6.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
8	大熊町 大野（おおの）（連続ダストモニタ）	R8. 4. 1 ～ R8. 4.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.036	ND
		R8. 5. 1 ～ R8. 5.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.025	ND
		R8. 6. 1 ～ R8. 6.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.011	ND
9	大熊町 夫沢（おっとざわ）（連続ダストモニタ）	R8. 4. 1 ～ R8. 4.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.12	ND
		R8. 5. 1 ～ R8. 5.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.077	ND
		R8. 6. 1 ～ R8. 6.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.15	ND
10	双葉町 郡山（こおりやま）（連続ダストモニタ）	R8. 4. 1 ～ R8. 4.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.28	ND
		R8. 5. 1 ～ R8. 5.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.15	ND
		R8. 6. 1 ～ R8. 6.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.10	ND
11	浪江町 幾世橋（きよはし）（連続ダストモニタ）	R8. 4. 1 ～ R8. 4.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.013	ND
		R8. 5. 1 ～ R8. 5.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.015	ND
		R8. 6. 1 ～ R8. 6.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.012	ND
12	浪江町 大柿（おおがき）ダム（連続ダストモニタ）	R8. 4. 1 ～ R8. 4.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.038	ND
		R8. 5. 1 ～ R8. 5.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.028	ND
		R8. 6. 1 ～ R8. 6.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.016	ND

No.	地点名	採取期間	核種濃度 (mBq/m^3)											
			^{51}Cr	^{54}Mn	^{58}Co	^{59}Fe	^{60}Co	^{95}Zr	^{95}Nb	^{106}Ru	^{125}Sb	^{134}Cs	^{137}Cs	^{144}Ce
13	葛尾村 夏湯(なつゆ)(連続ダストモニタ)	R8. 4. 1 ～ R8. 4.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R8. 5. 1 ～ R8. 5.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R8. 6. 1 ～ R8. 6.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
14	南相馬市 泉沢(いずみさわ)(連続ダストモニタ)	R8. 4. 1 ～ R8. 4.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	ND
		R8. 5. 1 ～ R8. 5.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.009	ND
		R8. 6. 1 ～ R8. 6.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	ND
15	南相馬市 萱浜(かいばま)(連続ダストモニタ)	R8. 4. 1 ～ R8. 4.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R8. 5. 1 ～ R8. 5.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	ND
		R8. 6. 1 ～ R8. 6.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
16	飯舘村 伊丹沢(いたみさわ)(連続ダストモニタ)	R8. 4. 1 ～ R8. 4.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R8. 5. 1 ～ R8. 5.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.013	ND
		R8. 6. 1 ～ R8. 6.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
17	川俣町 山木屋(やまきや)(連続ダストモニタ)	R8. 4. 1 ～ R8. 4.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R8. 5. 1 ～ R8. 5.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.009	ND
		R8. 6. 1 ～ R8. 6.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
18	いわき市 久之浜(ひさのはま)(リアルタイムダストモニタ)	R8. 4. 1 ～ R8. 4.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R8. 5. 1 ～ R8. 5.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R8. 6. 1 ～ R8. 6.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
19	いわき市 下桶売(しもおけうり)(リアルタイムダストモニタ)	R8. 4. 1 ～ R8. 4.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R8. 5. 1 ～ R8. 5.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R8. 6. 1 ～ R8. 6.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
20	いわき市 川前(かわまえ)(リアルタイムダストモニタ)	R8. 4. 1 ～ R8. 4.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R8. 5. 1 ～ R8. 5.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R8. 6. 1 ～ R8. 6.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
21	大熊町 向畑(むかいはた)(リアルタイムダストモニタ)	R8. 4. 1 ～ R8. 4.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.037	ND
		R8. 5. 1 ～ R8. 5.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.031	ND
		R8. 6. 1 ～ R8. 6.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.040	ND
22	双葉町 山田(やまだ)(リアルタイムダストモニタ)	R8. 4. 1 ～ R8. 4.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.036	ND
		R8. 5. 1 ～ R8. 5.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.039	ND
		R8. 6. 1 ～ R8. 6.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.066	ND
23	双葉町 新山(しんざん)(リアルタイムダストモニタ)	R8. 4. 1 ～ R8. 4.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.036	ND
		R8. 5. 1 ～ R8. 5.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.065	ND
		R8. 6. 1 ～ R8. 6.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.062	ND
24	双葉町 上羽鳥(かみはとり)(リアルタイムダストモニタ)	R8. 4. 1 ～ R8. 4.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.032	ND
		R8. 5. 1 ～ R8. 5.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.027	ND
		R8. 6. 1 ～ R8. 6.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.078	ND

No.	地点名	採取期間	核種濃度 (mBq/m^3)											
			^{51}Cr	^{54}Mn	^{58}Co	^{59}Fe	^{60}Co	^{95}Zr	^{95}Nb	^{106}Ru	^{125}Sb	^{134}Cs	^{137}Cs	^{144}Ce
25	浪江町 南津島(みなみつしま)(リアルタイムダストモニタ)	R8. 4. 1 ～ R8. 4.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.053	ND
		R8. 5. 1 ～ R8. 5.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.10	ND
		R8. 6. 1 ～ R8. 6.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.065	ND
26	南相馬市 横川(よこかわ)ダム(リアルタイムダストモニタ)	R8. 4. 1 ～ R8. 4.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.11	ND
		R8. 5. 1 ～ R8. 5.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.054	ND
		R8. 6. 1 ～ R8. 6.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.047	ND
27	広野町 二ツ沼(ふたつぬま)(ダストサンプラー)	R8. 4. 1 ～ R8. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R8. 6. 1 ～ R8. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
28	楢葉町 山田岡(やまだおか)(ダストサンプラー)	R8. 4. 1 ～ R8. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R8. 6. 1 ～ R8. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
29	楢葉町 松館(しょうかん)(ダストサンプラー)	R8. 4. 1 ～ R8. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R8. 6. 1 ～ R8. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
30	楢葉町 波倉(なみくら)(ダストサンプラー)	R8. 4. 1 ～ R8. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R8. 6. 1 ～ R8. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.015	ND
31	富岡町 上郡山(かみこおりやま)(ダストサンプラー)	R8. 4. 1 ～ R8. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R8. 6. 1 ～ R8. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.019	ND
32	富岡町 下郡山(しもこおりやま)(ダストサンプラー)	R8. 4. 1 ～ R8. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.016	ND
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R8. 6. 1 ～ R8. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.017	ND
33	富岡町 夜の森(よもり)(ダストサンプラー)	R8. 4. 1 ～ R8. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.016	ND
		R8. 6. 1 ～ R8. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.028	ND
34	大熊町 南台(みなみだい)(ダストサンプラー)	R8. 4. 1 ～ R8. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.13	ND
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.15	ND
		R8. 6. 1 ～ R8. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.32	ND
35	浪江町 浪江(なみえ)(ダストサンプラー)	R8. 4. 1 ～ R8. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.024	ND
		R8. 6. 1 ～ R8. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.064	ND
36	田村市 滝根(たきね)(簡易型ダストサンプラー)	R8. 4. 1 ～ R8. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.004	ND
		R8. 6. 1 ～ R8. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND

No.	地点名	採取期間	核種濃度 (mBq/m^3)											
			^{51}Cr	^{54}Mn	^{58}Co	^{59}Fe	^{60}Co	^{95}Zr	^{95}Nb	^{106}Ru	^{125}Sb	^{134}Cs	^{137}Cs	^{144}Ce
37	田村市 船引 (簡易型ダストサンプラー)	R8. 4. 1 ～ R8. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	ND
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.005	ND
		R8. 6. 1 ～ R8. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
38	田村市 上移 (簡易型ダストサンプラー)	R8. 4. 1 ～ R8. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	ND
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.013	ND
		R8. 6. 1 ～ R8. 7. 1[*2]	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	ND
39	川内村 上川内 (簡易型ダストサンプラー)	R8. 4. 1 ～ R8. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	ND
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.008	ND
		R8. 6. 1 ～ R8. 7. 1[*3]	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	ND
40	南相馬市 馬場 (簡易型ダストサンプラー)	R8. 4. 1 ～ R8. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.022	ND
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.046	ND
		R8. 6. 1 ～ R8. 7. 1[*4]	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.031	ND
41	南相馬市 大木戸 (簡易型ダストサンプラー)	R8. 4. 1 ～ R8. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.020	ND
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.034	ND
		R8. 6. 1 ～ R8. 7. 1[*5]	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.024	ND
42	南相馬市 檜原 (簡易型ダストサンプラー)	R8. 4. 1 ～ R8. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.014	ND
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 1[*1]	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.019	ND
		R8. 6. 1 ～ R8. 7. 1[*6]	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.012	ND

(注) 1 「ND」：検出下限値未満 「－」：欠測

＊1 簡易型ダストサンプラーが停電のため、R8.5.21 21:58 ～ R8.5.21 21:59まで停止した。

＊2 簡易型ダストサンプラーが停電のため、R8.6.4 10:13 ～ R8.6.4 10:57まで停止した。

＊3 簡易型ダストサンプラーが停電のため、R8.6.3 19:00 ～ R8.6.3 19:00まで停止した。

＊4 簡易型ダストサンプラーが停電のため、R8.6.11 15:46 ～ R8.6.11 16:00まで停止した。

＊5 簡易型ダストサンプラーが停電のため、R8.6.15 15:12 ～ R8.6.15 15:12まで停止した。

＊6 簡易型ダストサンプラーが停電のため、R8.6.4 4:58 ～ R8.6.4 4:59まで、R8.6.14 9:05 ～ R8.6.14 9:07まで停止した。

5-2-2(2) 大気浮遊じんの核種濃度（比較対照地点）

No.	地点名	採取期間	核種濃度 (mBq/m^3)											
			^{51}Cr	^{54}Mn	^{58}Co	^{59}Fe	^{60}Co	^{95}Zr	^{95}Nb	^{106}Ru	^{125}Sb	^{134}Cs	^{137}Cs	^{144}Ce
1	福島市 方木田 (簡易型ダストサンプラー)	R8. 4. 6 ～ R8. 4. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R8. 5. 11 ～ R8. 5. 12	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R8. 6. 8 ～ R8. 6. 9	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
2	会津若松市 追手町 (簡易型ダストサンプラー)	R8. 4. 6 ～ R8. 4. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R8. 5. 7 ～ R8. 5. 8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R8. 6. 1 ～ R8. 6. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
3	郡山市 麓山 (簡易型ダストサンプラー)	R8. 4. 2 ～ R8. 4. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R8. 5.11 ～ R8. 5.12	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R8. 6. 4 ～ R8. 6. 5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
4	白河市 昭和町 (簡易型ダストサンプラー)	R8. 4. 6 ～ R8. 4. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R8. 5. 7 ～ R8. 5. 8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R8. 6. 1 ～ R8. 6. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
5	相馬市 玉野 (簡易型ダストサンプラー)	R8. 4. 2 ～ R8. 4. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R8. 5.11 ～ R8. 5.12	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R8. 6. 4 ～ R8. 6. 5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
6	伊達市 富成 (簡易型ダストサンプラー)	R8. 4. 2 ～ R8. 4. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R8. 5.11 ～ R8. 5.12	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R8. 6. 4 ～ R8. 6. 5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
7	南会津町 田島 (簡易型ダストサンプラー)	R8. 4. 6 ～ R8. 4. 7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R8. 5. 7 ～ R8. 5. 8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R8. 6. 1 ～ R8. 6. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND

（注） 1 「ND」：検出下限値未満 「－」：欠測

2 上記の他、人工放射性核種は検出されなかった。

3 ろ紙の灰化処理はせず、ろ紙を直接U8容器で測定した。

5-2-3(1)　大気中水分のトリチウム濃度

No.	地点名	採取期間	トリチウム濃度		備考
			大気中濃度 (mBq/m^3)	捕集水濃度 (Bq/L)	大気中水分量 (g/m^3)
1	楢葉町	R8. 4. 1 ～ R8. 5. 1	4.0	0.52	7.7
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 1	6.2	0.59	11
	繁岡（しげおか）	R8. 6. 1 ～ R8. 7. 1	7.9	0.59	13
2	富岡町	R8. 4. 1 ～ R8. 5. 1	4.9	0.64	7.7
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 1	4.0	0.39	10
	富岡（とみおか）	R8. 6. 1 ～ R8. 7. 1	7.4	0.56	13
3	大熊町	R8. 4. 1 ～ R8. 5. 1	5.0	0.68	7.4
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 1	8.0	0.76	11
	大野（おおの）	R8. 6. 1 ～ R8. 7. 1	8.0	0.58	14
4	大熊町	R8. 4. 1 ～ R8. 5. 1	29	3.8	7.7
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 1	28	2.7	11
	夫沢（おっとさわ）	R8. 6. 1 ～ R8. 7. 1	42	3.1	13
5	双葉町	R8. 4. 1 ～ R8. 5. 1[*4]	－	1.6	－
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 1	18	1.6	11
	郡山（こおりやま）	R8. 6. 1 ～ R8. 7. 1	22	1.4	15

注）　1　No.の網掛け部分は東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所から半径5km未満の地域

2　「ND」：検出下限値未満　「－」：欠測

3　検出限界値はおおむね5mBq/m^{3}以下

4　大気中水分量の重量測定に不備があったため、大気中濃度及び大気中水分量について欠測とした。

5-2-3(2)　大気中水分のトリチウム濃度（比較対照地点）

No.	地　点　名	採　取　期　間	トリチウム濃度		備考
			大気中濃度 (mBq/m^3)	捕集水濃度 (Bq/L)	大気中水分量 (g/m^3)
1	福　島　市	R8. 4. 1 ～ R8. 5. 1	5.1	0.75	6.7
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 1	6.2	0.66	9.4
	方木田（ほうきだ）	R8. 6. 1 ～ R8. 7. 1	7.9	0.62	13

（注）「ND」：検出下限値未満
数値は有効数字２桁にて表記

5-2-4(1)　降下物の核種濃度

No.	地点名	採取期間	核種濃度 (Bq/m^2(MBq/km^2))											
			^{51}Cr	^{54}Mn	^{58}Co	^{59}Fe	^{60}Co	^{95}Zr	^{95}Nb	^{106}Ru	^{125}Sb	^{134}Cs	^{137}Cs	^{144}Ce
1	いわき市 久之浜	R8. 4. 2 ～ R8. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.59	ND
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.71	ND
		R8. 6. 2 ～ R8. 7. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.28	ND
2	田村市 都路	R8. 4. 2 ～ R8. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2.5	ND
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	4.1	ND
		R8. 6. 2 ～ R8. 7. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.91	ND
3	富岡町 富岡	R8. 4. 1 ～ R8. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	4.2	ND
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3.8	ND
		R8. 6. 1 ～ R8. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.8	ND
4	大熊町 大野	R8. 4. 1 ～ R8. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.15	16	ND
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.13	16	ND
		R8. 6. 1 ～ R8. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	7.4	ND
5	双葉町 郡山	R8. 4. 1 ～ R8. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.42	51	ND
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.32	38	ND
		R8. 6. 1 ～ R8. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.30	35	ND
6	南相馬市 萱浜	R8. 4. 1 ～ R8. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3.3	ND
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3.3	ND
		R8. 6. 1 ～ R8. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.66	ND
7	浪江町 浪江	R8. 4. 2 ～ R8. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	9.1	ND
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	12	ND
		R8. 6. 2 ～ R8. 7. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3.0	ND
8	浪江町 津島	R8. 4. 2 ～ R8. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	7.4	ND
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	18	ND
		R8. 6. 2 ～ R8. 7. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	11	ND
9	葛尾村 柏原	R8. 4. 2 ～ R8. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	4.8	ND
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	19	ND
		R8. 6. 2 ～ R8. 7. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	14	ND
10	川俣町 山木屋	R8. 4. 2 ～ R8. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	10	ND
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	12	ND
		R8. 6. 2 ～ R8. 7. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	11	ND

注）1　No.の網掛け部分は東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所から半径5km未満の地域
　　2　「ND」：検出下限値未満

5-2-4(2)　降下物の核種濃度（比較対照地点）

No.	地点名	採取期間	核種濃度 (Bq/m^2 (MBq/km^2))											
			^{51}Cr	^{54}Mn	^{58}Co	^{59}Fe	^{60}Co	^{95}Zr	^{95}Nb	^{106}Ru	^{125}Sb	^{134}Cs	^{137}Cs	^{144}Ce
1	福島市　方木田（ほうきだ）	R8. 4. 1 ～ R8. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.10	8.7	ND
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	8.0	ND
		R8. 6. 1 ～ R8. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.6	ND
2	三春町　深作（ふかさく）	R8. 4. 1 ～ R8. 5. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.32	ND
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.57	ND
		R8. 6. 1 ～ R8. 7. 1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.086	ND

（注）　1　「ND」：検出下限値未満

　　2　上記の他、人工放射性核種は検出されなかった。

5-2-5(1)　環境試料中の核種濃度

試料名	種類又は部位	採取地点番号及び採取地点名		採取年月日	単位	全ベータ放射能濃度	核種濃度																				天然核種
							^{51}Cr	^{54}Mn	^{58}Co	^{59}Fe	^{60}Co	^{95}Zr	^{95}Nb	^{106}Ru	^{125}Sb	^{134}Cs	^{137}Cs	^{144}Ce	^{3}H	^{131}I	^{90}Sr	^{234}U	^{235}U	^{238}U	^{238}Pu	$^{239+240}$Pu	^{241}Am	^{244}Cm	^{40}K
土壌	土壌	1	いわき市　久之浜	R8. 5.15	Bq/kg乾	／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.92	80	ND	／	／	0.24	9.2	0.33	9.0	ND	0.01	ND	ND	650
		2	田村市　古道	R8. 5.18		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	7.0	860	ND	／	／	0.28	11	0.48	12	ND	ND	ND	ND	750
		3	広野町　下北迫	R8. 5. 7		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	6.6	800	ND	／	／	0.78	17	0.78	16	ND	0.04	ND	ND	660
		4	楢葉町　波倉	R8. 5. 7		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	8.0	980	ND	／	／	0.29	24	1.0	27	ND	ND	ND	ND	580
		5	富岡町　小浜	R8. 5.12		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.6	150	ND	／	／	ND	3.5	0.17	3.5	ND	ND	ND	ND	280
		6	川内村　上川内	R8. 5. 7		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	4.4	520	ND	／	／	0.21	17	0.9	18	ND	ND	ND	ND	750
		7	大熊町　小入野	R8. 5.12		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1900	230000	ND	／	／	20	12	0.65	12	0.02	0.05	0.038	ND	400
		8	双葉町　郡山	R8. 5.12		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	100	13000	ND	／	／	27	15	0.61	15	0.03	0.47	0.19	ND	360
		9	浪江町　北幾世橋	R8. 5. 8		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2.2	270	ND	／	／	1.5	23	1.1	24	0.01	0.15	0.06	ND	640
		10	葛尾村　柏原	R8. 5.18		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2.0	210	ND	／	／	0.41	15	0.93	20	ND	ND	ND	ND	650
		11	南相馬市　浦尻	R8. 5. 8		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	4.5	540	ND	／	／	0.74	17	0.67	16	ND	0.14	0.05	ND	440
		12	南相馬市　馬場	R8. 5. 8		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	54	6400	ND	／	／	6.0	16	1.0	19	ND	0.20	0.09	ND	860
		13	飯舘村　蕨平	R8. 5.18		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	7.5	920	ND	／	／	0.34	14	0.79	16	ND	ND	ND	ND	830
		14	飯舘村　長泥	R8. 5.19		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	12	1400	ND	／	／	1.2	8.4	0.34	8.6	ND	0.05	0.03	ND	710
		15	川俣町　山木屋	R8. 5.19		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	21	2400	ND	／	／	1.1	17	0.76	17	ND	0.23	0.09	ND	600

注）　1　No.の網掛け部分は東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所から半径5km未満の地域

試料名	種類又は部位	採取地点番号及び採取地点名		採取年月日	単位	全ベータ放射能濃度	核種濃度																		天然核種
							^{51}Cr	^{54}Mn	^{58}Co	^{59}Fe	^{60}Co	^{95}Zr	^{95}Nb	^{106}Ru	^{125}Sb	^{134}Cs	^{137}Cs	^{144}Ce	^{3}H	^{131}I	^{90}Sr	^{238}Pu	$^{239+240}$Pu	^{241}Am	^{244}Cm	^{40}K
上　水	蛇口水	1	いわき市	R8. 4.22	Bq/L Puは mBq/L	／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	／	／	／	／	／	／	0.051
		2	田村市	R8. 4.22		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	／	／	／	／	／	／	0.059
		3	広野町	R8. 4.22		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	／	／	／	／	／	／	0.034
		4	楢葉町	R8. 4.23		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	／	／	／	／	／	／	ND
		5	富岡町	R8. 4.23		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.40	／	／	／	／	／	／	ND
		6	川内村	R8. 4.22		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	／	／	／	／	／	／	ND
		7	大熊町	R8. 4.23		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.59	／	／	／	／	／	／	0.032
		8	双葉町	R8. 4.23		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	／	／	／	／	／	／	ND
		9	浪江町	R8. 4.24		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.48	／	／	／	／	／	／	0.096
		10	葛尾村	R8. 4. 8		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	／	／	／	／	／	／	0.028
		11	南相馬市	R8. 4.24		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	／	／	／	／	／	／	0.061
		12	飯舘村	R8. 4. 8		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.016	ND	ND	／	／	／	／	／	／	0.023
		13	川俣町	R8. 4. 8		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	／	／	／	／	／	／	ND
海　水	表面水	1	第一(発)南放水口付近	R8. 4.15	Bq/L Puは mBq/L	0.01	／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	／	ND	0.011	ND	1.6	／	0.0016	ND	ND	／	／	／
				R8. 5.15		0.01	／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	／	ND	0.007	ND	0.06	／	0.0010	ND	0.010	／	／	／
				R8. 6.11		0.02	／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	／	ND	0.020	ND	0.39	／	0.0011	ND	ND	／	／	／
		2	第一(発)北放水口付近	R8. 4.15		0.01	／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	／	ND	0.005	ND	0.09	／	0.0009	ND	0.005	／	／	／
				R8. 5.15		0.02	／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	／	ND	0.005	ND	0.08	／	0.0006	ND	ND	／	／	／
				R8. 6.11		0.02	／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	／	ND	0.036	ND	1.3	／	0.0049	ND	ND	／	／	／
		3	第一(発)取水口付近 (港湾出入口の外側)	R8. 4.15		0.01	／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	／	ND	0.004	ND	0.09	／	0.0007	ND	ND	／	／	／
				R8. 5.15		0.01	／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	／	ND	0.004	ND	0.07	／	0.0006	ND	ND	／	／	／
				R8. 6.11		0.02	／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	／	ND	0.12	ND	1.1	／	0.017	ND	0.005	／	／	／
		4	第一(発)沖合2km	R8. 4.15		0.01	／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	／	ND	ND	ND	0.11	／	ND	ND	0.006	／	／	／
				R8. 5.15		0.01	／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	／	ND	0.004	ND	0.08	／	0.0010	ND	0.007	／	／	／
				R8. 6.11		0.02	／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	／	ND	0.009	ND	0.37	／	0.0007	ND	ND	／	／	／
		5	夫沢・熊川沖2km (大熊町)	R8. 4.15		0.01	／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	／	ND	0.002	ND	0.25	／	ND	ND	ND	／	／	／
				R8. 5.15		0.02	／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	／	ND	0.002	ND	ND	／	ND	ND	ND	／	／	／
				R8. 6.11		0.01	／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	／	ND	0.006	ND	0.26	／	0.0015	ND	ND	／	／	／
		6	双葉・前田川沖2km (双葉町)	R8. 4.15		0.01	／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	／	ND	0.002	ND	0.09	／	0.0020	ND	ND	／	／	／
				R8. 5.15		0.02	／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	／	ND	0.003	ND	0.07	／	0.0011	ND	ND	／	／	／
				R8. 6.11		0.02	／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	／	ND	0.006	ND	0.62	／	ND	ND	ND	／	／	／
		7	ＡＬＰＳ処理水放水口北２km西0.5km	R8. 4.15		0.01	／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	／	ND	0.004	ND	0.10	／	ND	ND	0.008	／	／	／
				R8. 5.15		0.02	／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	／	ND	0.004	ND	0.07	／	0.0008	ND	ND	／	／	／
				R8. 6.11		0.01	／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	／	ND	0.020	ND	0.89	／	0.0014	ND	ND	／	／	／
		8	ＡＬＰＳ処理水放水口北１km	R8. 4.15		0.01	／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	／	ND	0.003	ND	0.10	／	0.0006	ND	ND	／	／	／
				R8. 5.15		0.02	／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	／	ND	0.004	ND	0.08	／	0.0006	ND	ND	／	／	／
				R8. 6.11		0.02	／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	／	ND	0.031	ND	0.87	／	0.0015	ND	ND	／	／	／
		9	ＡＬＰＳ処理水放水口南１km	R8. 4.15		0.01	／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	／	ND	0.004	ND	0.13	／	ND	ND	0.005	／	／	／
				R8. 5.15		0.02	／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	／	ND	0.003	ND	ND	／	0.0006	ND	0.006	／	／	／
				R8. 6.11		0.02	／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	／	ND	0.017	ND	0.52	／	0.0008	ND	ND	／	／	／
		10	第二(発)南放水口	R8. 5.15		0.02	／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	／	ND	0.007	ND	ND	／	0.0009	ND	0.009	／	／	／
		11	第二(発)北放水口	R8. 5.15		0.02	／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	／	ND	0.010	ND	ND	／	0.0008	ND	0.012	／	／	／

試料名	種類又は部位		採取地点番号及び採取地点名	採取年月日	単位	全ベータ放射能濃度	核種濃度																		天然核種
							^{51}Cr	^{54}Mn	^{58}Co	^{59}Fe	^{60}Co	^{95}Zr	^{95}Nb	^{106}Ru	^{125}Sb	^{134}Cs	^{137}Cs	^{144}Ce	^{3}H	^{131}I	^{90}Sr	^{238}Pu	$^{239+240}$Pu	^{241}Am	^{244}Cm	^{40}K
海底土	海底土	1	第一(発)南放水口付近	R8. 5.15	Bq/kg乾	／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2.0	170	ND	／	／	ND	ND	0.24	／	／	490
		2	第一(発)北放水口付近	R8. 5.15		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.3	130	ND	／	／	ND	ND	0.16	／	／	470
		3	第一(発)取水口付近(港湾出入口の外側)	R8. 5.15		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.1	170	ND	／	／	ND	ND	0.27	／	／	480
		4	第一(発)沖合2km	R8. 5.15		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	34	ND	／	／	ND	ND	0.39	／	／	460
		5	夫沢・熊川沖2km(大熊町)	R8. 5.15		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	26	ND	／	／	ND	ND	0.44	／	／	480
		6	双葉・前田川沖2km(双葉町)	R8. 5.15		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	55	ND	／	／	ND	ND	0.41	／	／	440
		7	第二(発)南放水口	R8. 5.15		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	36	ND	／	／	ND	ND	0.15	／	／	400
		8	第二(発)北放水口	R8. 5.15		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	58	ND	／	／	ND	ND	0.21	／	／	450
ほんだわら	葉茎	1	第一（発）海域	R8. 5.20	Bq/kg生	／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.85	ND	／	ND	ND	ND	0.0039	／	／	270
		2	第二（発）海域	R8. 5.14		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.13	ND	／	ND	ND	ND	0.0006	／	／	490

（注） 1 福島第一原子力発電所周辺の9測点のトリチウム濃度は電解濃縮法による。

2 土壌及び松葉のNo.の網掛け部分は東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所から半径5km未満の地域、海水及び海底土のNo.の網掛け部分は東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所の放取水口付近

3 「ND」：検出下限値未満 「／」：対象外核種 「－」：測定値なし

4 第一(発)：東京電力ホールディングス㈱福島第一原子力発電所 第二(発)：東京電力ホールディングス㈱福島第二原子力発電所

5 上記の他、人工放射性核種は検出されなかった。

5-2-5(2)　環境試料中の核種濃度（比較対照地点）

試料名	種類又は部位	採取地点番号及び採取地点名		採取年月日	単位	全ベータ放射能濃度	核種濃度																				天然核種
							^{51}Cr	^{54}Mn	^{58}Co	^{59}Fe	^{60}Co	^{95}Zr	^{95}Nb	^{106}Ru	^{125}Sb	^{134}Cs	^{137}Cs	^{144}Ce	^{3}H	^{131}I	^{90}Sr	^{234}U	^{235}U	^{238}U	^{238}Pu	$^{239+240}$Pu	^{241}Am	^{244}Cm	^{40}K
土壌	土壌	1	福島市	荒井（あらい）	R8. 5.12	Bq/kg乾	／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	11	1,300	ND	／	／	1.7	6.5	0.37	6.2	ND	0.25	0.08	ND	430
		2	郡山市	逢瀬町（おうせまち）	R8. 5.13		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	12	1,400	ND	／	／	0.47	／	／	／	ND	ND	／	／	430
		3	いわき市	川部町（かわべまち）	R8. 5.15		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	170	ND	／	／	1.0	／	／	／	ND	0.06	／	／	440
		4	白河市	大信隈戸（だいしんくまど）	R8. 5.13		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	7.7	830	ND	／	／	1.1	／	／	／	ND	0.24	／	／	590
		5	相馬市	中村（なかむら）	R8. 5.19		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	11	1,400	ND	／	／	1.8	／	／	／	ND	0.23	／	／	370
		6	会津若松市	一箕町（いっきまち）	R8. 5.14		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2.9	390	ND	／	／	0.25	／	／	／	ND	ND	／	／	780
		7	南会津町	糸沢（いとざわ）	R8. 5.14		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	25	ND	／	／	1.4	／	／	／	0.02	0.62	／	／	270

（注）　1　「ND」：検出下限値未満　「／」：対象外核種

5-2-5(3) 環境試料中の核種濃度（速報のためのトリチウム迅速分析結果）

（単位：Bq/L）

採水日	調査地点									検出下限値
	第一（発）南放水口付近	第一（発）北放水口付近	第一（発）取水口付近	第一（発）沖合2km	夫沢・熊川沖2km	双葉・前田川沖2km	ALPS処理水放水口北2km西0.5km	ALPS処理水放水口北1km	ALPS処理水放水口南1km	
R8.4.8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	4.3
R8.4.15	4.3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3.9
R8.5.15	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	4.4
R8.6.11	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	4.2
R8.6.18	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	4.0～4.1

：ALPS処理水放出期間中の採水

5-3 試料採取時の付帯データ集
（原子力発電所周辺等環境放射能測定）

1　上水

No.	採取地点名	採取年月日	気温(℃)	水温(℃)	pH
1	いわき市	R8. 4.22	22.3	15.5	7.4
2	田村市	R8. 4.22	16.4	12.9	7.7
3	広野町	R8. 4.22	20.8	14.5	7.3
4	楢葉町	R8. 4.23	20.8	16.1	7.1
5	富岡町	R8. 4.23	20.9	17.1	7.5
6	川内村	R8. 4.22	17.6	17.8	7.3
7	大熊町	R8. 4.23	23.2	17.0	7.4
8	双葉町	R8. 4.23	23.1	16.4	7.1
9	浪江町	R8. 4.24	15.6	15.9	7.7
10	葛尾村	R8. 4. 8	11.2	11.5	7.0
11	南相馬市	R8. 4.24	16.5	18.0	7.1
12	飯舘村	R8. 4. 8	7.6	11.4	7.2
13	川俣町	R8. 4. 8	10.7	10.4	7.1

2　海水

No.	採取地点名	採取年月日	気温(℃)	水温(℃)	pH	Cl^-(‰)
1	第一(発)南放水口付近	R8. 4.15	11.0	10.0	7.9	19.6
		R8. 5.15	13.0	13.0	8.1	19.8
		R8. 6.11	19.0	17.0	8.0	18.3
2	第一(発)北放水口付近	R8. 4.15	11.0	10.0	7.9	19.1
		R8. 5.15	13.0	13.0	8.1	19.4
		R8. 6.11	18.0	17.0	8.0	18.1
3	第一(発)取水口付近(港湾出入口の外側)	R8. 4.15	12.0	10.0	7.9	19.0
		R8. 5.15	12.0	13.0	8.1	19.6
		R8. 6.11	19.0	17.0	8.0	18.2
4	第一(発)沖合２km	R8. 4.15	10.0	10.0	7.9	19.5
		R8. 5.15	12.0	13.0	8.2	19.5
		R8. 6.11	16.0	16.0	8.1	18.3
5	夫沢・熊川沖２km	R8. 4.15	10.0	9.5	7.9	19.3
		R8. 5.15	12.0	13.0	8.2	19.5
		R8. 6.11	16.0	16.0	8.1	18.2
6	双葉・前田川沖２km	R8. 4.15	10.0	10.0	7.9	19.1
		R8. 5.15	13.0	13.0	8.2	19.4
		R8. 6.11	16.0	16.5	8.1	18.4
7	ＡＬＰＳ処理水放水口北２km西0.5km	R8. 4.15	10.0	10.0	7.9	19.2
		R8. 5.15	13.0	13.0	8.1	19.1
		R8. 6.11	17.0	16.5	8.1	18.1
8	ＡＬＰＳ処理水放水口北１km	R8. 4.15	10.0	10.0	7.9	19.0
		R8. 5.15	12.0	13.0	8.2	19.3
		R8. 6.11	17.5	16.0	8.1	18.2
9	ＡＬＰＳ処理水放水口南１km	R8. 4.15	12.0	10.0	7.9	19.1
		R8. 5.15	13.0	13.5	8.2	19.4
		R8. 6.11	19.0	17.0	8.1	18.2
10	第二(発)南放水口	R8. 5.15	26.0	15.6	8.1	18.9
11	第二(発)北放水口	R8. 5.15	23.8	15.0	8.1	18.8

環境試料測定日

試料名	採取地点名	採取年月日	測定年月日 全α・β	測定年月日 γ
大気浮遊じん	いわき市　小川	R8. 4. 1 ～ R8. 4.30	連続	R8. 5.21
		R8. 5. 1 ～ R8. 5.31	連続	R8. 6.19
		R8. 6. 1 ～ R8. 6.30	連続	R8. 7.20
	田村市　都路馬洗戸	R8. 4. 1 ～ R8. 4.30	連続	R8. 5.21
		R8. 5. 1 ～ R8. 5.31	連続	R8. 6.19
		R8. 6. 1 ～ R8. 6.30	連続	R8. 7.17
	広野町　小滝平	R8. 4. 1 ～ R8. 4.30	連続	R8. 5.19
		R8. 5. 1 ～ R8. 5.31	連続	R8. 6.17
		R8. 6. 1 ～ R8. 6.30	連続	R8. 7.14
	楢葉町　木戸ダム	R8. 4. 1 ～ R8. 4.30	連続	R8. 5.19
		R8. 5. 1 ～ R8. 5.31	連続	R8. 6.17
		R8. 6. 1 ～ R8. 6.30	連続	R8. 7.15
	楢葉町　繁岡	R8. 4. 1 ～ R8. 4.30	連続	R8. 5.20
		R8. 5. 1 ～ R8. 5.31	連続	R8. 6.18
		R8. 6. 1 ～ R8. 6.30	連続	R8. 7.17
	富岡町　富岡	R8. 4. 1 ～ R8. 4.30	連続	R8. 5.20
		R8. 5. 1 ～ R8. 5.31	連続	R8. 6.18
		R8. 6. 1 ～ R8. 6.30	連続	R8. 7.18
	川内村　下川内	R8. 4. 1 ～ R8. 4.30	連続	R8. 5.22
		R8. 5. 1 ～ R8. 5.31	連続	R8. 6.19
		R8. 6. 1 ～ R8. 6.30	連続	R8. 7.18
	大熊町　大野	R8. 4. 1 ～ R8. 4.30	連続	R8. 5.24
		R8. 5. 1 ～ R8. 5.31	連続	R8. 6.20
		R8. 6. 1 ～ R8. 6.30	連続	R8. 7.15
	大熊町　夫沢	R8. 4. 1 ～ R8. 4.30	連続	R8. 5.22
		R8. 5. 1 ～ R8. 5.31	連続	R8. 6.18
		R8. 6. 1 ～ R8. 6.30	連続	R8. 7.15
	双葉町　郡山	R8. 4. 1 ～ R8. 4.30	連続	R8. 5.24
		R8. 5. 1 ～ R8. 5.31	連続	R8. 6.19
		R8. 6. 1 ～ R8. 6.30	連続	R8. 7.19
	浪江町　幾世橋	R8. 4. 1 ～ R8. 4.30	連続	R8. 5.21
		R8. 5. 1 ～ R8. 5.31	連続	R8. 6.21
		R8. 6. 1 ～ R8. 6.30	連続	R8. 7.17
	浪江町　大柿ダム	R8. 4. 1 ～ R8. 4.30	連続	R8. 5.21
		R8. 5. 1 ～ R8. 5.31	連続	R8. 6.19
		R8. 6. 1 ～ R8. 6.30	連続	R8. 7.19
	葛尾村　夏湯	R8. 4. 1 ～ R8. 4.30	連続	R8. 5.22
		R8. 5. 1 ～ R8. 5.31	連続	R8. 6.20
		R8. 6. 1 ～ R8. 6.30	連続	R8. 7.20
	南相馬市　泉沢	R8. 4. 1 ～ R8. 4.30	連続	R8. 5.22
		R8. 5. 1 ～ R8. 5.31	連続	R8. 6.21
		R8. 6. 1 ～ R8. 6.30	連続	R8. 7.17
	南相馬市　萱浜	R8. 4. 1 ～ R8. 4.30	連続	R8. 5.22
		R8. 5. 1 ～ R8. 5.31	連続	R8. 6.17
		R8. 6. 1 ～ R8. 6.30	連続	R8. 7.17
	飯舘村　伊丹沢	R8. 4. 1 ～ R8. 4.30	連続	R8. 5.23
		R8. 5. 1 ～ R8. 5.31	連続	R8. 6.17
		R8. 6. 1 ～ R8. 6.30	連続	R8. 7.19
	川俣町　山木屋	R8. 4. 1 ～ R8. 4.30	連続	R8. 5.24
		R8. 5. 1 ～ R8. 5.31	連続	R8. 6.16
		R8. 6. 1 ～ R8. 6.30	連続	R8. 7.19
	いわき市　久之浜	R8. 4. 1 ～ R8. 4.30		R8. 5.11
		R8. 5. 1 ～ R8. 5.31		R8. 6.12
		R8. 6. 1 ～ R8. 6.30		R8. 7.10

試料名	採取地点名	採取年月日	測定年月日	
			全α・β	γ
大気浮遊じん	いわき市　下桶売	R8. 4. 1 ～ R8. 4.30		R8. 5.11
		R8. 5. 1 ～ R8. 5.31		R8. 6.13
		R8. 6. 1 ～ R8. 6.30		R8. 7.10
	いわき市　川前	R8. 4. 1 ～ R8. 4.30		R8. 5.11
		R8. 5. 1 ～ R8. 5.31		R8. 6.14
		R8. 6. 1 ～ R8. 6.30		R8. 7.11
	大熊町　向畑	R8. 4. 1 ～ R8. 4.30		R8. 5.11
		R8. 5. 1 ～ R8. 5.31		R8. 6. 8
		R8. 6. 1 ～ R8. 6.30		R8. 7. 9
	双葉町　山田	R8. 4. 1 ～ R8. 4.30		R8. 5.11
		R8. 5. 1 ～ R8. 5.31		R8. 6. 8
		R8. 6. 1 ～ R8. 6.30		R8. 7. 9
	双葉町　新山	R8. 4. 1 ～ R8. 4.30		R8. 5.12
		R8. 5. 1 ～ R8. 5.31		R8. 6. 8
		R8. 6. 1 ～ R8. 6.30		R8. 7. 9
	双葉町　上羽鳥	R8. 4. 1 ～ R8. 4.30		R8. 5.12
		R8. 5. 1 ～ R8. 5.31		R8. 6. 8
		R8. 6. 1 ～ R8. 6.30		R8. 7. 9
	浪江町　南津島	R8. 4. 1 ～ R8. 4.30		R8. 5.13
		R8. 5. 1 ～ R8. 5.31		R8. 6. 9
		R8. 6. 1 ～ R8. 6.30		R8. 7.10
	南相馬市　横川ダム	R8. 4. 1 ～ R8. 4.30		R8. 5.13
		R8. 5. 1 ～ R8. 5.31		R8. 6. 9
		R8. 6. 1 ～ R8. 6.30		R8. 7.10
	広野町　二ツ沼	R8. 4. 1 ～ R8. 5. 1		R8. 5. 7
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 1		R8. 6. 2
		R8. 6. 1 ～ R8. 7. 1		R8. 7. 2
	楢葉町　山田岡	R8. 4. 1 ～ R8. 5. 1		R8. 5. 8
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 1		R8. 6. 3
		R8. 6. 1 ～ R8. 7. 1		R8. 7. 3
	楢葉町　松館	R8. 4. 1 ～ R8. 5. 1		R8. 5. 9
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 1		R8. 6. 5
		R8. 6. 1 ～ R8. 7. 1		R8. 7. 4
	楢葉町　波倉	R8. 4. 1 ～ R8. 5. 1		R8. 5.10
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 1		R8. 6. 6
		R8. 6. 1 ～ R8. 7. 1		R8. 7. 5
	富岡町　上郡山	R8. 4. 1 ～ R8. 5. 1		R8. 5.11
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 1		R8. 6. 7
		R8. 6. 1 ～ R8. 7. 1		R8. 7. 6
	富岡町　下郡山	R8. 4. 1 ～ R8. 5. 1		R8. 5.12
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 1		R8. 6. 8
		R8. 6. 1 ～ R8. 7. 1		R8. 7. 7
	富岡町　夜の森	R8. 4. 1 ～ R8. 5. 1		R8. 5.13
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 1		R8. 6. 9
		R8. 6. 1 ～ R8. 7. 1		R8. 7. 8
	大熊町　南台	R8. 4. 1 ～ R8. 5. 1		R8. 5.14
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 1		R8. 6.10
		R8. 6. 1 ～ R8. 7. 1		R8. 7. 9
	浪江町　浪江	R8. 4. 1 ～ R8. 5. 1		R8. 5.15
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 1		R8. 6.11
		R8. 6. 1 ～ R8. 7. 1		R8. 7.10
	田村市　滝根	R8. 4. 1 ～ R8. 5. 1		R8. 5. 8
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 1		R8. 6. 5
		R8. 6. 1 ～ R8. 7. 1		R8. 7. 3

試料名	採取地点名	採取年月日	測定年月日	
			全α・β	γ
大気浮遊じん	田村市　船引	R8. 4. 1 ～ R8. 5. 1		R8. 5. 8
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 1		R8. 6. 6
		R8. 6. 1 ～ R8. 7. 1		R8. 7. 4
	田村市　上移	R8. 4. 1 ～ R8. 5. 1		R8. 5.10
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 1		R8. 6. 7
		R8. 6. 1 ～ R8. 7. 1		R8. 7. 5
	川内村　上川内	R8. 4. 1 ～ R8. 5. 1		R8. 5. 8
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 1		R8. 6. 5
		R8. 6. 1 ～ R8. 7. 1		R8. 7. 3
	南相馬市　馬場	R8. 4. 1 ～ R8. 5. 1		R8. 5. 8
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 1		R8. 6. 5
		R8. 6. 1 ～ R8. 7. 1		R8. 7. 3
	南相馬市　大木戸	R8. 4. 1 ～ R8. 5. 1		R8. 5. 9
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 1		R8. 6. 5
		R8. 6. 1 ～ R8. 7. 1		R8. 7. 3
	南相馬市　檜原	R8. 4. 1 ～ R8. 5. 1		R8. 5.10
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 1		R8. 6. 6
		R8. 6. 1 ～ R8. 7. 1		R8. 7. 4
	福島市　方木田	R8. 4. 6 ～ R8. 4. 7		R8. 4.14
		R8. 5.11 ～ R8. 5.12		R8. 5.19
		R8. 6. 8 ～ R8. 6. 9		R8. 6.12
	会津若松市　追手町	R8. 4. 6 ～ R8. 4. 7		R8. 4.14
		R8. 5. 7 ～ R8. 5. 8		R8. 5.20
		R8. 6. 1 ～ R8. 6. 2		R8. 6.16
	郡山市　麓山	R8. 4. 2 ～ R8. 4. 3		R8. 4.15
		R8. 5.11 ～ R8. 5.12		R8. 5.20
		R8. 6. 4 ～ R8. 6. 5		R8. 6.17
	白河市　昭和町	R8. 4. 6 ～ R8. 4. 7		R8. 4.22
		R8. 5. 7 ～ R8. 5. 8		R8. 5.21
		R8. 6. 1 ～ R8. 6. 2		R8. 6.11
	相馬市　玉野	R8. 4. 2 ～ R8. 4. 3		R8. 4.23
		R8. 5.11 ～ R8. 5.12		R8. 5.22
		R8. 6. 4 ～ R8. 6. 5		R8. 6.16
	伊達市　富成	R8. 4. 2 ～ R8. 4. 3		R8. 4.15
		R8. 5.11 ～ R8. 5.12		R8. 5.21
		R8. 6. 4 ～ R8. 6. 5		R8. 6.17
	南会津町　田島	R8. 4. 6 ～ R8. 4. 7		R8. 4.22
		R8. 5. 7 ～ R8. 5. 8		R8. 5.22
		R8. 6. 1 ～ R8. 6. 2		R8. 6.11

試料名	採取地点名	採取年月日	測定年月日
			^{3}H
大気中水分	楢葉町　繁岡	R8. 4. 1 ～ R 8. 5. 1	R8.6.4
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 1	R8. 6. 17
		R8. 6. 1 ～ R8. 7. 1	R8. 7.22
	富岡町　富岡	R8. 4. 1 ～ R 8. 5. 1	R8. 6. 4
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 1	R8. 6. 18
		R8. 6. 1 ～ R8. 7. 1	R8. 7.22
	大熊町　大野	R8. 4. 1 ～ R 8. 5. 1	R8. 6. 5
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 1	R8. 6. 18
		R8. 6. 1 ～ R8. 7. 1	R8. 7.23
	大熊町　夫沢	R8. 4. 1 ～ R 8. 5. 1	R8. 6. 6
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 1	R8. 6. 19
		R8. 6. 1 ～ R8. 7. 1	R8. 7.24
	双葉町　郡山	R8. 4. 1 ～ R 8. 5. 1	R8. 6. 6
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 1	R8. 6. 19
		R8. 6. 1 ～ R8. 7. 1	R8. 7.24
	福島市　方木田	R8. 4. 1 ～ R8. 5. 1	R8. 5.16
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 1	R8. 6.11
		R8. 6. 1 ～ R8. 7. 1	R8. 7.14

試料名	採取地点名	採取年月日	測定年月日
			γ
降下物	いわき市　久之浜	R8. 4. 2 ～ R8. 5. 1	R8. 5.14
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 2	R8. 6.9
		R8. 6. 2 ～ R8. 7. 2	R8. 7. 14
	田村市　都路	R8. 4. 2 ～ R8. 5. 1	R8. 5.14
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 2	R8. 6.10
		R8. 6. 2 ～ R8. 7. 2	R8. 7.14
	富岡町　富岡	R8. 4. 1 ～ R8. 5. 1	R8. 6.19
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 1	R8. 7.6
		R8. 6. 1 ～ R8. 7. 1	R8. 7. 29
	大熊町　大野	R8. 4. 1 ～ R8. 5. 1	R8. 6.20
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 1	R8. 7.16
		R8. 6. 1 ～ R8. 7. 1	R8. 7. 29
	双葉町　郡山	R8. 4. 1 ～ R8. 5. 1	R8. 6.20
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 1	R8. 7.6
		R8. 6. 1 ～ R8. 7. 1	R8. 7. 29
	南相馬市　萱浜	R8. 4. 1 ～ R8. 5. 1	R8. 6.21
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 1	R8. 7.7
		R8. 6. 1 ～ R8. 7. 1	R8. 7. 29
	浪江町　浪江	R8. 4. 2 ～ R8. 5. 1	R8. 5. 13
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 2	R8. 6.6
		R8. 6. 2 ～ R8. 7. 2	R8. 7. 10
	浪江町　津島	R8. 4. 2 ～ R8. 5. 1	R8. 5. 13
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 2	R8. 6.6
		R8. 6. 2 ～ R8. 7. 2	R8. 7.10
	葛尾村　柏原	R8. 4. 2 ～ R8. 5. 1	R8. 5.14
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 2	R8. 6.9
		R8. 6. 2 ～ R8. 7. 2	R8. 7. 10
	川俣町　山木屋	R8. 4. 2 ～ R8. 5. 1	R8. 5.12
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 2	R8. 6.9
		R8. 6. 2 ～ R8. 7. 2	R8. 7.11
	福島市　方木田	R8. 4. 1 ～ R8. 5. 1	R8. 5.15
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 1	R8. 6.10
		R8. 6. 1 ～ R8. 7. 1	R8. 7.15
	三春町　深作	R8. 4. 1 ～ R8. 5. 1	R8. 5.12
		R8. 5. 1 ～ R8. 6. 1	R8. 6. 5
		R8. 6. 1 ～ R8. 7. 1	R8. 7. 9

試料名	採取地点名	採取年月日	測定年月日				
			γ	Sr	U	Pu	Am,Cm
土壌	いわき市　久之浜	R8. 5.15	R8. 5.27	R8. 6.23	R8. 8. 20	R8. 8.21	R8. 8.19
	田村市　古道	R8. 5.18	R8. 5.28	R8. 6. 22	R8. 8. 20	R8. 9.4	R8.8.19
	広野町　下北迫	R8. 5.7	R8. 5.23	R8. 6. 23	R8. 8.20	R8. 8. 1	R8.8.19
	楢葉町　波倉	R8. 5.7	R8. 5.23	R8. 6. 22	R8. 8. 20	R8. 8. 1	R8.8.19
	富岡町　小浜	R8. 5.12	R8. 5.26	R8. 6.26	R8. 8. 20	R8. 8. 1	R8. 9.11
	川内村　上川内	R8. 5.7	R8. 5.23	R8. 6. 25	R8. 8.20	R8. 9. 9	R8. 9.11
	大熊町　小入野	R8. 5.12	R8. 6.5	R8. 9.28	R8. 8.24	R8. 6.12	R8.8.19
	双葉町　郡山	R8. 5.12	R8. 6.5	R8. 8.28	R8. 8. 24	R8. 6.12	R8.8.19
	浪江町　北幾世橋	R8. 5.8	R8. 5.25	R8. 6.25	R8. 8.24	R8. 8.13	R8. 8. 21
	葛尾村　柏原	R8. 5.18	R8. 5.28	R8. 6.26	R8. 8.24	R8. 8.13	R8. 8. 20
	南相馬市　浦尻	R8. 5.8	R8. 5.26	R8. 7.7	R8. 8.24	R8. 8.13	R8. 8.20
	南相馬市　馬場	R8. 5.8	R8. 5.25	R8. 7. 7	R8. 8.24	R8. 9.4	R8. 9.1
	飯舘村　蕨平	R8. 5.18	R8. 5.29	R8. 7. 7	R8. 8.26	R8. 8.13	R8. 8.20
	飯舘村　長泥	R8. 5.19	R8. 5.29	R8. 7. 7	R8. 8.26	R8. 8.18	R8. 8.20
	川俣町　山木屋	R8. 5.19	R8. 5.29	R8. 7. 10	R8. 8.26	R8. 8.18	R8. 8.20
	福島市　荒井	R8. 5.12	R8. 5.27	R8. 6.27	R8. 8. 5	R8. 9.5	R8. 7.30
	郡山市　逢瀬町	R8. 5.13	R8. 5.28	R8. 7.24		R8. 7.27	
	いわき市　川部町	R8. 5.15	R8. 5.26	R8. 7.24		R8. 7.27	
	白河市　大信隈戸	R8. 5.13	R8. 5.27	R8. 7.24		R8. 7.27	
	相馬市　中村	R8. 5.19	R8. 5.28	R8. 7.24		R8. 7.27	
	会津若松市　一箕町	R8. 5.14	R8. 5.26	R8. 7.24		R8. 7.28	
	南会津町　糸沢	R8. 5.14	R8. 5.27	R8. 7.25		R8. 7.28	

試料名	採取地点名	採取年月日	測定年月日			
			γ	^{3}H	Sr	Pu
上水	いわき市	R8.4.22	R8.5.4	R8. 5. 7		
	田村市	R8.4.22	R8.5.8	R8. 5. 8		
	広野町	R8.4.22	R8.4.30	R8. 5. 8		
	楢葉町	R8.4.23	R8.5.4	R8. 5. 9		
	富岡町	R8.4.23	R8.5.8	R8. 5.10		
	川内村	R8.4.22	R8.4.30	R8. 5.10		
	大熊町	R8.4.23	R8.5.9	R8. 5.11		
	双葉町	R8.4.23	R8.5.11	R8. 5.12		
	浪江町	R8.4.24	R8.5.11	R8. 5.12		
	葛尾村	R8.4.8	R8.5.13	R8. 4.23		
	南相馬市	R8.4.24	R8.5.12	R8. 5.13		
	飯舘村	R8.4.8	R8.5.13	R8. 4.24		
	川俣町	R8.4.8	R8.5.13	R8. 4.24		

試料名	採取地点名	採取年月日	測定年月日				
			全β	γ	^{3}H	Sr	Pu
海水	第一(発)南放水口付近	R8. 4.15	R8. 4.22	R8. 4.24	R8. 5. 9	R8. 6.26	R8. 5. 8
		R8. 5.15	R8. 5.19	R8. 5.26	R8. 6. 7	R8. 9.1	R8. 5.27
		R8. 6.11	R8. 6.16	R8. 6.18	R8. 7. 3	R8. 8.17	R8. 6.29
	第一(発)北放水口付近	R8. 4.15	R8. 4.22	R8. 4.24	R8. 5.10	R8. 6.26	R8. 5. 8
		R8. 5.15	R8. 5.19	R8. 5.26	R8. 6. 7	R8. 8.31	R8. 5.27
		R8. 6.11	R8. 6.16	R8. 6.18	R8. 7. 3	R8. 8.17	R8. 6.29
	第一(発)取水口付近 (港湾出入口の外側)	R8. 4.15	R8. 4.22	R8. 4.24	R8. 5.11	R8. 6.26	R8. 5. 8
		R8. 5.15	R8. 5.19	R8. 5.26	R8. 6. 8	R8. 8.31	R8. 5.27
		R8. 6.11	R8. 6.16	R8. 6.18	R8. 7. 4	R8. 8.17	R8. 6.29
	第一(発)沖合2km	R8. 4.15	R8. 4.22	R8. 4.25	R8. 5.11	R8. 6.26	R8. 5. 8
		R8. 5.15	R8. 5.19	R8. 5.26	R8. 6. 9	R8. 8.31	R8. 5.27
		R8. 6.11	R8. 6.16	R8. 6.18	R8. 7. 5	R8. 8.18	R8. 6.29
	夫沢・熊川沖2km (大熊町)	R8. 4.15	R8. 4.22	R8. 4.25	R8. 5.12	R8. 6.26	R8. 5. 7
		R8. 5.15	R8. 5.19	R8. 5.26	R8. 6. 9	R8. 8.31	R8. 5.27
		R8. 6.11	R8. 6.16	R8. 6.18	R8. 7. 5	R8. 8.18	R8. 6.29
	双葉町・前田川沖2km (双葉町)	R8. 4.15	R8. 4.22	R8. 4.25	R8. 5.13	R8. 6.27	R8. 5. 8
		R8. 5.15	R8. 5.19	R8. 5.27	R8. 6.10	R8. 9.1	R8. 5.28
		R8. 6.11	R8. 6.16	R8. 6.19	R8. 7. 6	R8. 8.18	R8. 6.29
	ＡＬＰＳ処理水放出口北２km西0.5km	R8. 4.15	R8. 4.22	R8. 5. 7	R8. 5.13	R8. 6.27	R8. 5. 7
		R8. 5.15	R8. 5.19	R8. 6. 1	R8. 6.10	R8. 9.1	R8. 5.28
		R8. 6.11	R8. 6.16	R8. 6.29	R8. 7. 6	R8. 8.18	R8. 7. 1
	ＡＬＰＳ処理水放出口北１km	R8. 4.15	R8. 4.22	R8. 5. 7	R8. 5.14	R8. 6.27	R8. 5. 7
		R8. 5.15	R8. 5.19	R8. 6. 1	R8. 6.11	R8. 9.1	R8. 5.28
		R8. 6.11	R8. 6.17	R8. 6.29	R8. 7. 7	R8. 8.18	R8. 7. 1
	ＡＬＰＳ処理水放出口南１km	R8. 4.15	R8. 4.23	R8. 5. 7	R8. 5.14	R8. 6.27	R8. 5. 7
		R8. 5.15	R8. 5.20	R8. 6. 1	R8. 6.12	R8. 9.1	R8. 5.28
		R8. 6.11	R8. 6.17	R8. 6.29	R8. 7. 8	R8. 8.18	R8. 7. 1
	第二(発)南放水口	R8. 5.15	R8. 5.20	R8. 6.1	R8. 6. 18	R8. 9.18	R8. 6. 4
	第二(発)北放水口	R8. 5.15	R8. 5.20	R8. 6.5	R8. 6.19	R8. 9.1	R8. 6. 4

(注) 1「／」：対象外核種　「－」：測定値なし
　　2　トリチウム濃度の測定は、福島第一原子力発電所周辺海域の海水は電解濃縮法、ほかは減圧蒸留法による。

試料名	採取地点名	採取年月日	測定年月日		
			γ	Sr	Pu
海底土	第一(発)南放水口付近	R8. 5.15	R8. 5.27	R8. 8.26	R8. 6.12
	第一(発)北放水口付近	R8. 5.15	R8. 5.27	R8. 8.26	R8. 6.12
	第一(発)取水口付近 (港湾出入口の外側)	R8. 5.15	R8. 5.27	R8. 8.26	R8. 6.12
	第一(発)沖合2km	R8. 5.15	R8. 5.27	R8. 8.26	R8. 6.12
	夫沢・熊川沖2km (大熊町)	R8. 5.15	R8. 5.28	R8. 8.27	R8. 6.15
	双葉町・前田川沖2km (双葉町)	R8. 5.15	R8. 5.28	R8. 8.27	R8. 6.15
	第二(発)南放水口	R8. 5.15	R8. 5.27	R8. 7.10	R8. 7.27
	第二(発)北放水口	R8. 5.15	R8. 5.28	R8. 7.10	R8. 7.27

試料名	採取地点名	採取年月日	測定年月日			
			γ	^{131}I	Sr	Pu
ほんだわら	第一（発）海域	R8. 5.20	R8. 6.1	R8. 5.21	R8. 8.28	R8. 8.18
	第二（発）海域	R8. 5.14	R8. 5.28	R8. 5.15	R8. 8.28	R8. 8.18

令和8年度月別降水データ表

富岡町富岡

月	日数	時間(h)	降水量(mm)
R8.4	10	58	110.0
5	7	58	146.5
6	18	129	253.0
7			
8			
9			
10			
11			
12			
R9.1			
2			
3			
合計	35	245	509.5

大熊町大野

月	日数	時間(h)	降水量(mm)
R8.4	8	55	105.0
5	6	57	153.0
6	18	154	269.0
7			
8			
9			
10			
11			
12			
R9.1			
2			
3			
合計	32	266	527.0

南相馬市萱浜

月	日数	時間(h)	降水量(mm)
R8.4	10	56	101.0
5	6	50	113.0
6	17	129	258.5
7			
8			
9			
10			
11			
12			
R9.1			
2			
3			
合計	33	235	472.5

第６　参考資料

６－１　福島第一原子力発電所における地下水バイパス水等の海域への排出に伴う海水モニタリング結果（公表資料）

【地下水バイパス水関係】

県では、福島第一原子力発電所における地下水バイパス水の海域への排出に際し、南放水口付近（Ｔ－２）の海域において、海水モニタリングを実施していますので、最新の公表資料を添付します。

測定項目・・・全ベータ放射能、放射性セシウム、トリチウム

添付資料・・・令和８年７月１６日公表資料

【サブドレン・地下水ドレン処理水関係】

県では、福島第一原子力発電所におけるサブドレン・地下水ドレン処理水の海域への排出に際し、福島第一原子力発電所港湾口付近の海域において、海水モニタリングを実施していますので、最新の公表資料を添付します。

測定項目・・・全ベータ放射能、放射性セシウム、トリチウム

添付資料・・・令和８年７月１６日公表資料

令和８年７月１６日
福島県原子力防災課

福島第一原子力発電所における地下水バイパス水の海域への排出に伴う海水モニタリングの結果について（６月調査分）

東京電力では、福島第一原子力発電所の汚染水の増加を防ぐため、原子炉建屋よりも上流で地下水をくみ上げて海域へ排出する「地下水バイパス」を設置しています。

県では、福島第一原子力発電所における地下水バイパス水の海域への排出に際し、環境への影響を確認するため、海水モニタリングを定期的に実施しております。

【調査結果の概要】

福島第一原子力発電所南放水口付近（Ｔ－２）※1の海域１地点における、地下水バイパス水の海域への排出に伴う海水モニタリングの結果です。

採取した海水中の放射能濃度（単位：Bq/L）は、全ベータ放射能は0.02、セシウム-137は0.064、トリチウムは0.50、セシウム-134は検出下限値未満でした。

なお、今回の調査を含め調査開始以降、東京電力の運用目標値、排水に関する国の安全規制の基準及びＷＨＯの飲料水の基準を大幅に下回っています。

○６月調査分における海水の放射能濃度（単位：Bq/L）

排出時刻　１０時１１分～１７時２３分、排出量２，００７m^3

採取日時	全ベータ放射能	セシウム-134	セシウム-137	トリチウム
6月11日 11:52	**0.02** (検出下限値未満～0.22)	**検出下限値未満 (<0.055)** (検出下限値未満～0.54)	**0.064** (検出下限値未満～1.6)	**0.50** (検出下限値未満～8.8)

(　)内は初回排出から前回調査分までの放射能濃度の範囲

	全ベータ放射能	セシウム-134	セシウム-137	トリチウム
東京電力の運用目標値	5	1	1	1,500
排水に関する国の安全規制の基準	30※2	60	90	60,000
ＷＨＯの飲料水の基準	10※2	10	10	10,000

※1　試料採取作業の安全確保ができないため、令和６年６月から採取地点を南放水口から南側に約1300ｍの地点に一時的に変更。（詳細な位置図は別紙「採水地点及び排水地点」参照）

※2　放射性ストロンチウム(Sr-90)についての値

速　報

福島第一原子力発電所における地下水バイパス水の排出に伴う海水モニタリングの結果

〇今回の公表分は黄色網掛け部分です。

令和8年7月16日　福島県原子力防災課

試料名	地点名	採取年月日	福島県による測定結果（Bq/L）			
			全β放射能※	セシウム-134	セシウム-137	トリチウム
海水	南放水口付近（T-2）（地下水排出中）	R8.6.11	0.02	検出下限値未満（<0.055）	0.064	0.50
		令和7年度	0.02	検出下限値未満	検出下限値未満～0.24	検出下限値未満～0.81
		令和6年度	0.01～0.03	検出下限値未満	検出下限値未満	検出下限値未満
		令和5年度	0.01～0.03	検出下限値未満	検出下限値未満～0.082	検出下限値未満～0.54
		令和4年度	0.02～0.04	検出下限値未満	検出下限値未満～0.069	検出下限値未満
		令和3年度	0.02～0.03	検出下限値未満	0.056～0.14	検出下限値未満～4.9
		令和2年度	0.02～0.04	検出下限値未満	検出下限値未満～0.063	検出下限値未満～3.3
		令和元年度	0.02	検出下限値未満	検出下限値未満～0.072	検出下限値未満～8.6
		平成30年度	0.02～0.03	検出下限値未満	検出下限値未満	検出下限値未満～7.9
		平成29年度	検出下限値未満～0.04	検出下限値未満	検出下限値未満～0.13	検出下限値未満～8.8
		平成28年度	0.03～0.15	検出下限値未満	0.061～0.19	検出下限値未満～3.0
		平成27年度	0.03～0.13	検出下限値未満～0.11	0.080～0.40	検出下限値未満～0.86
		平成26年度	0.04～0.22	検出下限値未満～0.54	0.12～1.6	検出下限値未満～3.5

〇東京電力ホールディングス(株)の測定結果については次のホームページで確認できます。
http://www.tepco.co.jp/decommision/planaction/monitoring/index-j.html

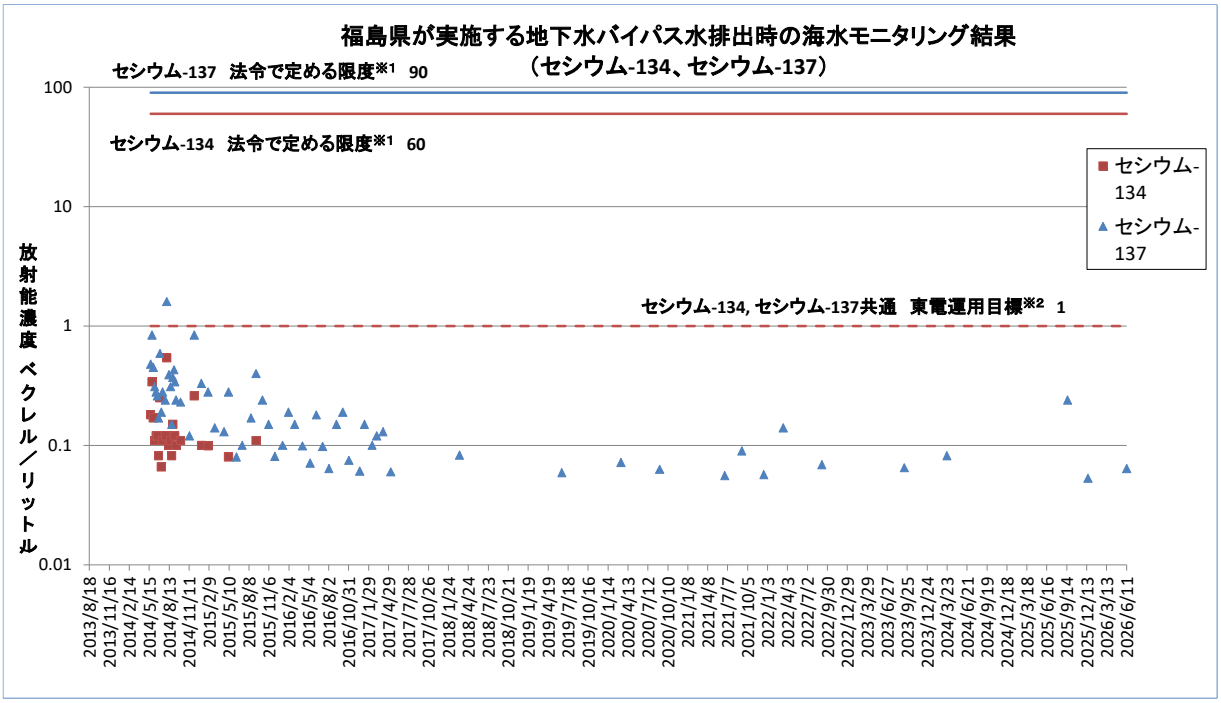
平成26年5月21日（初回排出日）以前のモニタリング結果

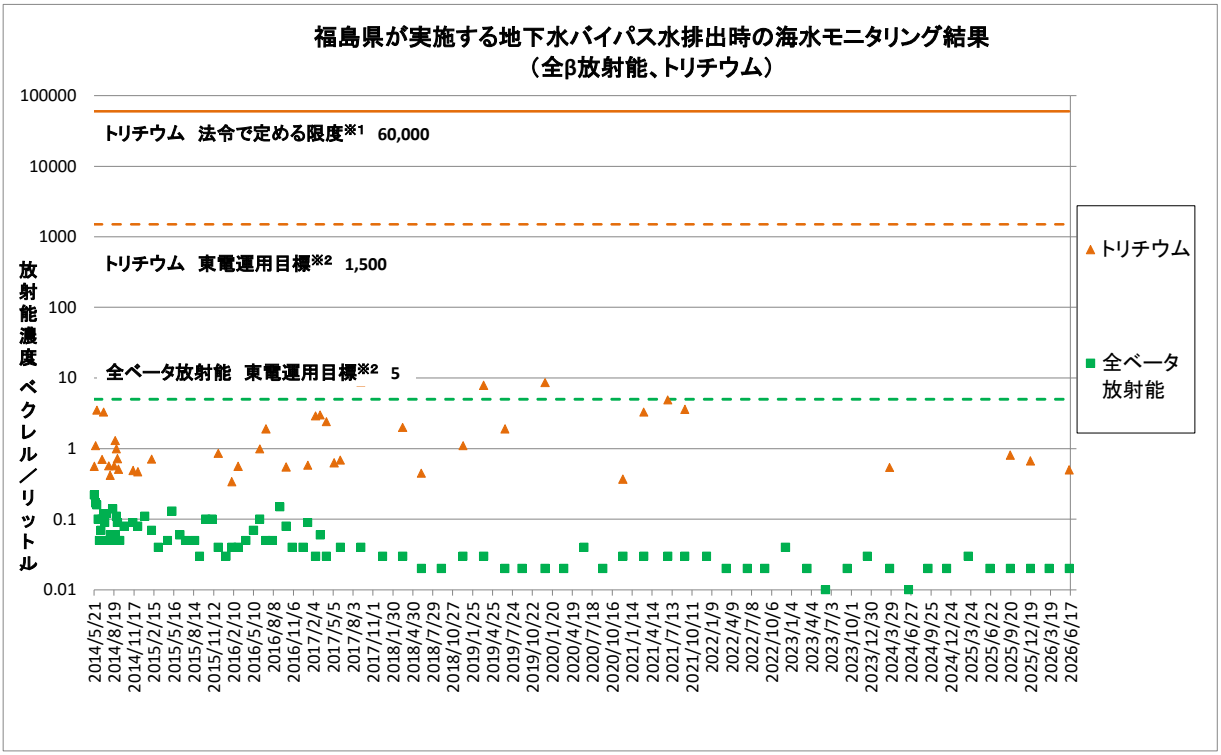
試料名	地点名	採取年月日	福島県による測定結果（Bq/L）			
			全β放射能※	セシウム-134	セシウム-137	トリチウム
（参考）県が平成25年度に実施した海域モニタリングにおける測定値の範囲	南放水口付近（T-2）（陸側から採取）	H25.10.3 H25.10.17 H25.10.21	0.18～0.48	0.52～0.80	1.2～1.8	検出下限値未満～0.69
	南放水口付近（T-2-1）（陸側から採取）	H25.6.27	—	0.31	0.59	0.91
	南放水口付近（F-P01）（船舶から採取）	H25.7.31～H26.3.10	0.02～0.64	検出下限値未満～0.35	検出下限値未満～0.71	検出下限値未満～2.4
（参考）県が測定した原発事故前の値	発電所周辺海域	平成13～22年度	検出下限値未満～0.05	検出下限値未満	検出下限値未満～0.003	検出下限値未満～2.9

※全β放射能の測定法については、文部科学省放射能測定法シリーズ１「全ベータ放射能測定法」に記載されている鉄バリウム共沈法により実施しています。

測定値と法令で定める限度及び東電運用目標との比較

注：検出下限値未満の場合はプロットされません。

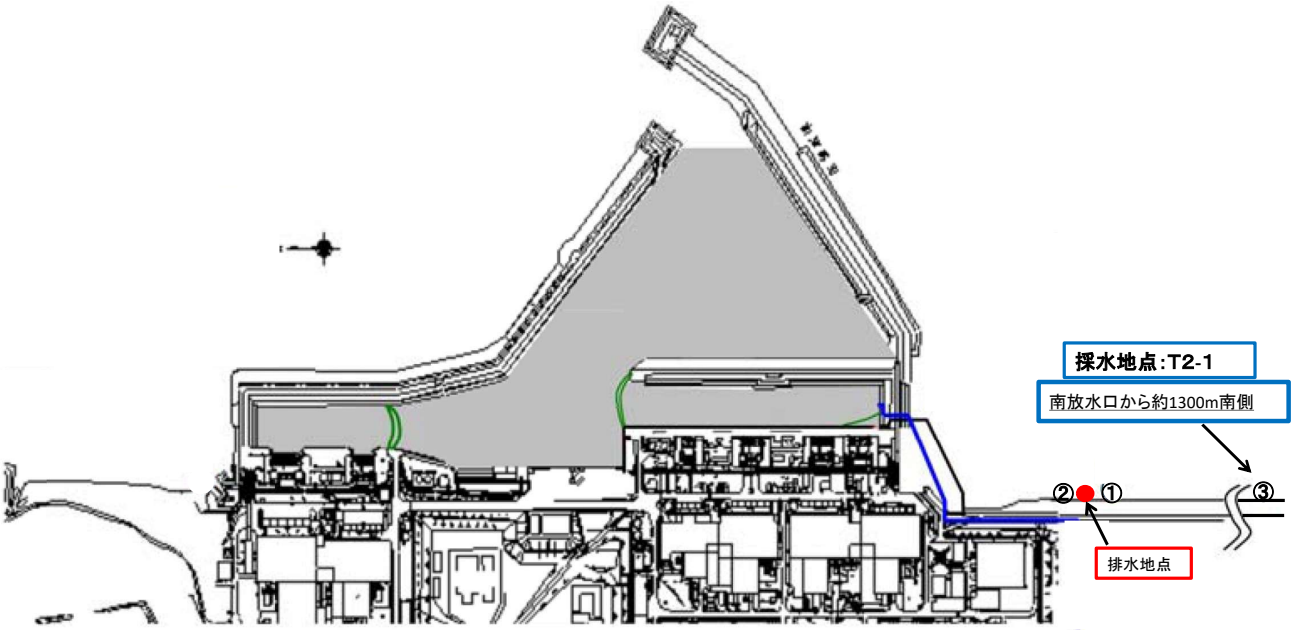




※1　東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める排水の告示濃度限度
※2　福島第一原子力発電所　地下水バイパス水一時貯留タンクの運用目標値
※3　平成26年9月13日排水時まで排出毎に調査実施。但し、平成26年7月21日及び8月5日の排出時の海水試料は採取できず。
　　平成26年9月13日以降は毎月1回、平成29年6月6日以降は四半期1回のモニタリングに変更しています。

別紙

採水地点及び排水地点（東京電力資料より）



採水地点①:平成29年1月採水分まで、平成30年3月採水分から令和3年9月採水分まで及び令和5月12月から令和6年3月までの採水地点（南放水口から約320m南側）
採水地点②:平成29年2月採水分から同年12月採水分までの採水地点（南放水口から約280m南側）
採水地点③:令和3年12月から令和5年9月採水分及び令和6年6月以降の採水地点（南放出口から約1300m南側）

令和８年７月１６日
福島県原子力防災課

福島第一原子力発電所におけるサブドレン・地下水ドレンの処理済み水の海域への排出に伴う海水モニタリングの結果について（６月調査分）

東京電力では、福島第一原子力発電所の汚染水の増加を防ぐため、原子炉建屋周辺の井戸（サブドレン）から地下水をくみ上げるとともに、地下水が海側遮水壁を越えて海へ流出するのを防ぐため、井戸（地下水ドレン）を設置して地下水をくみ上げています。サブドレン・地下水ドレンからくみ上げた地下水は、浄化設備による浄化処理を行ったあと海域へ排出しています。

県では、福島第一原子力発電所におけるサブドレン・地下水ドレンの処理済み水の海域への排出に際し、環境への影響を継続的に監視するため、海水モニタリングを定期的に実施しております。

【調査結果の概要】
福島第一原子力発電所港湾口付近の海域１地点における、サブドレン・地下水ドレンの処理済み水の海域への排出に伴う海水モニタリングの結果です。
採取した海水中の放射能濃度（単位：Bq/L）は、全ベータ放射能は0.02、セシウム-137は0.063、トリチウムは0.75、セシウム-134は検出下限値未満でした。
なお、今回の調査を含め調査開始以降、東京電力の運用目標値、排水に関する国の安全規制の基準及びＷＨＯの飲料水の基準を大幅に下回っています。

○６月調査分における海水の放射能濃度（単位：Bq/L）
排出時刻　１０時５７分～１６時５４分、排出量８８８m^3

採取日時	全ベータ放射能	セシウム-134	セシウム-137	トリチウム
6月11日 12:33	0.02 (0.01～0.10)	検出下限値未満 (<0.062) (検出下限値未満～0.10)	0.063 (検出下限値未満～0.44)	0.75 (検出下限値未満～2.3)

（ ）内は初回排出から前回調査分までの放射能濃度の範囲

	全ベータ放射能	セシウム-134	セシウム-137	トリチウム
東京電力の運用目標値	3	1	1	1,500
排水に関する国の安全規制の基準	30※	60	90	60,000
ＷＨＯの飲料水の基準	10※	10	10	10,000

※ 放射性ストロンチウム(Sr-90)についての値

速　報

福島第一原子力発電所におけるサブドレン・地下水ドレンの処理済み水の排出に伴う海水モニタリングの結果

〇今回の公表分は黄色網掛け部分です。

令和8年7月16日　福島県原子力防災課

試料名	地点名	採取年月日	福島県による測定結果（Bq/L）			
			全ベータ放射能※1	セシウム-134	セシウム-137	トリチウム
海水	港湾口付近※2（処理済み水排出中）	R8.6.11	0.02	検出下限値未満（<0.062）	0.063	0.75
		令和7年度	0.01～0.02	検出下限値未満	検出下限値未満	検出下限値未満～2.0
		令和6年度	0.01～0.02	検出下限値未満	検出下限値未満～0.089	検出下限値未満
		令和5年度	0.02～0.03	検出下限値未満	0.081～0.11	検出下限値未満
		令和4年度	0.01～0.07	検出下限値未満	0.083～0.14	検出下限値未満～0.80
	北放水口付近（T-1）（処理済み水排出中）	令和3年度	0.02～0.04	検出下限値未満	検出下限値未満～0.28	検出下限値未満～0.71
		令和2年度	0.02～0.04	検出下限値未満	検出下限値未満～0.15	検出下限値未満～1.3
		令和元年度	0.02～0.03	検出下限値未満	0.098～0.27	検出下限値未満～0.70
		平成30年度	0.02～0.04	検出下限値未満	検出下限値未満～0.22	検出下限値未満～0.55
		平成29年度	0.02～0.04	検出下限値未満～0.068	検出下限値未満～0.36	検出下限値未満～1.5
		平成28年度	0.04～0.10	検出下限値未満～0.068	0.064～0.44	検出下限値未満～2.3
		平成27年度（平成27年9月14日以降）	0.03～0.09	検出下限値未満～0.10	0.14～0.41	検出下限値未満～1.7

〇東京電力ホールディングス(株)の測定結果については次のホームページで確認できます。

http://www.tepco.co.jp/decommision/planaction/monitoring/index-j.html

平成27年9月14日（初回排出日）以前のモニタリング結果

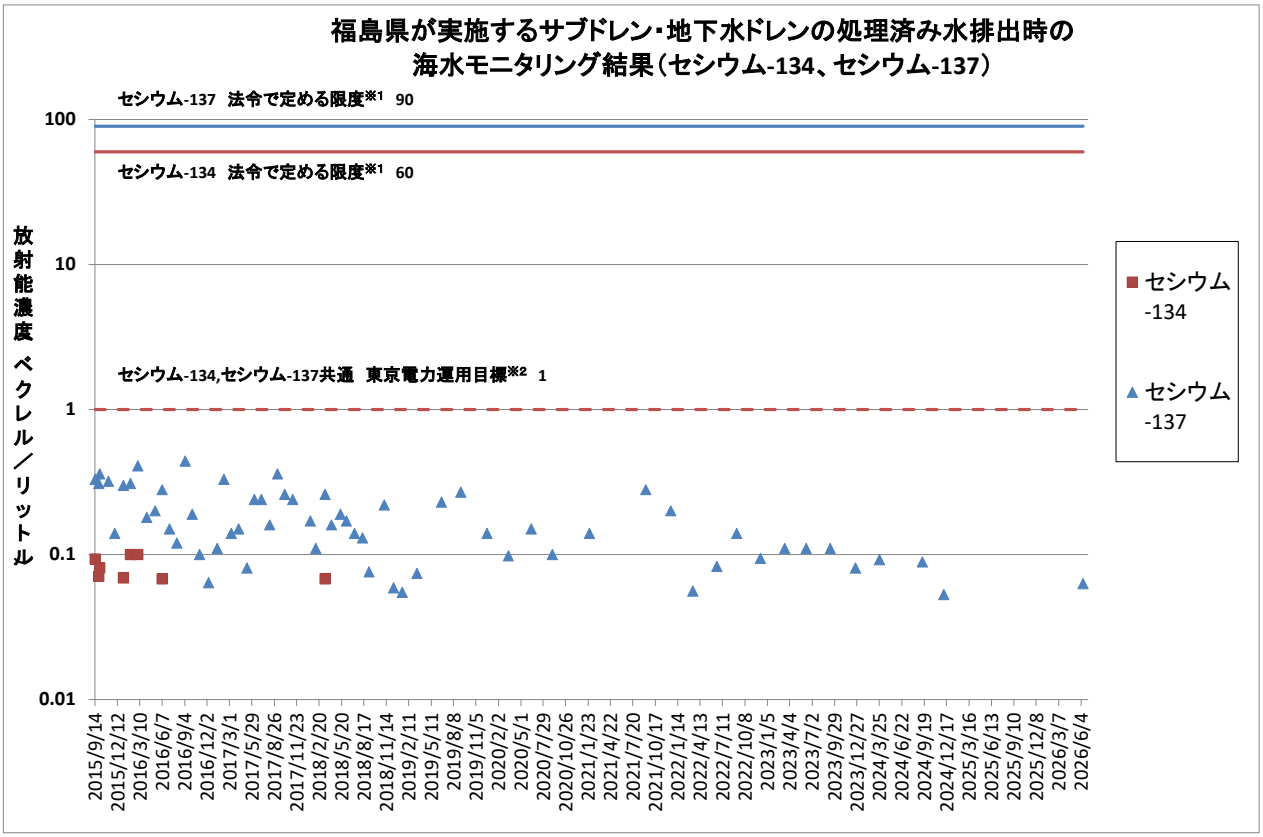
試料名	地点名	採取年月日	福島県による測定結果（Bq/L）			
			全ベータ放射能※1	セシウム-134	セシウム-137	トリチウム
（参考）県が平成25～26年度に実施した海域モニタリングにおける測定値の範囲	北放水口付近（T-1）（陸側から採取）	H25.6.27、H25.9.27 H26.4.4、H27.2.25	0.10～0.49	0.26～2.4	0.84～5.0	0.61～1.1
	北放水口付近（F-P02）（船舶から採取）	H25.7.31～H27.3.3	0.03～0.51	検出下限値未満～0.24	検出下限値未満～0.56	検出下限値未満～2.5
（参考）県が測定した原発事故前の値	発電所周辺海域	平成13～22年度	検出下限値未満～0.05	検出下限値未満	検出下限値未満～0.003	検出下限値未満～2.9

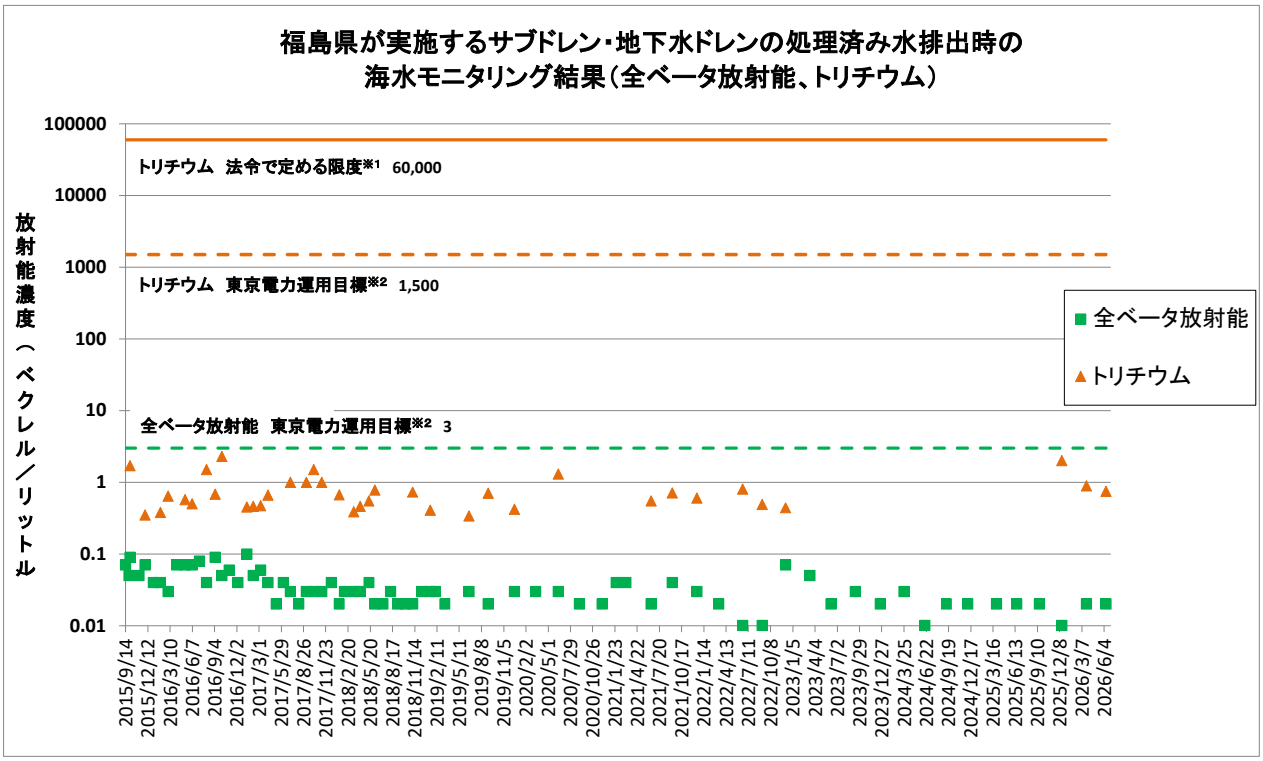
※1 全ベータ放射能の測定法については、文部科学省放射能測定法シリーズ１「全ベータ放射能測定法」に記載されている鉄バリウム共沈法により実施しています。

※2 ALPS処理水海洋放出に係る取水設備（仕切堤）の設置に伴い、令和５年３月採取分より「5,6号機放水口北側」から「港湾口付近」へ地点を変更しています。

測定値と法令で定める限度及び東電運用目標との比較

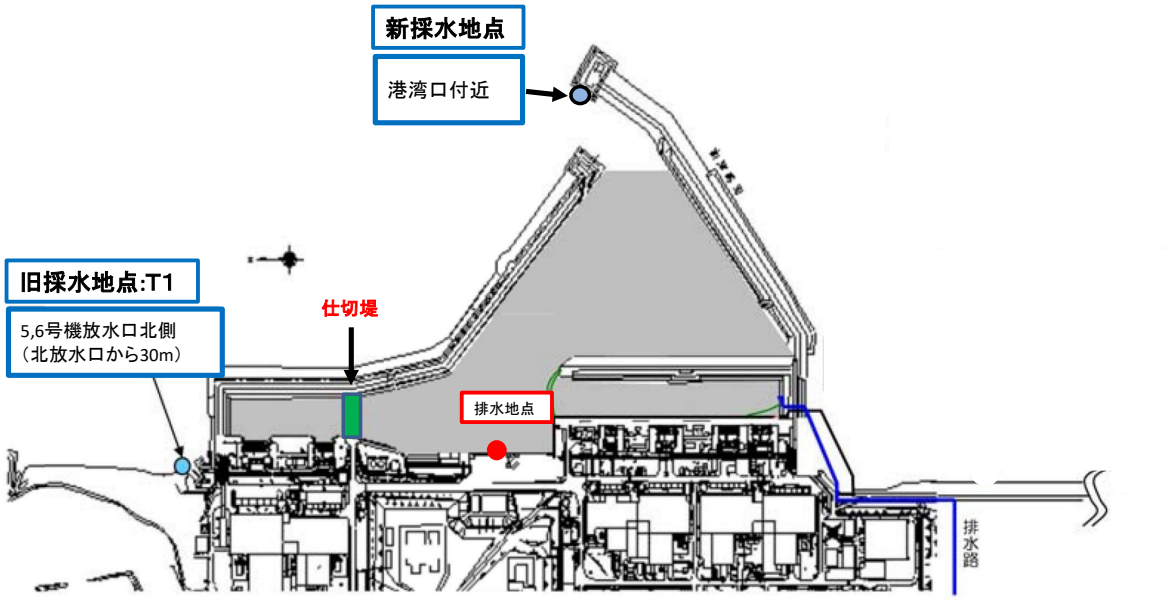
注：検出限界値未満の場合はプロットされません。





※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める排水の告示濃度限度
※2 福島第一原子力発電所 サブドレン・地下水ドレン浄化水一時貯留タンクの運用目標値
※3 ALPS処理水海洋放出に係る取水設備（仕切堤）の設置に伴い、令和5年3月採取分より「5,6号機放水口北側」から 「港湾口付近」へ地点を変更

採水地点及び排水地点（東京電力資料より）



ALPS処理水海洋放出に係る取水設備（仕切堤）の設置に伴い、令和5年3月採取分より「5,6号機放水口北側」から「港湾口付近」へ地点変更

グ ラ フ 集

各地点の空間線量率等の変動グラフ

令和8年4月～令和8年6月

福島県

目次

空間線量率

1 いわき市小川（1m）・・・・・ 80
2 いわき市久之浜（1m）・・・・ 80
3 いわき市下桶売（1m）・・・・ 81
4 いわき市川前（1m）・・・・・ 81
5 田村市都路馬洗戸（1m）・・・ 82
6 広野町二ツ沼（3m）・・・・・ 82
7 広野町小滝平（1m）・・・・・ 83
8 楢葉町山田岡（1m）・・・・・ 83
9 楢葉町木戸ダム（1m）・・・・ 84
10 楢葉町繁岡（3m）・・・・・・ 84
11 楢葉町松館（3m）・・・・・・ 85
12 楢葉町波倉（3m）・・・・・・ 85
13 富岡町上郡山（3m）・・・・・ 86
14 富岡町下郡山（3m）・・・・・ 86
15 富岡町深谷（1m）・・・・・・ 87
16 富岡町富岡（3m）・・・・・・ 87
17 富岡町夜の森（3m）・・・・・ 88
18 川内村下川内（1m）・・・・・ 88
19 大熊町向畑（3m）・・・・・・ 89
20 大熊町熊川（1m）・・・・・・ 89
21 大熊町南台（3m）・・・・・・ 90
22 大熊町大野（1m）・・・・・・ 90
23 大熊町夫沢（3m）・・・・・・ 91
24 双葉町山田（3m）・・・・・・ 91
25 双葉町郡山（3m）・・・・・・ 92
26 双葉町新山（3m）・・・・・・ 92
27 双葉町上羽鳥（3m）・・・・・ 93
28 浪江町請戸（1m）・・・・・・ 93
29 浪江町棚塩（1m）・・・・・・ 94
30 浪江町浪江（3m）・・・・・・ 94
31 浪江町幾世橋（3m）・・・・・ 95
32 浪江町大柿ダム（1m）・・・・ 95
33 浪江町南津島（1m）・・・・・ 96
34 葛尾村夏湯（1m）・・・・・・ 96
35 南相馬市泉沢（1m）・・・・・ 97
36 南相馬市横川ダム（1m）・・・ 97
37 南相馬市萱浜（1m）・・・・・ 98
38 飯舘村伊丹沢（1m）・・・・・ 98
39 川俣町山木屋（1m）・・・・・ 99

空間線量率（比較対照）

1 福島市杉妻（1m）・・・・・・・100
2 郡山市日和田（1m）・・・・・・100
3 いわき市平（1m）・・・・・・・101

大気浮遊じん(6時間放置後測定)

推移

1 いわき市小川・・・・・・・・・102
2 田村市都路馬洗戸・・・・・・・102
3 広野町小滝平・・・・・・・・・103
4 楢葉町木戸ダム・・・・・・・・103
5 楢葉町繁岡・・・・・・・・・・104
6 富岡町富岡・・・・・・・・・・104
7 川内村下川内・・・・・・・・・105
8 大熊町大野・・・・・・・・・・105
9 大熊町夫沢・・・・・・・・・・106
10 双葉町郡山・・・・・・・・・・106
11 浪江町幾世橋・・・・・・・・・107
12 浪江町大柿ダム・・・・・・・・107
13 葛尾村夏湯・・・・・・・・・・108
14 南相馬市泉沢・・・・・・・・・108
15 南相馬市萱浜・・・・・・・・・109
16 飯舘村伊丹沢・・・・・・・・・109
17 川俣町山木屋・・・・・・・・・110

相関図

1 いわき市小川・・・・・・・・・111
2 田村市都路馬洗戸・・・・・・・111
3 広野町小滝平・・・・・・・・・112
4 楢葉町木戸ダム・・・・・・・・112
5 楢葉町繁岡・・・・・・・・・・113
6 富岡町富岡・・・・・・・・・・113
7 川内村下川内・・・・・・・・・114
8 大熊町大野・・・・・・・・・・114
9 大熊町夫沢・・・・・・・・・・115
10 双葉町郡山・・・・・・・・・・115
11 浪江町幾世橋・・・・・・・・・116
12 浪江町大柿ダム・・・・・・・・116
13 葛尾村夏湯・・・・・・・・・・117
14 南相馬市泉沢・・・・・・・・・117
15 南相馬市萱浜・・・・・・・・・118
16 飯舘村伊丹沢・・・・・・・・・118
17 川俣町山木屋・・・・・・・・・119

※　図中の「事故前の最大値」は、平成２３年３月１０日までに観測された最大値

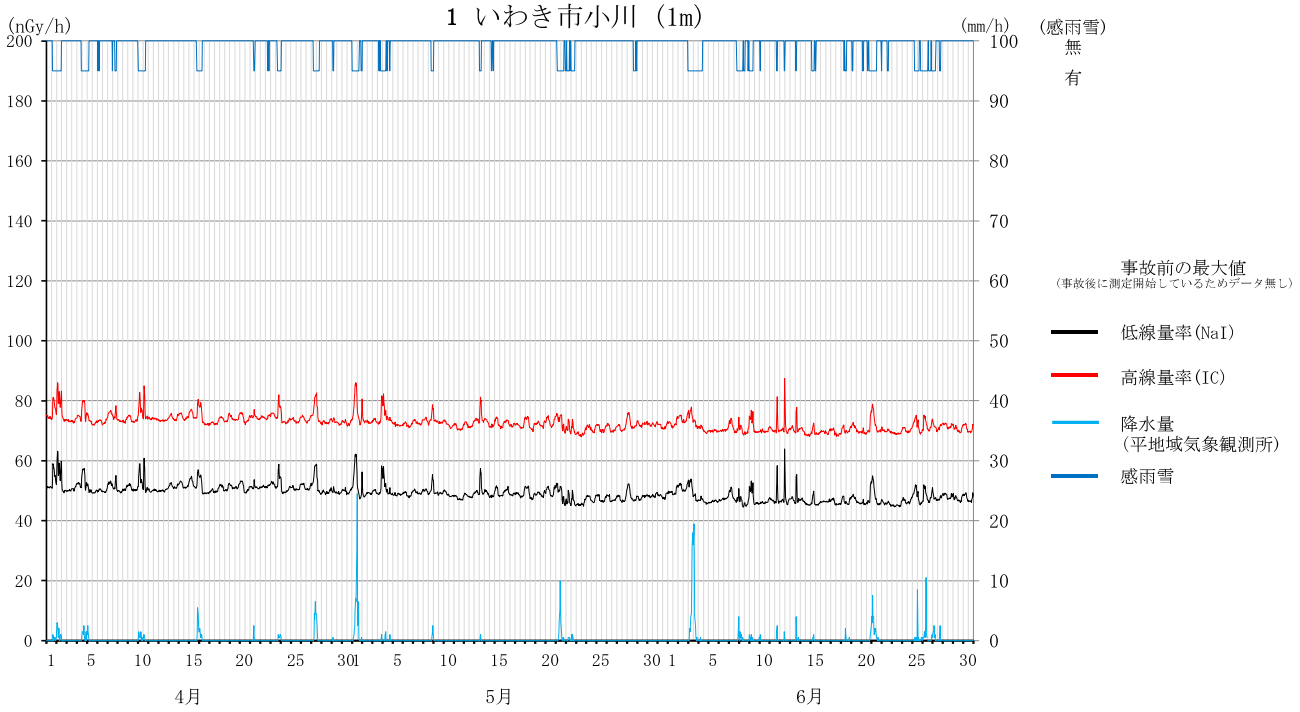
目次

大気浮遊じん(集じん中測定)
推移
1 いわき市小川・・・・・・・・・120
2 田村市都路馬洗戸・・・・・・・120
3 広野町小滝平・・・・・・・・・121
4 楢葉町木戸ダム・・・・・・・・121
5 楢葉町繁岡・・・・・・・・・・122
6 富岡町富岡・・・・・・・・・・122
7 川内村下川内・・・・・・・・・123
8 大熊町大野・・・・・・・・・・123
9 大熊町夫沢・・・・・・・・・・124
10 双葉町郡山・・・・・・・・・・124
11 浪江町幾世橋・・・・・・・・・125
12 浪江町大柿ダム・・・・・・・・125
13 葛尾村夏湯・・・・・・・・・・126
14 南相馬市泉沢・・・・・・・・・126
15 南相馬市萱浜・・・・・・・・・127
16 飯舘村伊丹沢・・・・・・・・・127
17 川俣町山木屋・・・・・・・・・128
18 いわき市久之浜・・・・・・・・128
19 いわき市下桶売・・・・・・・・129
20 いわき市川前・・・・・・・・・129
21 大熊町向畑・・・・・・・・・・130
22 双葉町山田・・・・・・・・・・130
23 双葉町新山・・・・・・・・・・131
24 双葉町上羽鳥・・・・・・・・・131
25 浪江町南津島・・・・・・・・・132
26 南相馬市横川ダム・・・・・・・132

福島県環境放射線センター

空間線量率の変動グラフ

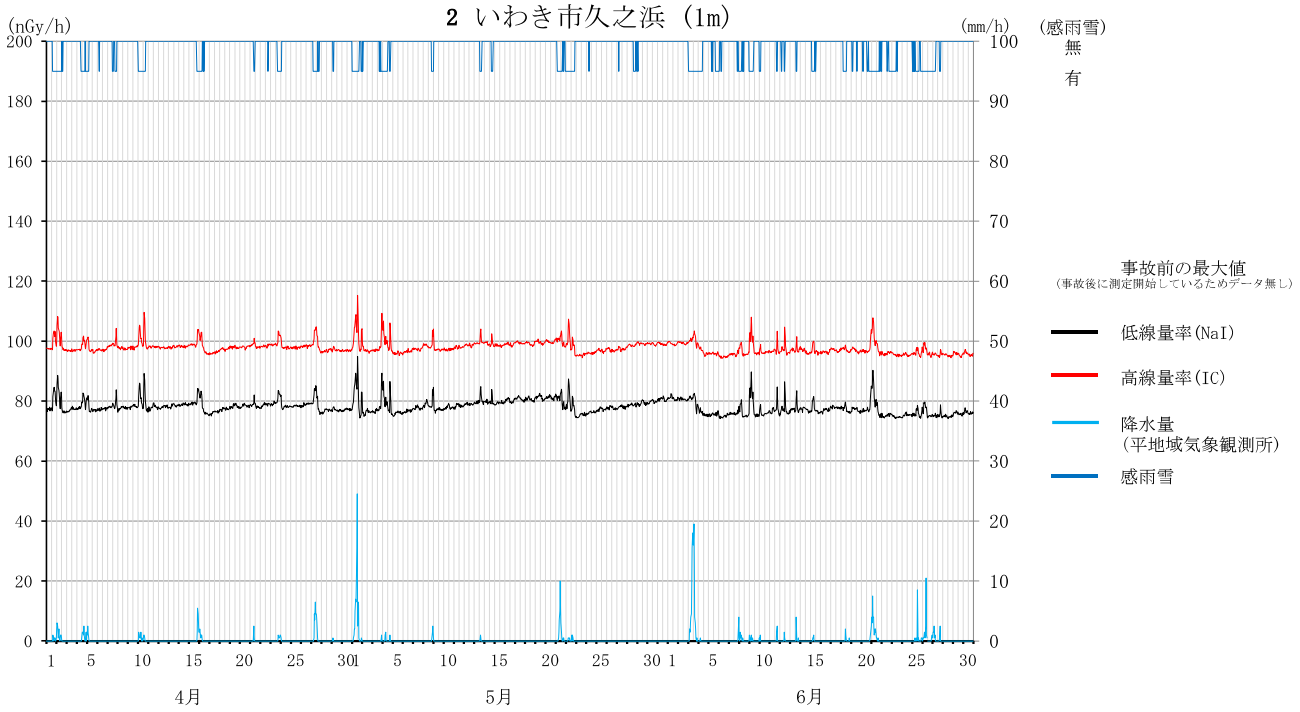
1 いわき市小川（1m）



福島県環境放射線センター

空間線量率の変動グラフ

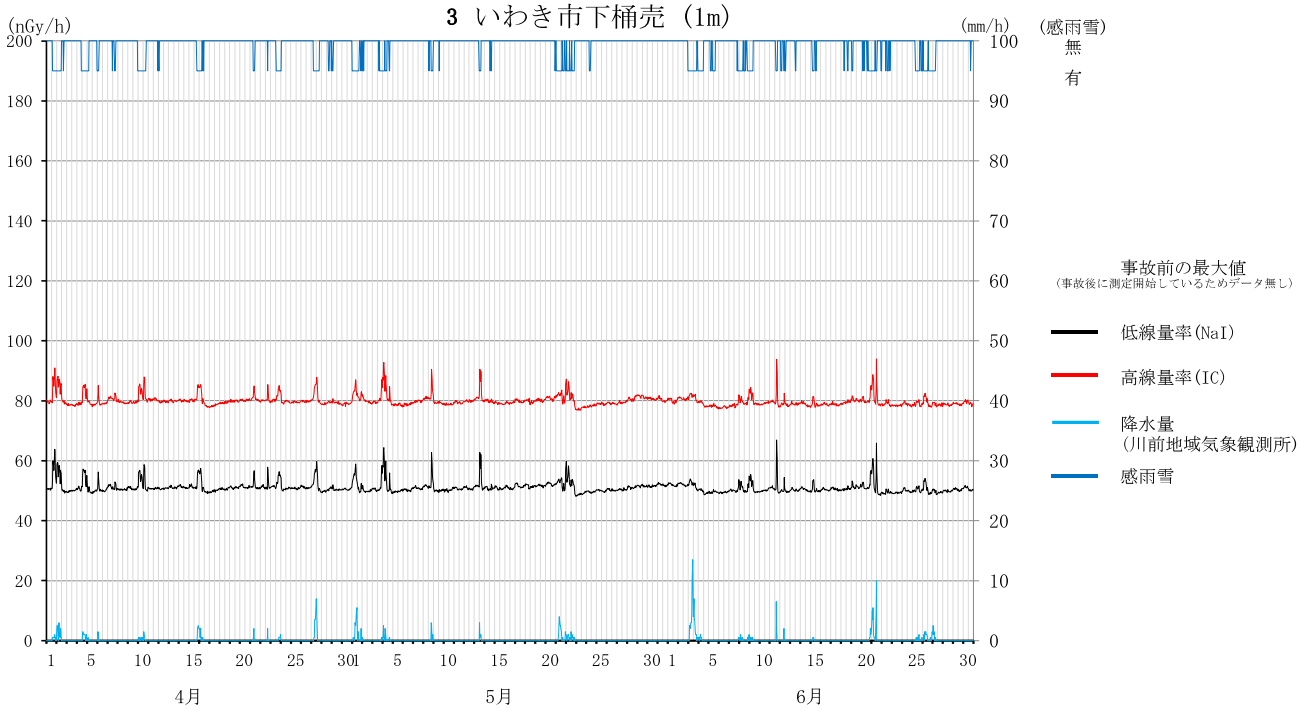
2 いわき市久之浜（1m）



福島県環境放射線センター

空間線量率の変動グラフ

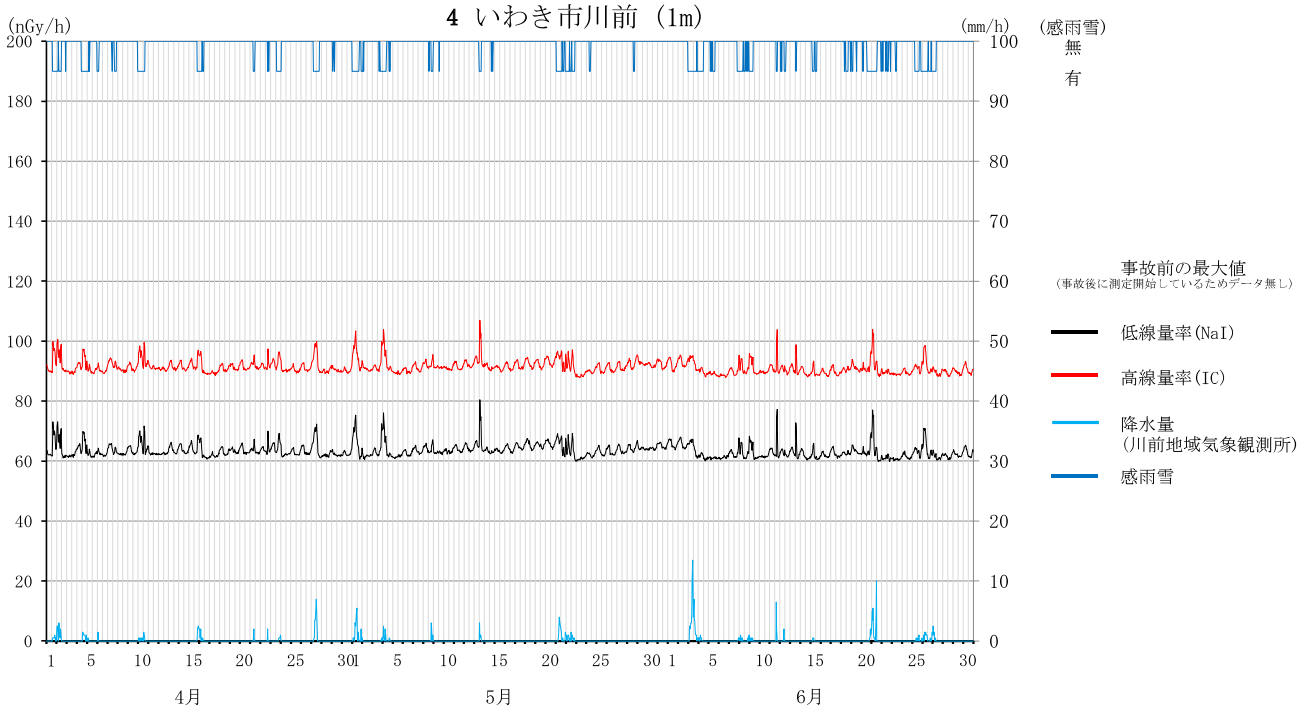
3 いわき市下桶売（1m）



福島県環境放射線センター

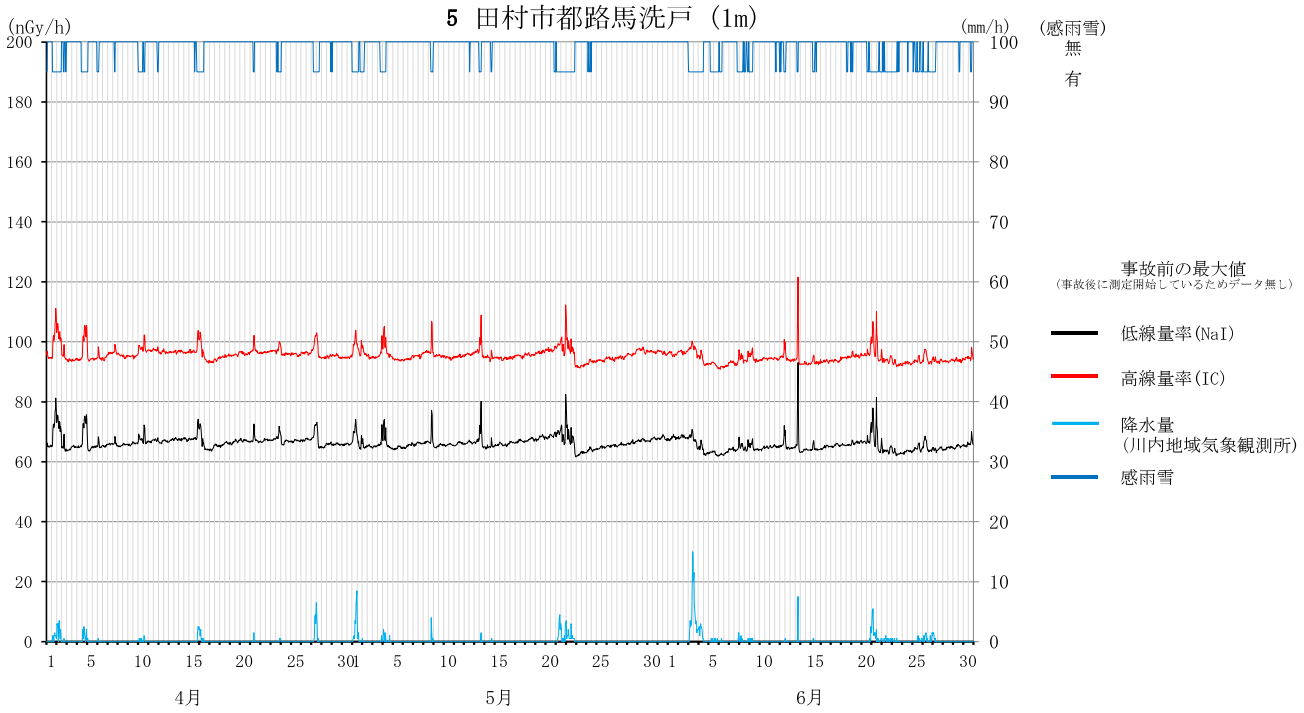
空間線量率の変動グラフ

4 いわき市川前（1m）



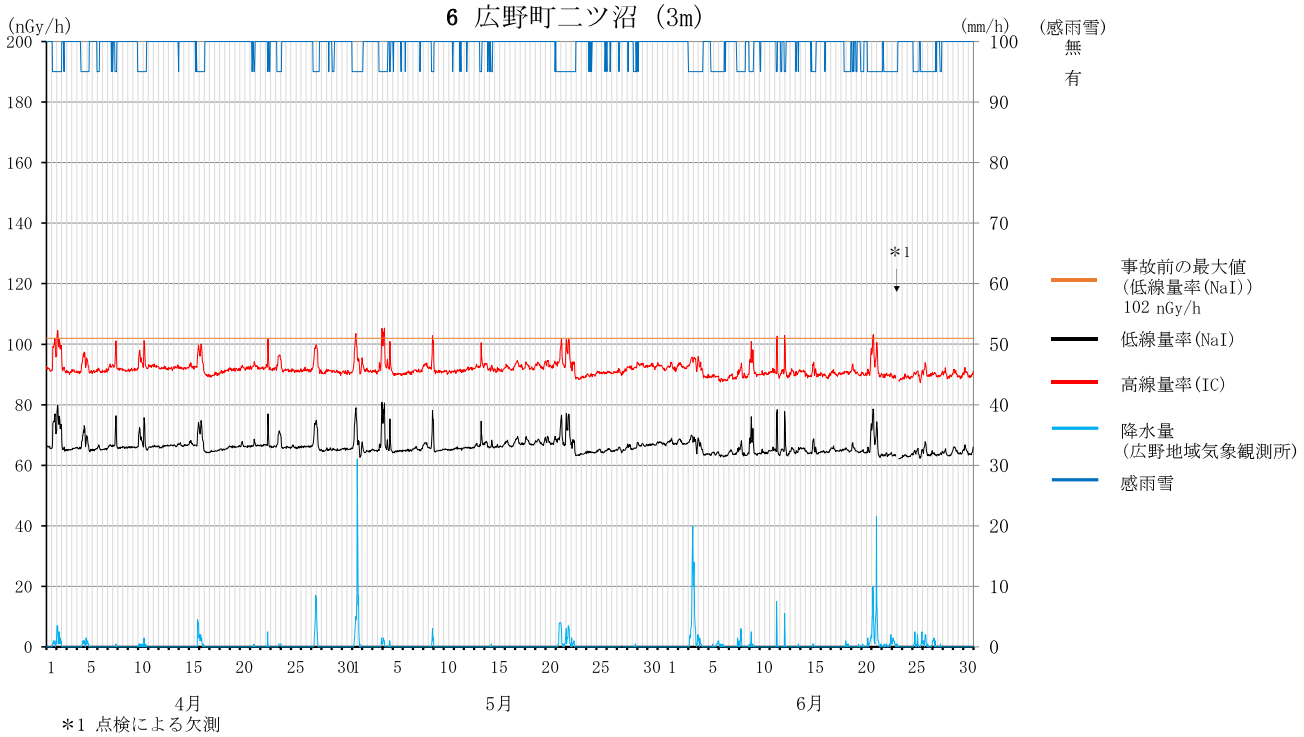
福島県環境放射線センター

空間線量率の変動グラフ
5 田村市都路馬洗戸（1m）



福島県環境放射線センター

空間線量率の変動グラフ
6 広野町二ツ沼（3m）

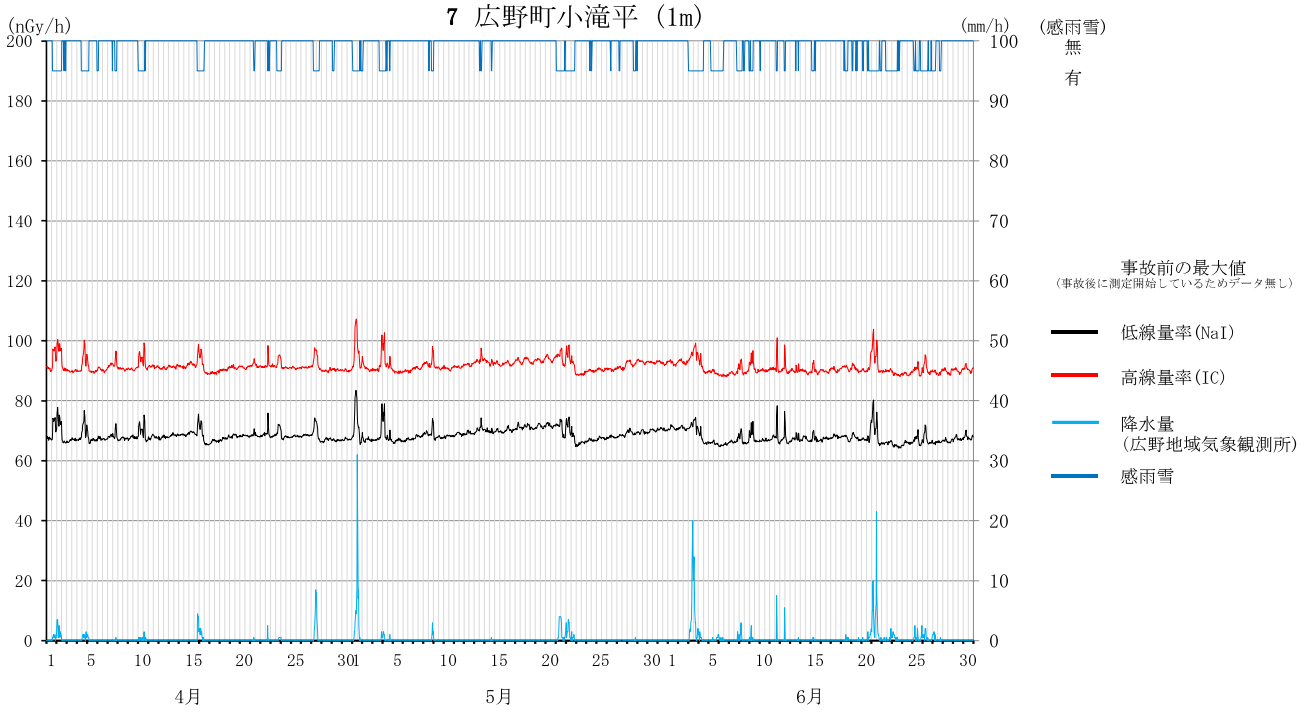


＊1 点検による欠測

福島県環境放射線センター

空間線量率の変動グラフ

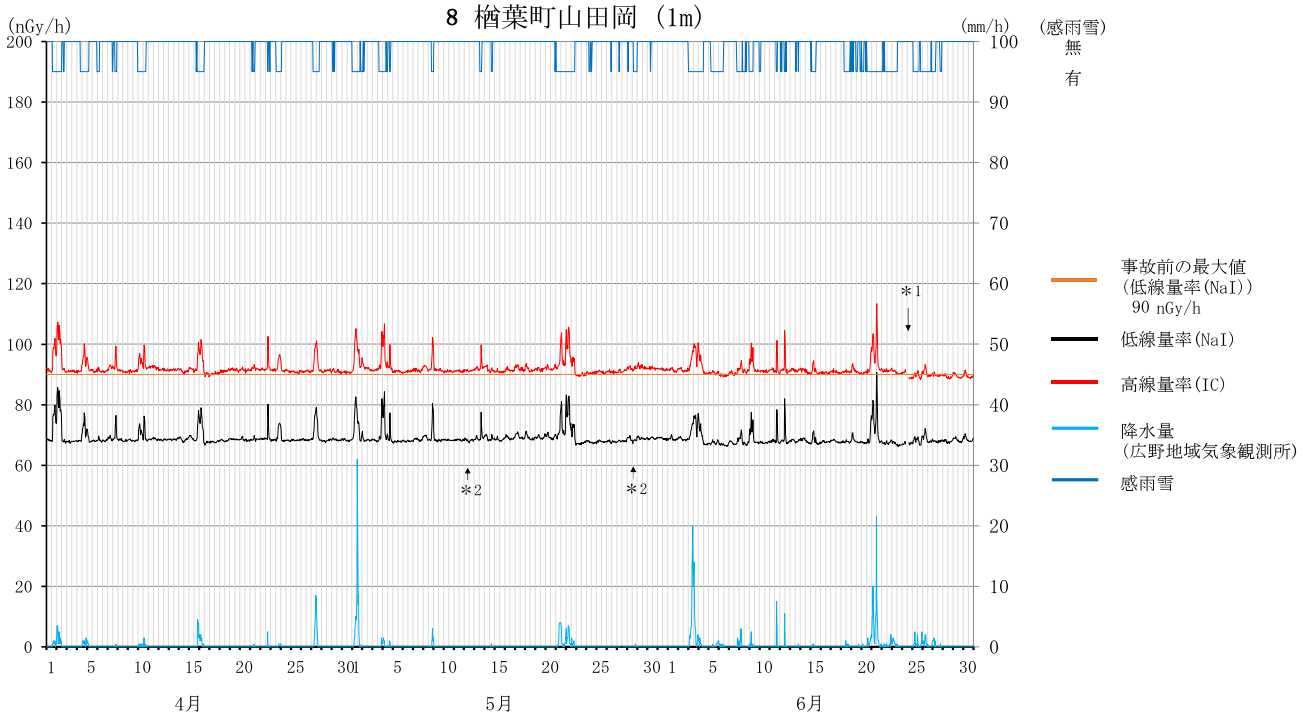
7 広野町小滝平（1m）



福島県環境放射線センター

空間線量率の変動グラフ

8 楢葉町山田岡（1m）



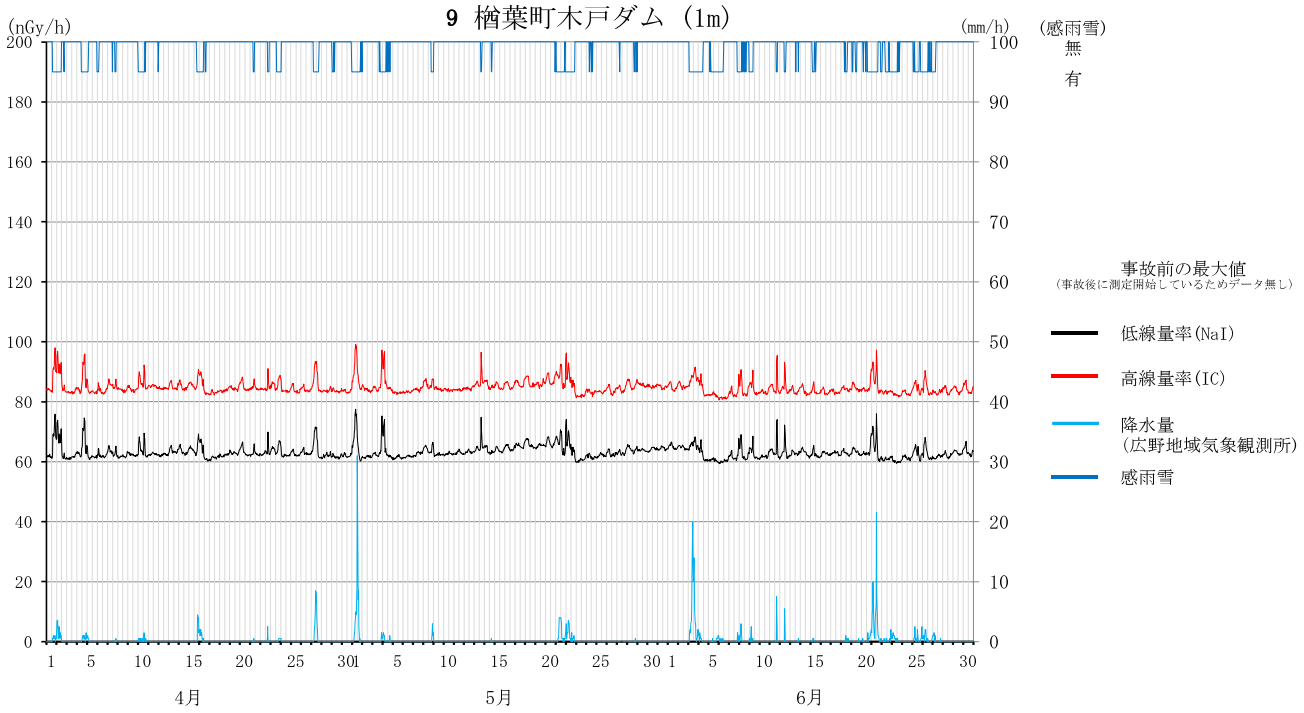
＊1 点検による欠測

＊2 局舎周辺停車車両による遮へい

福島県環境放射線センター

空間線量率の変動グラフ

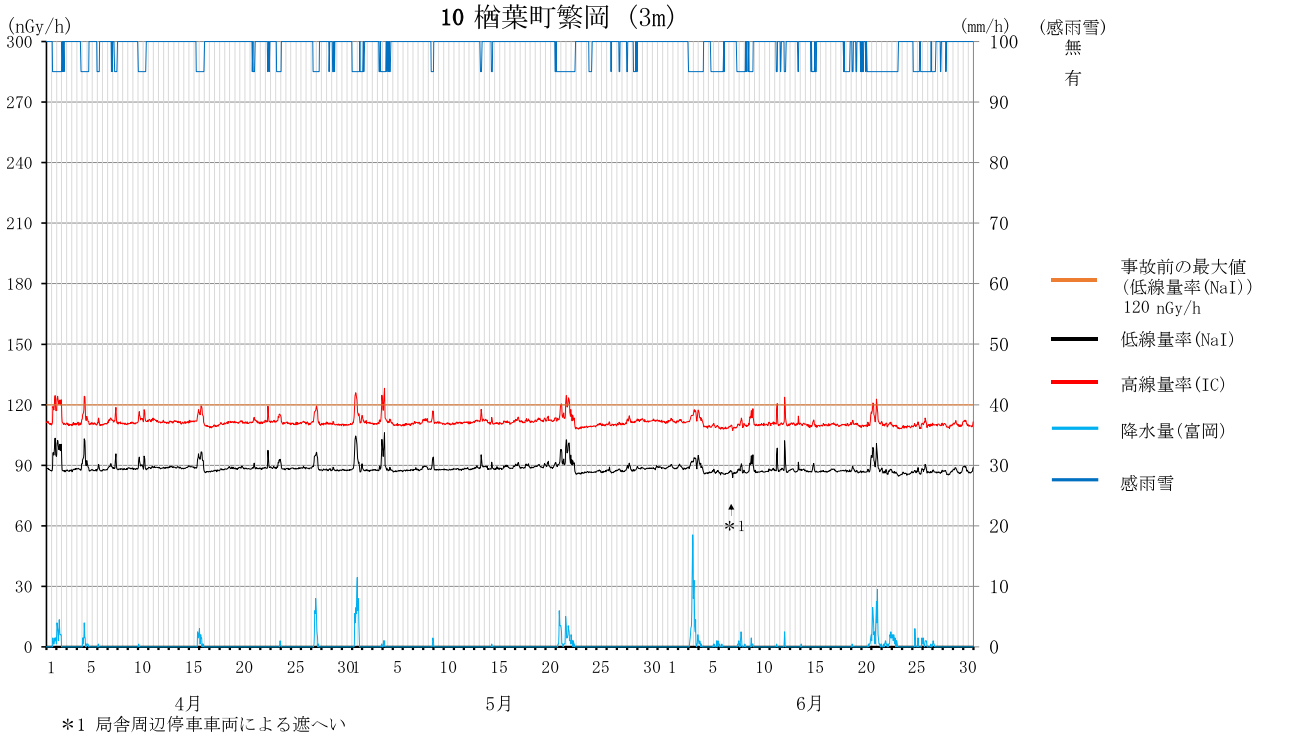
9 楢葉町木戸ダム（1m）



福島県環境放射線センター

空間線量率の変動グラフ

10 楢葉町繁岡（3m）

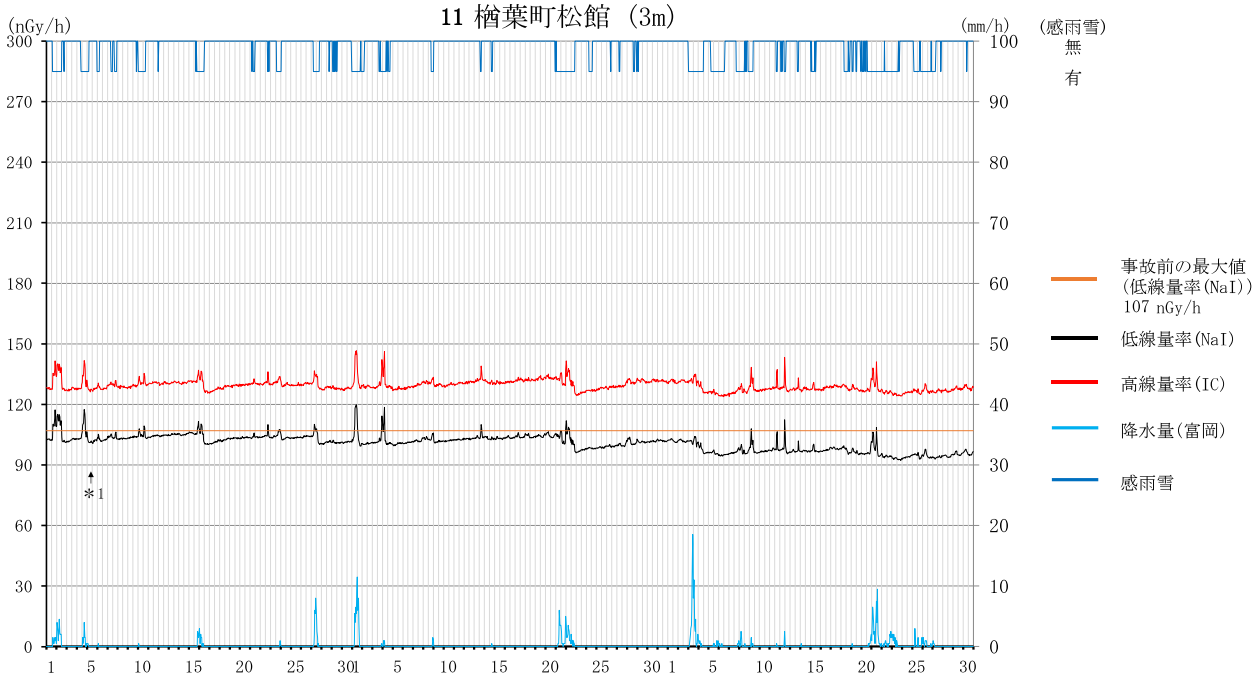


＊1 局舎周辺停車車両による遮へい

福島県環境放射線センター

空間線量率の変動グラフ

11 楢葉町松館（3m）

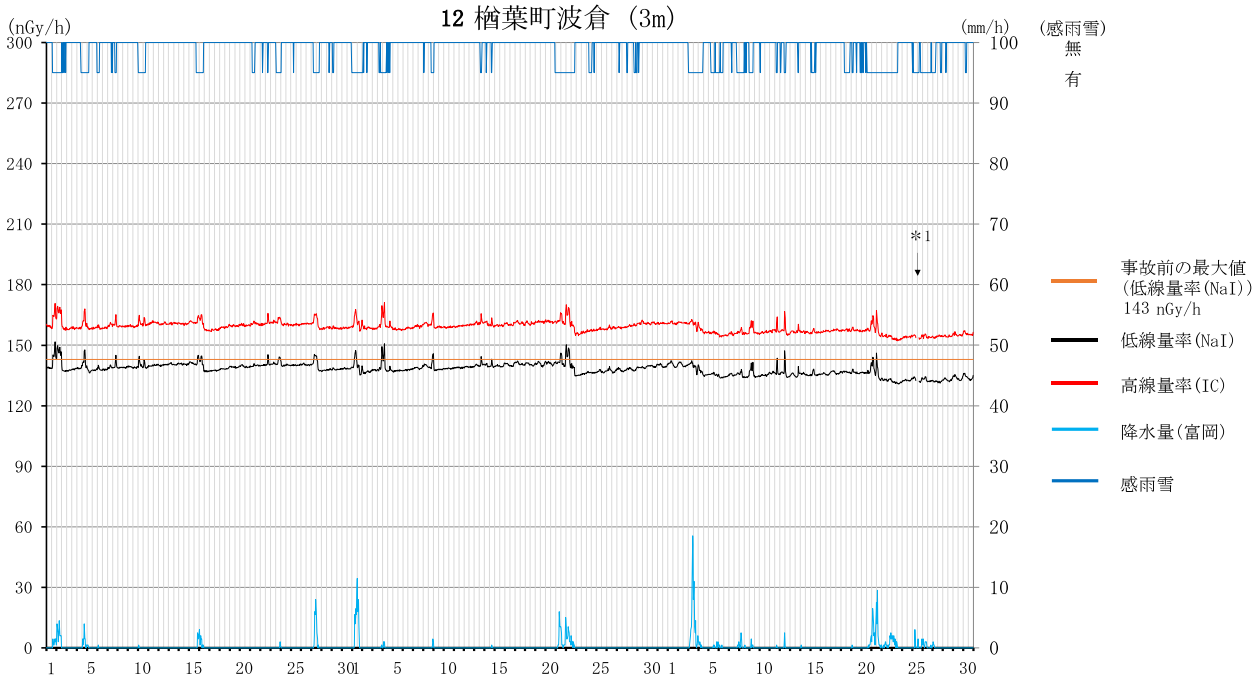


＊1 局舎周辺停車車両による遮へい

福島県環境放射線センター

空間線量率の変動グラフ

12 楢葉町波倉（3m）

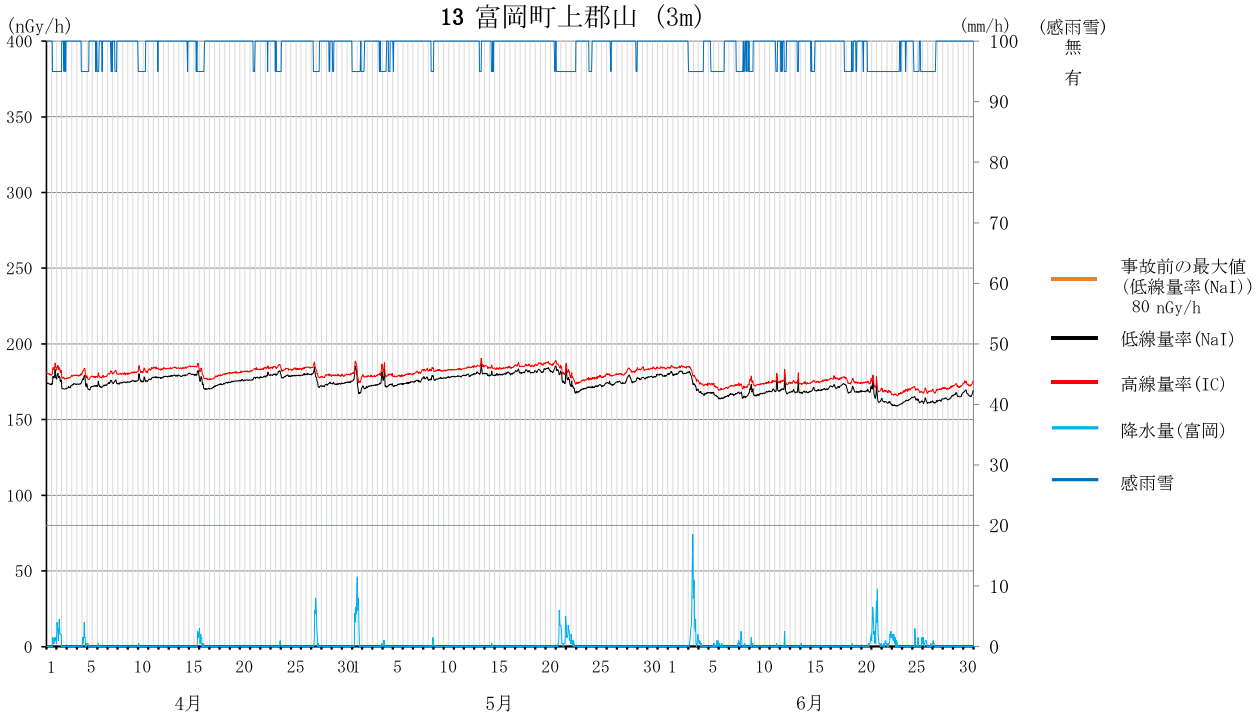


＊1 点検による欠測

福島県環境放射線センター

空間線量率の変動グラフ

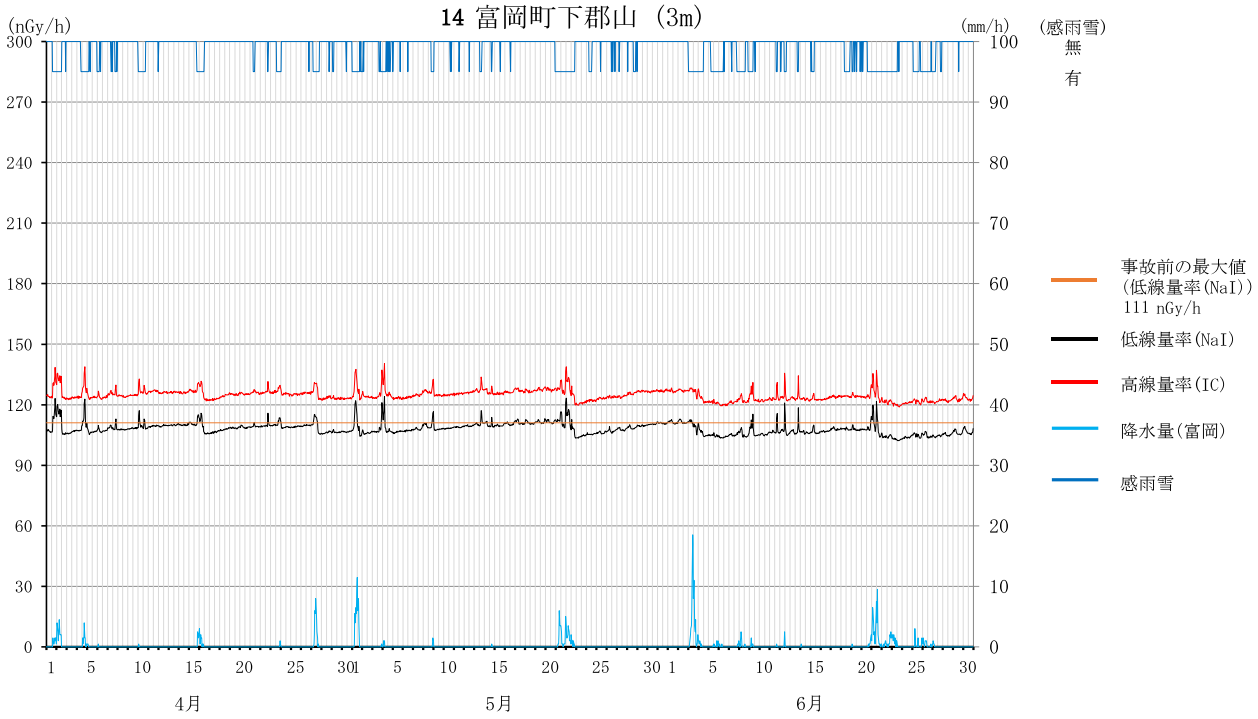
13 富岡町上郡山 (3m)



福島県環境放射線センター

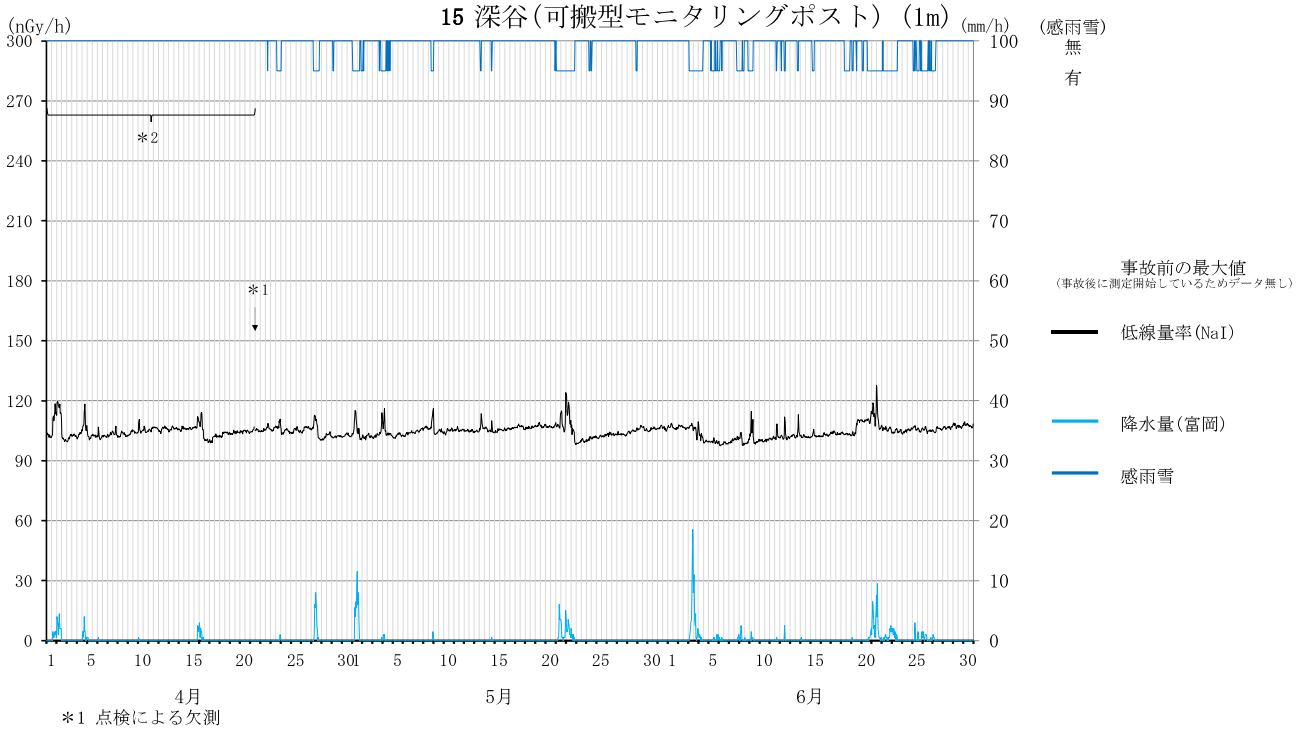
空間線量率の変動グラフ

14 富岡町下郡山 (3m)



福島県環境放射線センター

空間線量率の変動グラフ
15 深谷（可搬型モニタリングポスト）（1m）

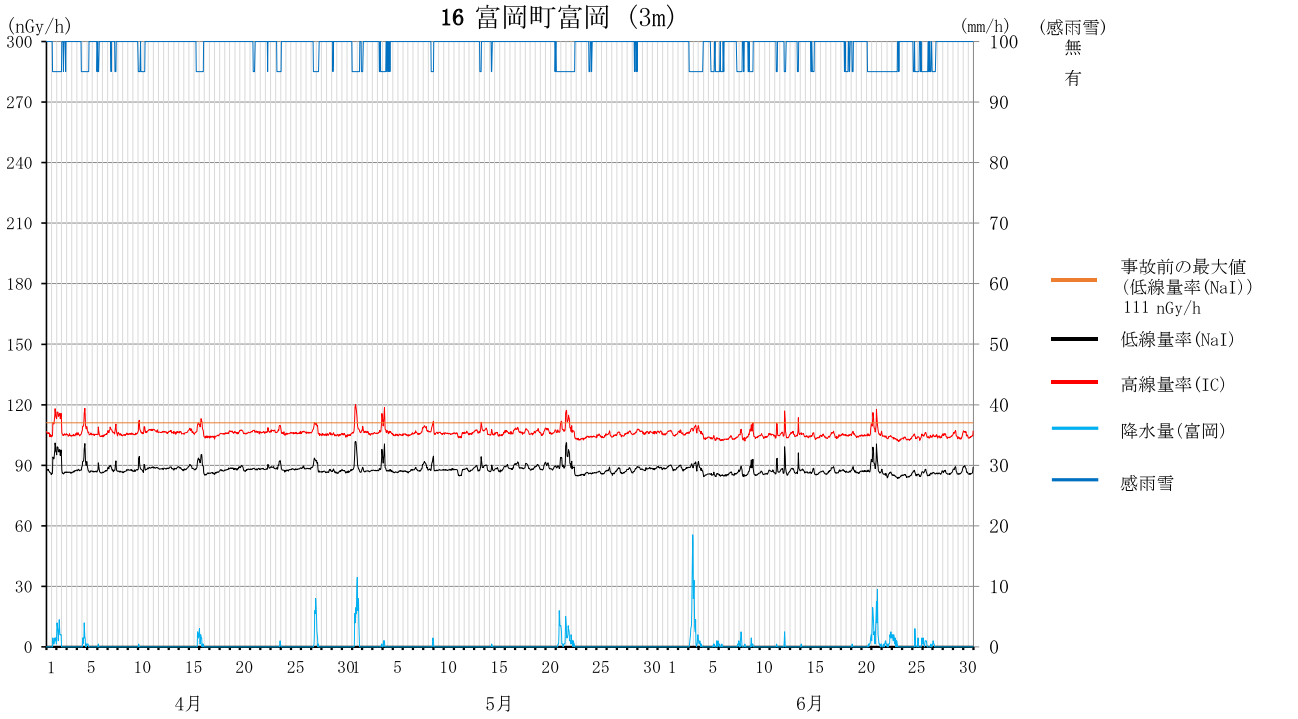


＊1 点検による欠測
＊2 通信改修業務による感雨雪欠測

可搬型モニタリングポストには温度制御装置が装備されていないため、線量率が気温の変動による影響を受けて日周期で変動する。

福島県環境放射線センター

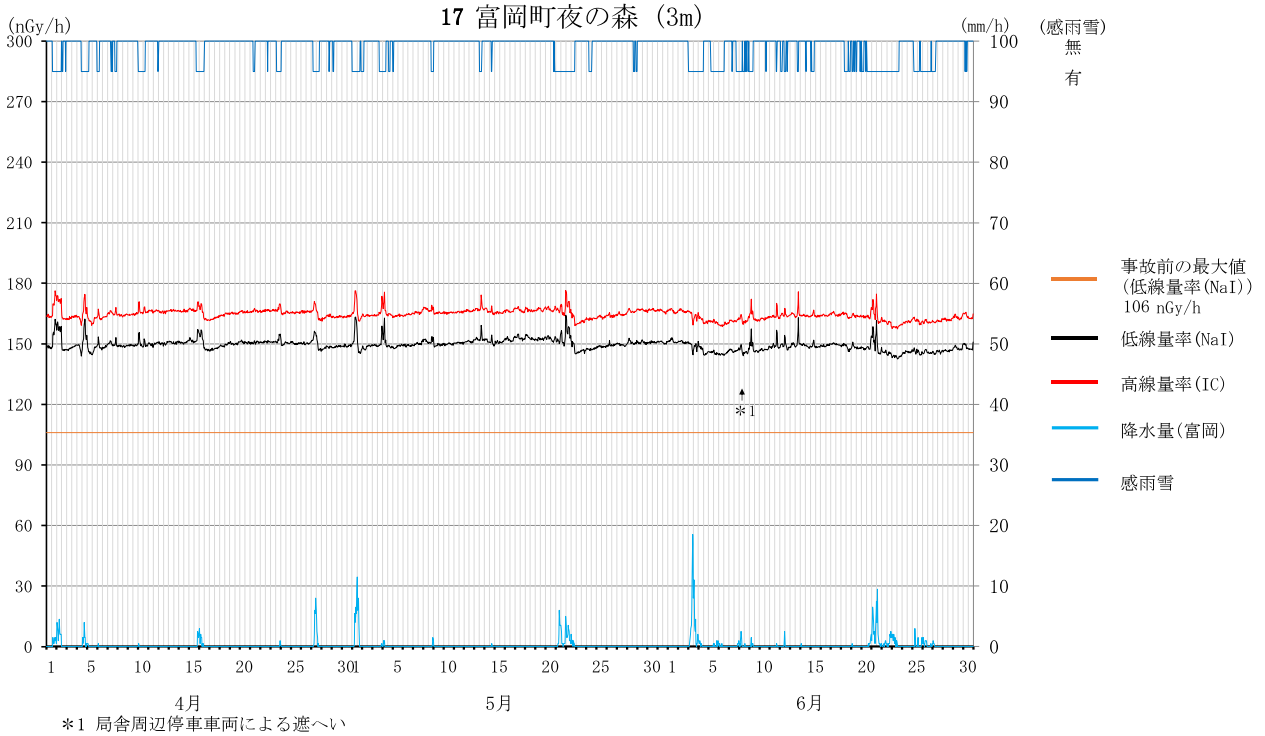
空間線量率の変動グラフ
16 富岡町富岡（3m）



福島県環境放射線センター

空間線量率の変動グラフ

17 富岡町夜の森（3m）

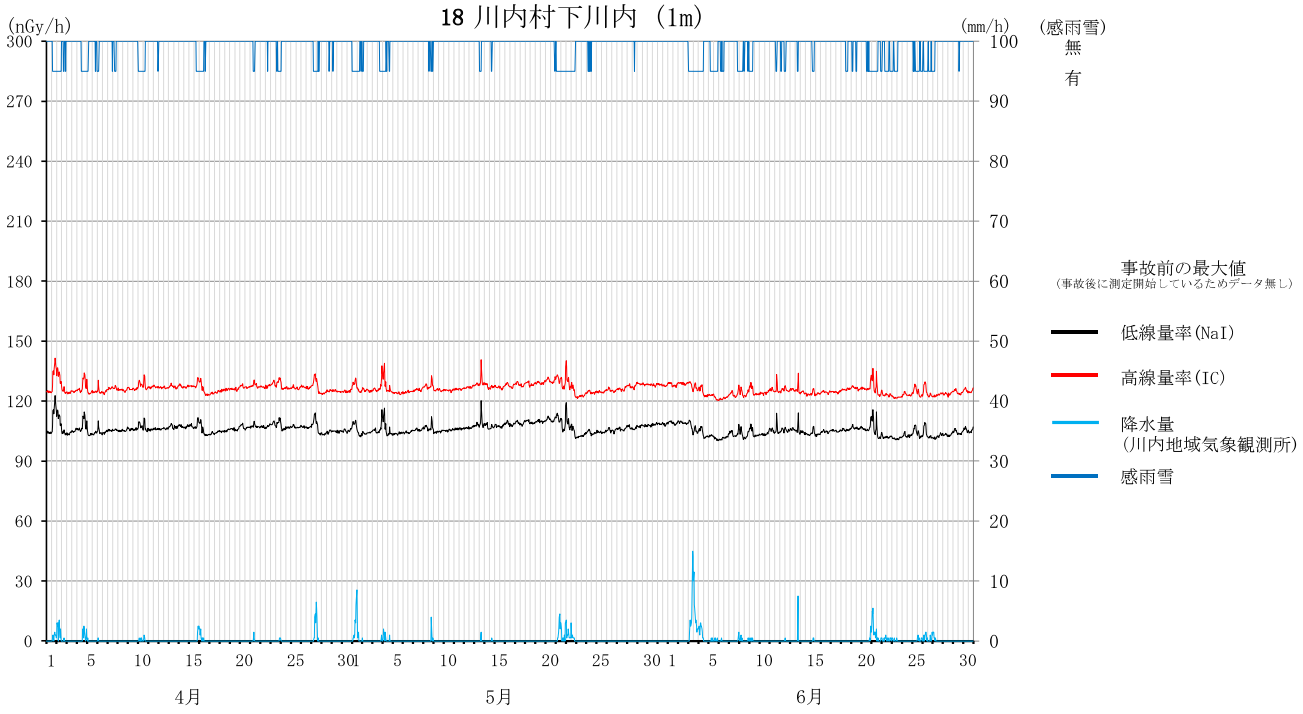


＊1 局舎周辺停車車両による遮へい

福島県環境放射線センター

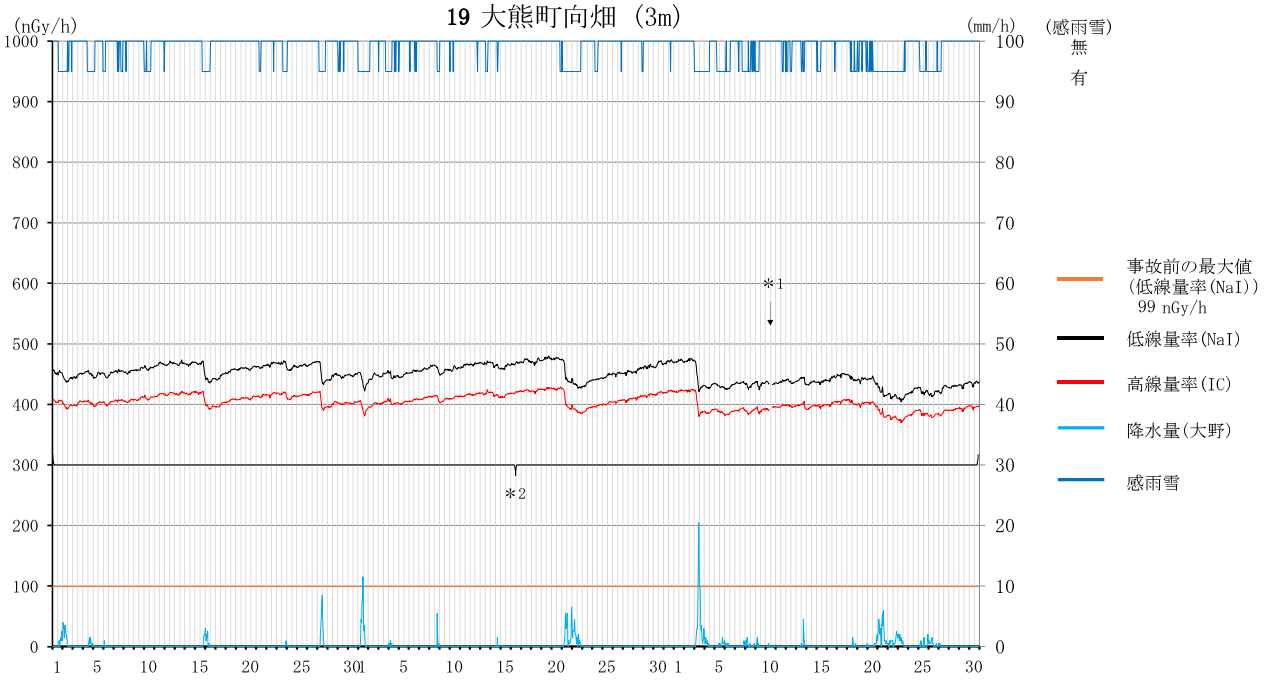
空間線量率の変動グラフ

18 川内村下川内（1m）



福島県環境放射線センター

空間線量率の変動グラフ
19 大熊町向畑（3m）

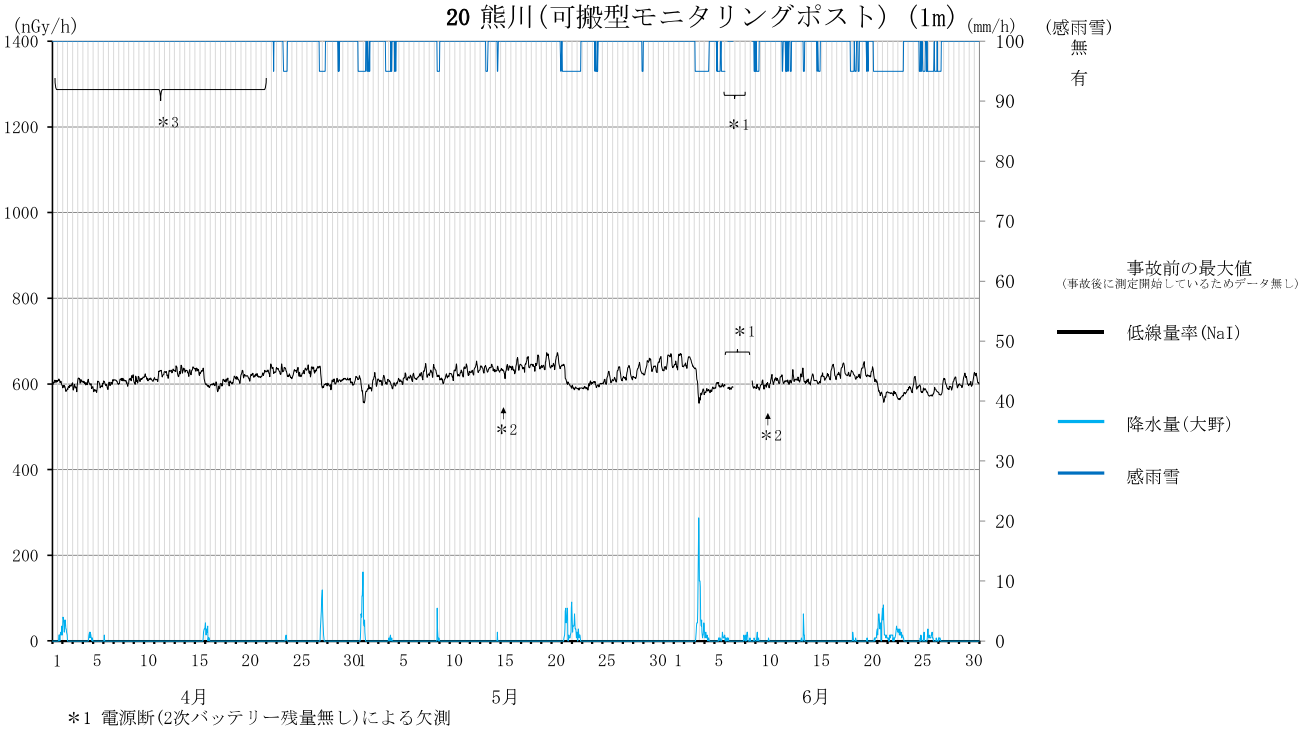


＊1 点検による欠測
＊2 局舎付近に帰還困難区域入退域ゲートがあり、朝夕の渋滞時の車両の遮へいにより、線量率低下が発生

電離箱式検出器（IC）は高エネルギーの宇宙線についても測定できることから、線量率が低レベルのときの測定値はNaI（TI）シンチレーション式検出器より30nGy/h程度高くなる。また電離箱式検出器は、検出器の形状が球形であり方向特性が良好である一方、NaI（TI）シンチレーション式検出器の形状は2inφ×2inの円柱状であるため、鉛直方向の方向特性を1とした場合、90度方向では1.1程度となる。線量率が数百nGy/h以上の地点では、福島第一原子力発電所の事故により沈着したCs-134及びCs-137による地表面方向（90度から180度）からの放射線が大部分を占めるため、検出器の方向特性の違いによる影響がより顕著に現れ、電離箱式検出器と比較してNaI（TI）シンチレーション式検出器の測定値が高い傾向となる。

福島県環境放射線センター

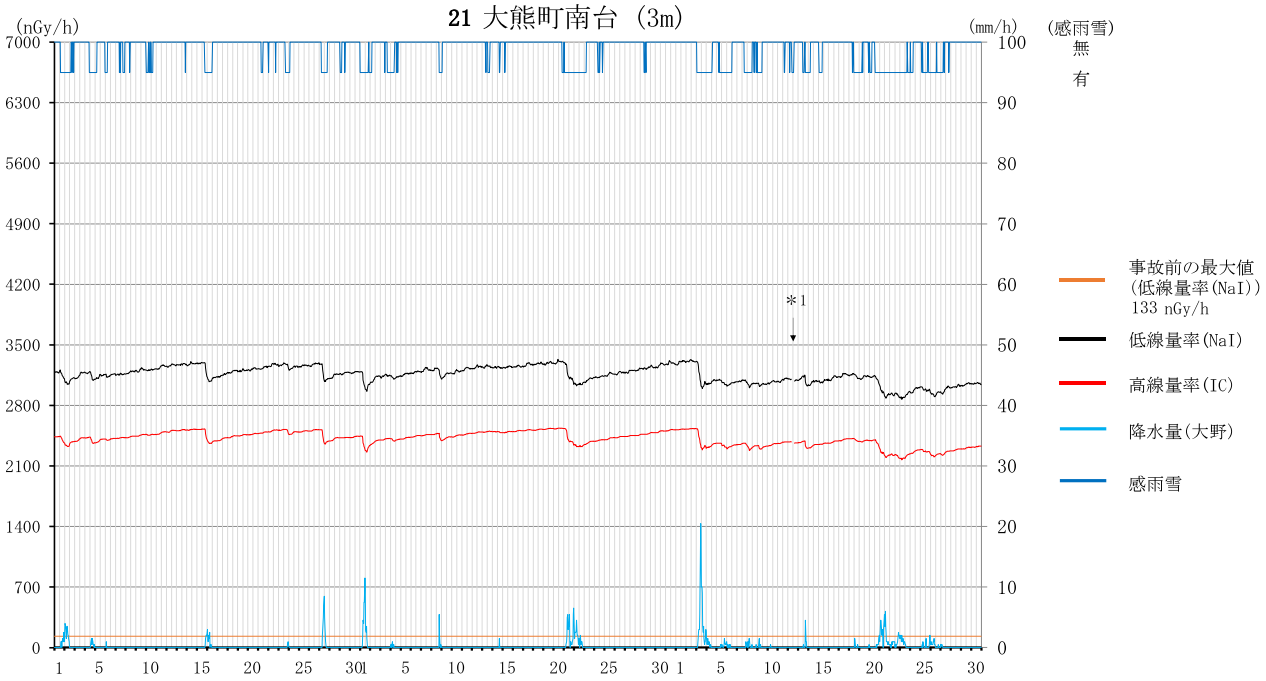
空間線量率の変動グラフ
20 熊川（可搬型モニタリングポスト）（1m）



＊1 電源断(2次バッテリー残量無し)による欠測
＊2 検出器周辺に滞留した人による遮へい
＊3 通信改修業務による感雨雪欠測
可搬型モニタリングポストには温度制御装置が装備されていないため、線量率が気温の変動による影響を受けて日周期で変動する。

福島県環境放射線センター

空間線量率の変動グラフ
21 大熊町南台（3m）

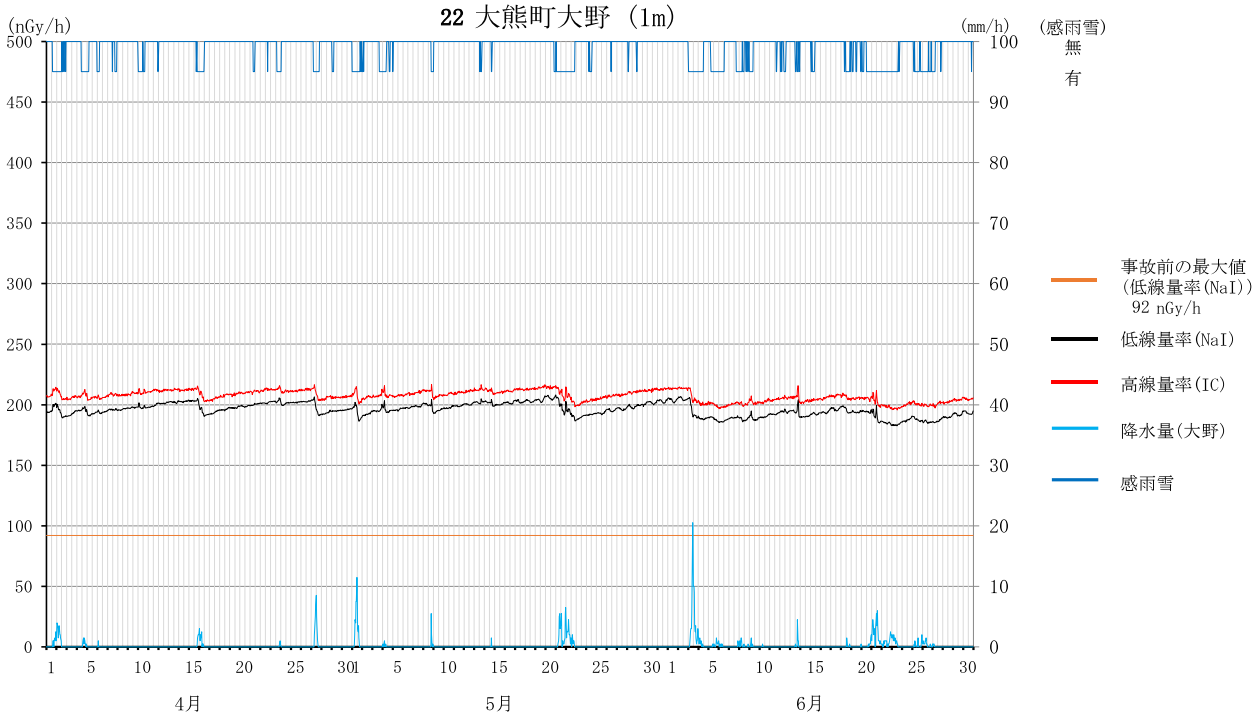


＊1 点検による欠測

電離箱式検出器（IC）は高エネルギーの宇宙線についても測定できることから、線量率が低レベルのときの測定値はNaI（TI）シンチレーション式検出器より30nGy/h程度高くなる。また電離箱式検出器は、検出器の形状が球形であり方向特性が良好である一方、NaI（TI）シンチレーション式検出器の形状は2inφ×2inの円柱状であるため、鉛直方向の方向特性を1とした場合、90度方向では1.1程度となる。線量率が数百nGy/h以上の地点では、福島第一原子力発電所の事故により沈着したCs-134及びCs-137による地表面方向（90度から180度）からの放射線が大部分を占めるため、検出器の方向特性の違いによる影響がより顕著に現れ、電離箱式検出器と比較してNaI（TI）シンチレーション式検出器の測定値が高い傾向となる。

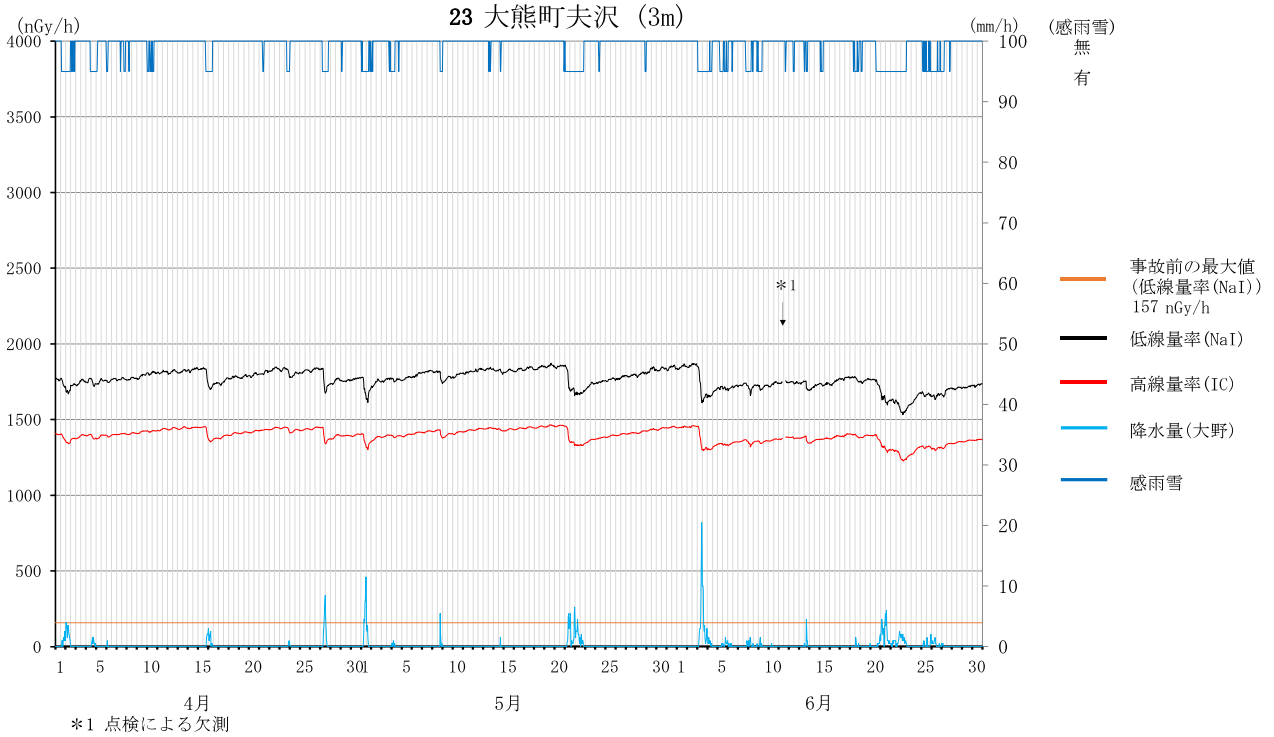
福島県環境放射線センター

空間線量率の変動グラフ
22 大熊町大野（1m）



福島県環境放射線センター

空間線量率の変動グラフ
23 大熊町夫沢（3m）

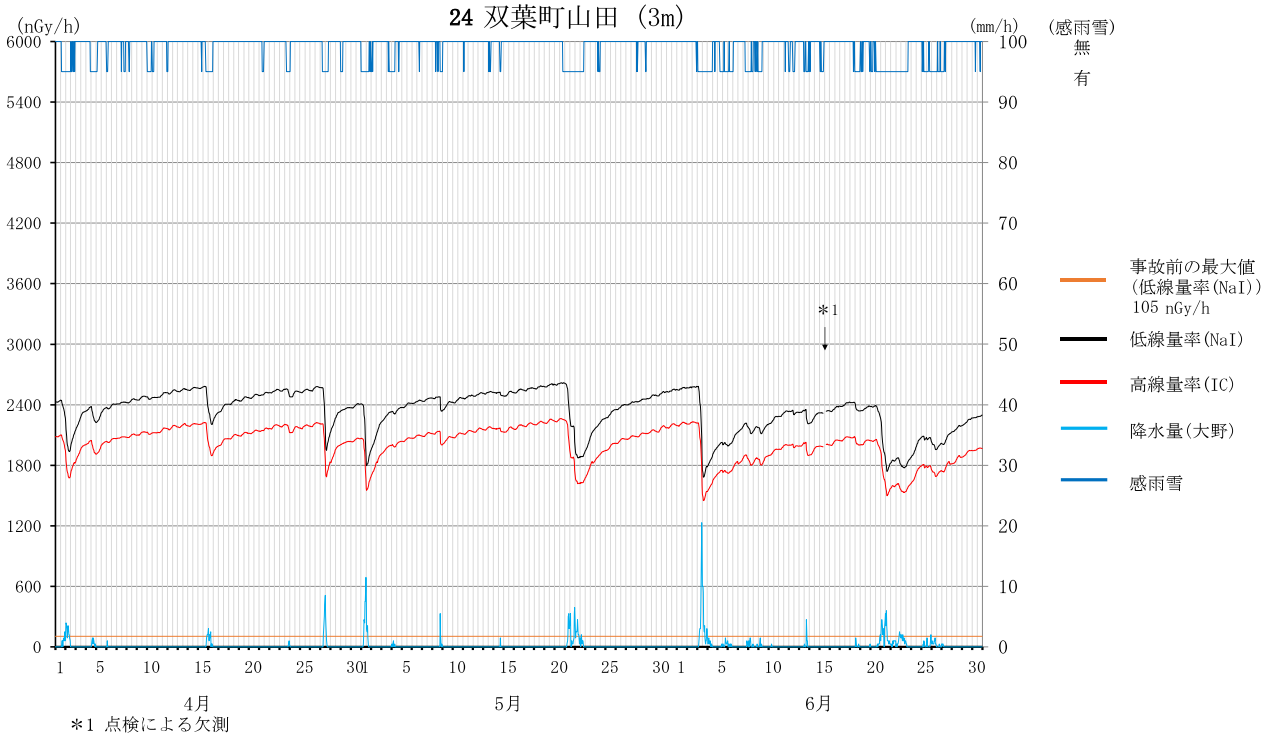


＊1 点検による欠測

電離箱式検出器（IC）は高エネルギーの宇宙線についても測定できることから、線量率が低レベルのときの測定値はNaI（TI）シンチレーション式検出器より30nGy/h程度高くなる。また電離箱式検出器は、検出器の形状が球形であり方向特性が良好である一方、NaI（TI）シンチレーション式検出器の形状は2inφ×2inの円柱状であるため、鉛直方向の方向特性を1とした場合、90度方向では1.1程度となる。線量率が数百nGy/h以上の地点では、福島第一原子力発電所の事故により沈着したCs-134及びCs-137による地表面方向（90度から180度）からの放射線が大部分を占めるため、検出器の方向特性の違いによる影響がより顕著に現れ、電離箱式検出器と比較してNaI（TI）シンチレーション式検出器の測定値が高い傾向となる。

福島県環境放射線センター

空間線量率の変動グラフ
24 双葉町山田（3m）

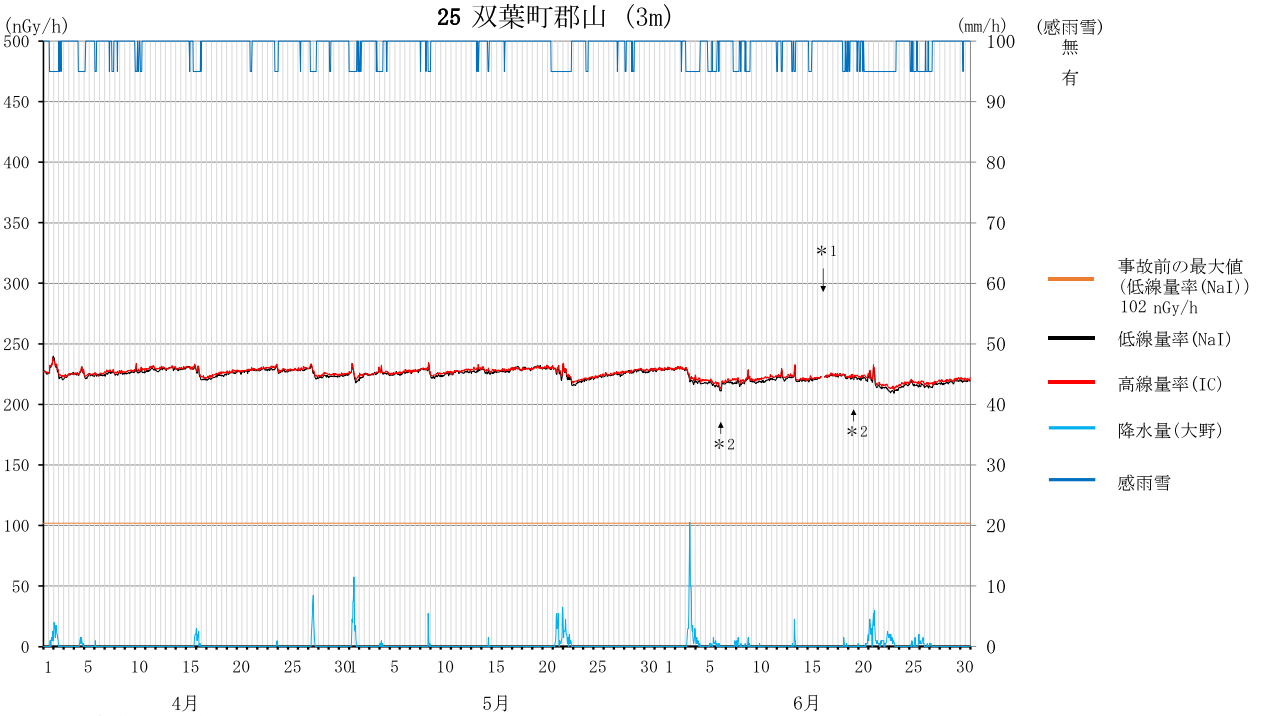


＊1 点検による欠測

電離箱式検出器（IC）は高エネルギーの宇宙線についても測定できることから、線量率が低レベルのときの測定値はNaI（TI）シンチレーション式検出器より30nGy/h程度高くなる。また電離箱式検出器は、検出器の形状が球形であり方向特性が良好である一方、NaI（TI）シンチレーション式検出器の形状は2inφ×2inの円柱状であるため、鉛直方向の方向特性を1とした場合、90度方向では1.1程度となる。線量率が数百nGy/h以上の地点では、福島第一原子力発電所の事故により沈着したCs-134及びCs-137による地表面方向（90度から180度）からの放射線が大部分を占めるため、検出器の方向特性の違いによる影響がより顕著に現れ、電離箱式検出器と比較してNaI（TI）シンチレーション式検出器の測定値が高い傾向となる。

福島県環境放射線センター

空間線量率の変動グラフ
25 双葉町郡山（3m）

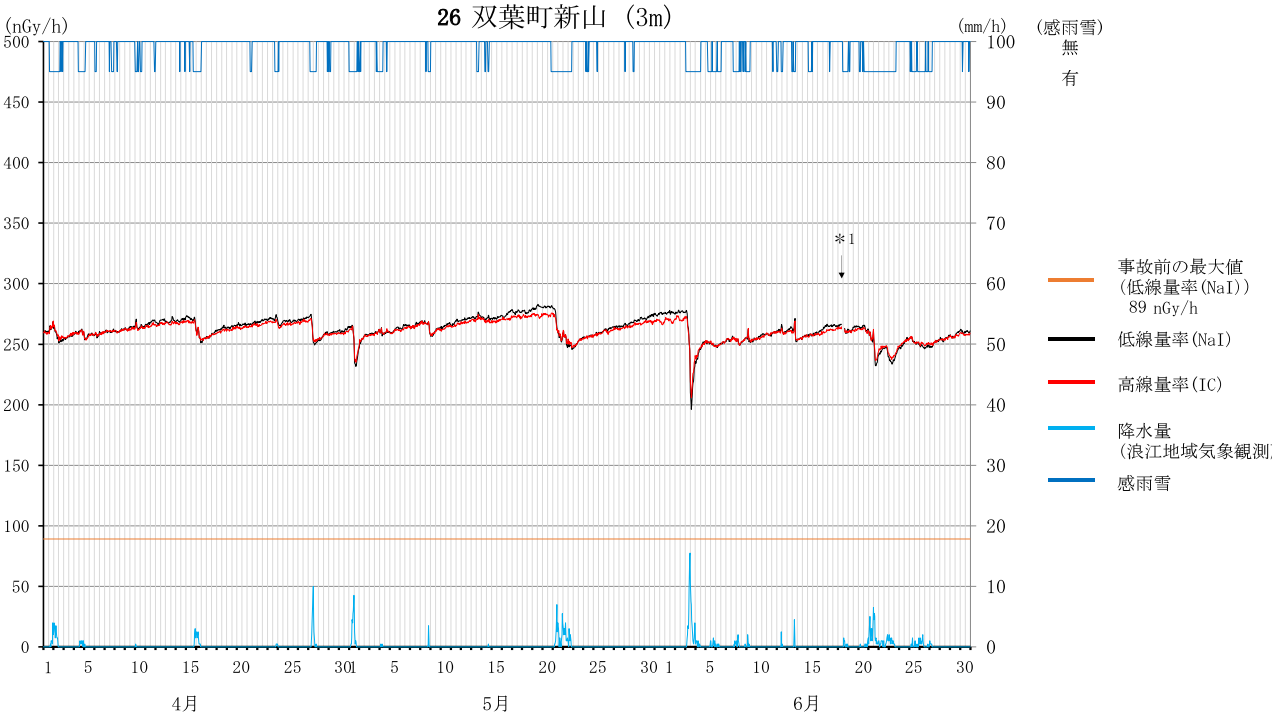


＊1 点検による欠測
＊2 局舎周辺停車車両による遮へい

電離箱式検出器（IC）は高エネルギーの宇宙線についても測定できることから、線量率が低レベルのときの測定値はNaI（TI）シンチレーション式検出器より30nGy/h程度高くなる。また電離箱式検出器は、検出器の形状が球形であり方向特性が良好である一方、NaI（TI）シンチレーション式検出器の形状は2inφ×2inの円柱状であるため、鉛直方向の方向特性を1とした場合、90度方向では1.1程度となる。線量率が数百nGy/h以上の地点では、福島第一原子力発電所の事故により沈着したCs-134及びCs-137による地表面方向（90度から180度）からの放射線が大部分を占めるため、検出器の方向特性の違いによる影響がより顕著に現れ、電離箱式検出器と比較してNaI（TI）シンチレーション式検出器の測定値が高い傾向となる。

福島県環境放射線センター

空間線量率の変動グラフ
26 双葉町新山（3m）

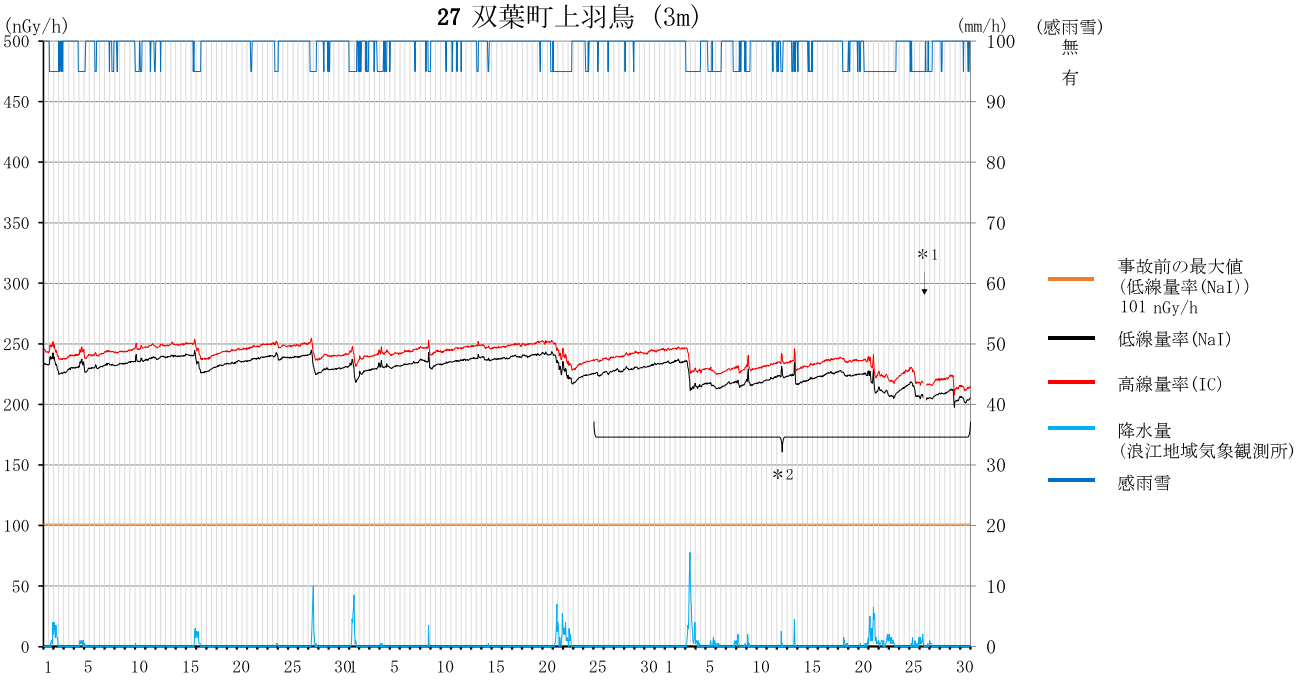


＊1 点検による欠測

電離箱式検出器（IC）は高エネルギーの宇宙線についても測定できることから、線量率が低レベルのときの測定値はNaI（TI）シンチレーション式検出器より30nGy/h程度高くなる。また電離箱式検出器は、検出器の形状が球形であり方向特性が良好である一方、NaI（TI）シンチレーション式検出器の形状は2inφ×2inの円柱状であるため、鉛直方向の方向特性を1とした場合、90度方向では1.1程度となる。線量率が数百nGy/h以上の地点では、福島第一原子力発電所の事故により沈着したCs-134及びCs-137による地表面方向（90度から180度）からの放射線が大部分を占めるため、検出器の方向特性の違いによる影響がより顕著に現れ、電離箱式検出器と比較してNaI（TI）シンチレーション式検出器の測定値が高い傾向となる。

福島県環境放射線センター

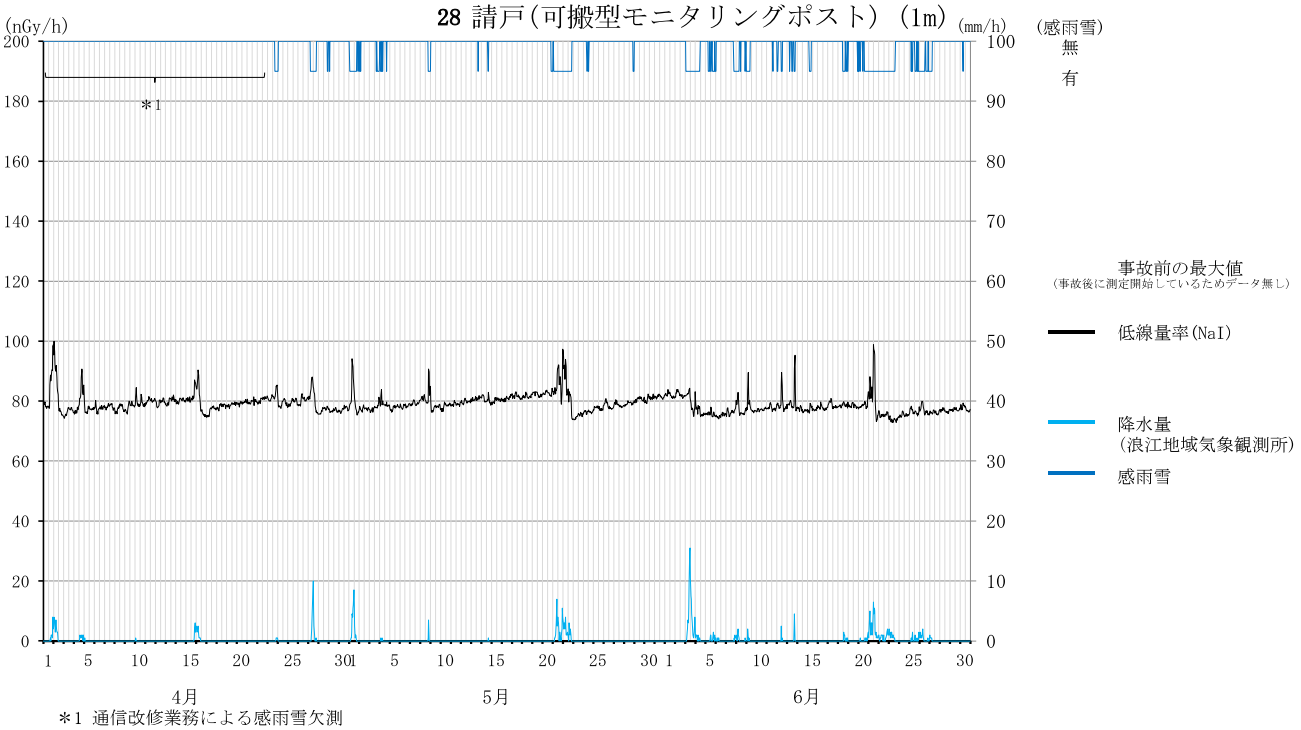
空間線量率の変動グラフ
27 双葉町上羽鳥（3m）



＊1 点検による欠測
＊2 局舎周辺工事における工事資材及び工事車両による遮へい

福島県環境放射線センター

空間線量率の変動グラフ
28 請戸（可搬型モニタリングポスト）（1m）

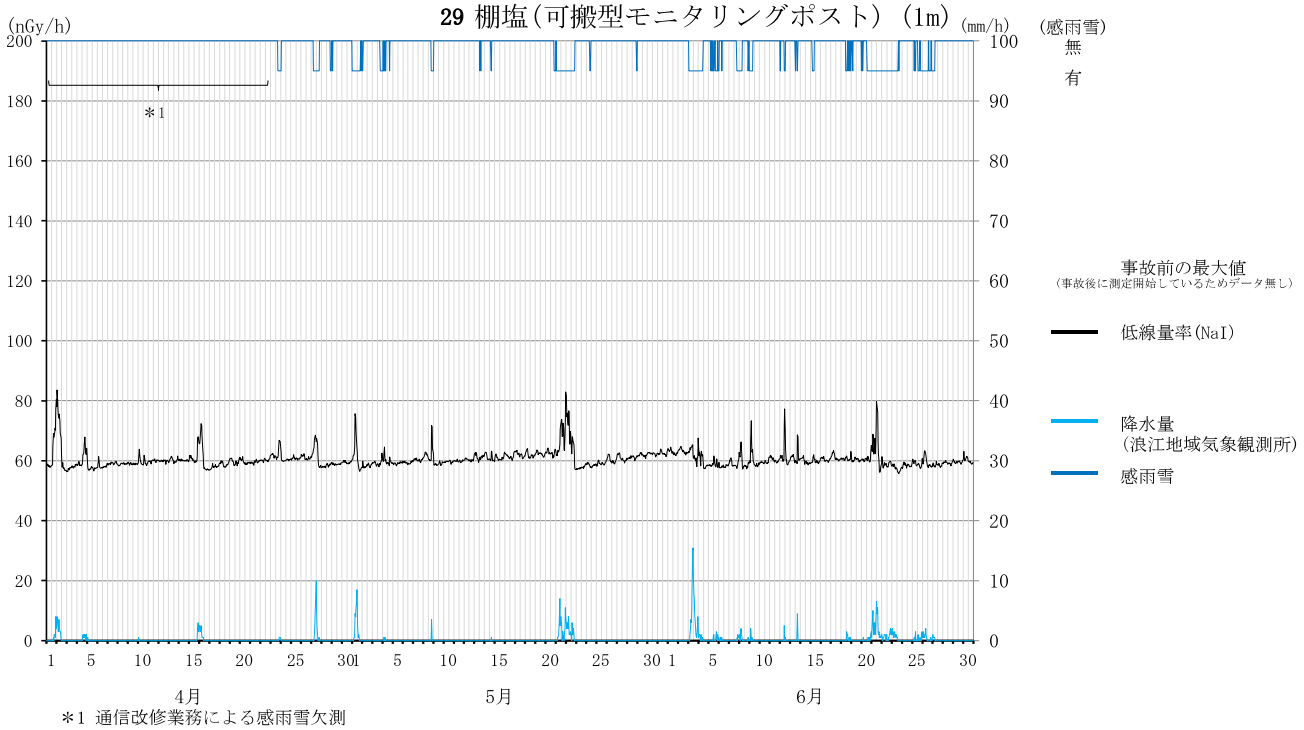


＊1 通信改修業務による感雨雪欠測

可搬型モニタリングポストには温度制御装置が装備されていないため線量率が気温の変動による影響を受けて日周期で変動する。

福島県環境放射線センター

空間線量率の変動グラフ
29 棚塩(可搬型モニタリングポスト)(1m)

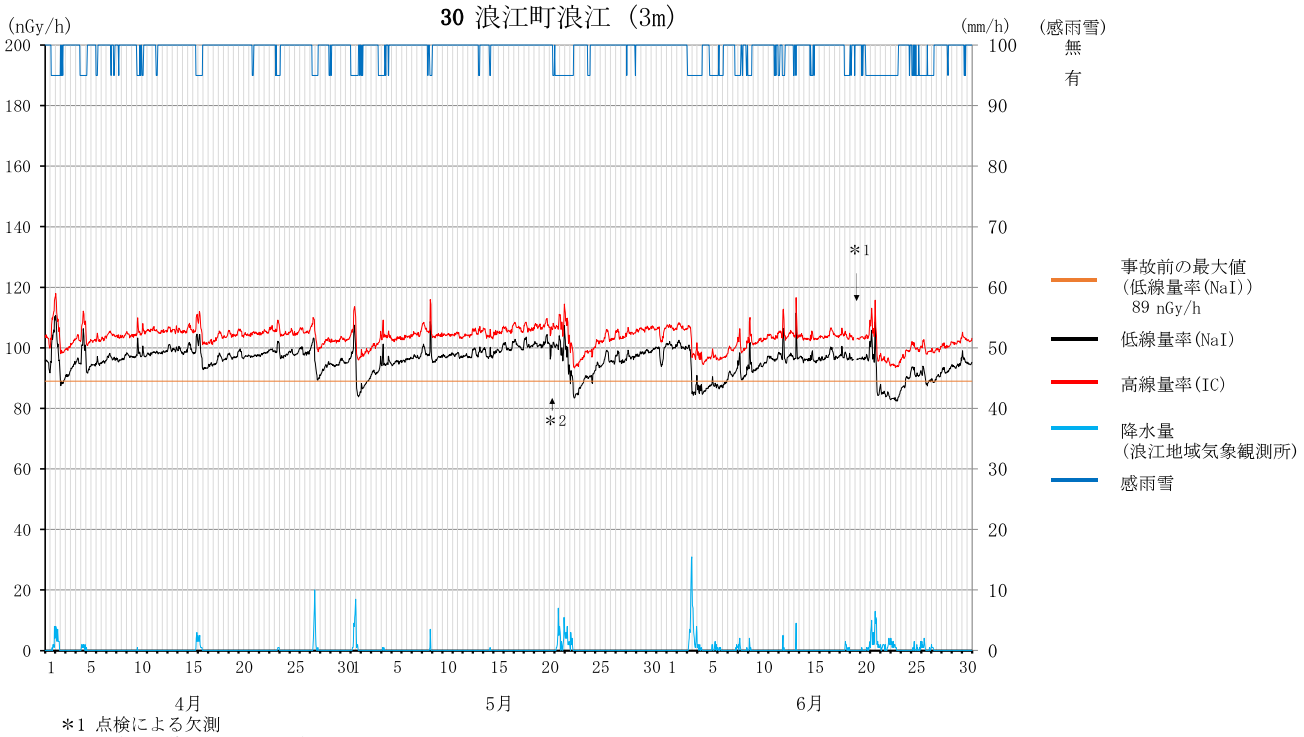


＊1 通信改修業務による感雨雪欠測

可搬型モニタリングポストには温度制御装置が装備されていないため線量率が気温の変動による影響を受けて日周期で変動する。

福島県環境放射線センター

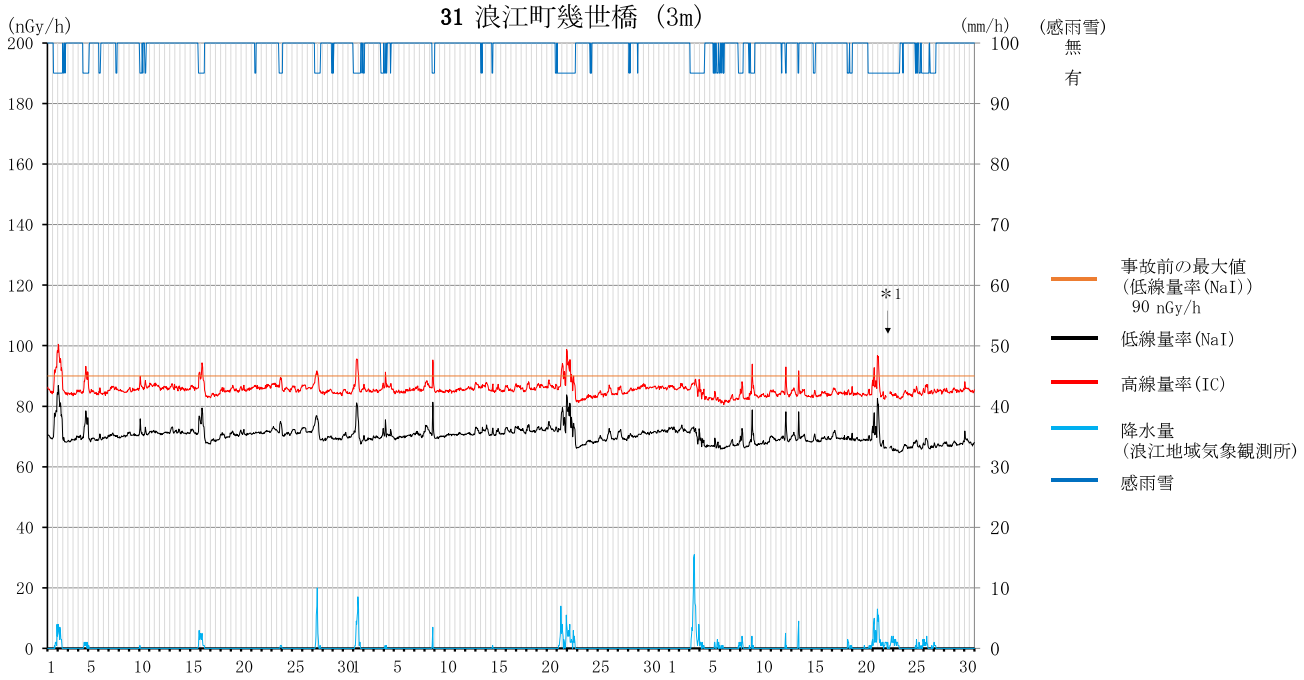
空間線量率の変動グラフ
30 浪江町浪江 (3m)



＊1 点検による欠測
＊2 局舎周辺停車車両による遮へい

福島県環境放射線センター

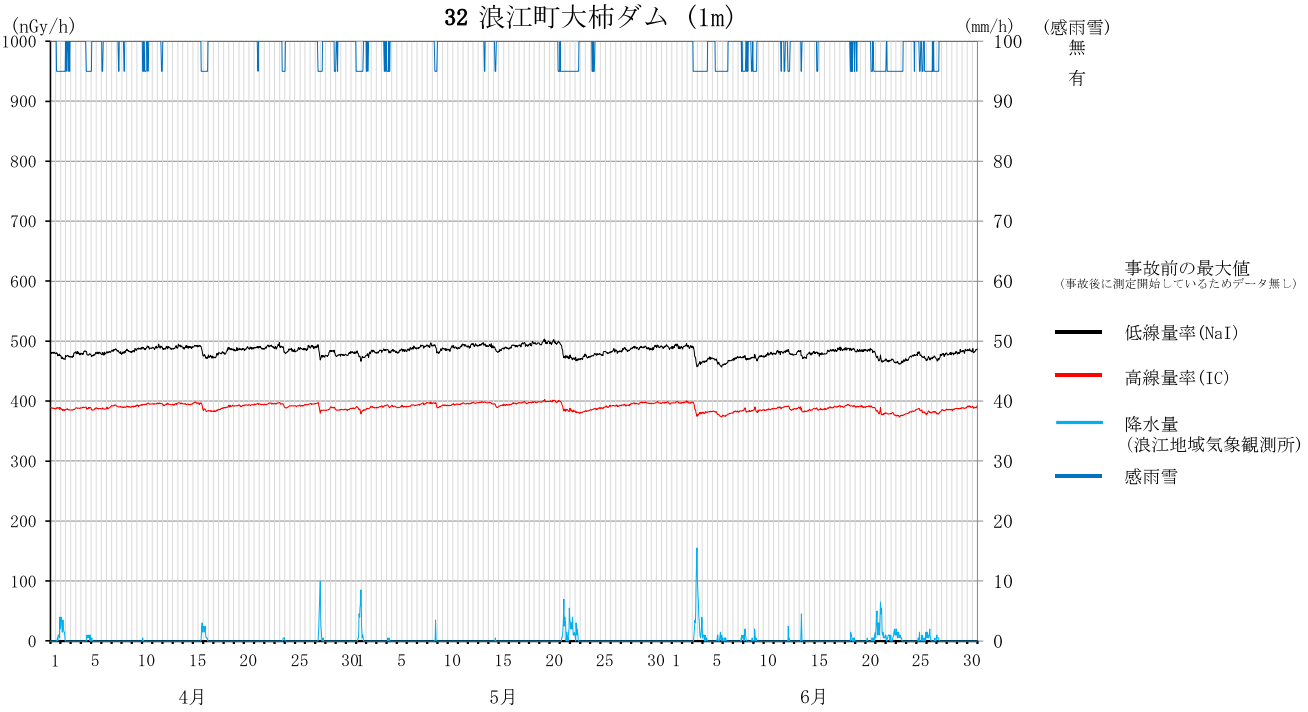
空間線量率の変動グラフ
31 浪江町幾世橋（3m）



＊1 点検による欠測

福島県環境放射線センター

空間線量率の変動グラフ
32 浪江町大柿ダム（1m）

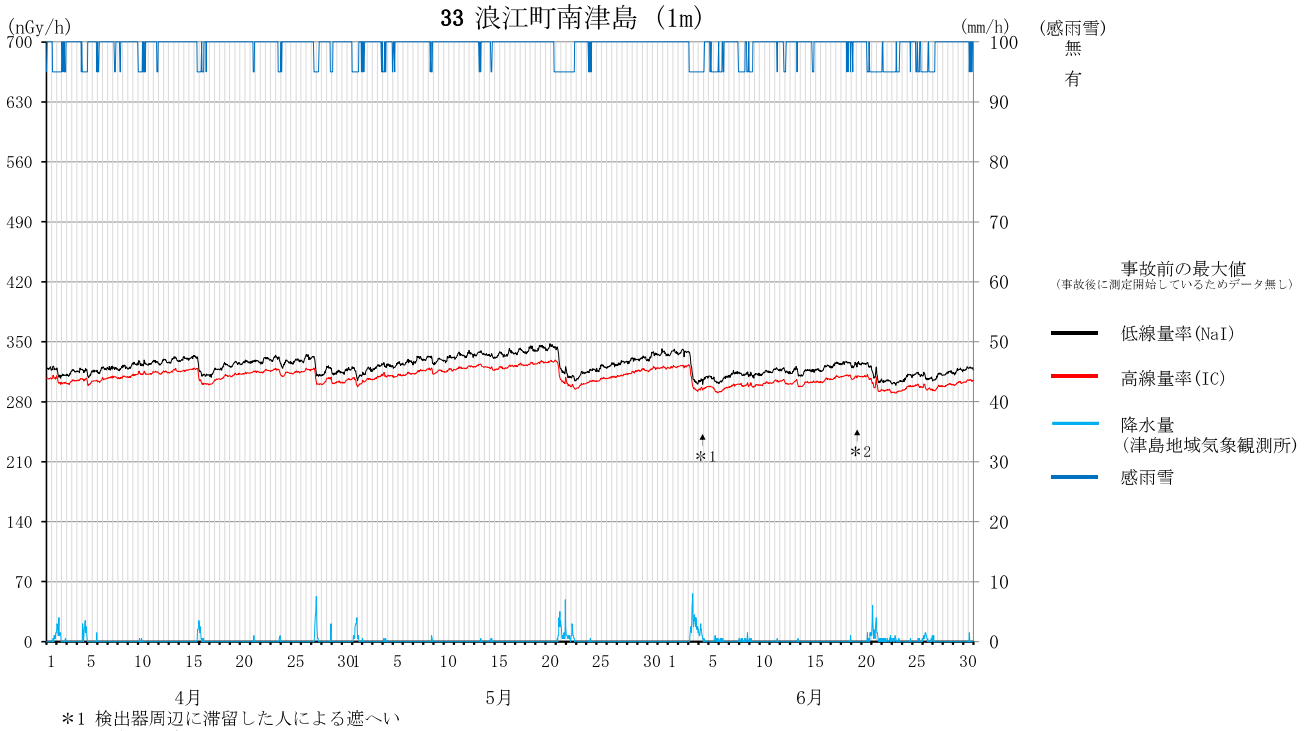


電離箱式検出器（IC）は高エネルギーの宇宙線についても測定できることから、線量率が低レベルのときの測定値はNaI（TI）シンチレーション式検出器より30nGy/h程度高くなる。また電離箱式検出器は、検出器の形状が球形であり方向特性が良好である一方、NaI（TI）シンチレーション式検出器の形状は2inφ×2inの円柱状であるため、鉛直方向の方向特性を1とした場合、90度方向では1.1程度となる。線量率が数百nGy/h以上の地点では、福島第一原子力発電所の事故により沈着したCs-134及びCs-137による地表面方向（90度から180度）からの放射線が大部分を占めるため、検出器の方向特性の違いによる影響がより顕著に現れ、電離箱式検出器と比較してNaI（TI）シンチレーション式検出器の測定値が高い傾向となる。

福島県環境放射線センター

空間線量率の変動グラフ

33 浪江町南津島（1m）



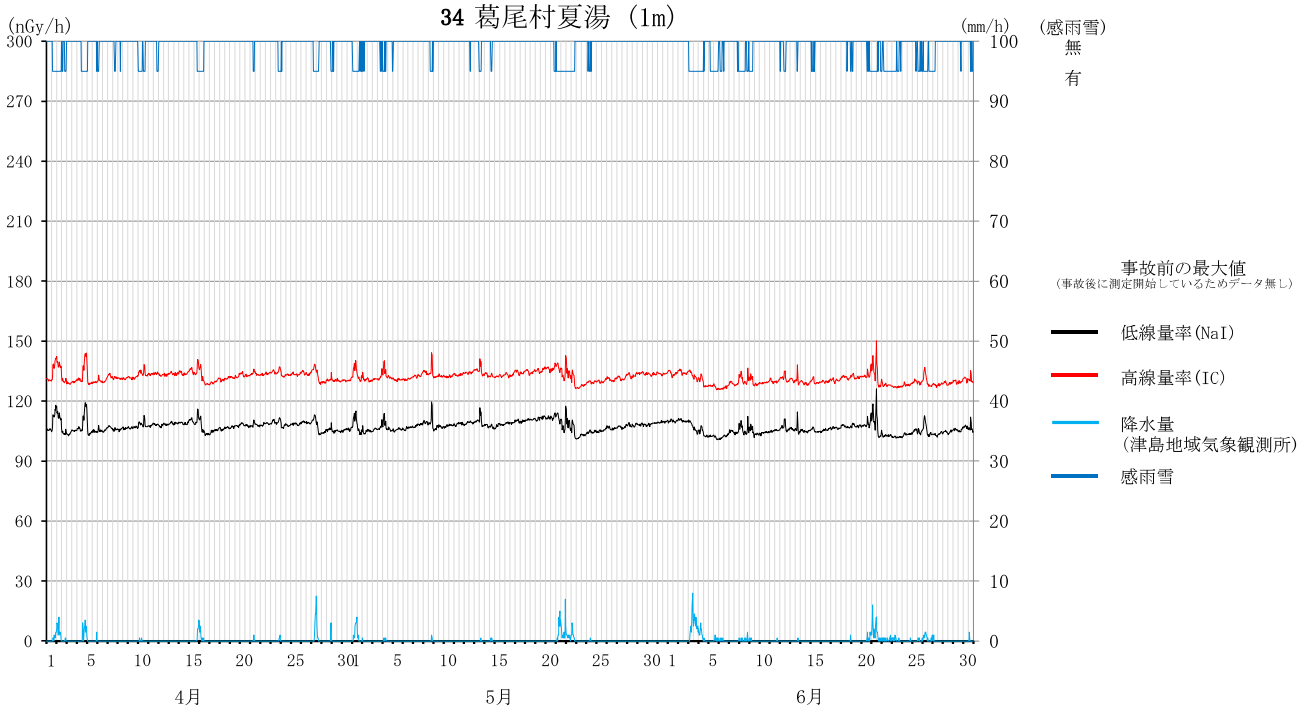
＊1 検出器周辺に滞留した人による遮へい
＊2 局舎周辺停車車両による遮へい

電離箱式検出器（IC）は高エネルギーの宇宙線についても測定できることから、線量率が低レベルのときの測定値はNaI（TI）シンチレーション式検出器より30nGy/h程度高くなる。また電離箱式検出器は、検出器の形状が球形であり方向特性が良好である一方、NaI（TI）シンチレーション式検出器の形状は2inφ×2inの円柱状であるため、鉛直方向の方向特性を1とした場合、90度方向では1.1程度となる。線量率が数百nGy/h以上の地点では、福島第一原子力発電所の事故により沈着したCs-134及びCs-137による地表面方向（90度から180度）からの放射線が大部分を占めるため、検出器の方向特性の違いによる影響がより顕著に現れ、電離箱式検出器と比較してNaI（TI）シンチレーション式検出器の測定値が高い傾向となる。

福島県環境放射線センター

空間線量率の変動グラフ

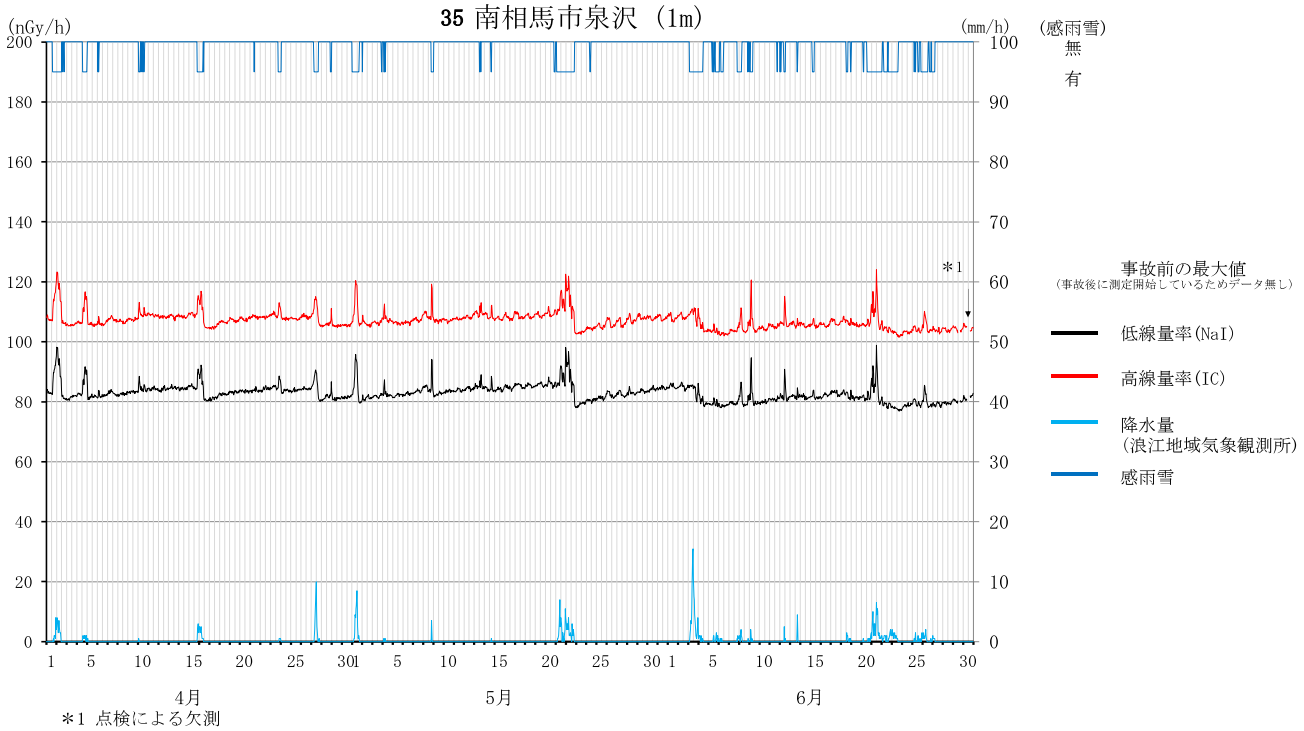
34 葛尾村夏湯（1m）



福島県環境放射線センター

空間線量率の変動グラフ

35 南相馬市泉沢（1m）

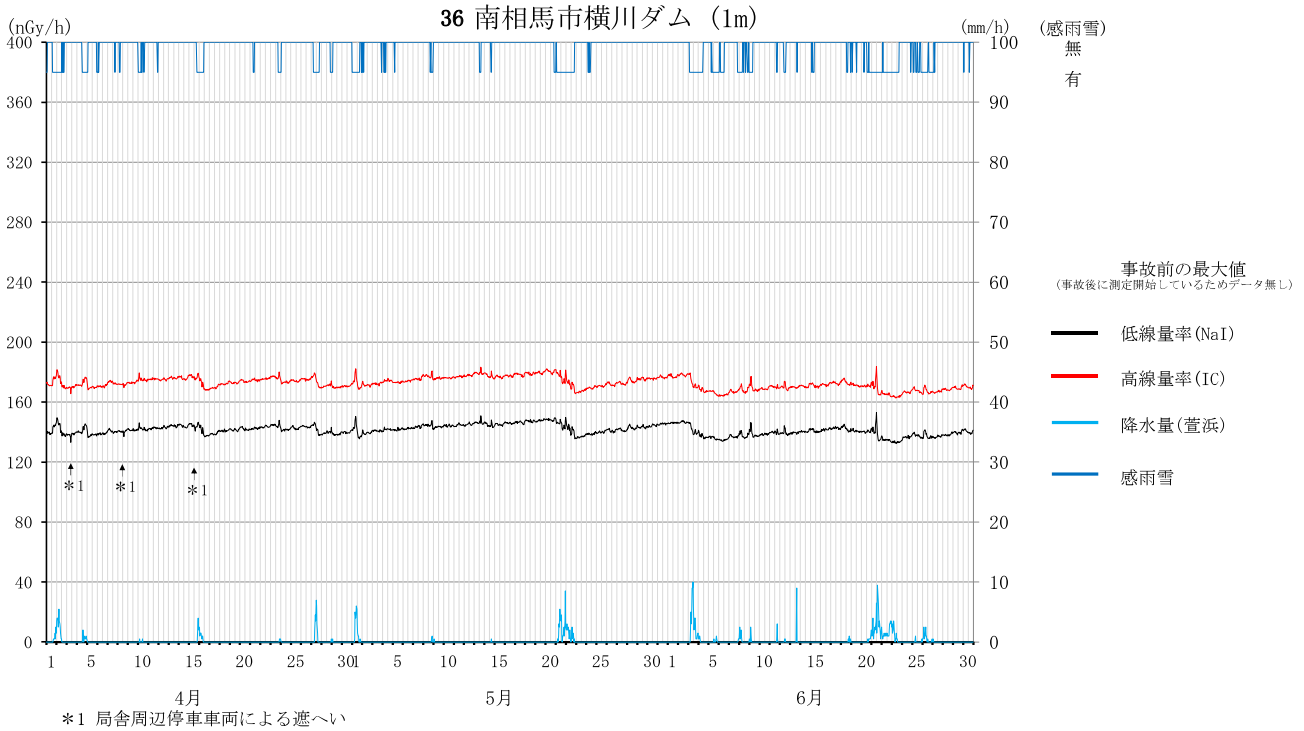


＊1 点検による欠測

福島県環境放射線センター

空間線量率の変動グラフ

36 南相馬市横川ダム（1m）

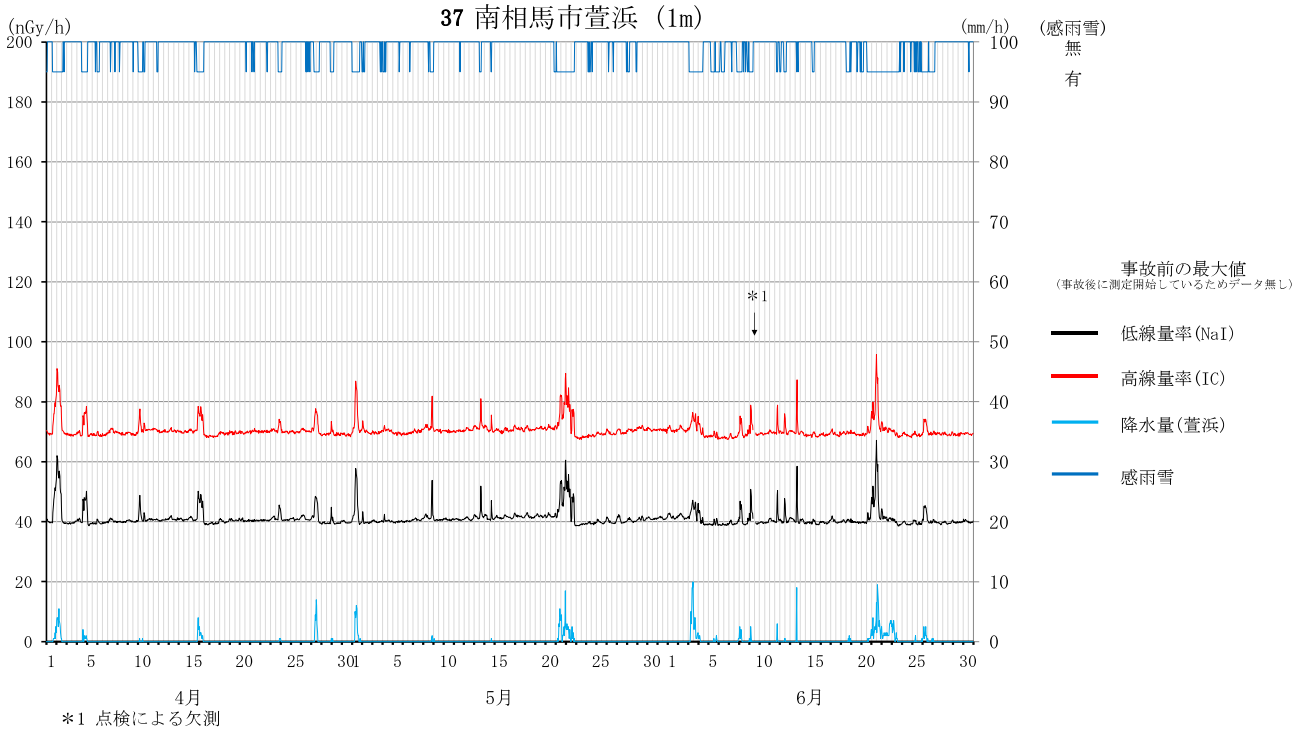


＊1 局舎周辺停車車両による遮へい

福島県環境放射線センター

空間線量率の変動グラフ

37 南相馬市萱浜（1m）

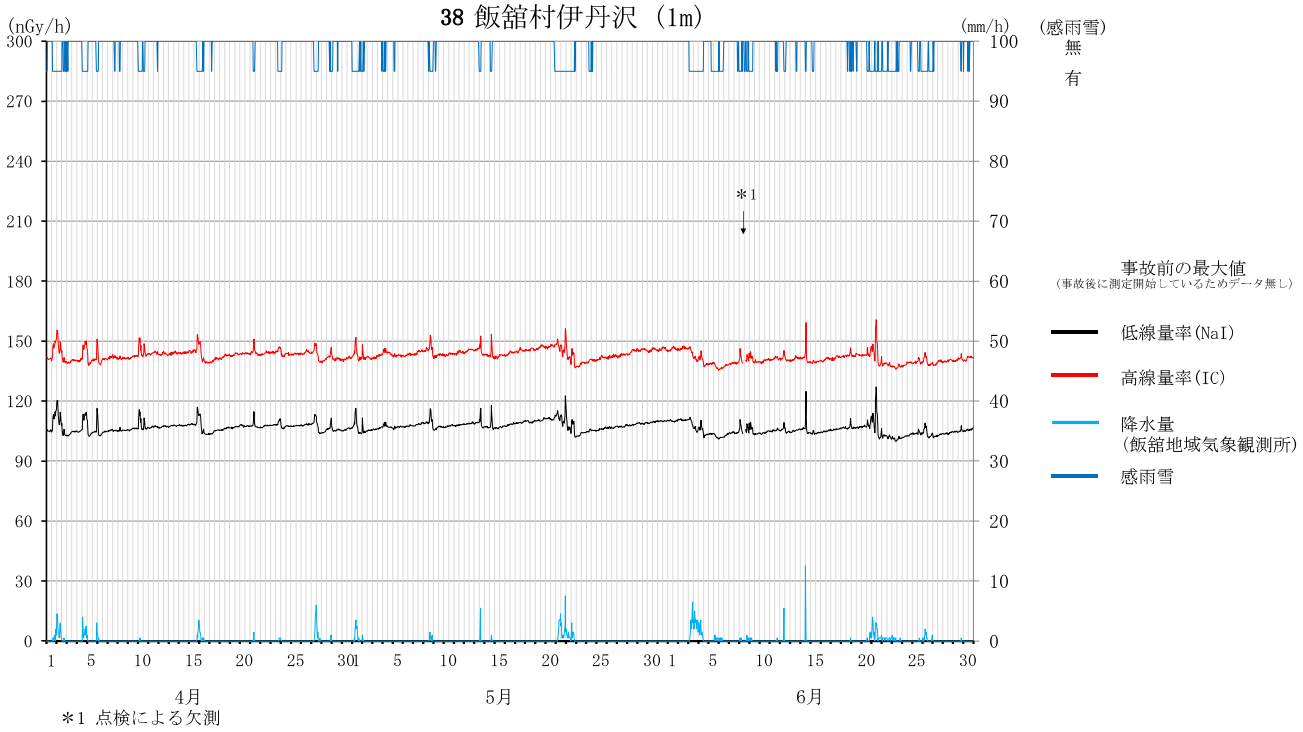


＊1 点検による欠測

福島県環境放射線センター

空間線量率の変動グラフ

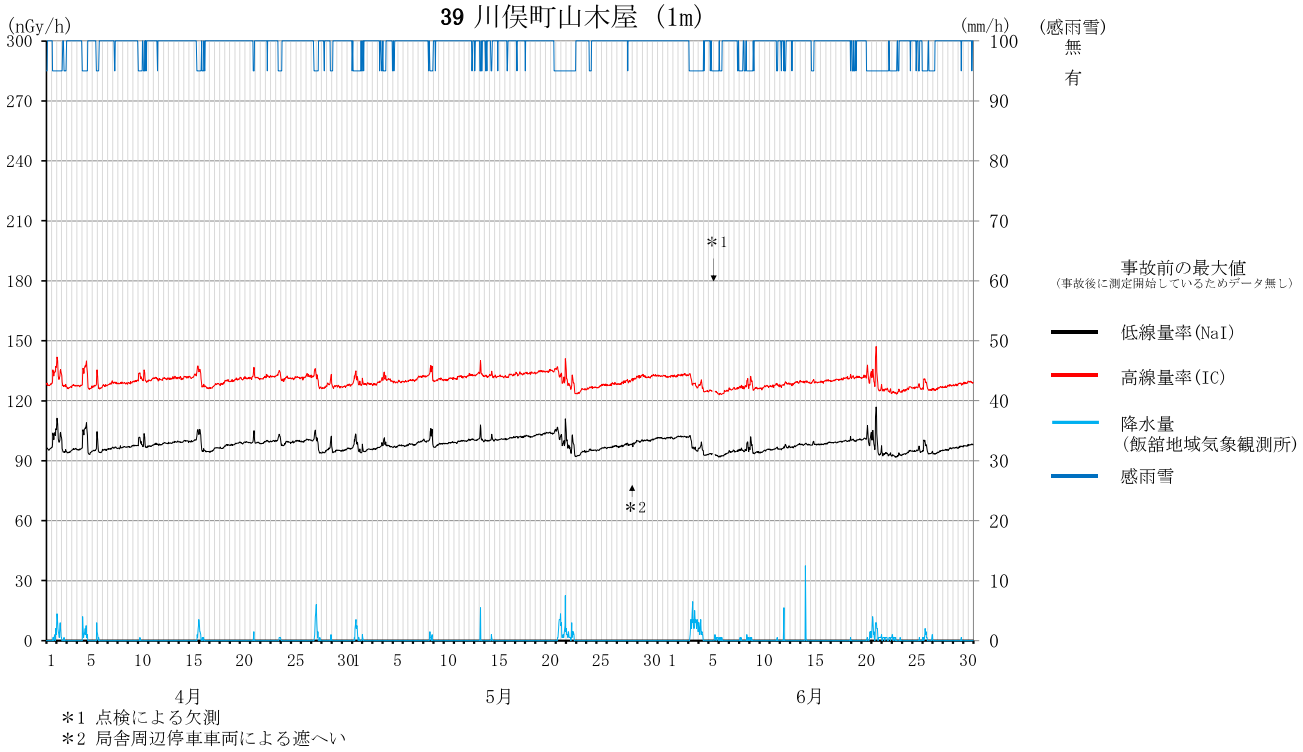
38 飯舘村伊丹沢（1m）



＊1 点検による欠測

空間線量率の変動グラフ

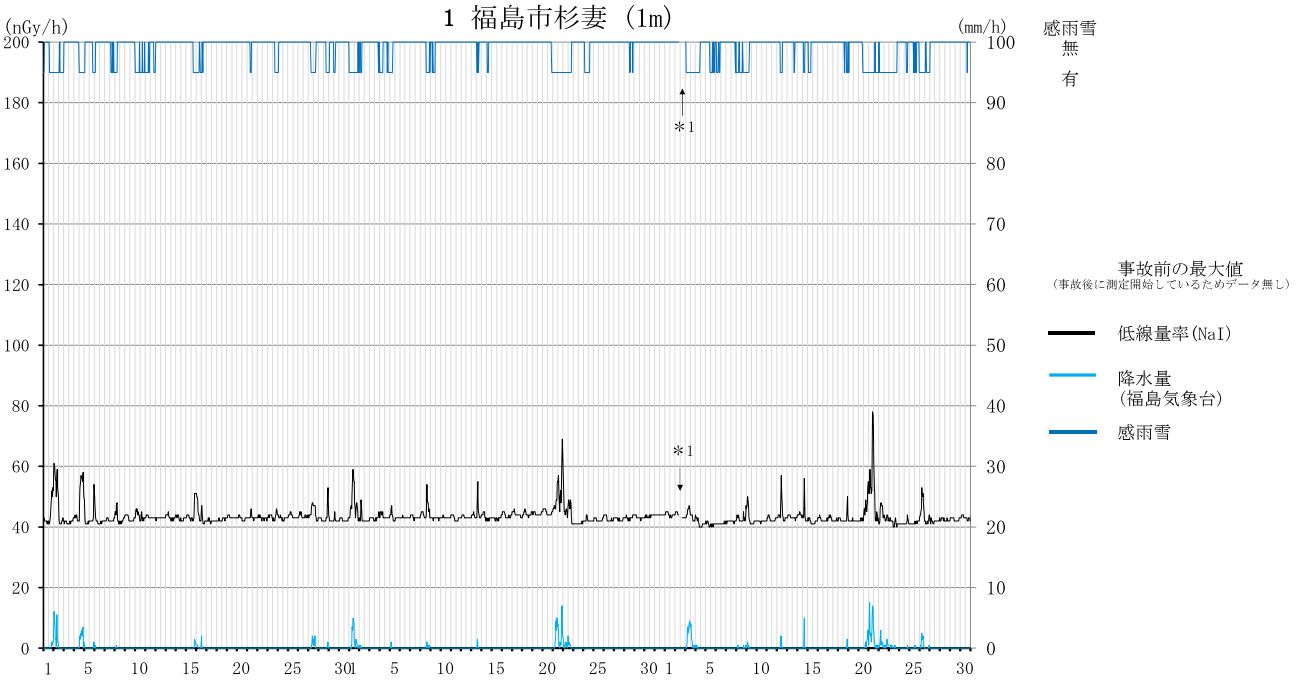
39 川俣町山木屋（1m）



＊1 点検による欠測
＊2 局舎周辺停車車両による遮へい

福島県環境放射線センター

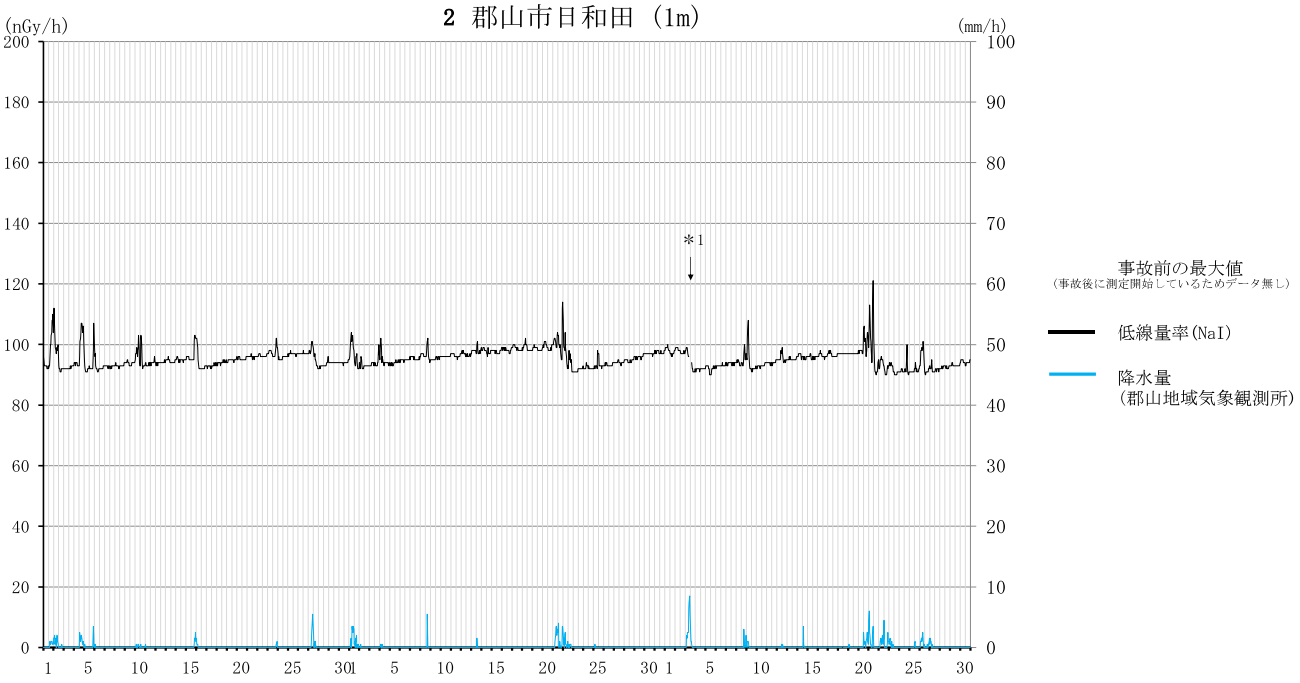
空間線量率の変動グラフ
1 福島市杉妻（1m）



＊1 点検による欠測

福島県環境放射線センター

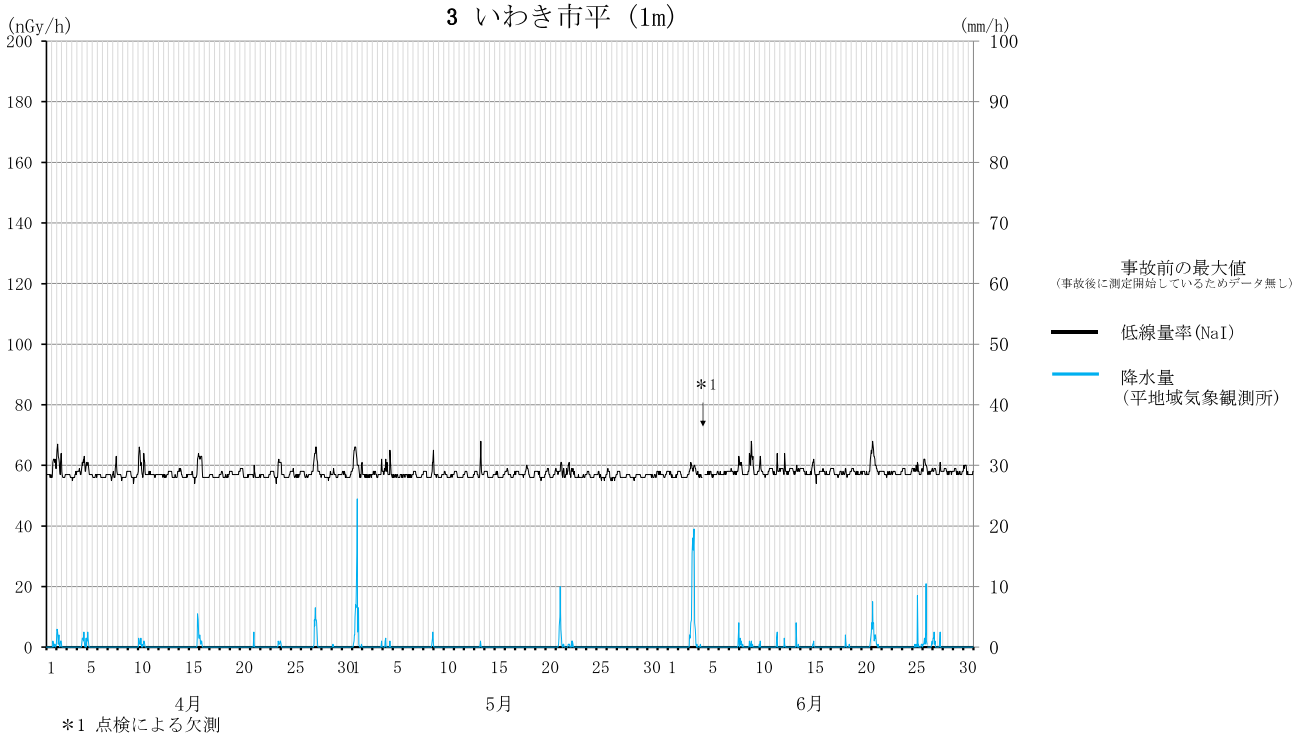
空間線量率の変動グラフ
2 郡山市日和田（1m）



＊1 点検による欠測

空間線量率の変動グラフ

3 いわき市平（1m）

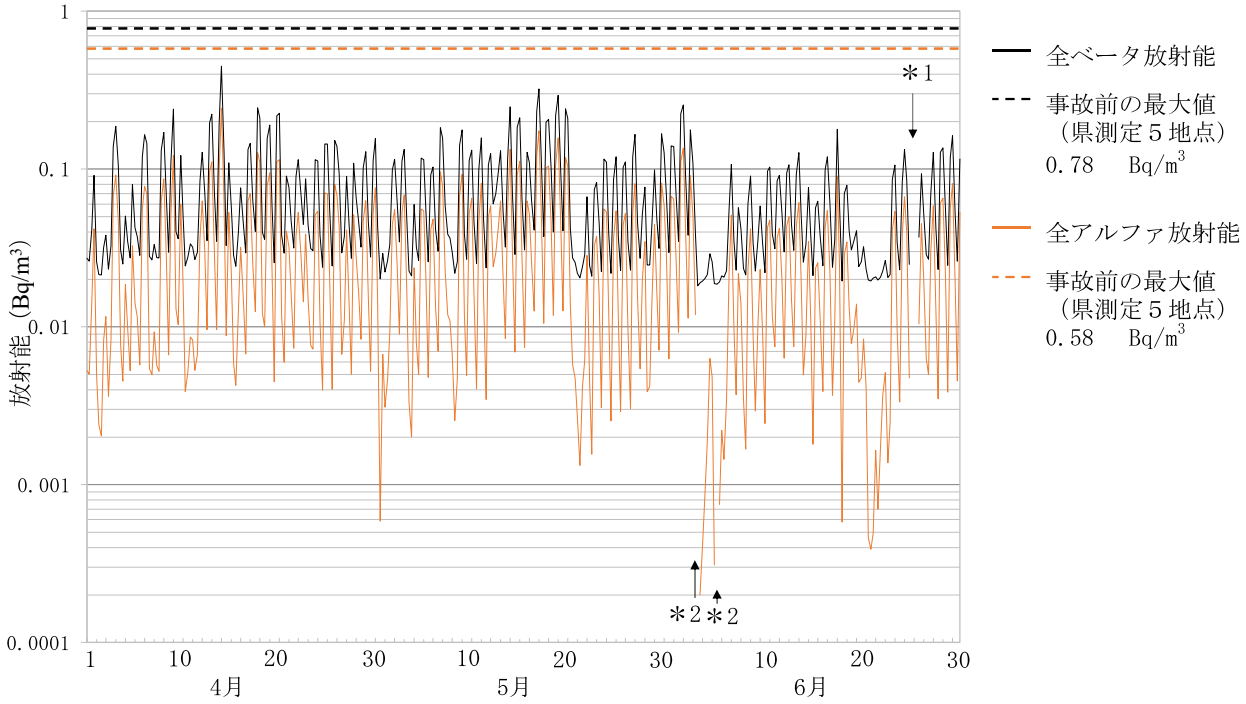


＊1 点検による欠測

福島県環境放射線センター

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

（6時間連続集じん・6時間放置後測定）
1　いわき市小川
（令和8年4月1日～6月30日）

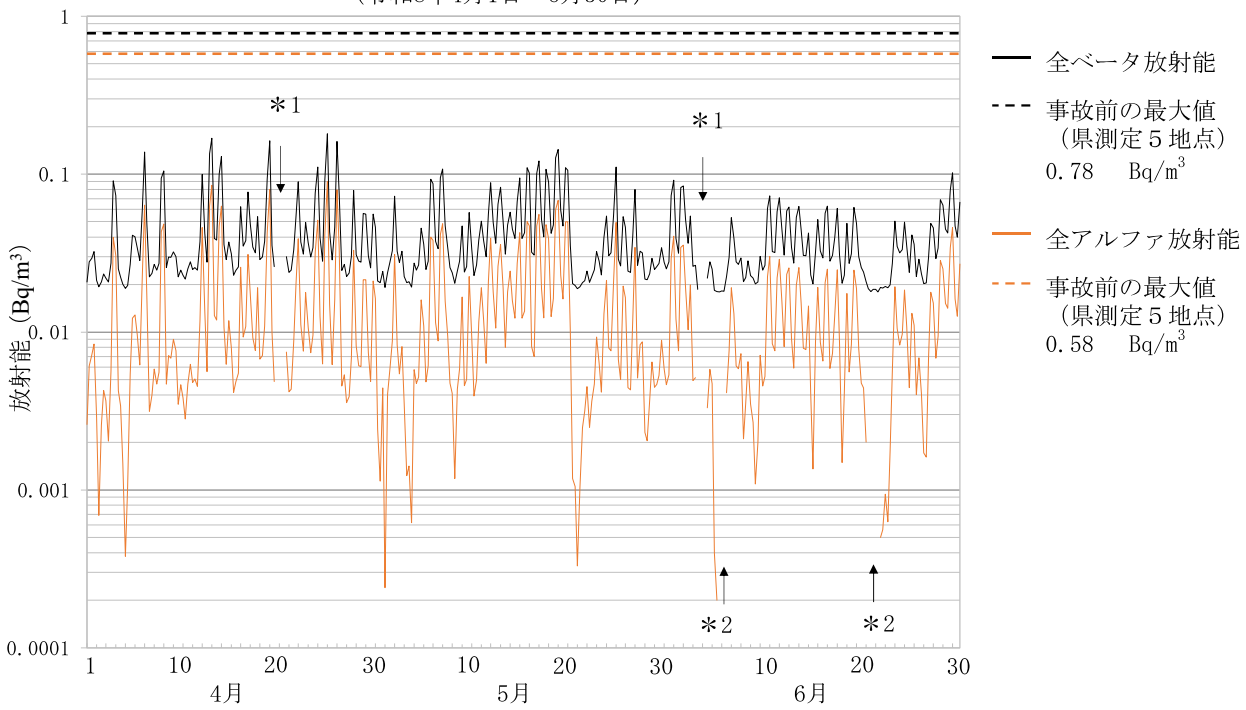


＊1 停電による欠測
＊2 全アルファ放射能が表示されていない箇所は検出下限値（0.0002Bq/m³）未満

福島県環境放射線センター

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

（6時間連続集じん・6時間放置後測定）
2　田村市都路馬洗戸
（令和8年4月1日～6月30日）



＊1 停電による欠測
＊2 全アルファ放射能が表示されていない箇所は検出下限値（0.0002Bq/m³）未満

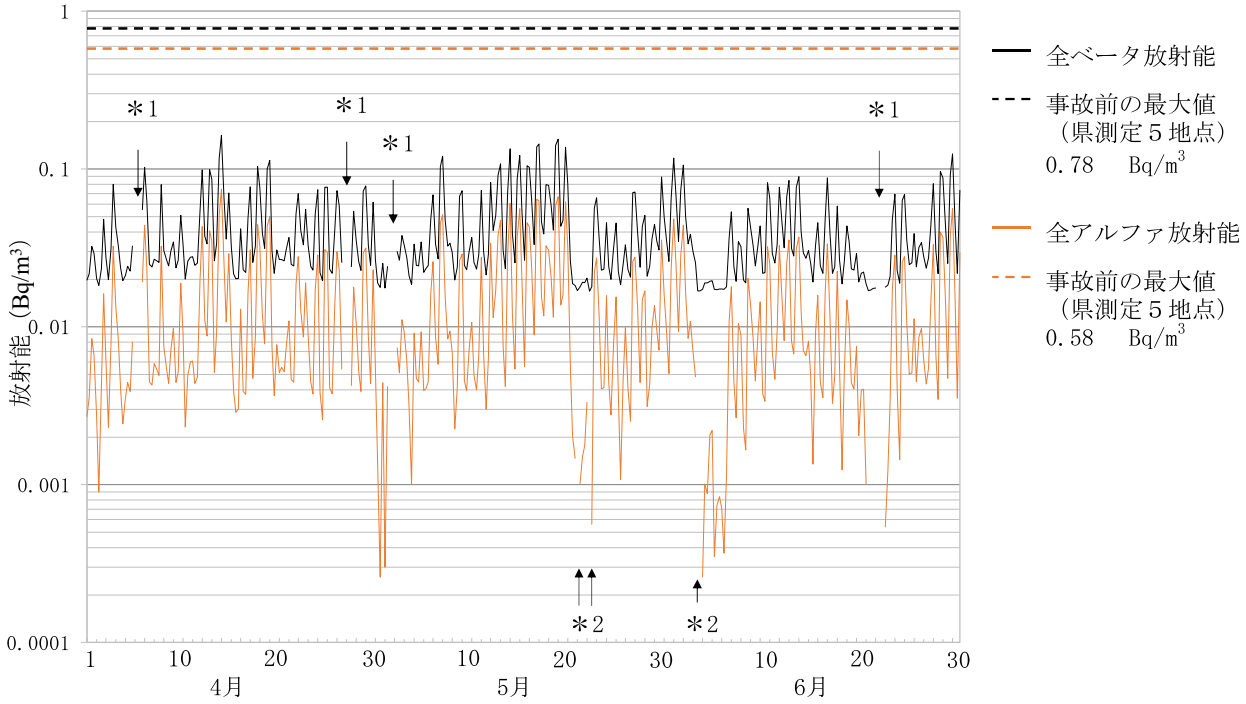
福島県環境放射線センター

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

（6時間連続集じん・6時間放置後測定）

3　広野町小滝平

（令和8年4月1日～6月30日）



＊1 停電による欠測

＊2 全アルファ放射能が表示されていない箇所は検出下限値（0.0002Bq/m³）未満

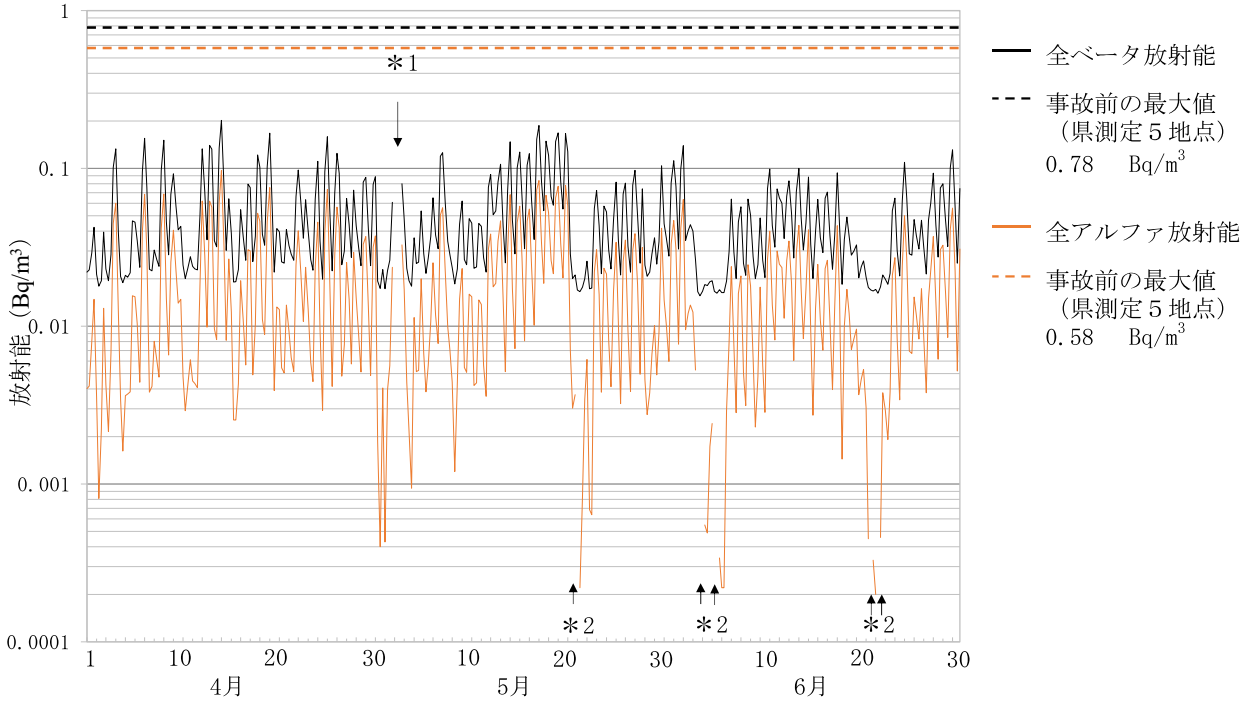
福島県環境放射線センター

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

（6時間連続集じん・6時間放置後測定）

4　楢葉町木戸ダム

（令和8年4月1日～6月30日）



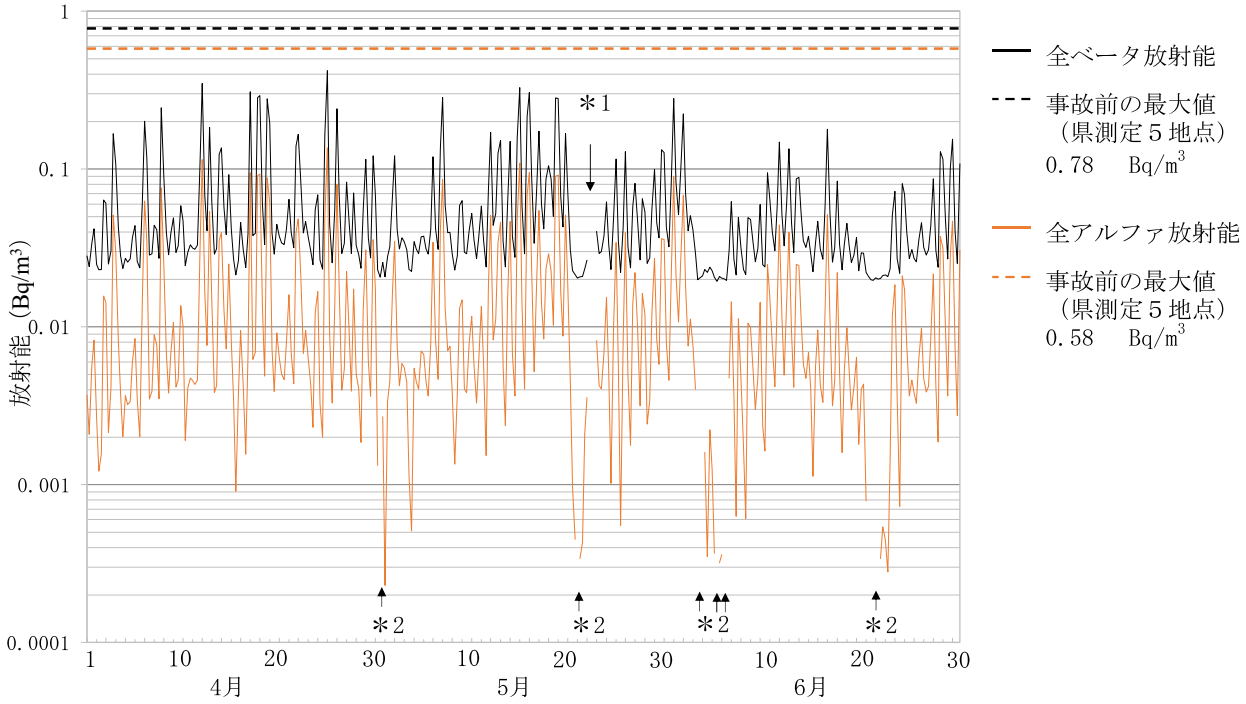
＊1 停電による欠測

＊2 全アルファ放射能が表示されていない箇所は検出下限値（0.0002Bq/m³）未満

福島県環境放射線センター

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

（6時間連続集じん・6時間放置後測定）
5　　楢葉町繁岡
（令和8年4月1日～6月30日）

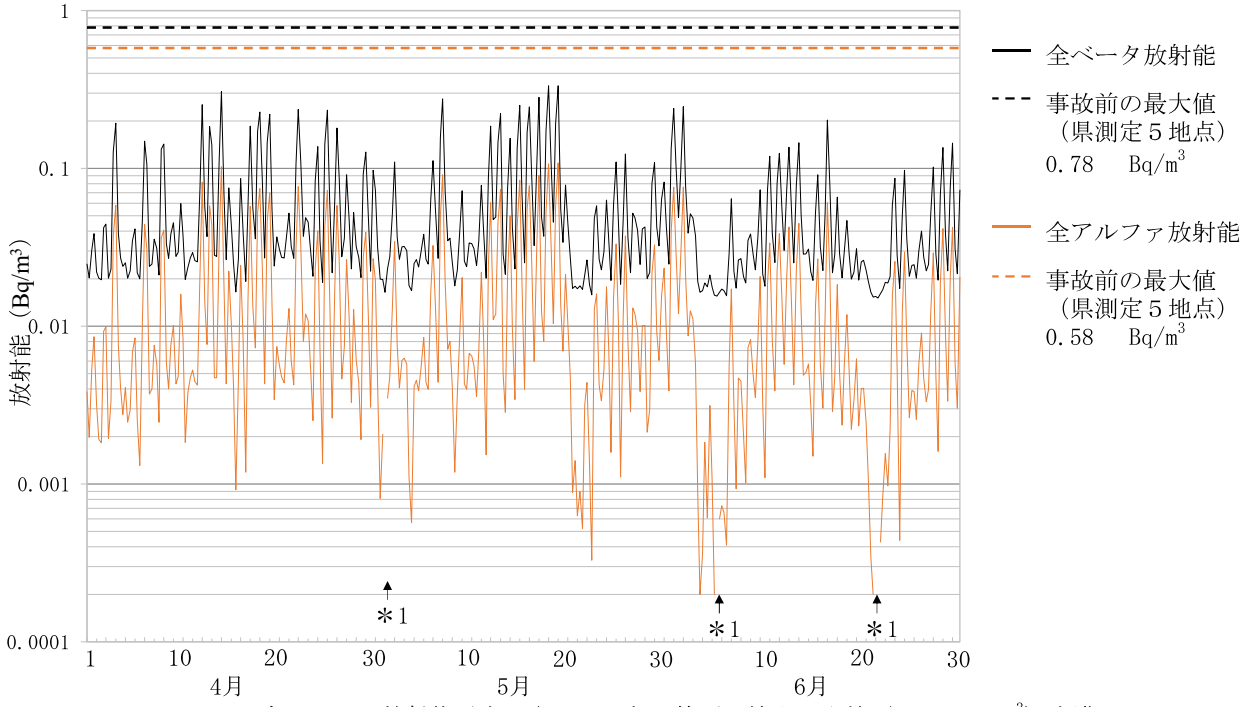


＊1 停電による欠測
＊2 全アルファ放射能が表示されていない箇所は検出下限値（0.0002Bq/m³）未満

福島県環境放射線センター

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

（6時間連続集じん・6時間放置後測定）
6　　富岡町富岡
（令和8年4月1日～6月30日）

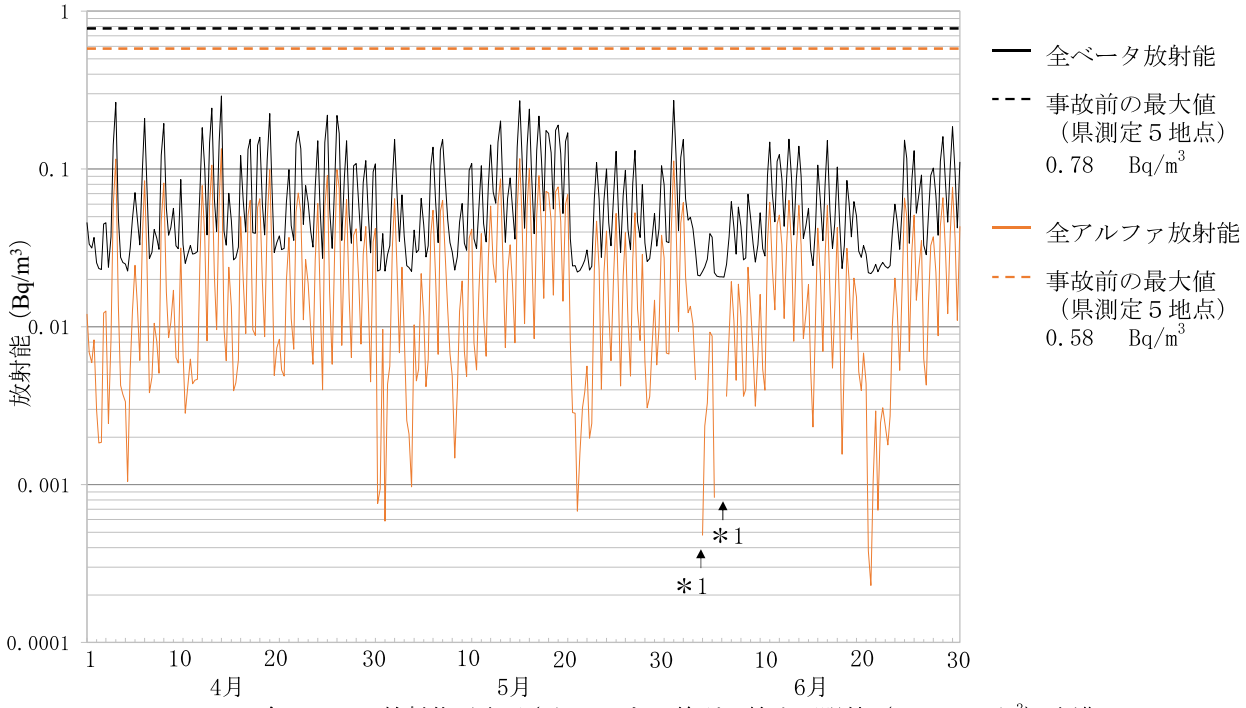


＊1 全アルファ放射能が表示されていない箇所は検出下限値（0.0002Bq/m³）未満

福島県環境放射線センター

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

（6時間連続集じん・6時間放置後測定）
7　川内村下川内
（令和8年4月1日～6月30日）

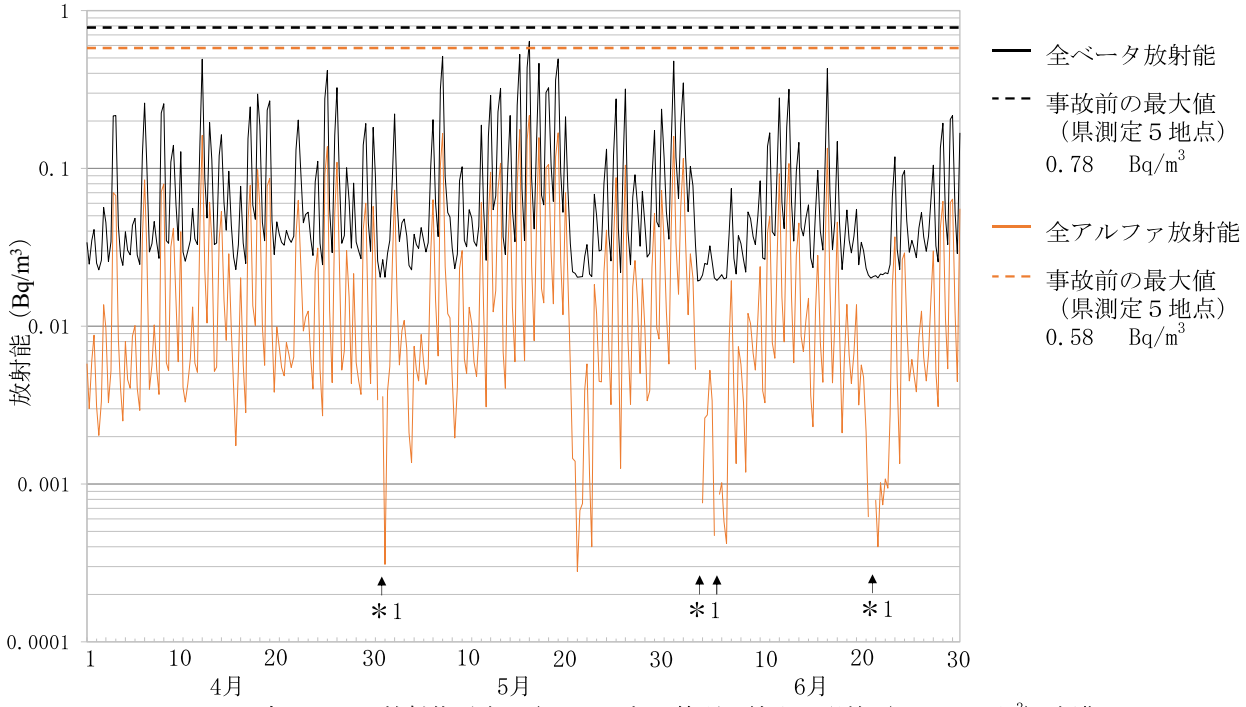


＊1 全アルファ放射能が表示されていない箇所は検出下限値（0.0002Bq/m³）未満

福島県環境放射線センター

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

（6時間連続集じん・6時間放置後測定）
8　大熊町大野
（令和8年4月1日～6月30日）

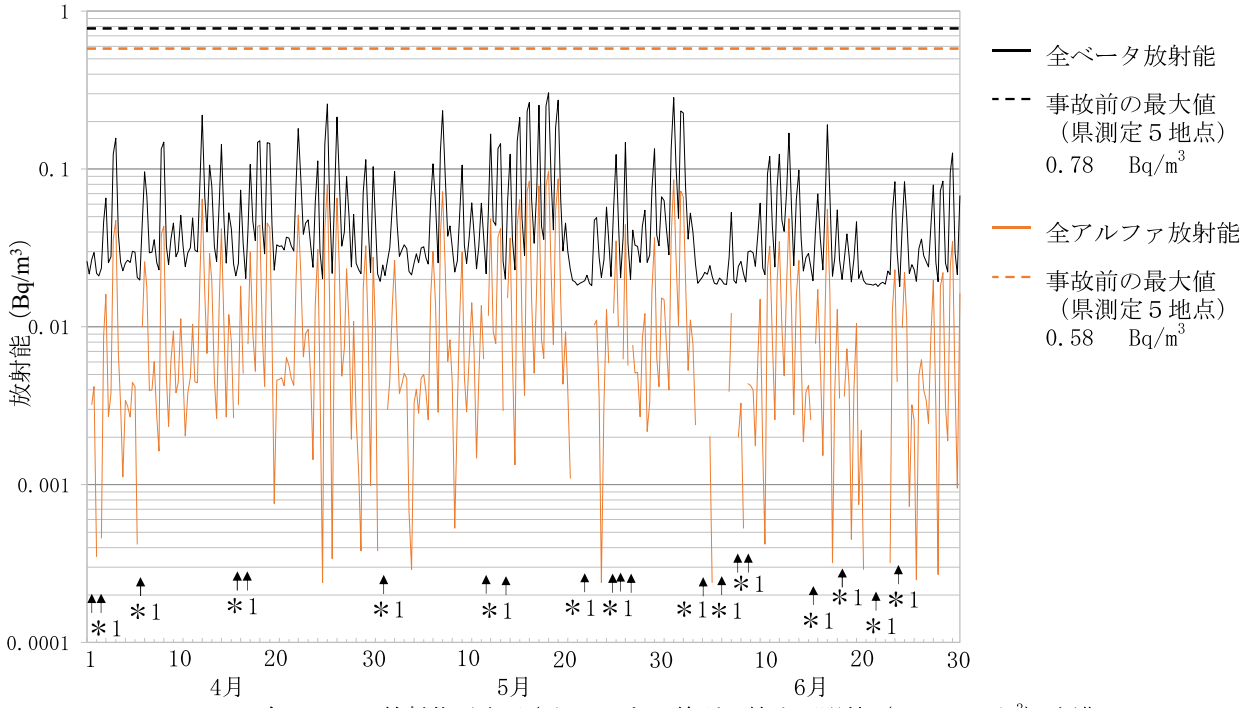


＊1 全アルファ放射能が表示されていない箇所は検出下限値（0.0002Bq/m³）未満

福島県環境放射線センター

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

（6時間連続集じん・6時間放置後測定）
9　大熊町夫沢
（令和8年4月1日～6月30日）

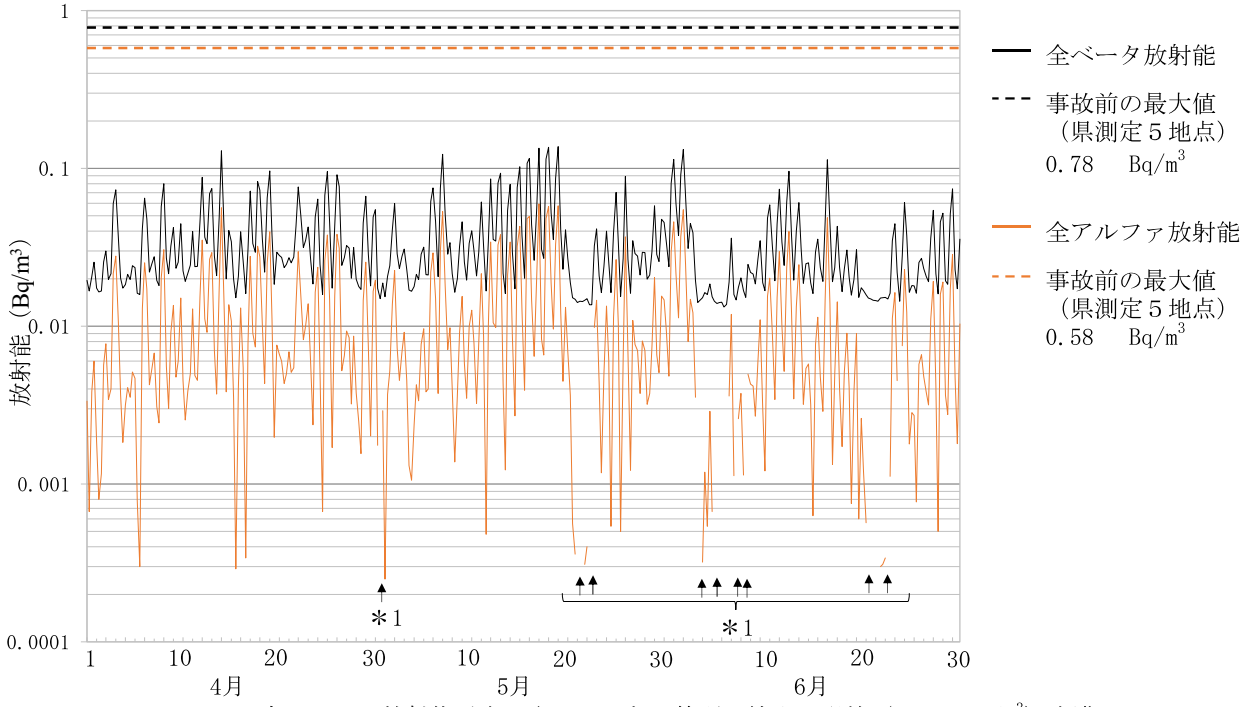


＊1 全アルファ放射能が表示されていない箇所は検出下限値（0.0002Bq/m³）未満

福島県環境放射線センター

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

（6時間連続集じん・6時間放置後測定）
10　双葉町郡山
（令和8年4月1日～6月30日）

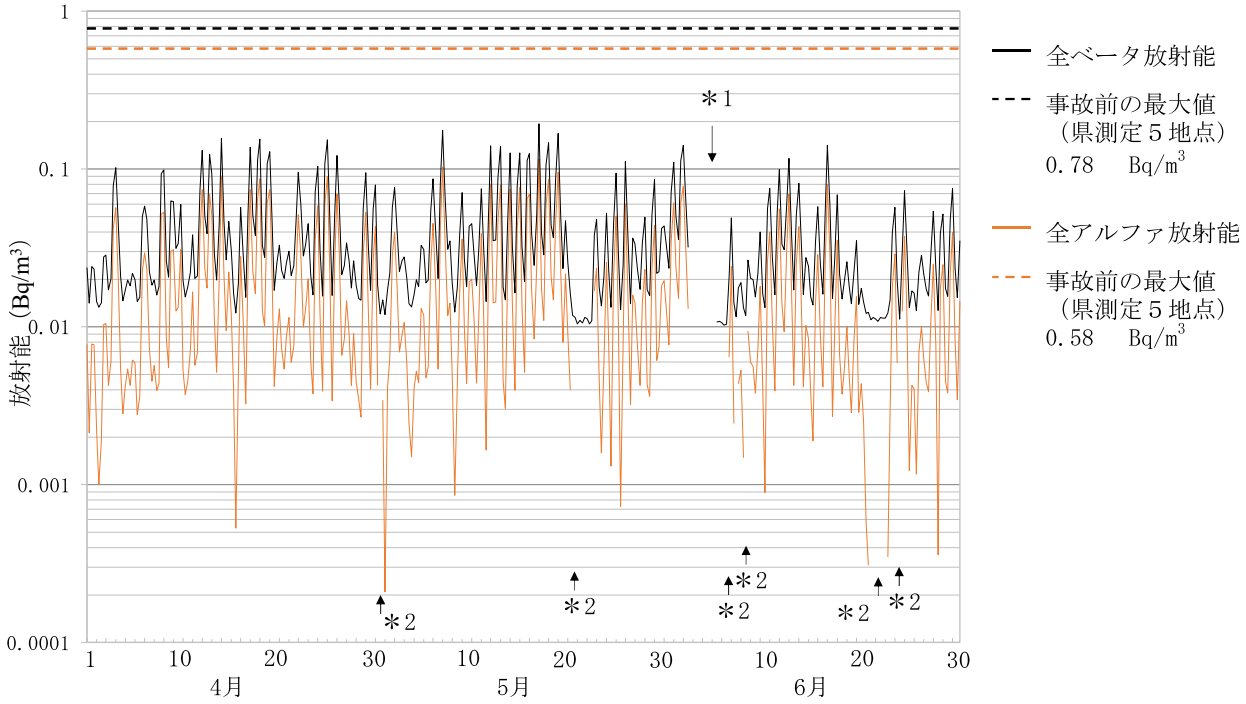


＊1 全アルファ放射能が表示されていない箇所は検出下限値（0.0002Bq/m³）未満

福島県環境放射線センター

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

（6時間連続集じん・6時間放置後測定）
11　浪江町幾世橋
（令和8年4月1日～6月30日）

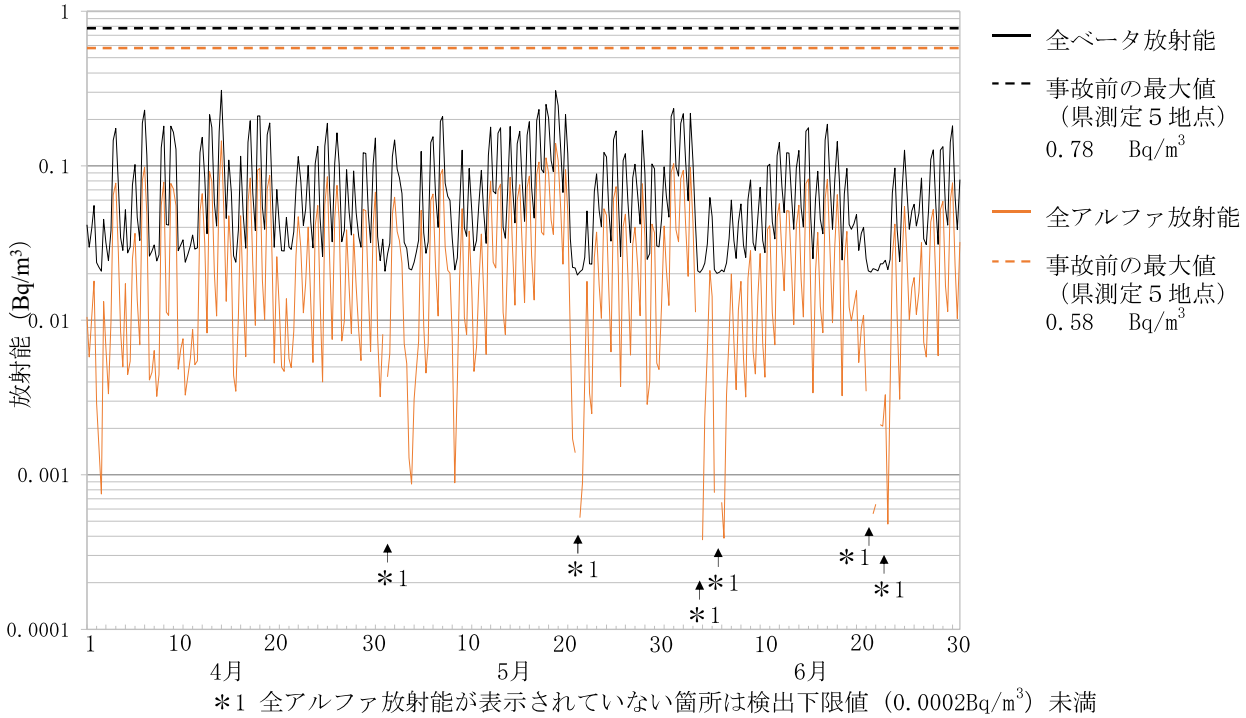


＊1 点検による欠測
＊2 全アルファ放射能が表示されていない箇所は検出下限値（0.0002Bq/m³）未満

福島県環境放射線センター

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

（6時間連続集じん・6時間放置後測定）
12　浪江町大柿ダム
（令和8年4月1日～6月30日）

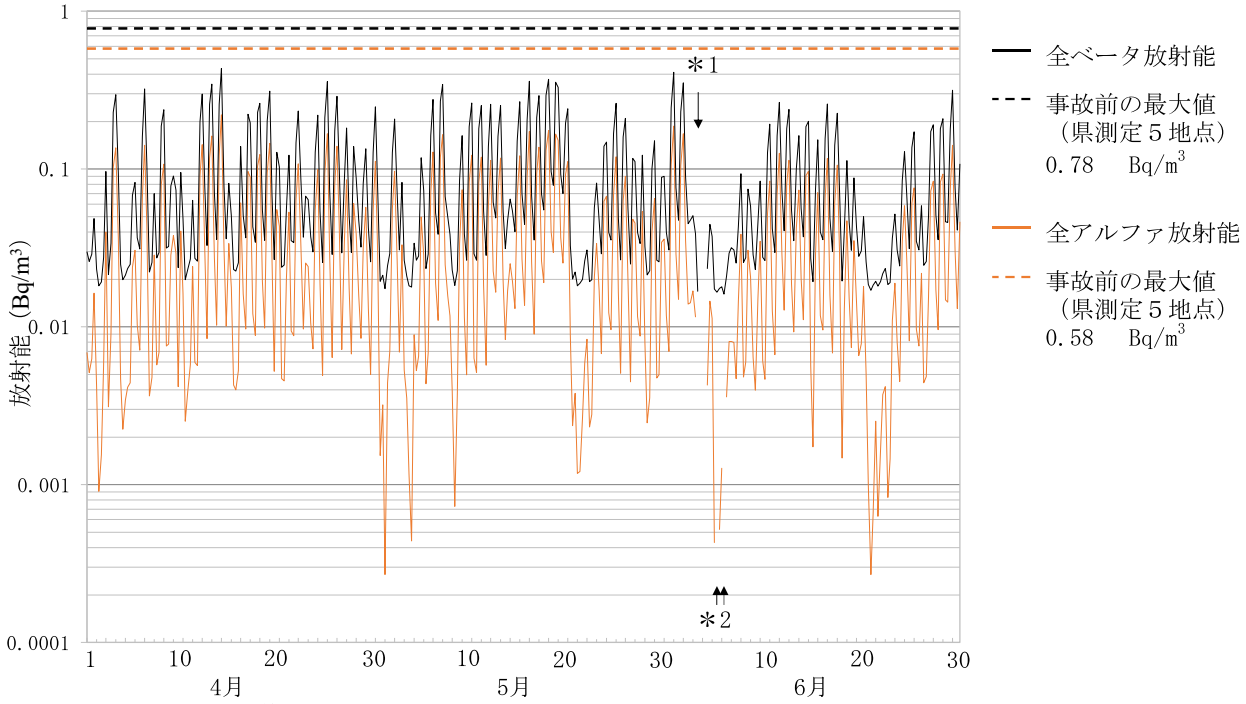


＊1 全アルファ放射能が表示されていない箇所は検出下限値（0.0002Bq/m³）未満

福島県環境放射線センター

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

（6時間連続集じん・6時間放置後測定）
13　葛尾村夏湯
（令和8年4月1日～6月30日）

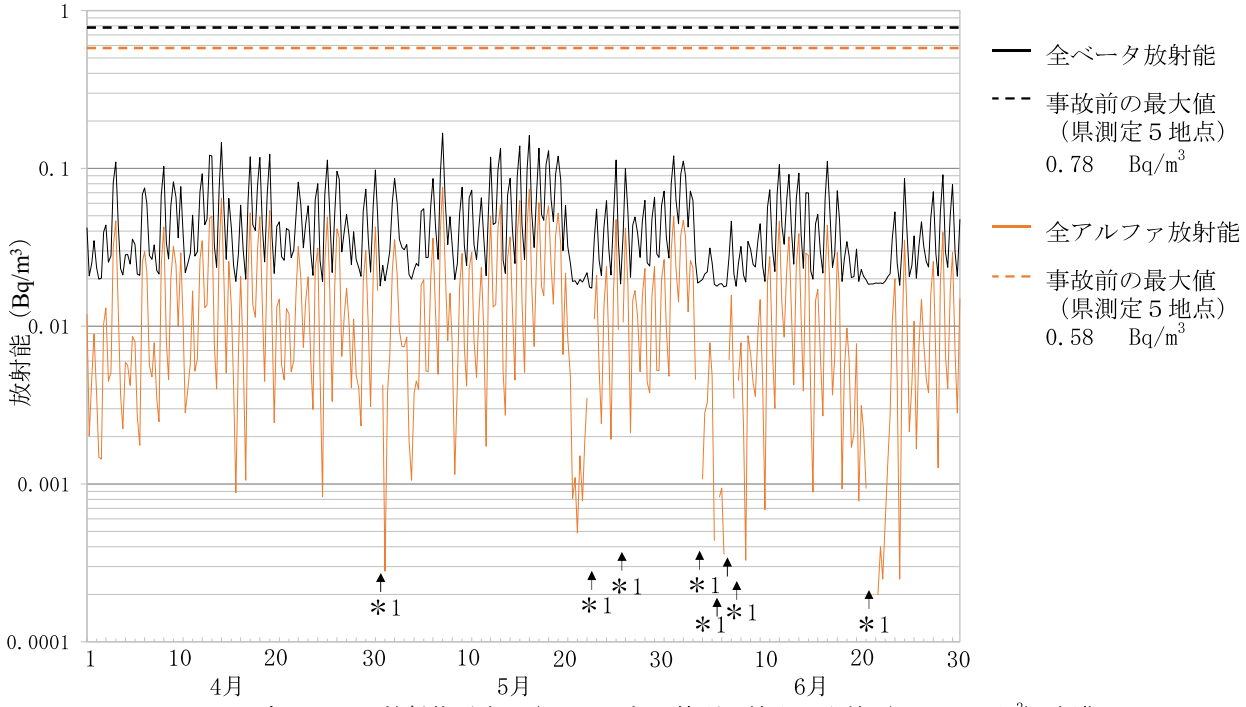


＊1 停電による欠測
＊2 全アルファ放射能が表示されていない箇所は検出下限値（0.0002Bq/m³）未満

福島県環境放射線センター

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

（6時間連続集じん・6時間放置後測定）
14　南相馬市泉沢
（令和8年4月1日～6月30日）

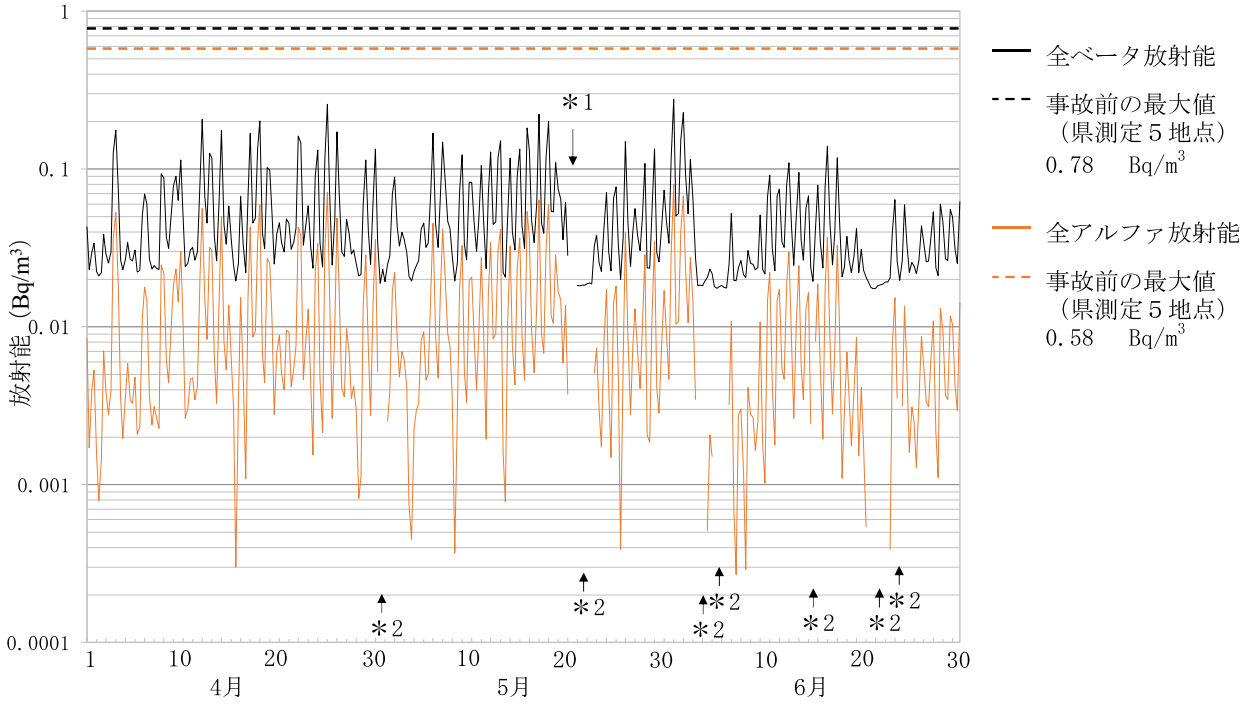


＊1 全アルファ放射能が表示されていない箇所は検出下限値（0.0002Bq/m³）未満

福島県環境放射線センター

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

(6時間連続集じん・6時間放置後測定)
15　南相馬市萱浜
(令和8年4月1日～6月30日)

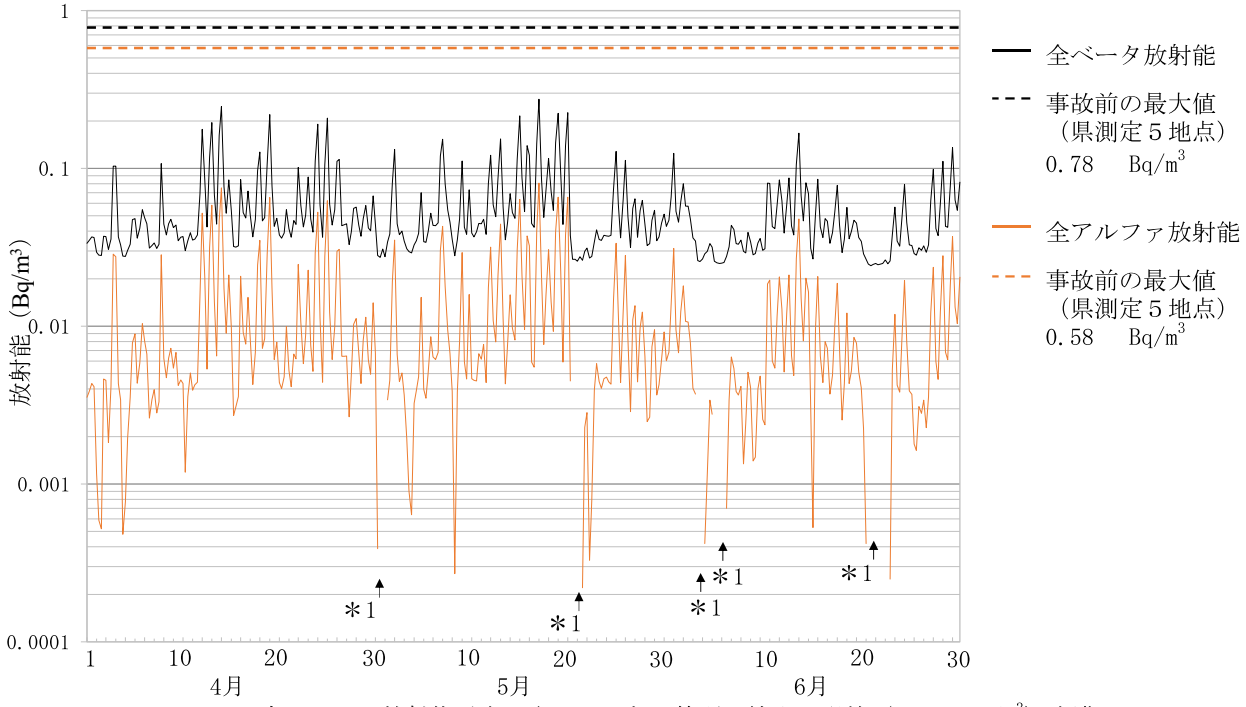


＊1 停電による欠測
＊2 全アルファ放射能が表示されていない箇所は検出下限値（0.0002Bq/m³）未満

福島県環境放射線センター

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

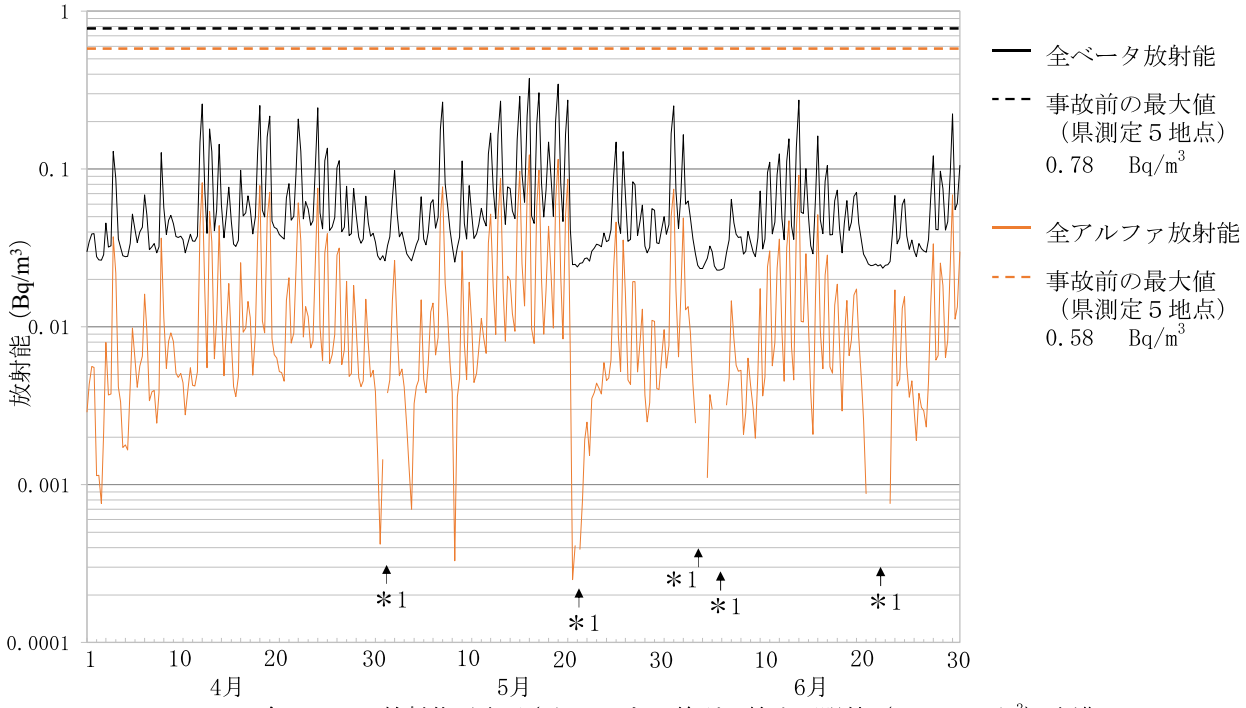
(6時間連続集じん・6時間放置後測定)
16　飯舘村伊丹沢
(令和8年4月1日～6月30日)



＊1 全アルファ放射能が表示されていない箇所は検出下限値（0.0002Bq/m³）未満

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

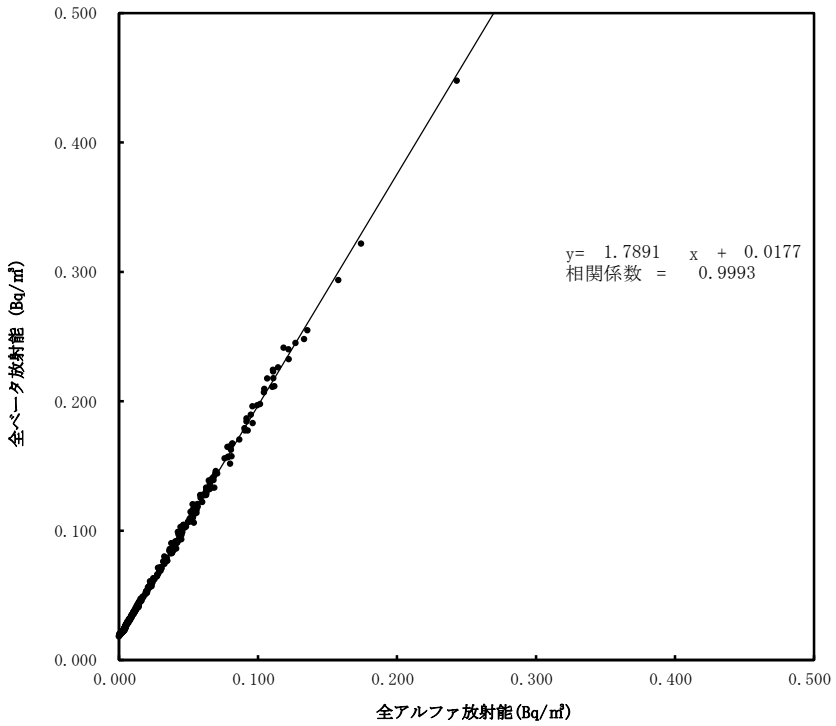
（6時間連続集じん・6時間放置後測定）
17　川俣町山木屋
（令和8年4月1日～6月30日）



＊1 全アルファ放射能が表示されていない箇所は検出下限値（0.0002Bq/m³）未満

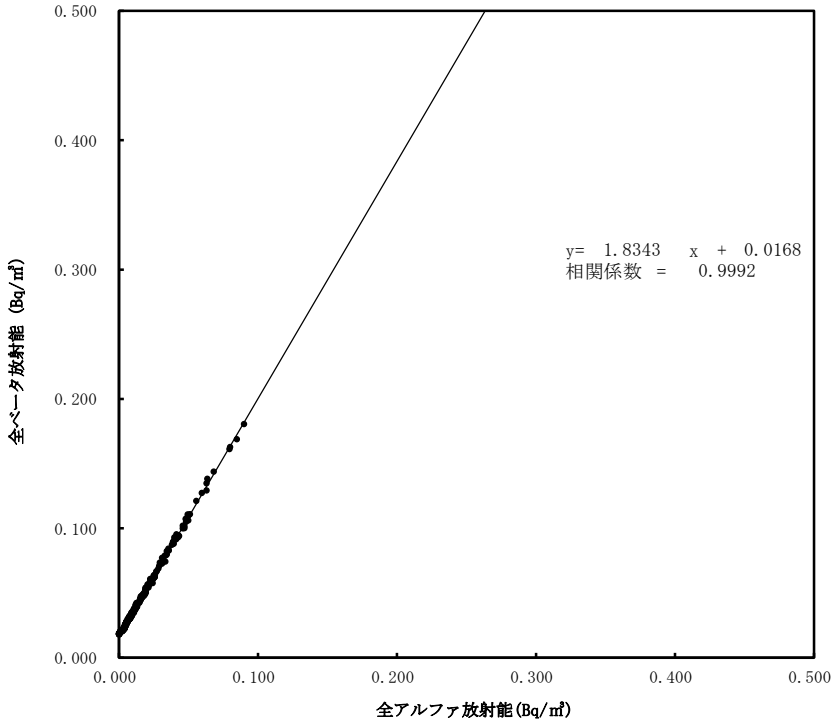
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図
（6時間連続集じん・6時間放置後）

（令和8年4月～6月）
（いわき市小川）



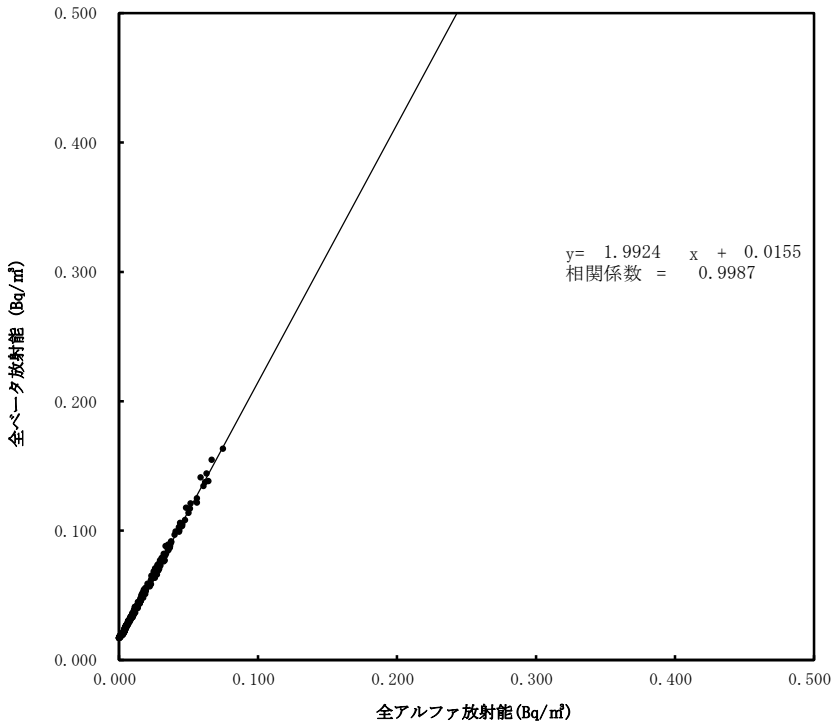
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図
（6時間連続集じん・6時間放置後）

（令和8年4月～6月）
（田村市都路馬洗戸）



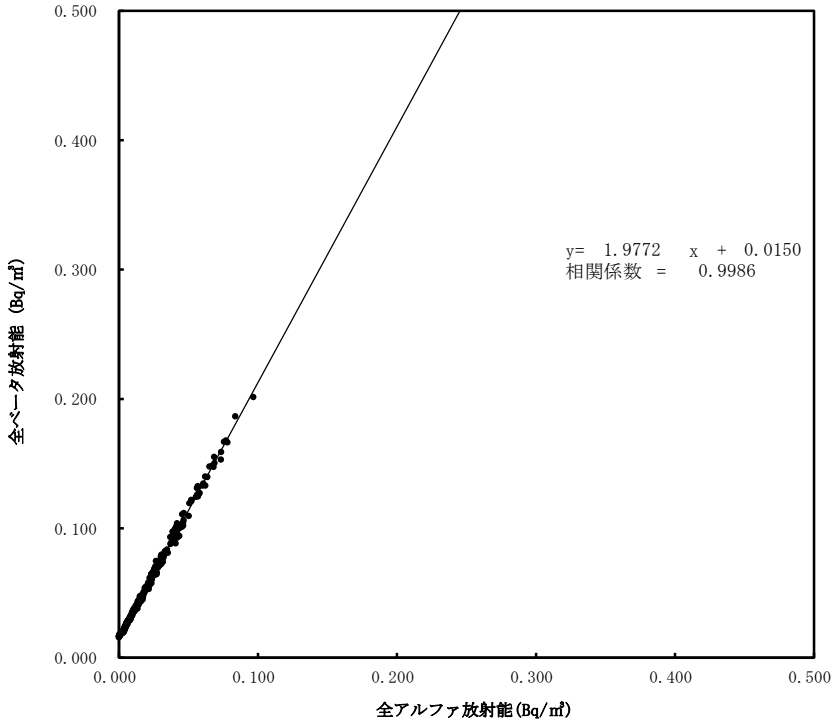
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図
(6時間連続集じん・6時間放置後)

(令和8年4月～6月)
(広野町小滝平)



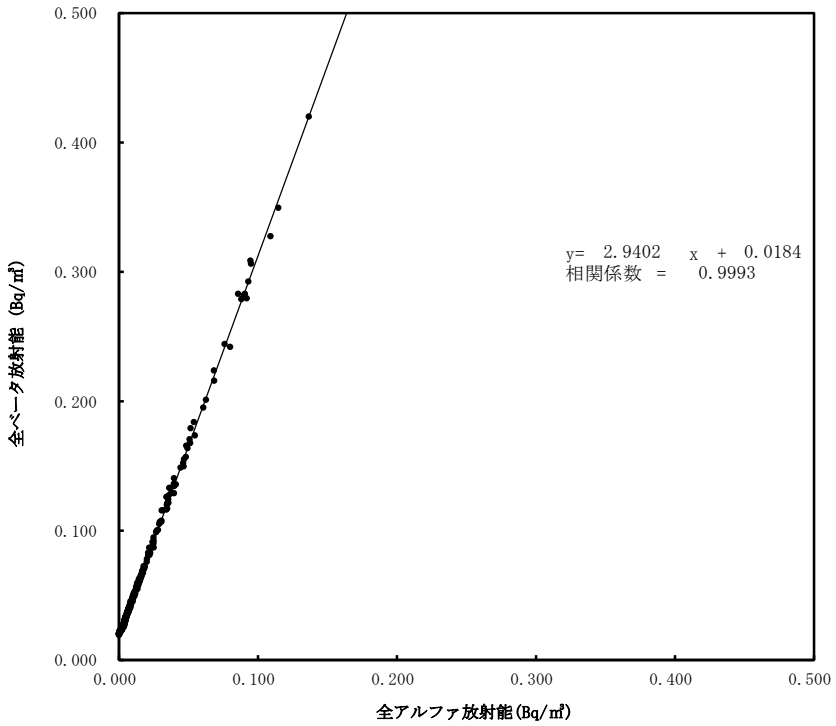
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図
(6時間連続集じん・6時間放置後)

(令和8年4月～6月)
(楢葉町木戸ダム)



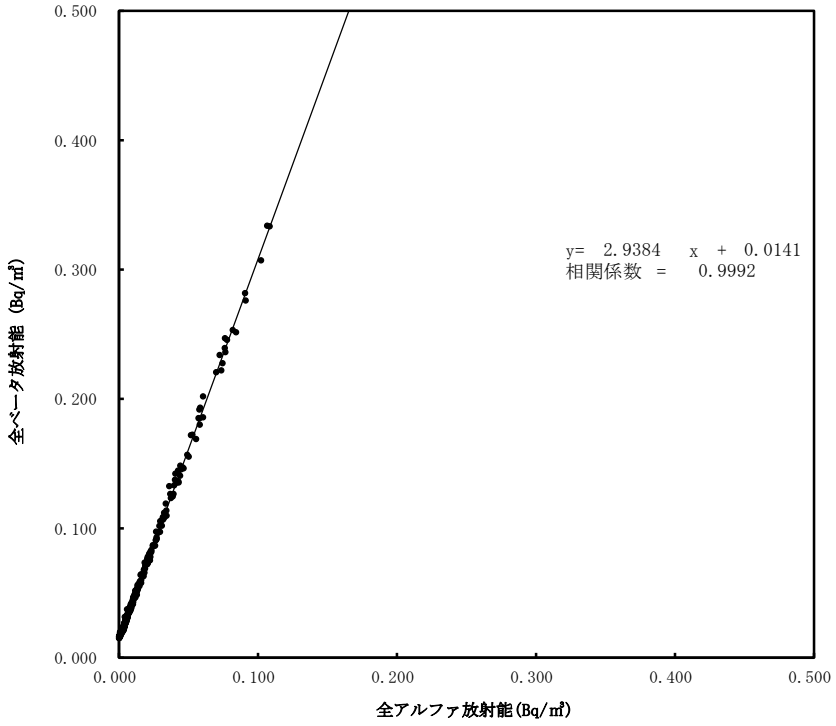
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図
（6時間連続集じん・6時間放置後）

（令和8年4月～6月）
（楢葉町繁岡）



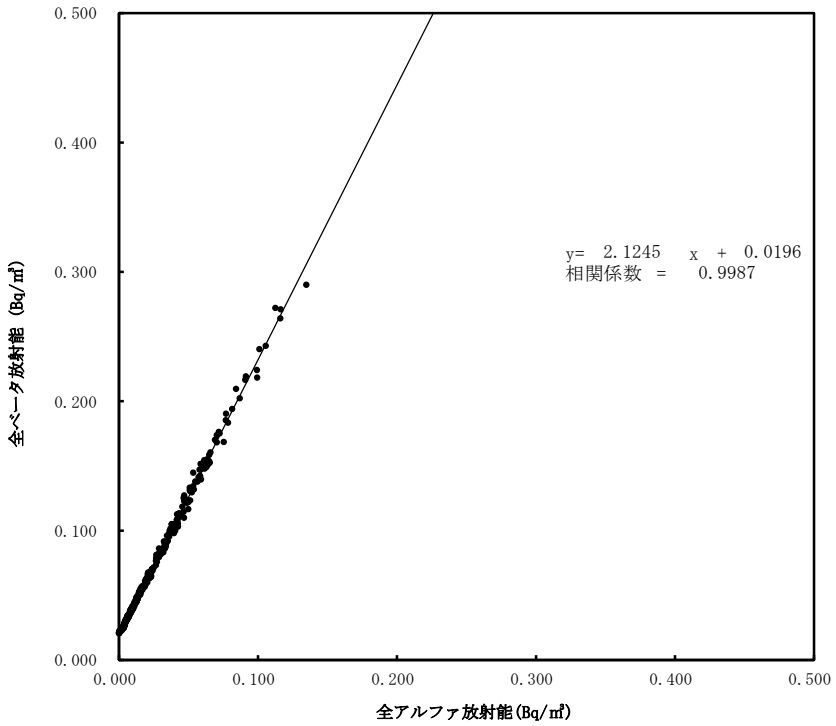
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図
（6時間連続集じん・6時間放置後）

（令和8年4月～6月）
（富岡町富岡）



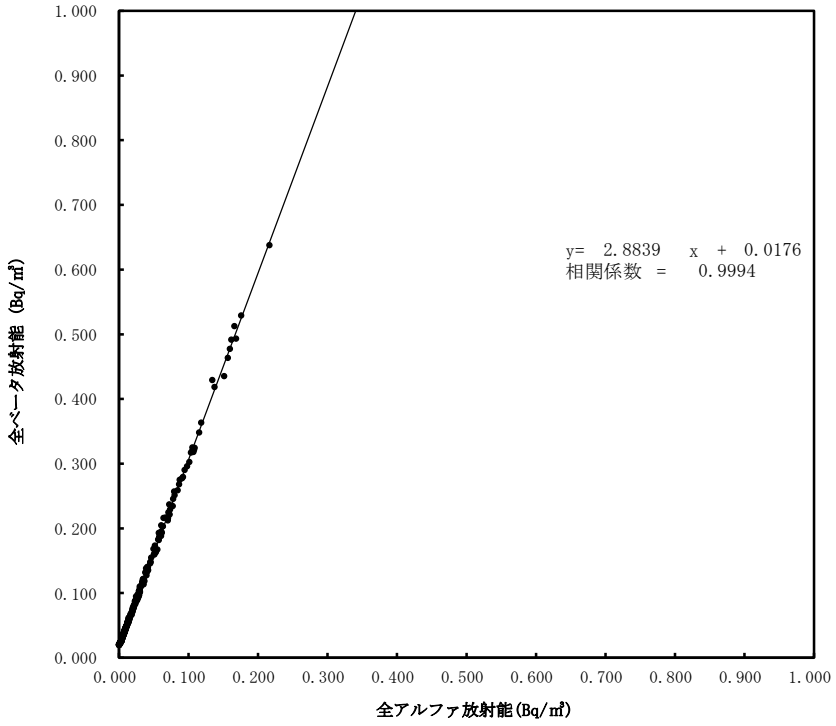
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図
(6時間連続集じん・6時間放置後)

(令和8年4月～6月)
(川内村下川内)



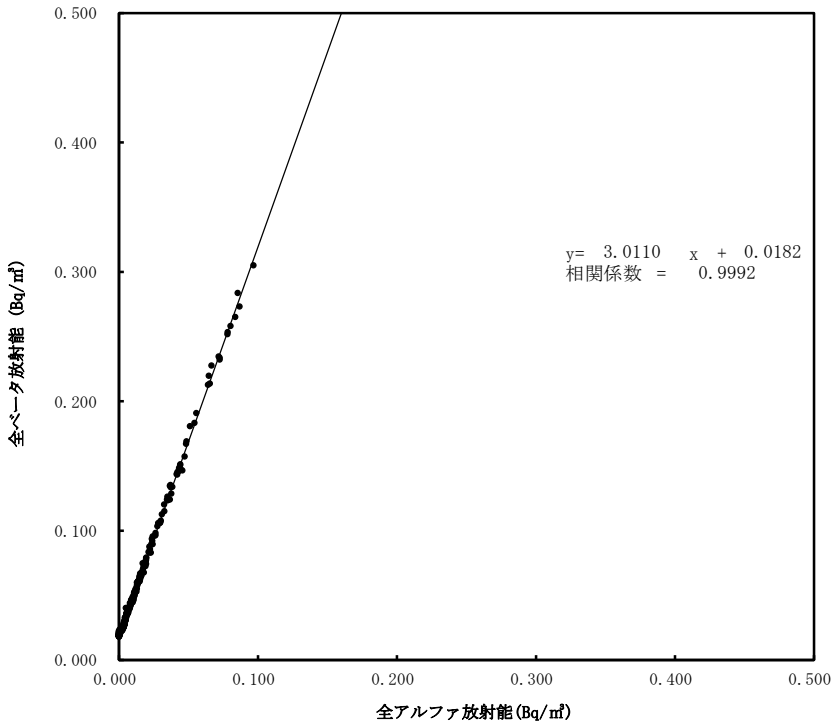
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図
(6時間連続集じん・6時間放置後)

(令和8年4月～6月)
(大熊町大野)



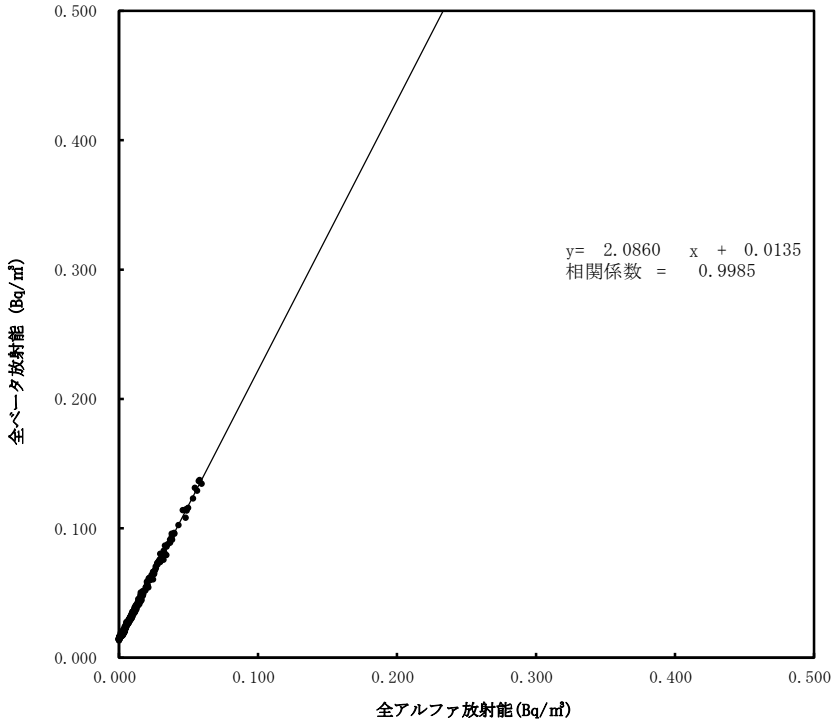
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図
（6時間連続集じん・6時間放置後）

（令和8年4月～6月）
（大熊町夫沢）



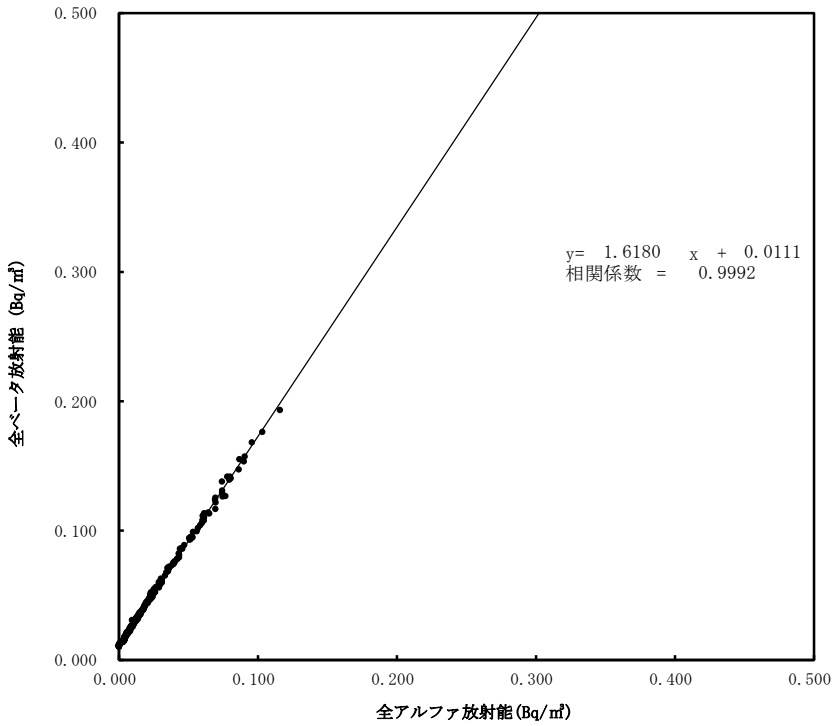
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図
（6時間連続集じん・6時間放置後）

（令和8年4月～6月）
（双葉町郡山）



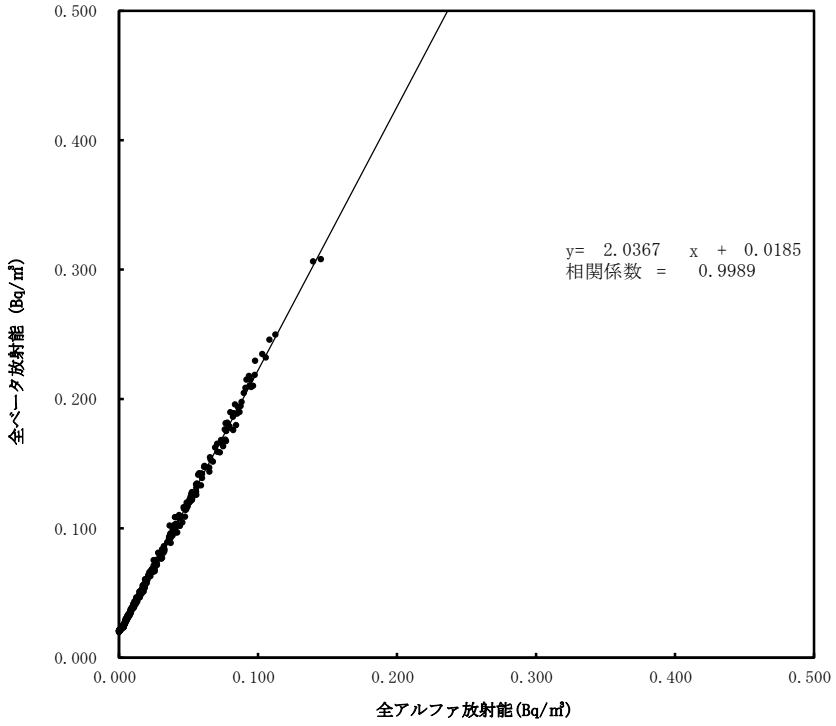
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図
(6時間連続集じん・6時間放置後)

(令和8年4月～6月)
(浪江町幾世橋)



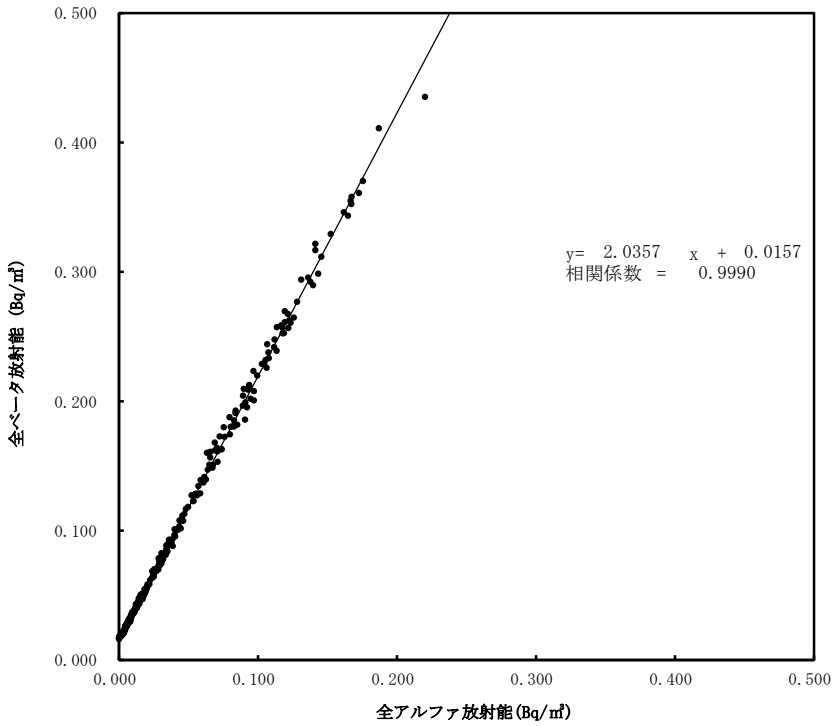
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図
(6時間連続集じん・6時間放置後)

(令和8年4月～6月)
(浪江町大柿ダム)



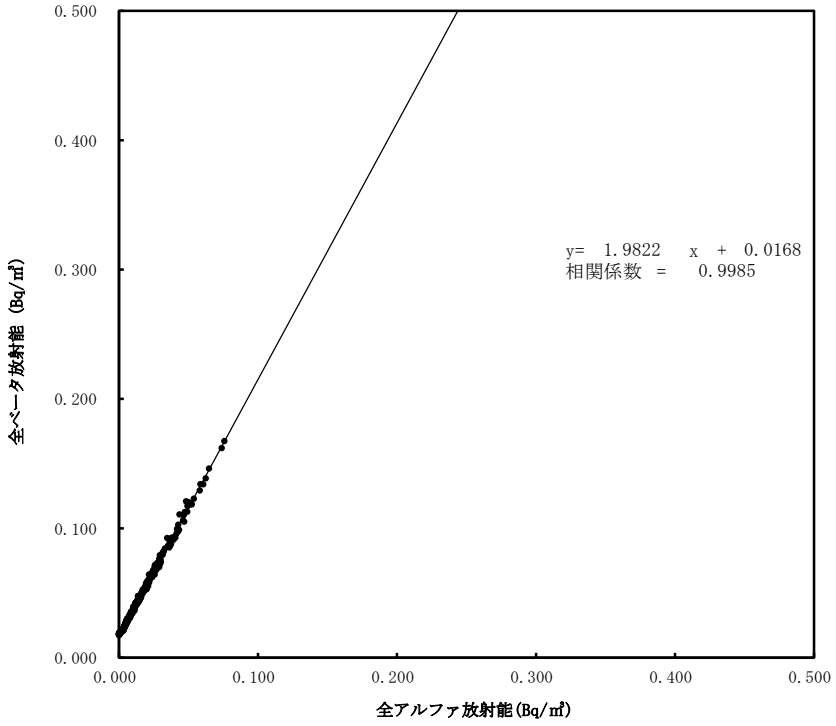
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図
(6時間連続集じん・6時間放置後)

(令和8年4月～6月)
(葛尾村夏湯)



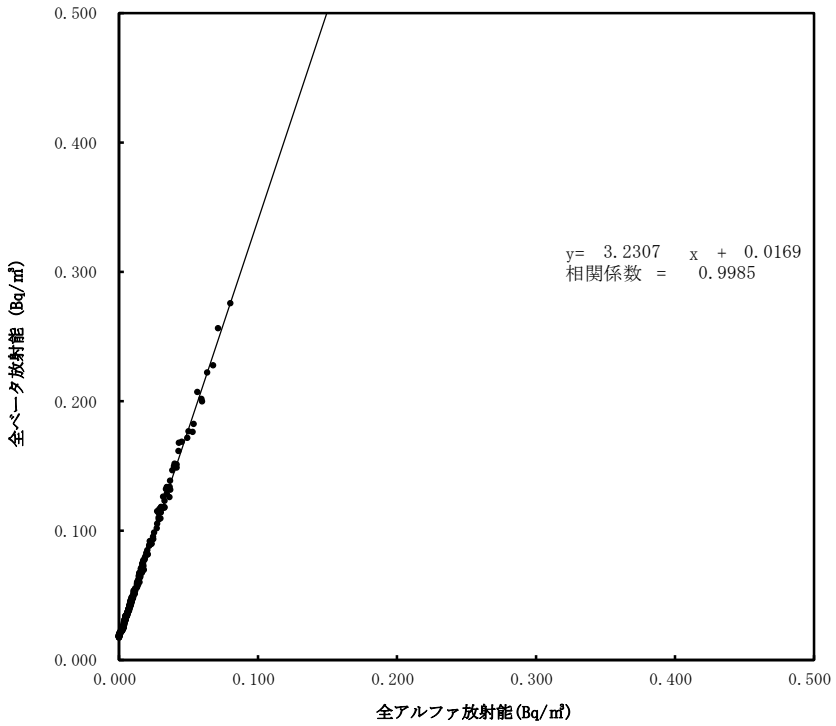
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図
(6時間連続集じん・6時間放置後)

(令和8年4月～6月)
(南相馬市泉沢)



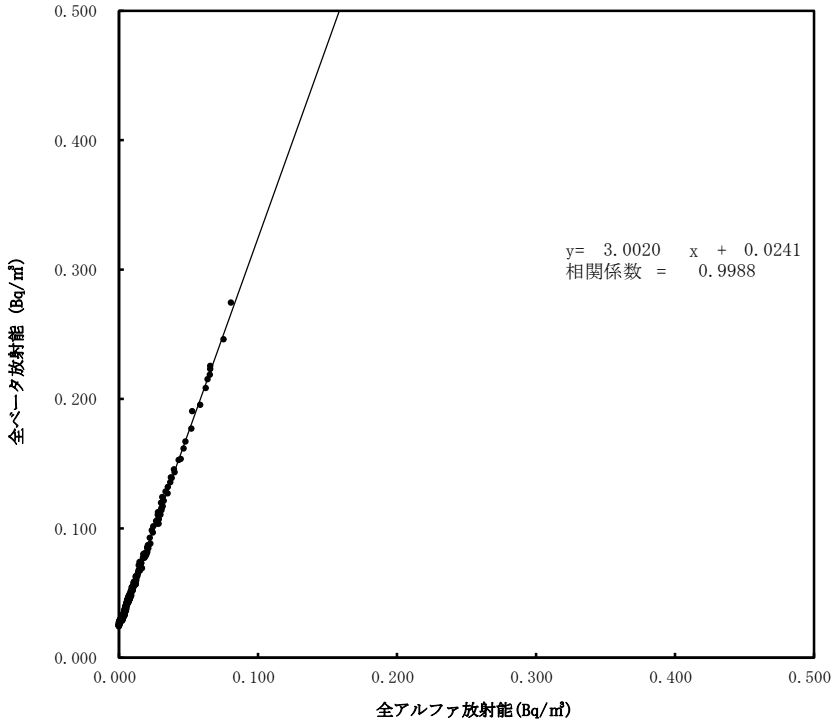
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図
(6時間連続集じん・6時間放置後)

(令和8年4月～6月)
(南相馬市萱浜)



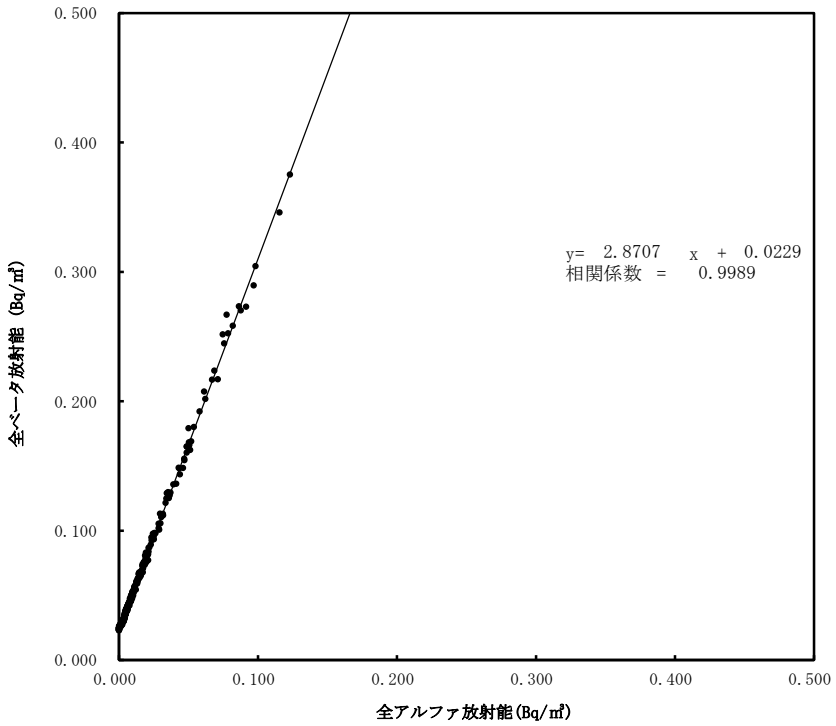
大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図
(6時間連続集じん・6時間放置後)

(令和8年4月～6月)
(飯舘村伊丹沢)



大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能の相関図
（6時間連続集じん・6時間放置後）

（令和8年4月～6月）
（川俣町山木屋）

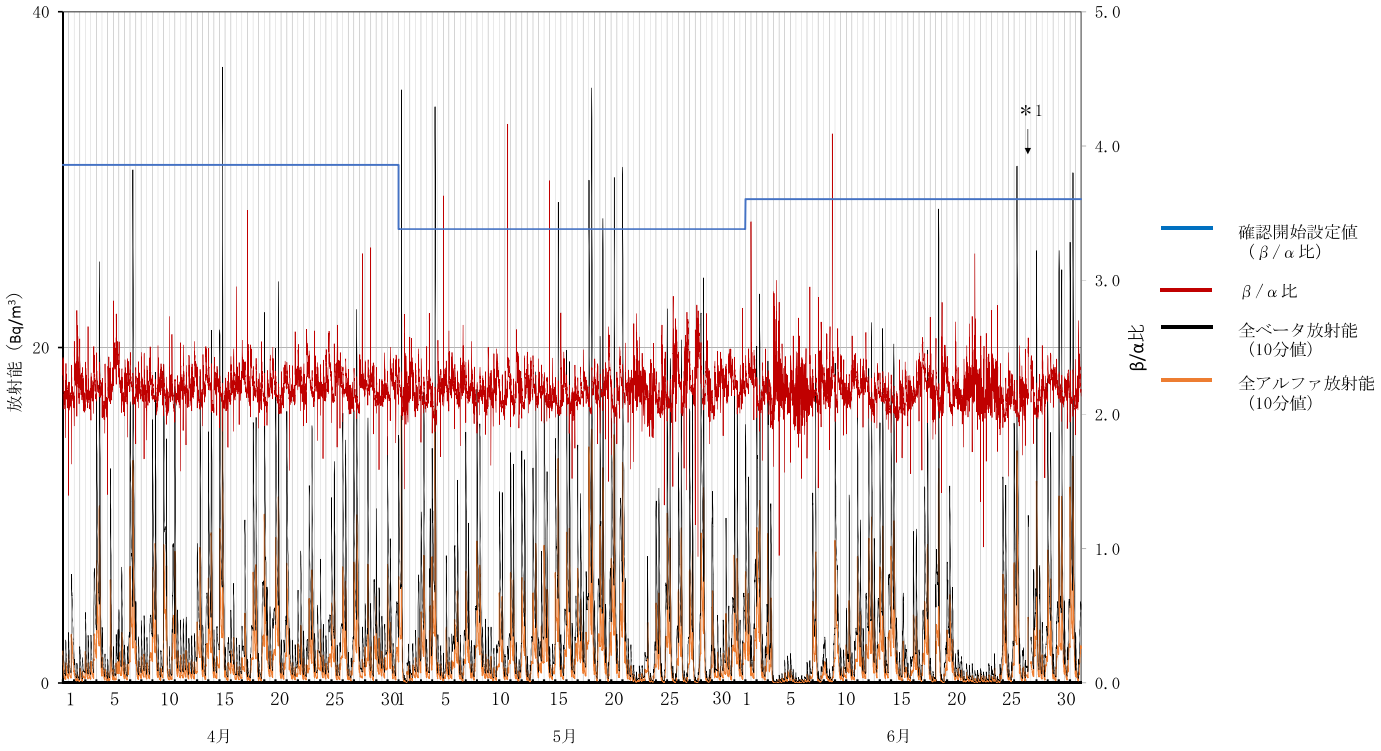


0%

福島県環境放射線センター

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移（集じん中測定）

1　いわき市小川
（令和8年4月1日～6月30日）

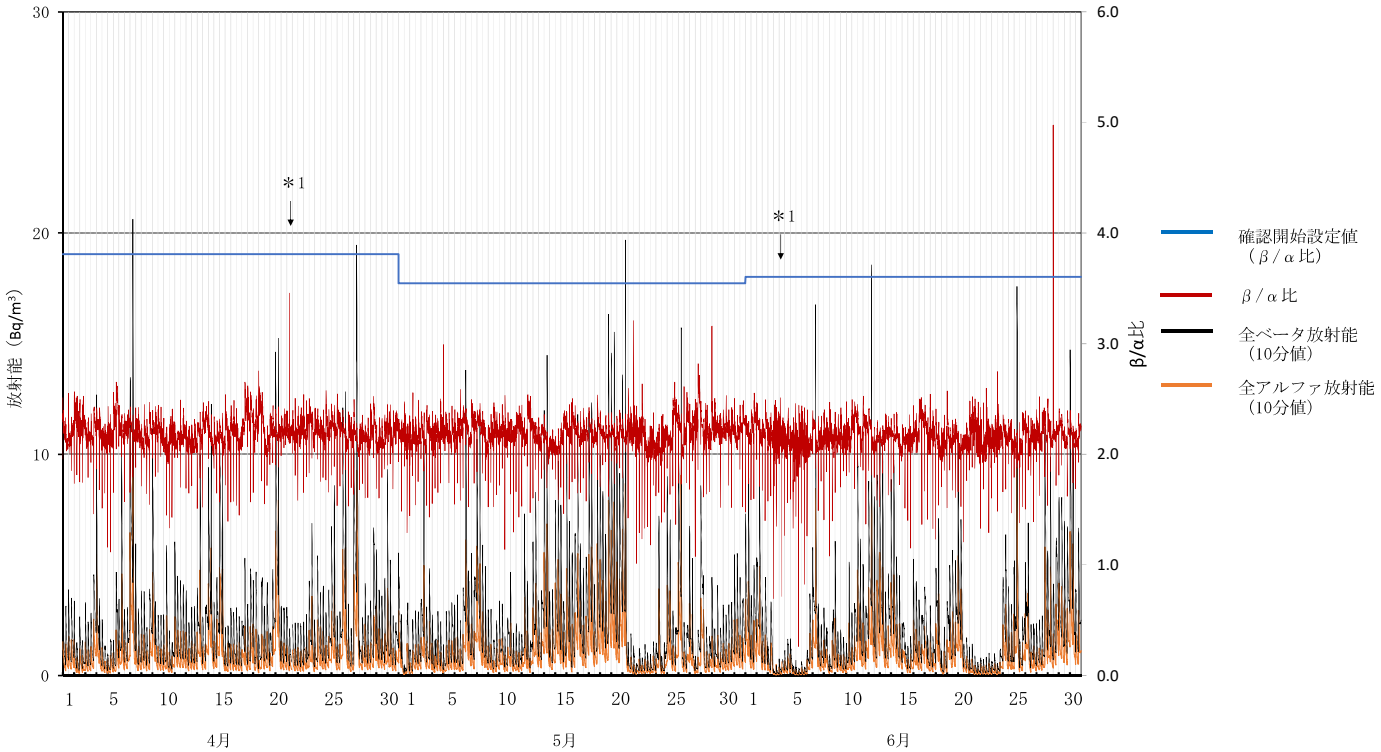


＊1 停電による欠測
ろ紙送り直後は大気浮遊じんがろ紙の内部に入り込み、見かけ上相対的に全ベータ放射能が全アルファ放射能に比べて高くなり、β/α比が高く算出される場合があること、また、放射能濃度が低いことによりβ/α比のばらつきが大きくなる場合があるとされています。

福島県環境放射線センター

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移（集じん中測定）

2　田村市都路馬洗戸
（令和8年4月1日～6月30日）



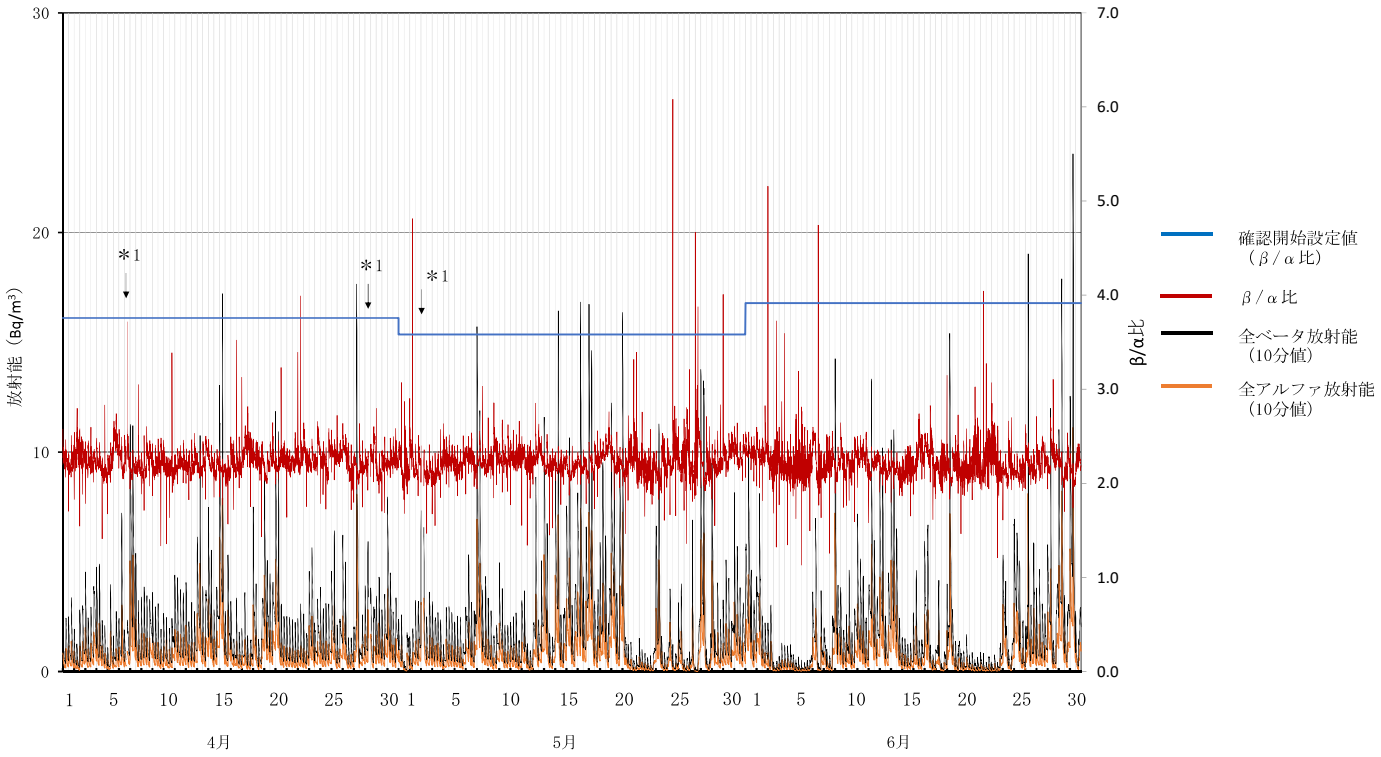
＊1 停電による欠測
ろ紙送り直後は大気浮遊じんがろ紙の内部に入り込み、見かけ上相対的に全ベータ放射能が全アルファ放射能に比べて高くなり、β/α比が高く算出される場合があること、また、放射能濃度が低いことによりβ/α比のばらつきが大きくなる場合があるとされています。

福島県環境放射線センター

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移（集じん中測定）

3　広野町小滝平

（令和8年4月1日～6月30日）



＊1 停電による欠測

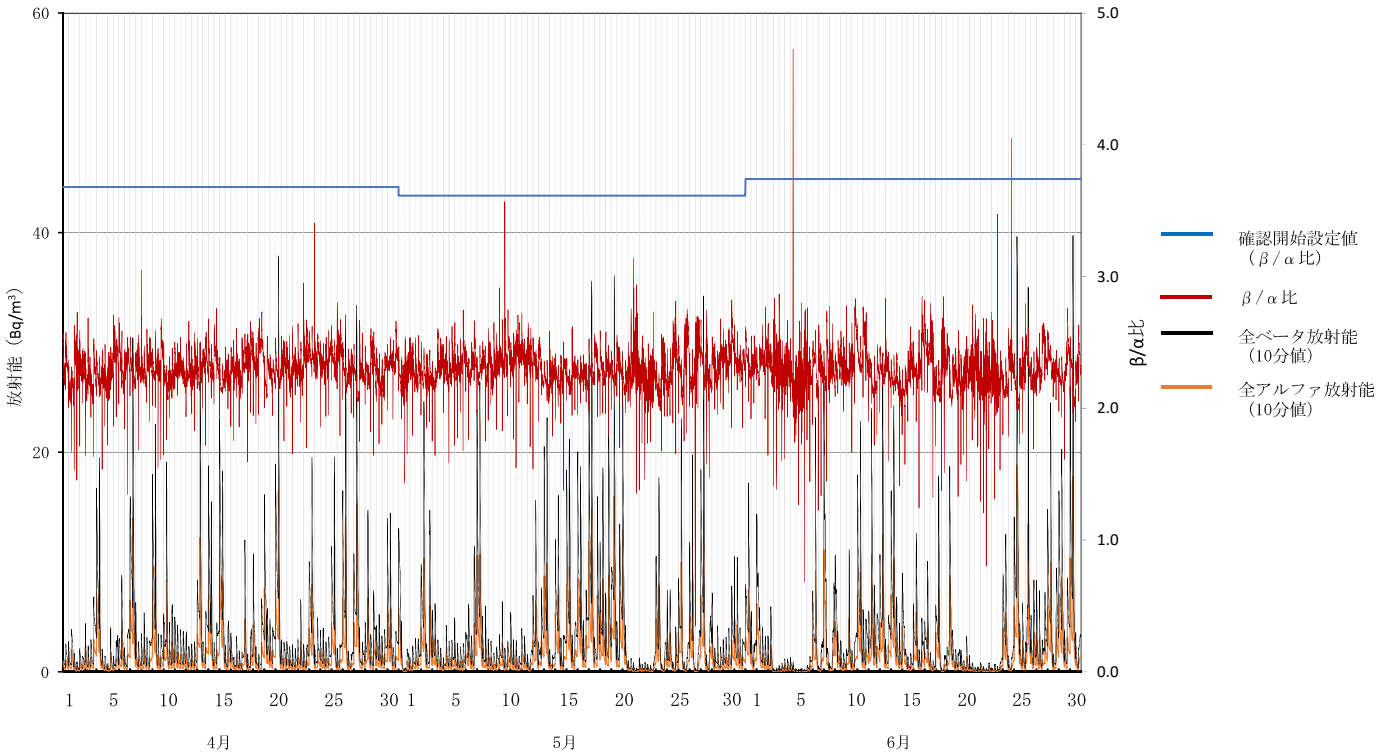
ろ紙送り直後は大気浮遊じんがろ紙の内部に入り込み、見かけ上相対的に全ベータ放射能が全アルファ放射能に比べて高くなり、β/α比が高く算出される場合があること、また、放射能濃度が低いことによりβ/α比のばらつきが大きくなる場合があるとされています。

福島県環境放射線センター

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移（集じん中測定）

4　楢葉町木戸ダム

（令和8年4月1日～6月30日）



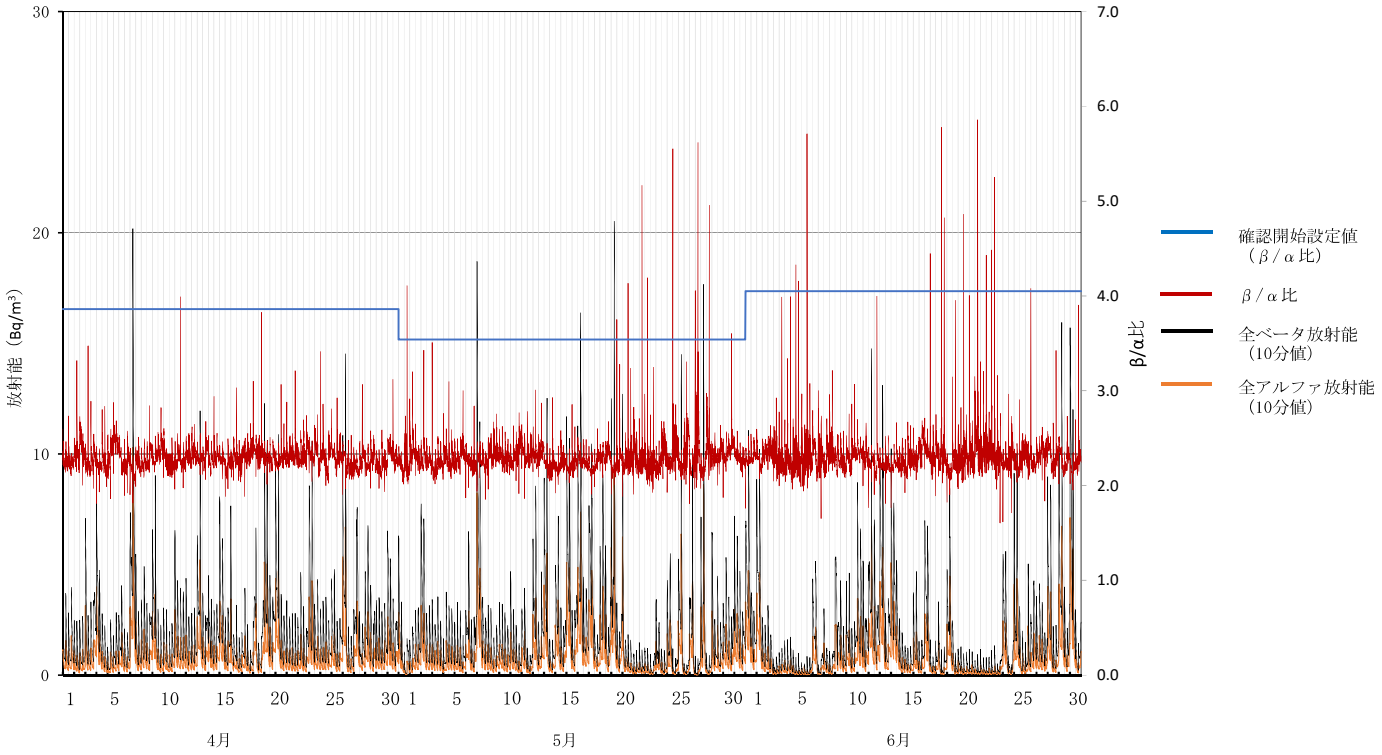
ろ紙送り直後は大気浮遊じんがろ紙の内部に入り込み、見かけ上相対的に全ベータ放射能が全アルファ放射能に比べて高くなり、β/α比が高く算出される場合があること、また、放射能濃度が低いことによりβ/α比のばらつきが大きくなる場合があるとされています。

福島県環境放射線センター

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移（集じん中測定）

5　楢葉町繁岡

（令和8年4月1日～6月30日）



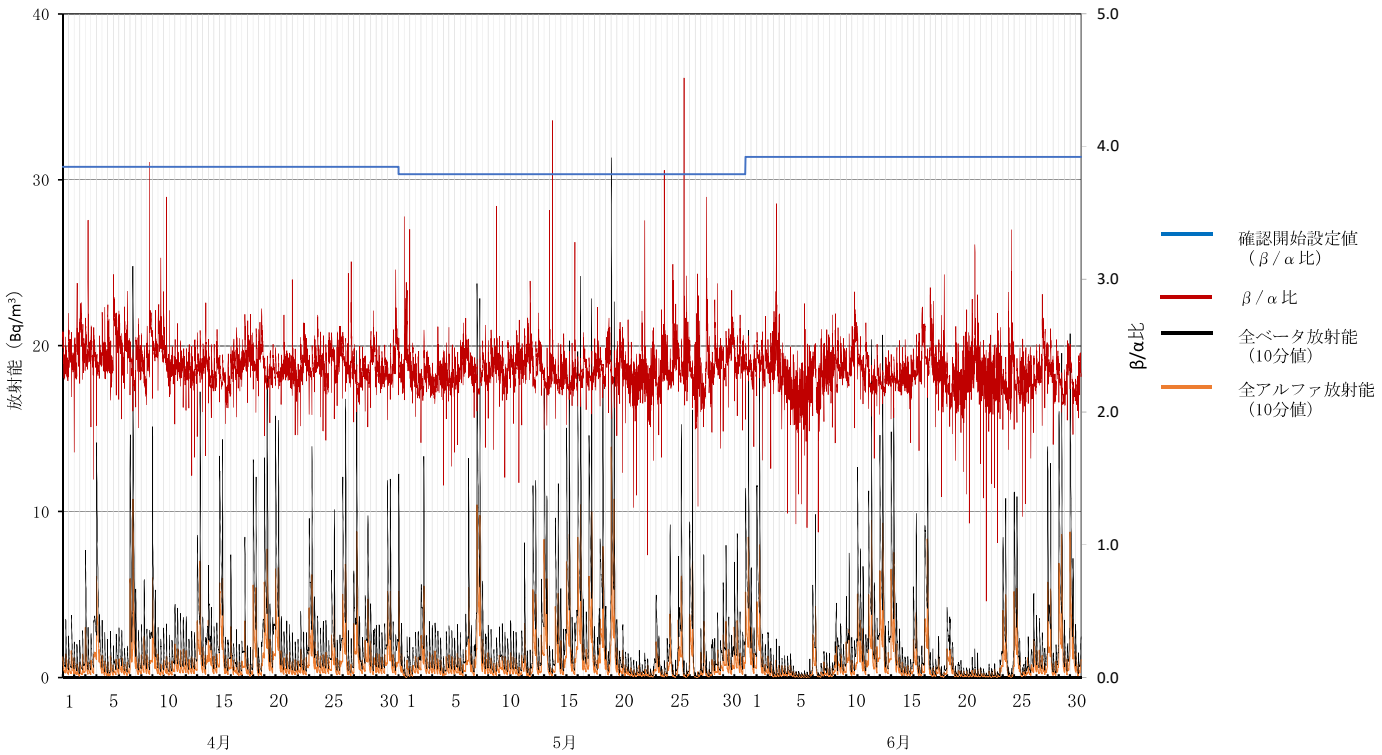
ろ紙送り直後は大気浮遊じんがろ紙の内部に入り込み、見かけ上相対的に全ベータ放射能が全アルファ放射能に比べて高くなり、β/α比が高く算出される場合があること、また、放射能濃度が低いことによりβ/α比のばらつきが大きくなる場合があるとされています。

福島県環境放射線センター

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移（集じん中測定）

6　富岡町富岡

（令和8年4月1日～6月30日）



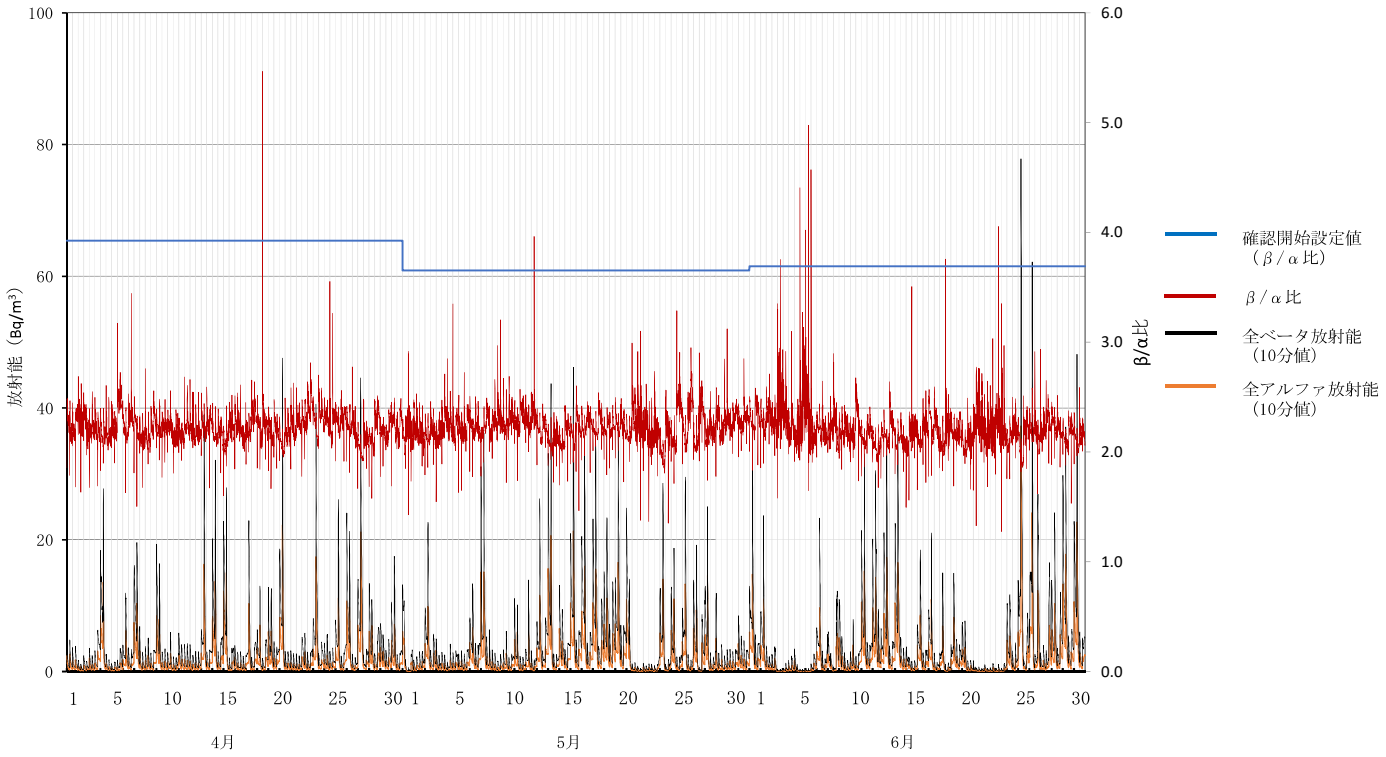
ろ紙送り直後は大気浮遊じんがろ紙の内部に入り込み、見かけ上相対的に全ベータ放射能が全アルファ放射能に比べて高くなり、β/α比が高く算出される場合があること、また、放射能濃度が低いことによりβ/α比のばらつきが大きくなる場合があるとされています。

福島県環境放射線センター

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移（集じん中測定）

7　川内村下川内

（令和8年4月1日～6月30日）



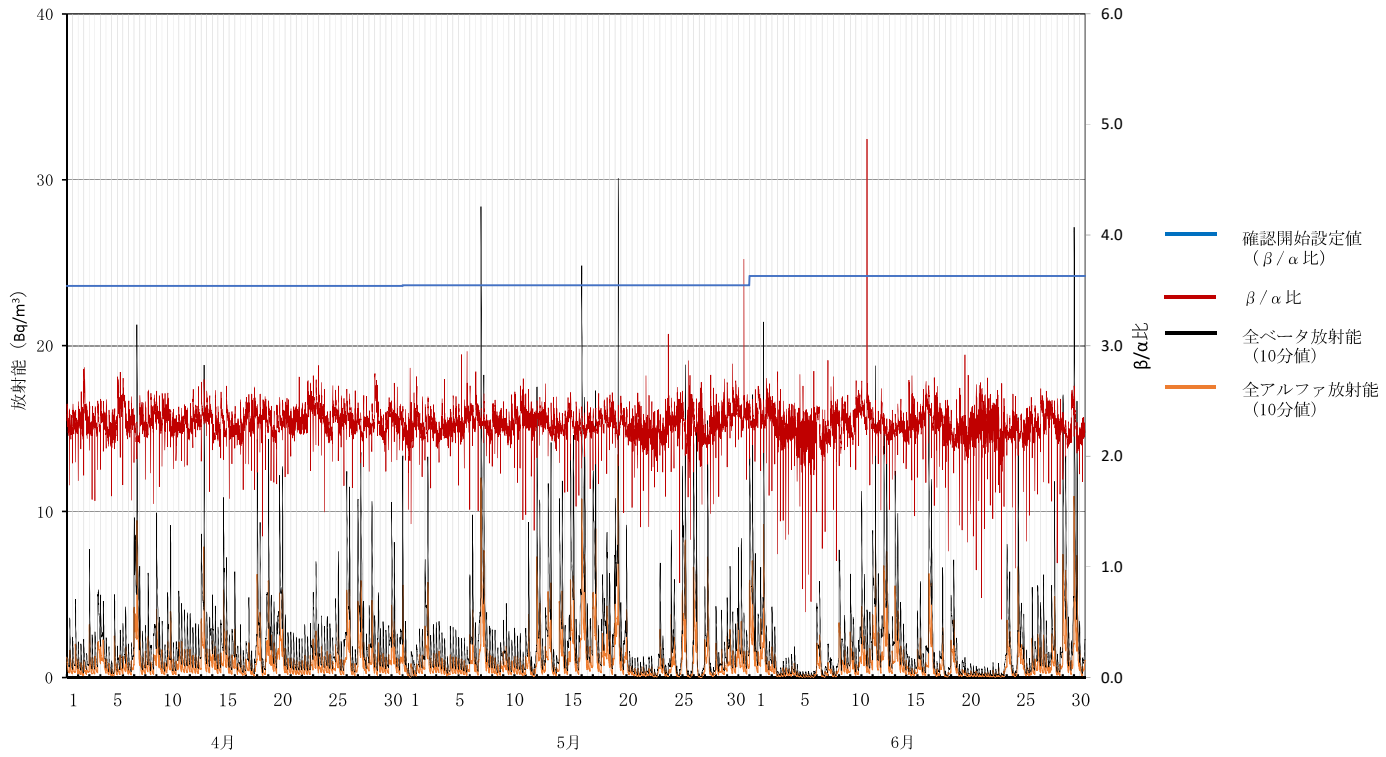
ろ紙送り直後は大気浮遊じんがろ紙の内部に入り込み、見かけ上相対的に全ベータ放射能が全アルファ放射能に比べて高くなり、β/α比が高く算出される場合があること、また、放射能濃度が低いことによりβ/α比のばらつきが大きくなる場合があるとされています。

福島県環境放射線センター

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移（集じん中測定）

8　大熊町大野

（令和8年4月1日～6月30日）



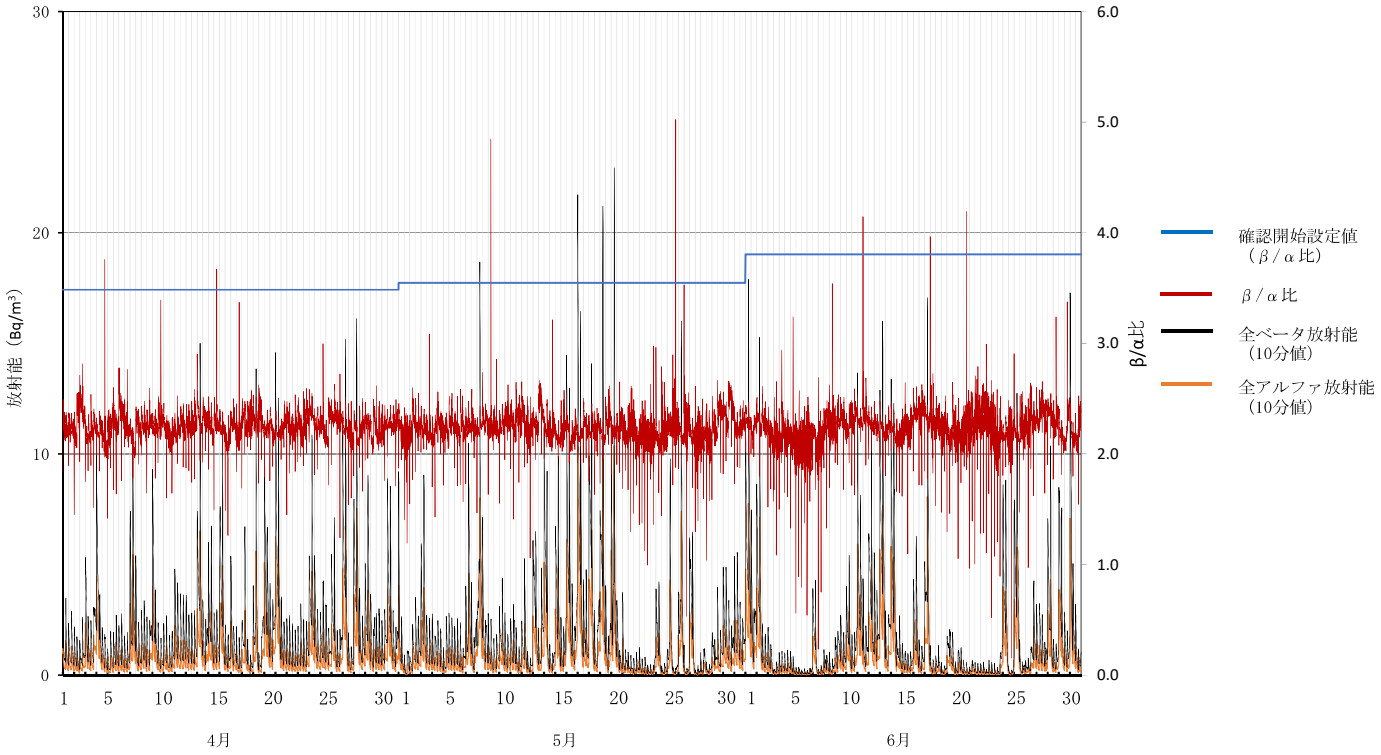
ろ紙送り直後は大気浮遊じんがろ紙の内部に入り込み、見かけ上相対的に全ベータ放射能が全アルファ放射能に比べて高くなり、β/α比が高く算出される場合があること、また、放射能濃度が低いことによりβ/α比のばらつきが大きくなる場合があるとされています。

福島県環境放射線センター

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移（集じん中測定）

9　大熊町夫沢

（令和8年4月1日～6月30日）



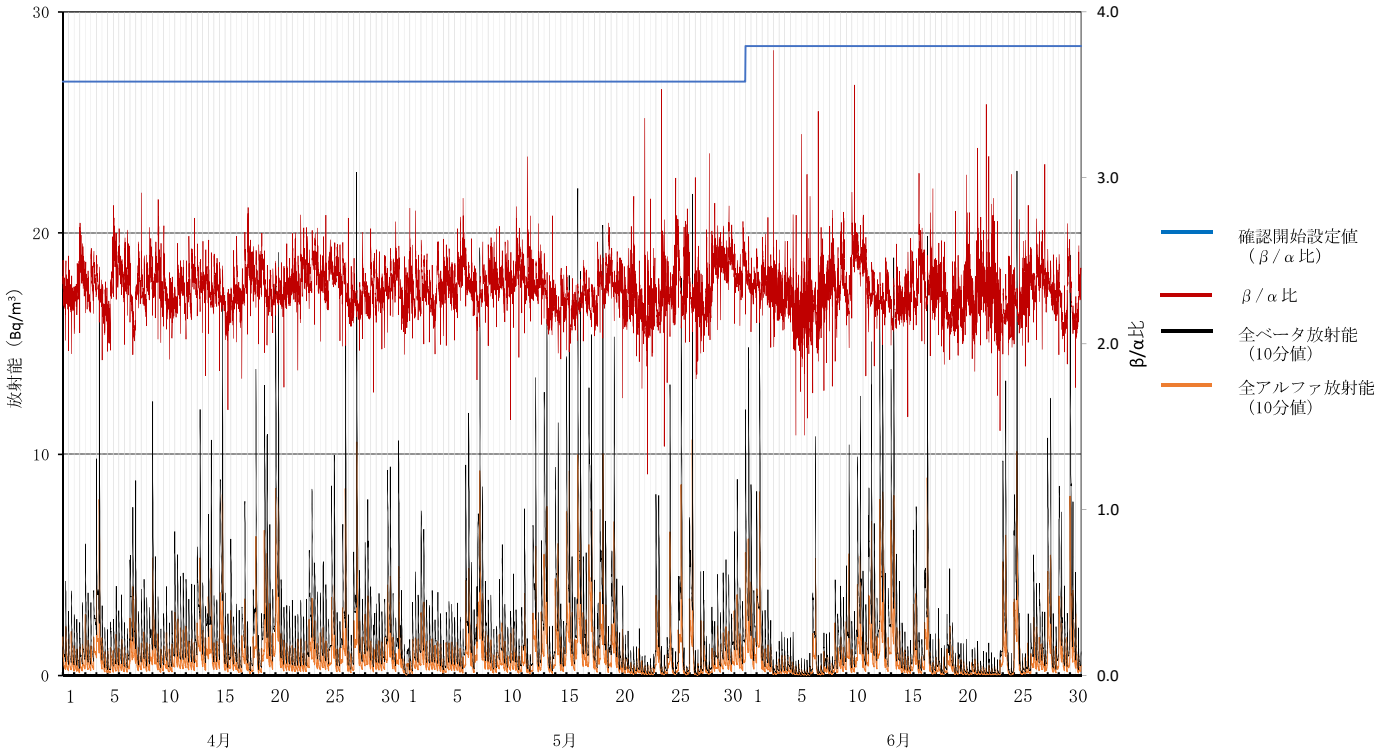
ろ紙送り直後は大気浮遊じんがろ紙の内部に入り込み、見かけ上相対的に全ベータ放射能が全アルファ放射能に比べて高くなり、β/α比が高く算出される場合があること、また、放射能濃度が低いことによりβ/α比のばらつきが大きくなる場合があるとされています。

福島県環境放射線センター

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移（集じん中測定）

10　双葉町郡山

（令和8年4月1日～6月30日）



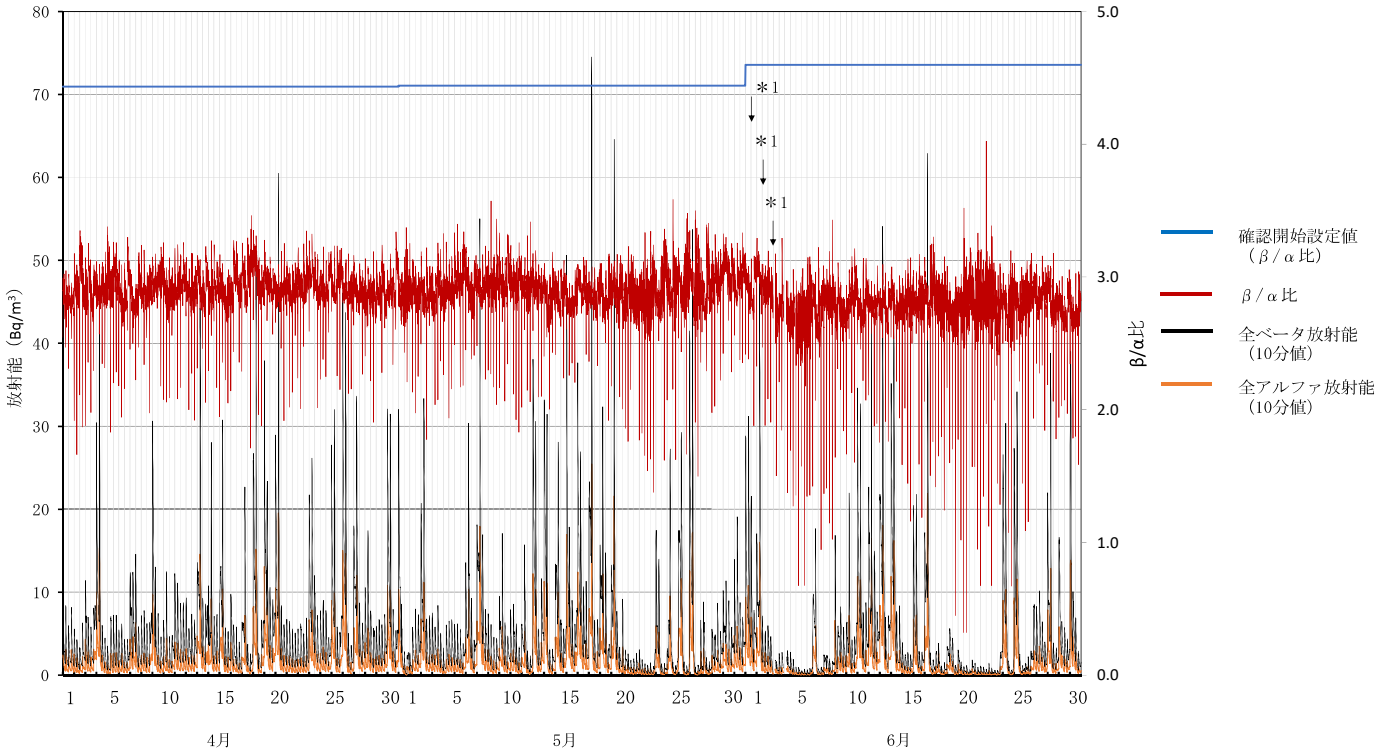
ろ紙送り直後は大気浮遊じんがろ紙の内部に入り込み、見かけ上相対的に全ベータ放射能が全アルファ放射能に比べて高くなり、β/α比が高く算出される場合があること、また、放射能濃度が低いことによりβ/α比のばらつきが大きくなる場合があるとされています。

福島県環境放射線センター

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移（集じん中測定）

11　浪江町幾世橋

（令和8年4月1日～6月30日）



＊1 点検による欠測

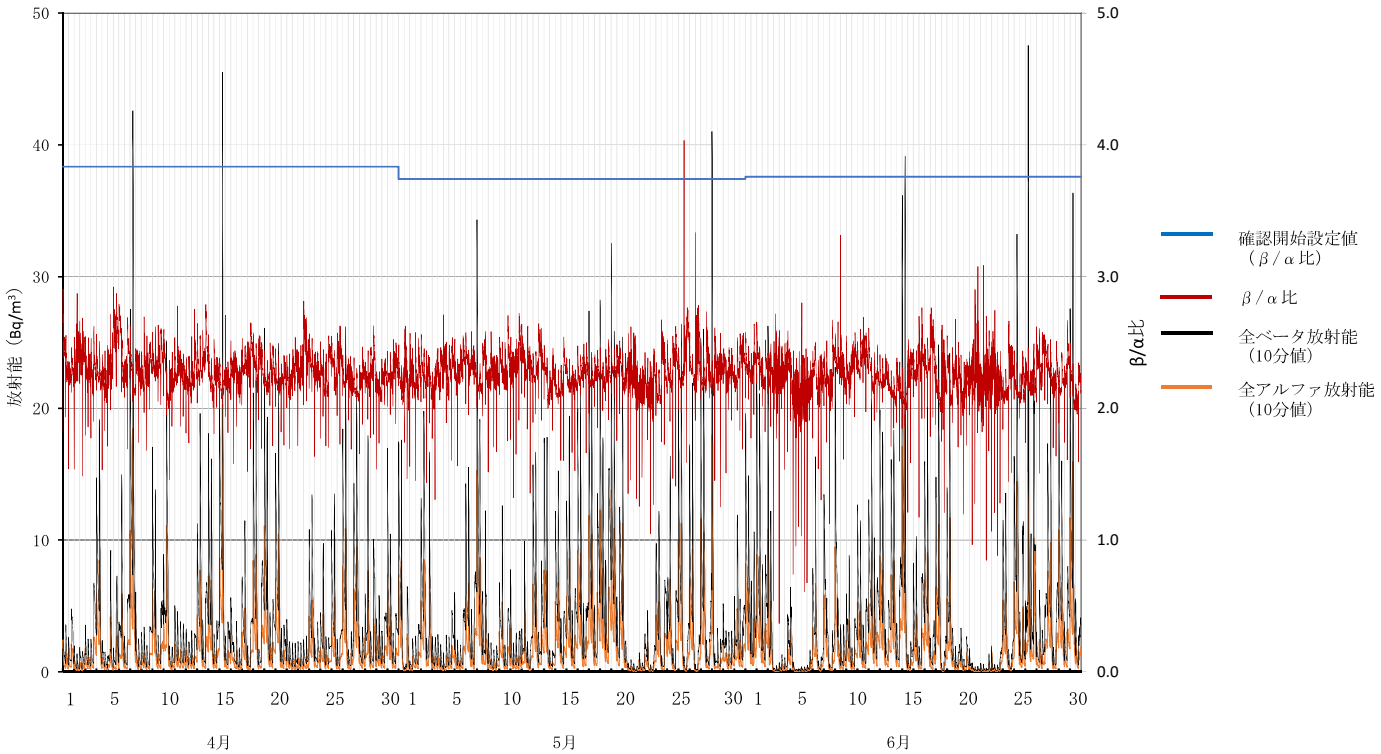
ろ紙送り直後は大気浮遊じんがろ紙の内部に入り込み、見かけ上相対的に全ベータ放射能が全アルファ放射能に比べて高くなり、β/α比が高く算出される場合があること、また、放射能濃度が低いことによりβ/α比のばらつきが大きくなる場合があるとされています。

福島県環境放射線センター

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移（集じん中測定）

12　浪江町大柿ダム

（令和8年4月1日～6月30日）

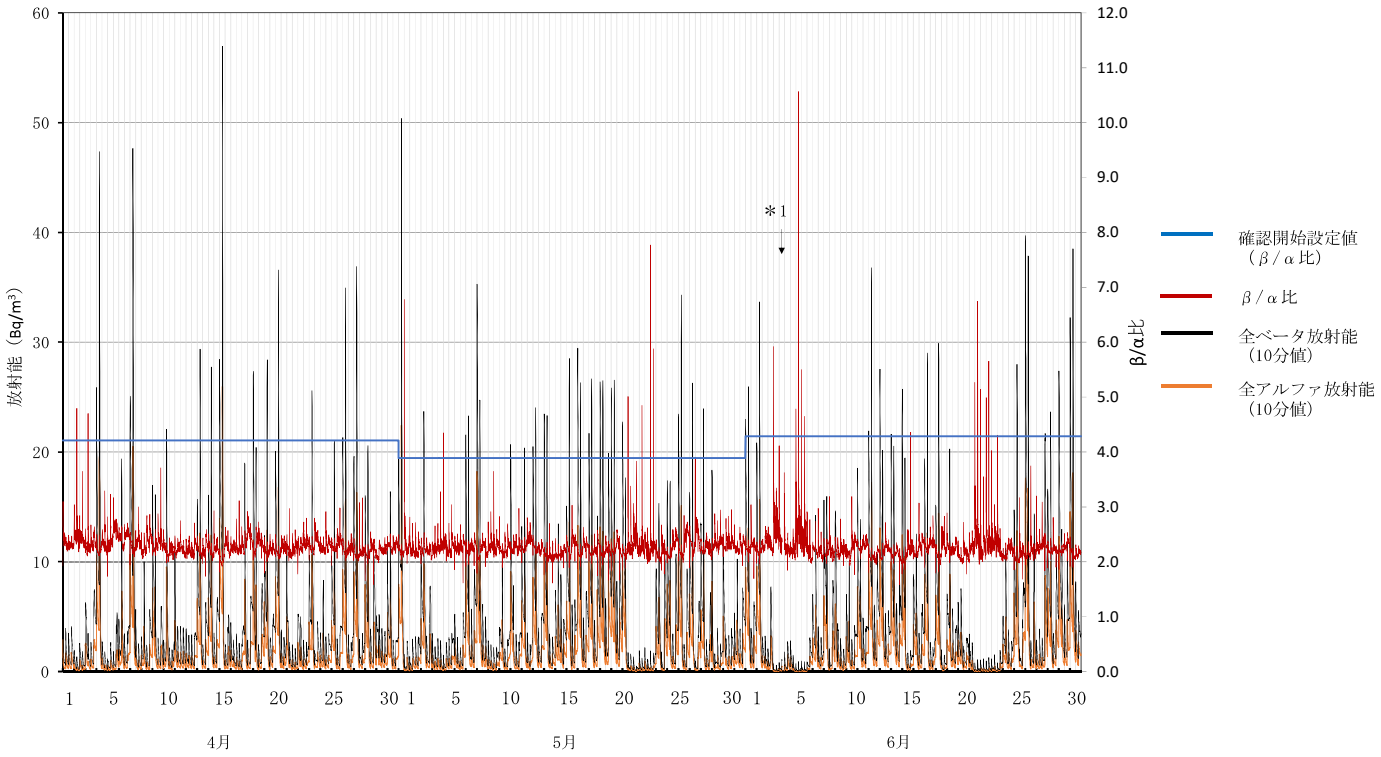


ろ紙送り直後は大気浮遊じんがろ紙の内部に入り込み、見かけ上相対的に全ベータ放射能が全アルファ放射能に比べて高くなり、β/α比が高く算出される場合があること、また、放射能濃度が低いことによりβ/α比のばらつきが大きくなる場合があるとされています。

福島県環境放射線センター

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移（集じん中測定）

13　葛尾村夏湯
（令和8年4月1日～6月30日）

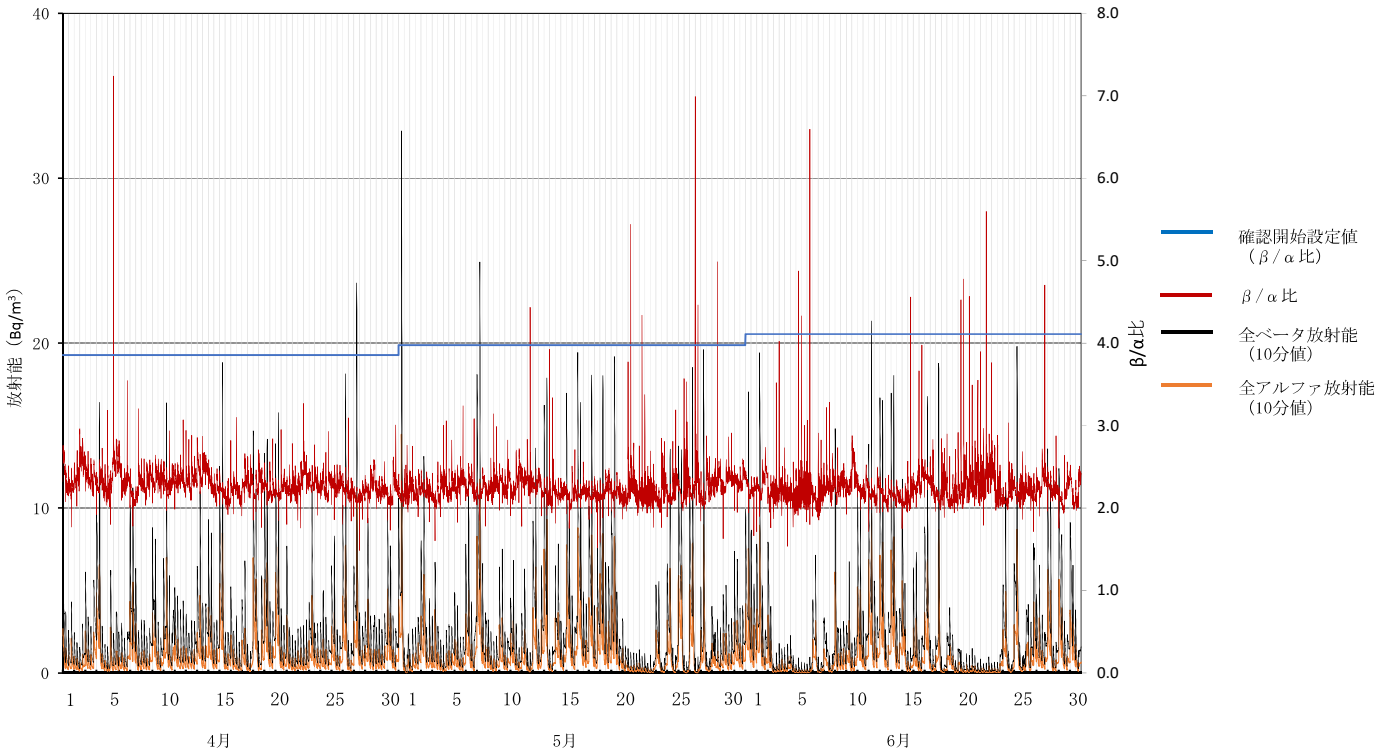


＊1 停電による欠測
ろ紙送り直後は大気浮遊じんがろ紙の内部に入り込み、見かけ上相対的に全ベータ放射能が全アルファ放射能に比べて高くなり、β/α比が高く算出される場合があること、また、放射能濃度が低いことによりβ/α比のばらつきが大きくなる場合があるとされています。

福島県環境放射線センター

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移（集じん中測定）

14　南相馬市泉沢
（令和8年4月1日～6月30日）

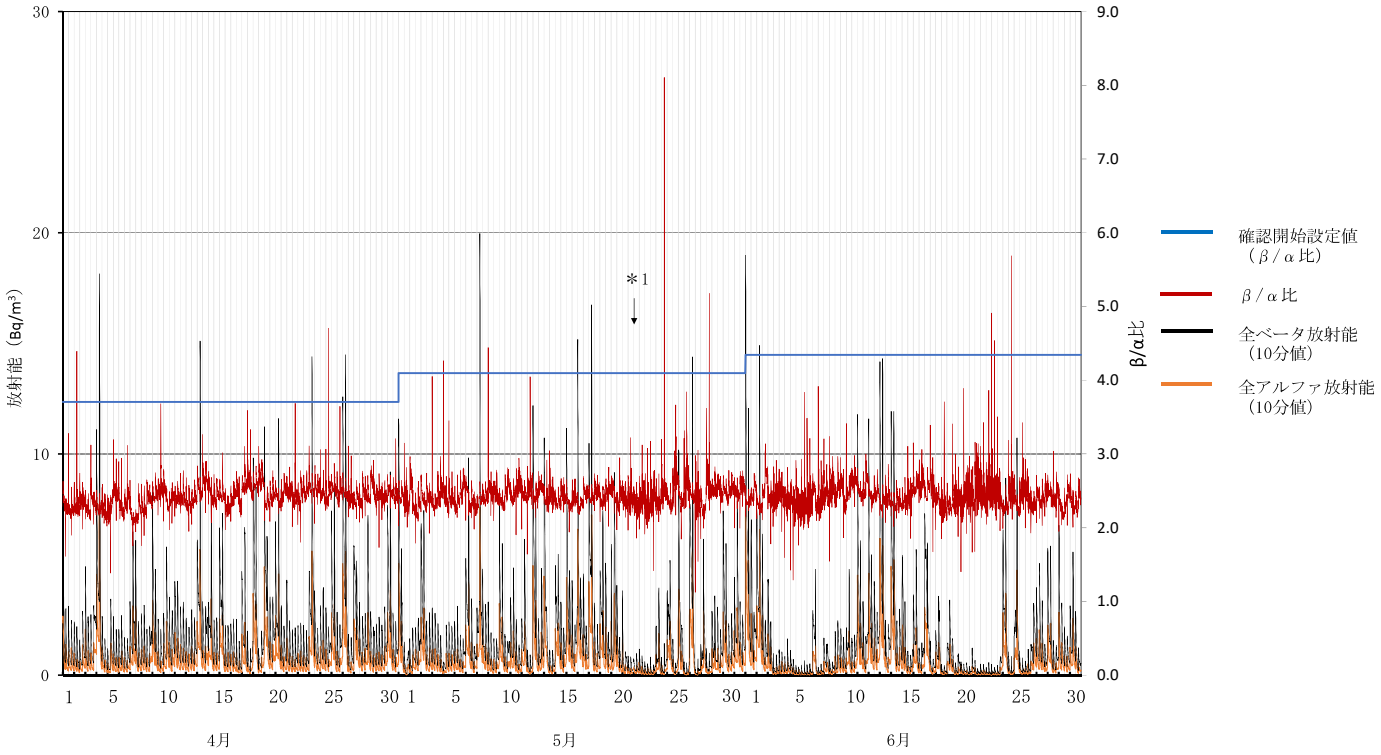


ろ紙送り直後は大気浮遊じんがろ紙の内部に入り込み、見かけ上相対的に全ベータ放射能が全アルファ放射能に比べて高くなり、β/α比が高く算出される場合があること、また、放射能濃度が低いことによりβ/α比のばらつきが大きくなる場合があるとされています。

福島県環境放射線センター

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移（集じん中測定）

15　南相馬市萱浜
（令和8年4月1日～6月30日）

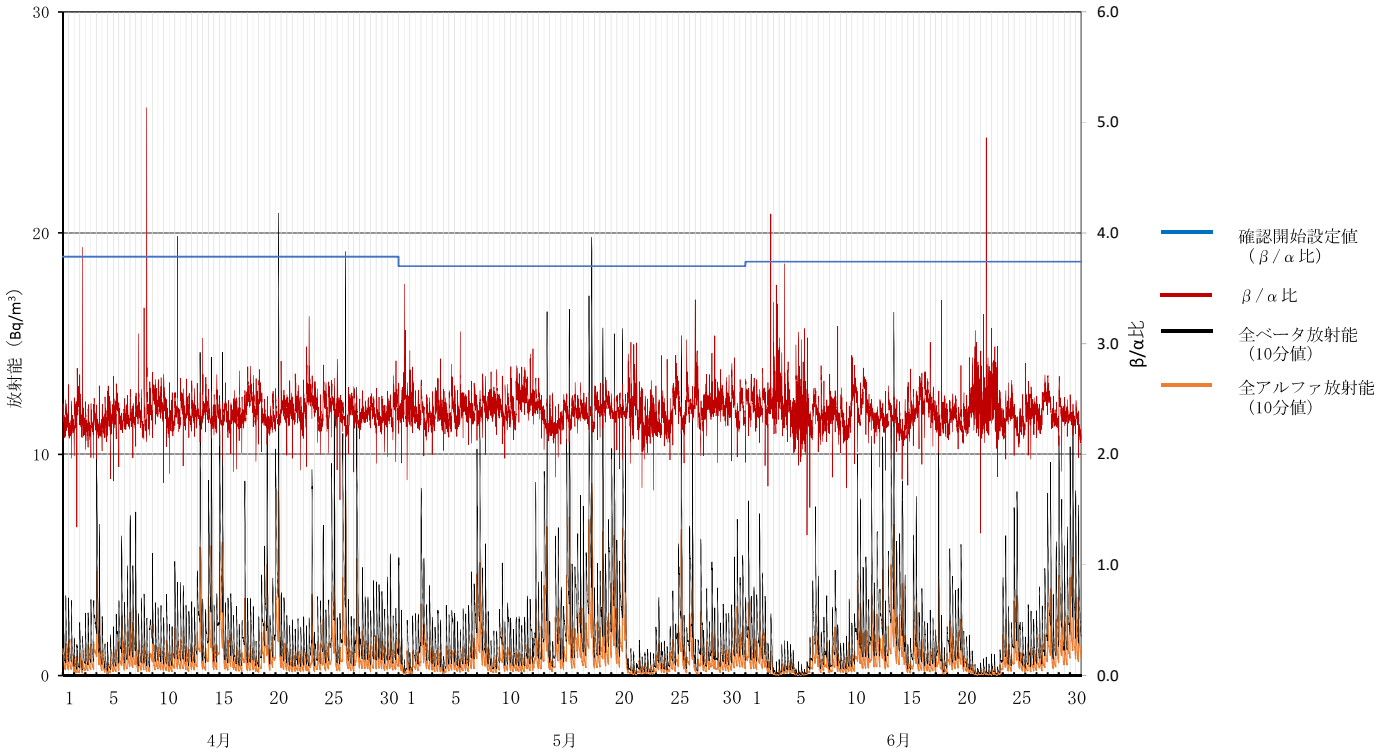


＊1 停電による欠測
　ろ紙送り直後は大気浮遊じんがろ紙の内部に入り込み、見かけ上相対的に全ベータ放射能が全アルファ放射能に比べて高くなり、β/α比が高く算出される場合があること、また、放射能濃度が低いことによりβ/α比のばらつきが大きくなる場合があるとされています。

福島県環境放射線センター

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移（集じん中測定）

16　飯舘村伊丹沢
（令和8年4月1日～6月30日）



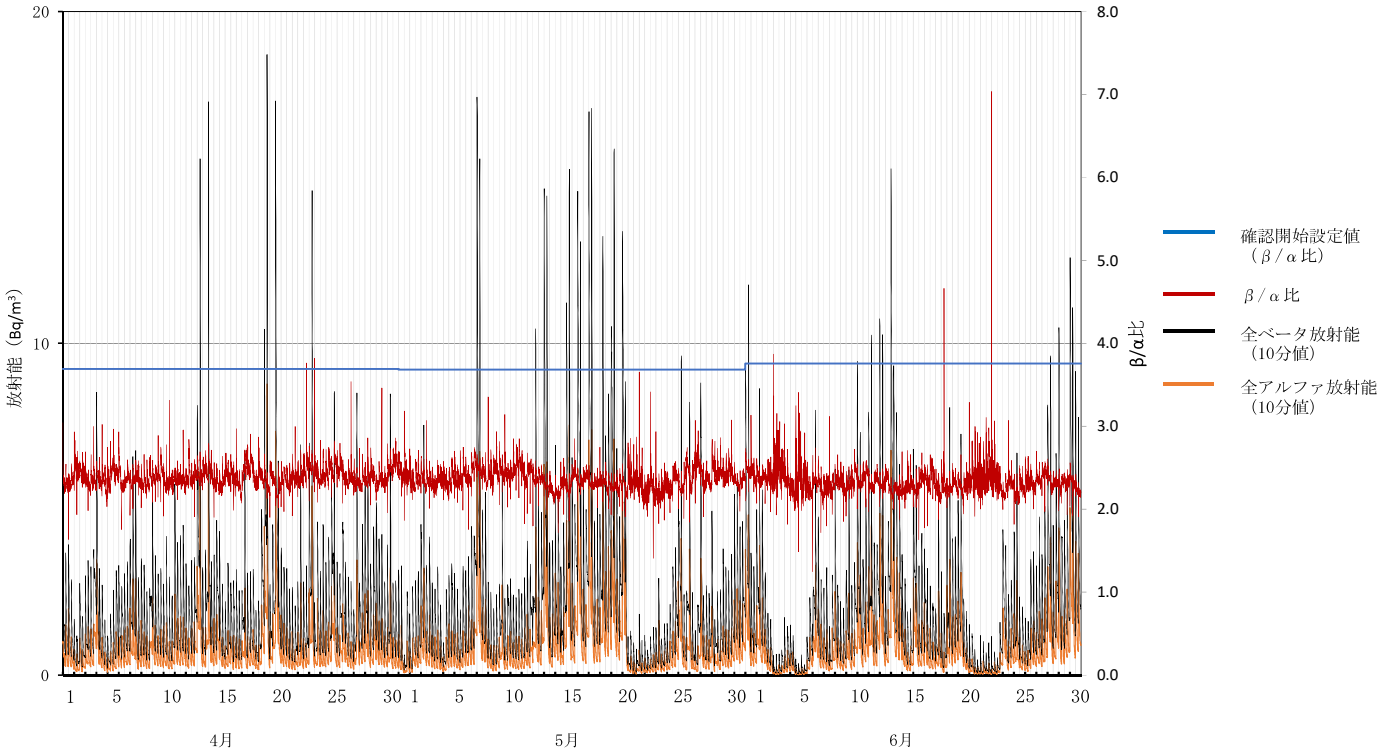
　ろ紙送り直後は大気浮遊じんがろ紙の内部に入り込み、見かけ上相対的に全ベータ放射能が全アルファ放射能に比べて高くなり、β/α比が高く算出される場合があること、また、放射能濃度が低いことによりβ/α比のばらつきが大きくなる場合があるとされています。

福島県環境放射線センター

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移（集じん中測定）

17　川俣町山木屋

（令和8年4月1日～6月30日）



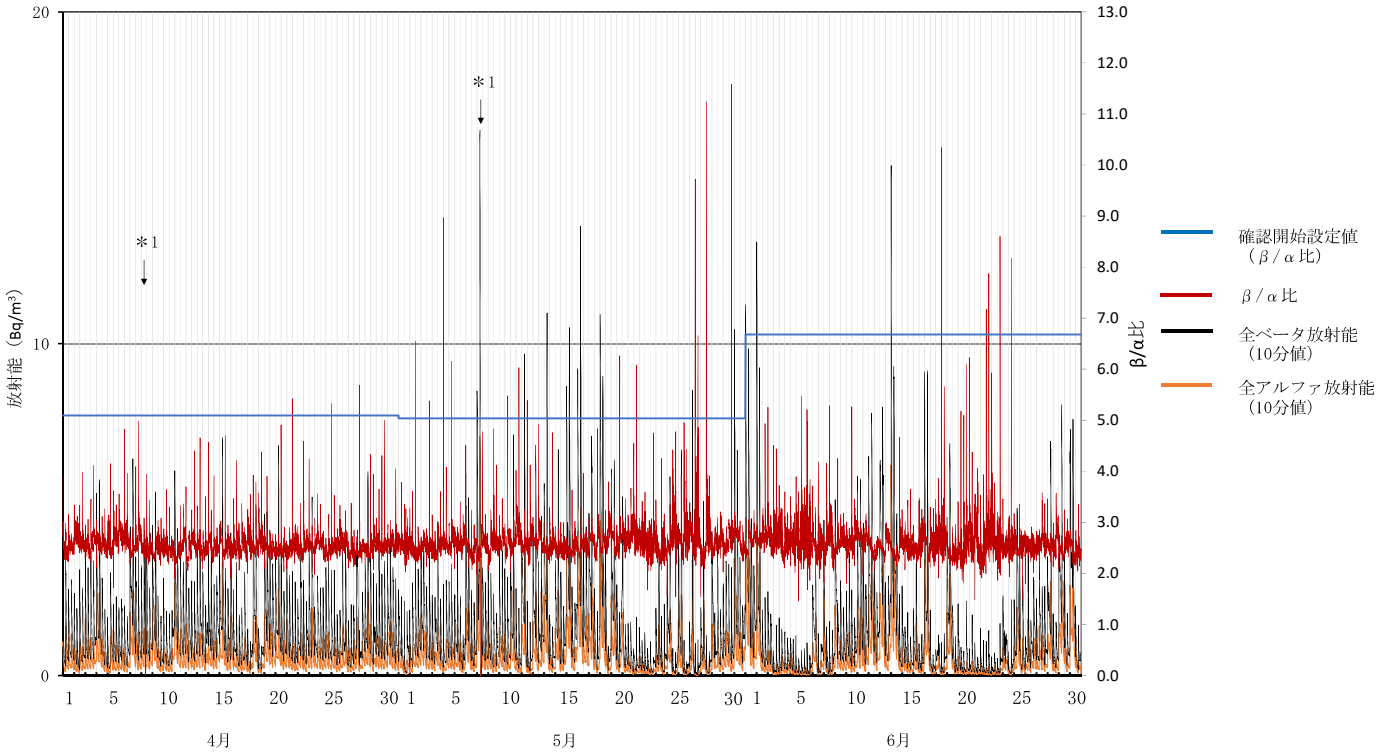
ろ紙送り直後は大気浮遊じんがろ紙の内部に入り込み、見かけ上相対的に全ベータ放射能が全アルファ放射能に比べて高くなり、β/α比が高く算出される場合があること、また、放射能濃度が低いことによりβ/α比のばらつきが大きくなる場合があるとされています。

福島県環境放射線センター

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移（集じん中測定）

18　いわき市久之浜

（令和8年4月1日～6月30日）



＊1 点検による欠測

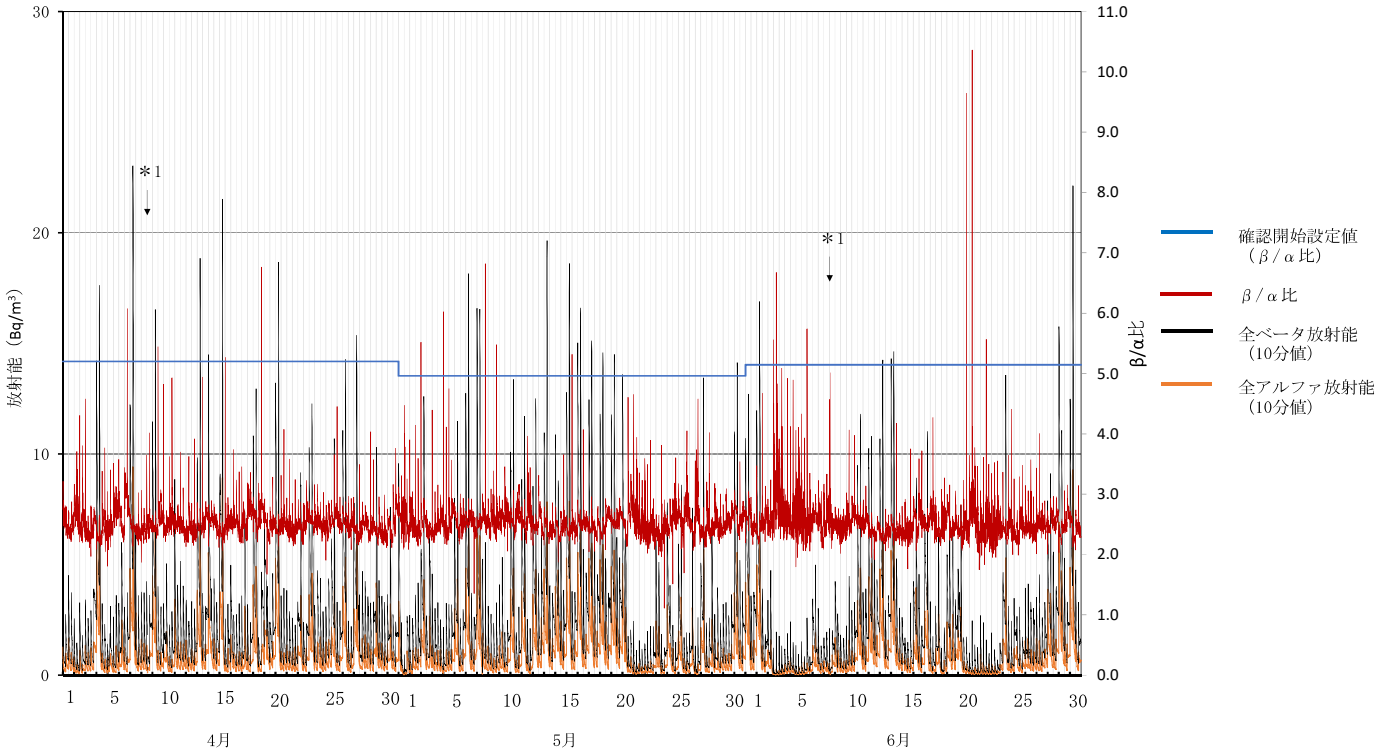
ろ紙送り直後は大気浮遊じんがろ紙の内部に入り込み、見かけ上相対的に全ベータ放射能が全アルファ放射能に比べて高くなり、β/α比が高く算出される場合があること、また、放射能濃度が低いことによりβ/α比のばらつきが大きくなる場合があるとされています。

福島県環境放射線センター

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移（集じん中測定）

19　いわき市下桶売

（令和8年4月1日～6月30日）



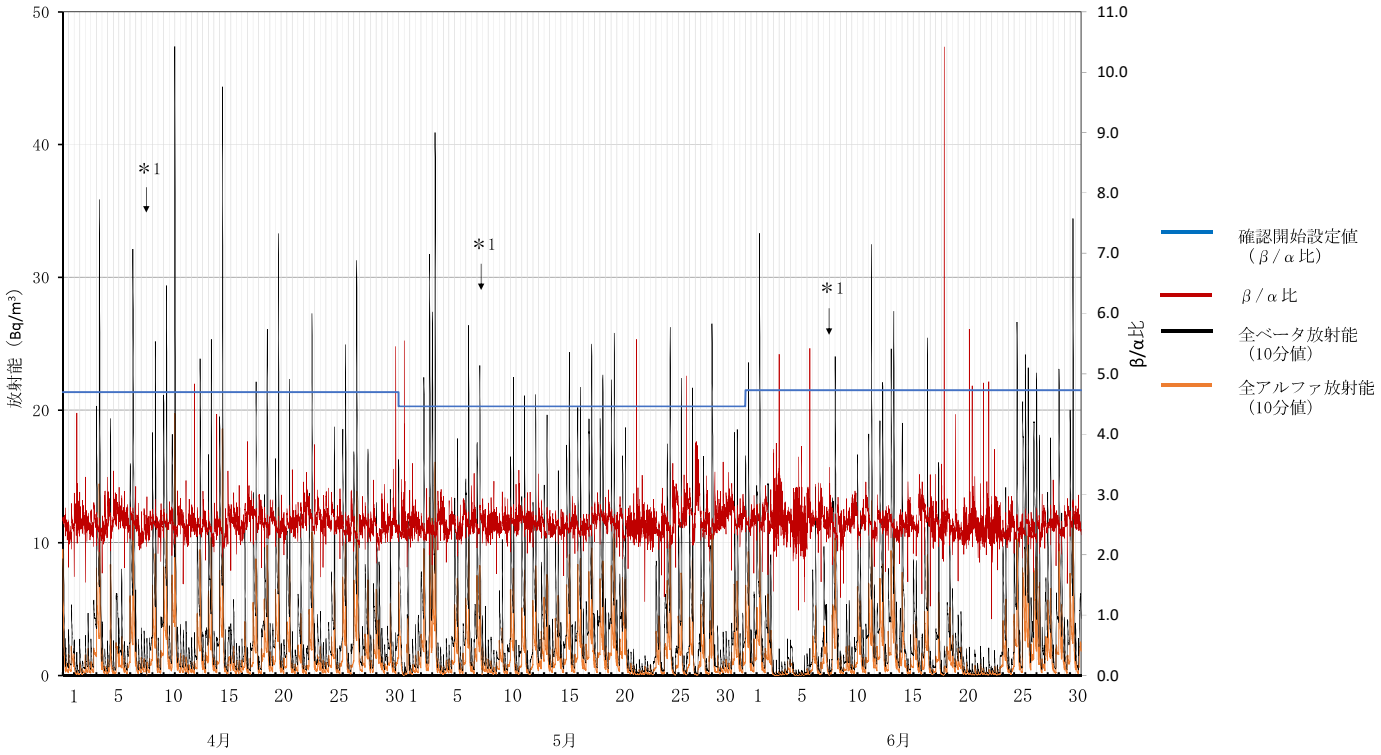
＊1 点検による欠測
ろ紙送り直後は大気浮遊じんがろ紙の内部に入り込み、見かけ上相対的に全ベータ放射能が全アルファ放射能に比べて高くなり、β/α比が高く算出される場合があること、また、放射能濃度が低いことによりβ/α比のばらつきが大きくなる場合があるとされています。

福島県環境放射線センター

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移（集じん中測定）

20　いわき市川前

（令和8年4月1日～6月30日）



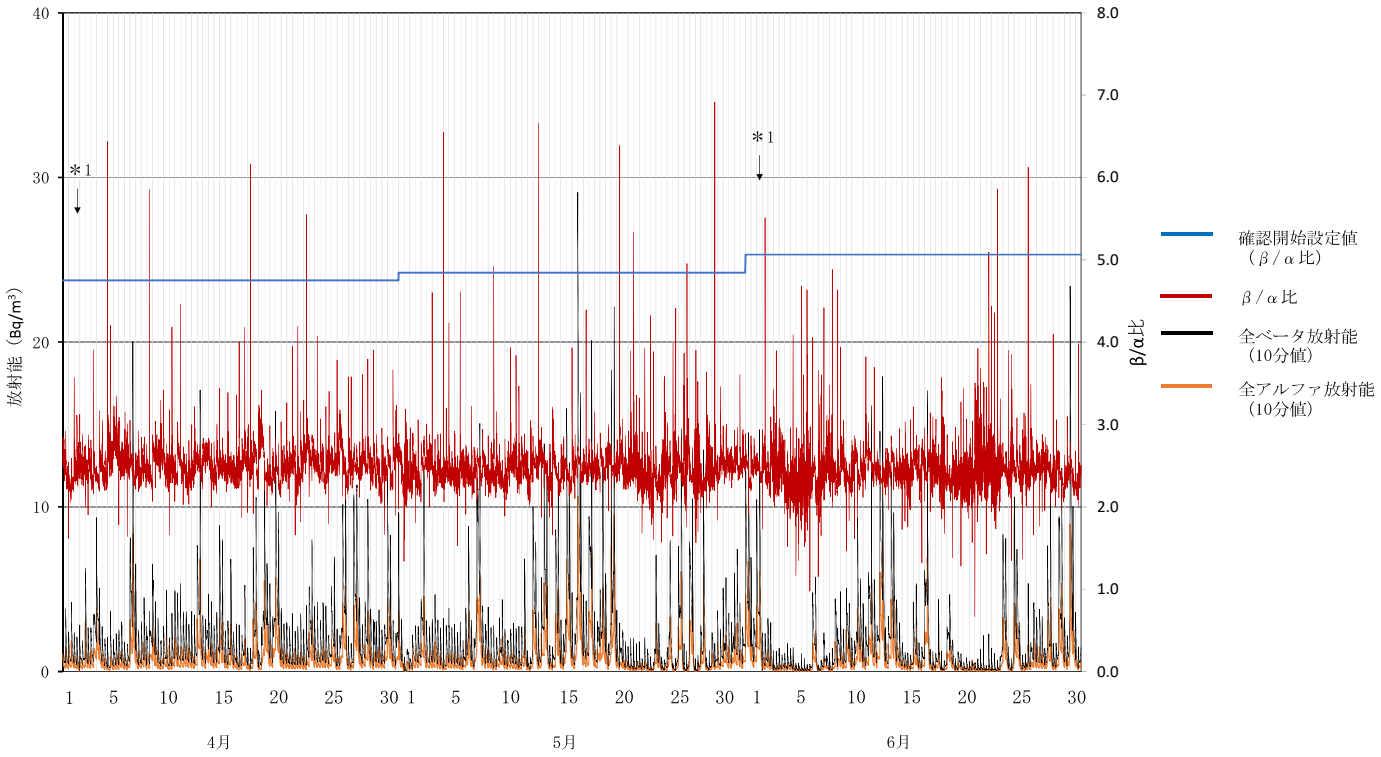
＊1 点検による欠測
ろ紙送り直後は大気浮遊じんがろ紙の内部に入り込み、見かけ上相対的に全ベータ放射能が全アルファ放射能に比べて高くなり、β/α比が高く算出される場合があること、また、放射能濃度が低いことによりβ/α比のばらつきが大きくなる場合があるとされています。

福島県環境放射線センター

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移（集じん中測定）

21　大熊町向畑

（令和8年4月1日～6月30日）



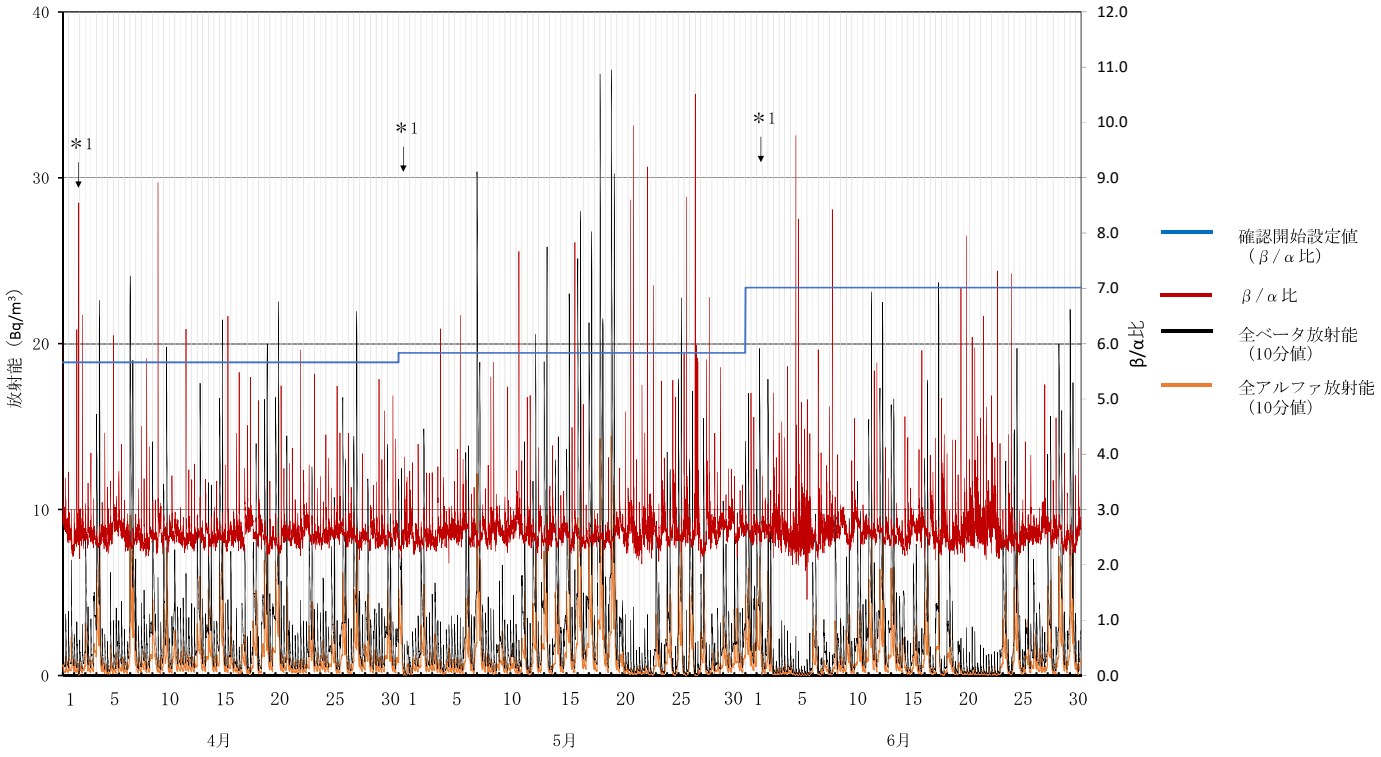
＊1 点検による欠測
ろ紙送り直後は大気浮遊じんがろ紙の内部に入り込み、見かけ上相対的に全ベータ放射能が全アルファ放射能に比べて高くなり、β/α比が高く算出される場合があること、また、放射能濃度が低いことによりβ/α比のばらつきが大きくなる場合があるとされています。

福島県環境放射線センター

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移（集じん中測定）

22　双葉町山田

（令和8年4月1日～6月30日）

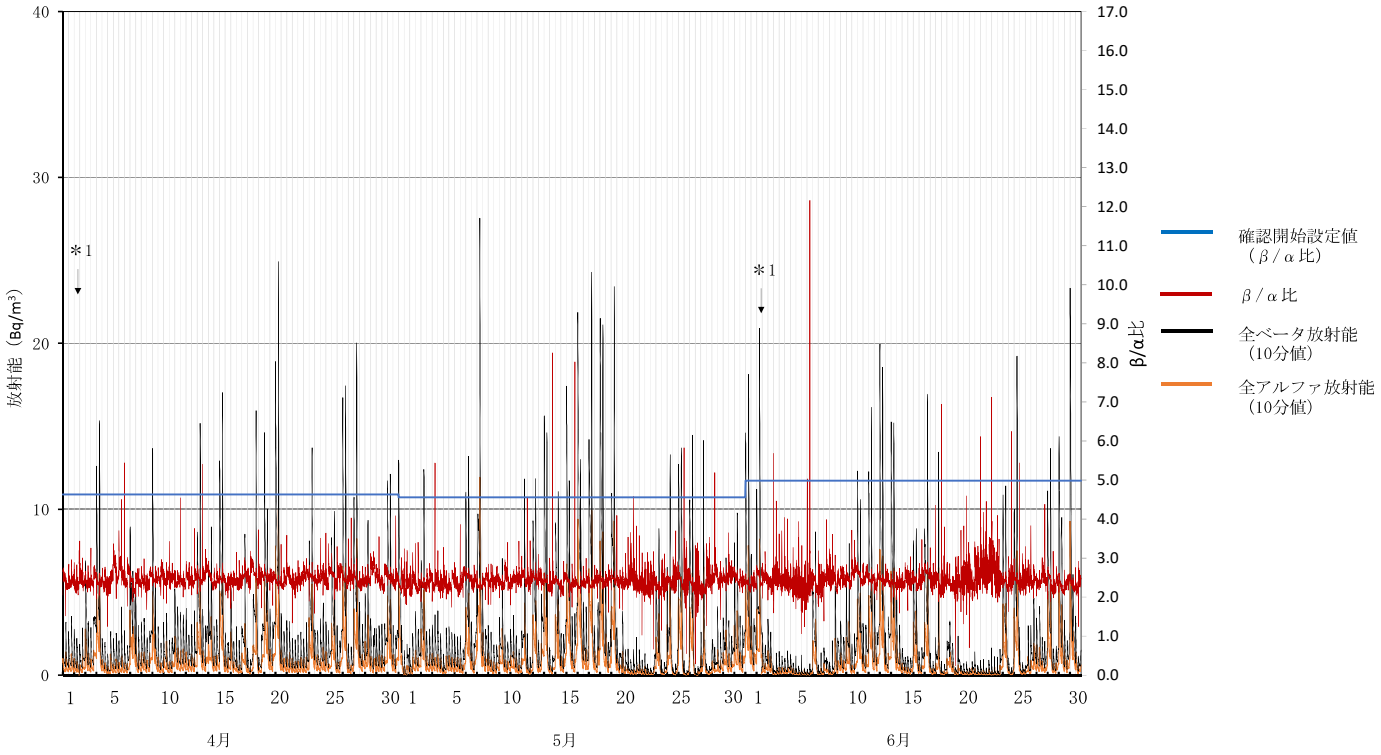


＊1 点検による欠測
ろ紙送り直後は大気浮遊じんがろ紙の内部に入り込み、見かけ上相対的に全ベータ放射能が全アルファ放射能に比べて高くなり、β/α比が高く算出される場合があること、また、放射能濃度が低いことによりβ/α比のばらつきが大きくなる場合があるとされています。

福島県環境放射線センター

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移（集じん中測定）

23　双葉町新山
（令和8年4月1日～6月30日）

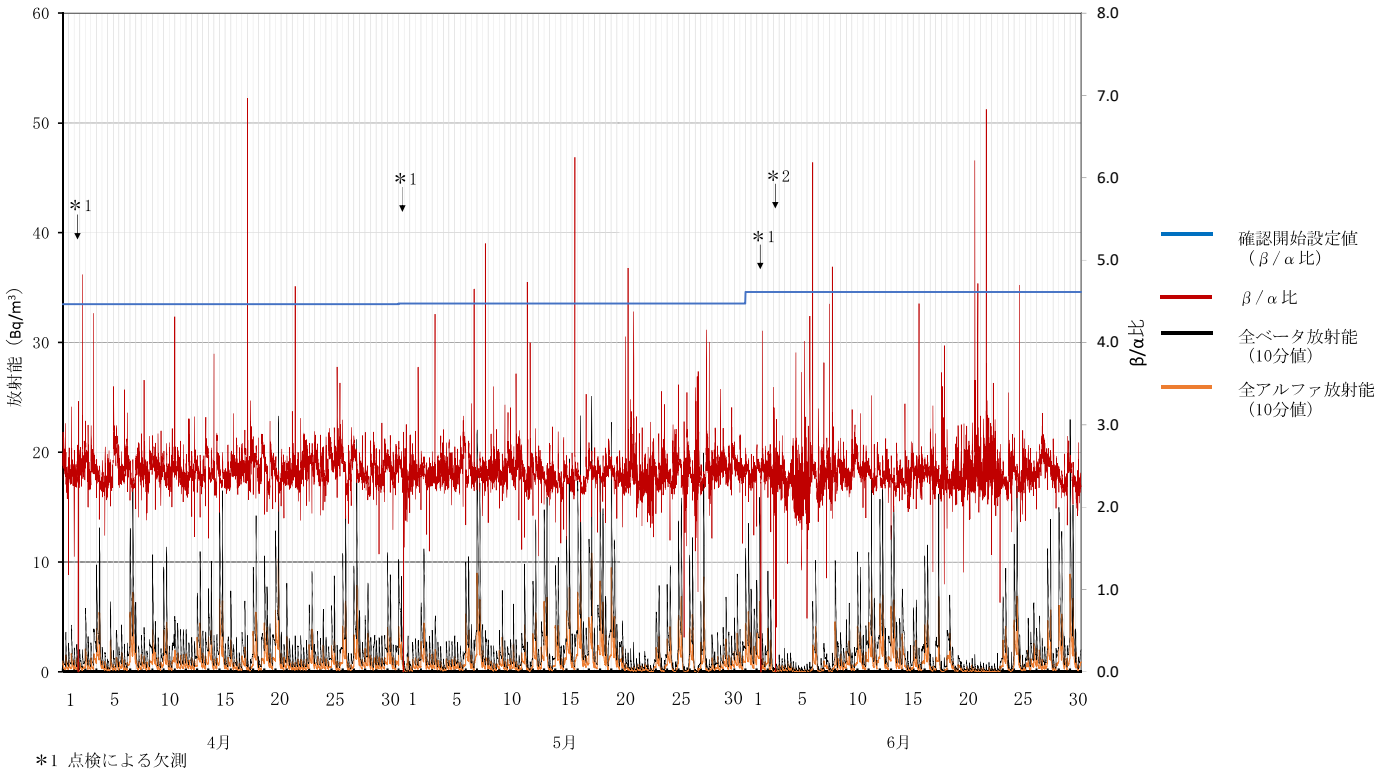


＊1 点検による欠測
　ろ紙送り直後は大気浮遊じんがろ紙の内部に入り込み、見かけ上相対的に全ベータ放射能が全アルファ放射能に比べて高くなり、β/α比が高く算出される場合があること、また、放射能濃度が低いことによりβ/α比のばらつきが大きくなる場合があるとされています。

福島県環境放射線センター

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移（集じん中測定）

24　双葉町上羽鳥
（令和8年4月1日～6月30日）

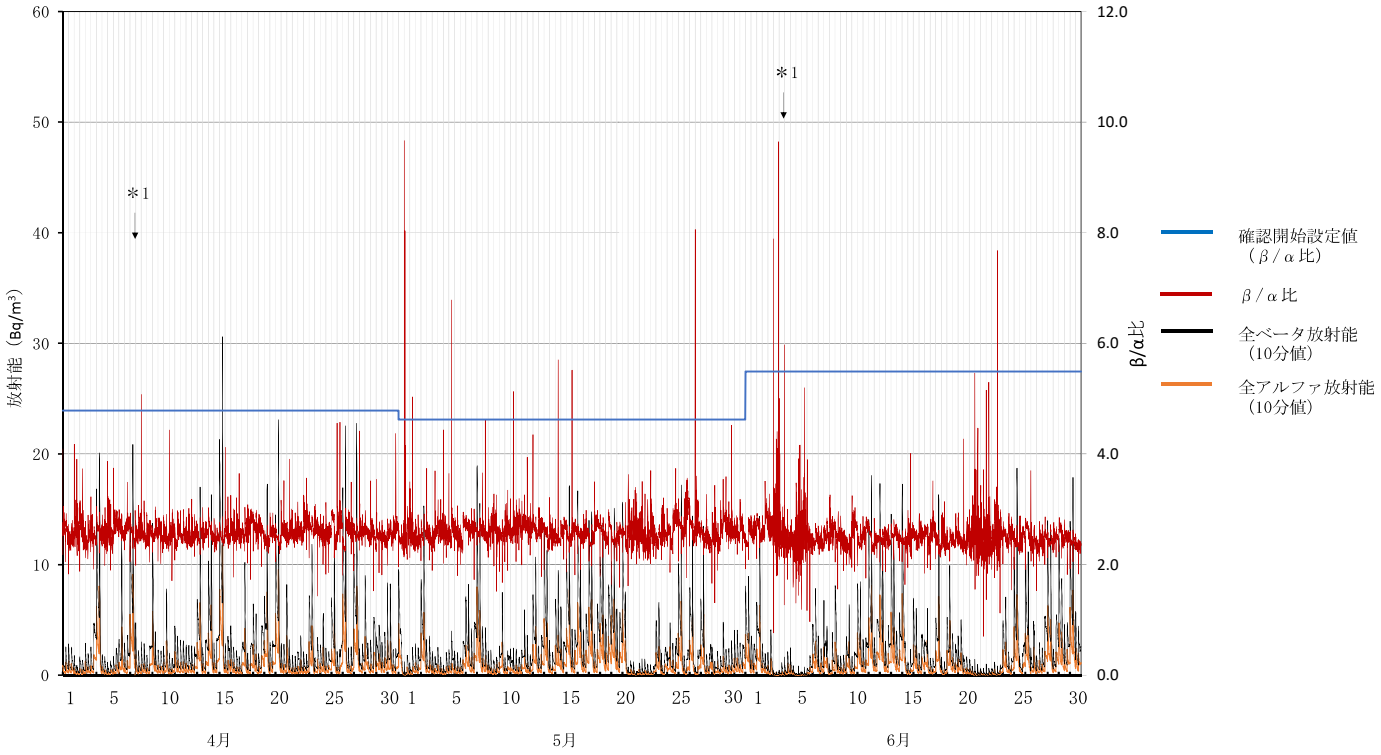


＊1 点検による欠測
＊2 停電による欠測
　ろ紙送り直後は大気浮遊じんがろ紙の内部に入り込み、見かけ上相対的に全ベータ放射能が全アルファ放射能に比べて高くなり、β/α比が高く算出される場合があること、また、放射能濃度が低いことによりβ/α比のばらつきが大きくなる場合があるとされています。

福島県環境放射線センター

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移（集じん中測定）

25　浪江町南津島
（令和8年4月1日～6月30日）

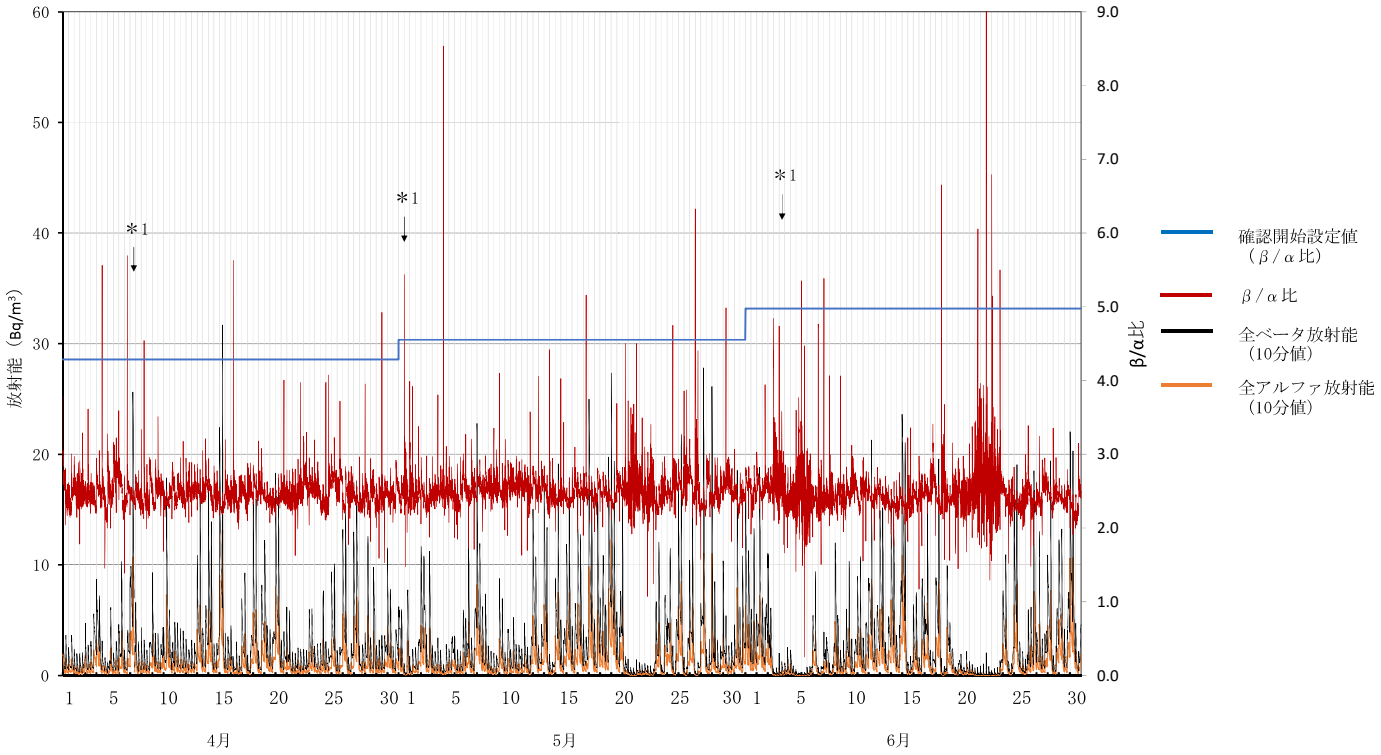


＊1 点検による欠測
　ろ紙送り直後は大気浮遊じんがろ紙の内部に入り込み、見かけ上相対的に全ベータ放射能が全アルファ放射能に比べて高くなり、β/α比が高く算出される場合があること、また、放射能濃度が低いことによりβ/α比のばらつきが大きくなる場合があるとされています。

福島県環境放射線センター

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移（集じん中測定）

26　南相馬市横川ダム
（令和8年4月1日～6月30日）



＊1 点検による欠測
　ろ紙送り直後は大気浮遊じんがろ紙の内部に入り込み、見かけ上相対的に全ベータ放射能が全アルファ放射能に比べて高くなり、β/α比が高く算出される場合があること、また、放射能濃度が低いことによりβ/α比のばらつきが大きくなる場合があるとされています。